

目次

I 展示

1 企画展・特別展	01
2 通常展展示構成	25
3 映像資料一覧	26
4 コーナー展示	26
5 フリースペース・ミニギャラリー展示	30

II 調査・研究と社会貢献

1 分野別の調査・研究	31
2 資料調査員	31
3 他機関との共同調査	32
4 個別の調査・研究と成果	33
5 研究成果の公表	34
6 社会貢献等	34

III 資料の収集・保存と活用

1 資料の受贈	36
2 資料の受託	36
3 資料の返還	36
4 資料の移管	37
5 資料の購入	37
6 資料の複製製作	37
7 資料の管理委託・一時預かり	37
8 資料の一時返却	37
9 資料の貸出	38
10 資料等撮影等	39
11 燻蒸	39
12 収蔵庫収納棚耐震化工事	40
13 保存環境管理・保存処理	40
14 模型・機器の修理	40
15 資料情報管理システム	41
16 図書類の整理	41
17 館蔵資料数	41
18 収蔵資料目録の刊行	41

IV 教育普及

1 一般対象の普及事業や刊行物	42
(1) 講演会・公演・対談等	42
(2) 刊行物	45
2 学校教育への支援	47
(1) 学校等団体の来館利用への支援	47
(2) 学校教育活動支援事業	48
(3) 学校などへの講師派遣(出前講座)	49
(4) 資料などの学校等への貸出	49
(5) 職場体験の受け入れ	49
(6) 博物館実習の受け入れ	49
(7) 教員のための研修	50
(8) 学校教育関連事業の共催	50
3 展示解説	50
(1) 解説補助員	50
(2) 学芸員等による展示解説	50
(3) 展示音声ガイド「ポケット学芸員」	50
4 カルチャーサポーター	51
5 れきみんサークル	51
6 参考業務等	51
(1) 参考業務(レファレンスサービス)	51
(2) 調査来館対応	52
7 イベント	52
(1) 第12回岡豊山さくらまつり	52
(2) れきみんの日(れきみんワグナー・デイズ)	52
(3) れきみん!サマーミュージアム	53
(4) 第13回長宗我部フェス	54
(5) 長宗我部元親 RALLY FINAL	54
(6) れきみんのお正月	55

V 情報の発信

1 広報活動	56
2 マスコミほかによる情報掲載等	56
3 IT(情報技術)による情報発信	58
4 広告	59
5 他機関との連携、様々な機会をとらえた情報発信	59

VI ネットワーク

1 日本博物館協会	60
2 四国地区博物館協議会	61
3 こうちミュージアムネットワーク	61
4 土佐のまほろば地区振興協議会	61
5 旧大橋高校の活用	61
6 共催・後援事業	63

VII 管理運営・マネージメント

1 組織図	64
2 職員名(令和4年度)	64
3 事務分掌	64
4 予算	65
5 運営協議会	66
6 資料収集委員会	66
7 資料調査員	66
8 多目的ホールの利用	67
9 岡豊山歴史公園の活用	67
10 岡豊山歴史公園の管理	67
11 旧味元家住宅主屋の利用とメンテナンス	67
12 修繕工事等	67
13 防災及び危機管理体制	68
14 新型コロナウイルス感染症への対応	68
15 利用者サービスの向上	68
16 職員の研修等	68
17 日録抄等	68

VIII 観覧者統計

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数(月別)	71
2 高齢者団体の入館者数(月別)	71
3 病院、デイ・サービス等の入館者数(月別)	71
4 一般団体等の入館者数(月別)	71
5 各年度入館者等	71
令和4年度入館者実績	72
7 各年度別企画展等の観覧者数	73
8 常設(通常)展と企画展開催中の入館者数比較表	76
9 各年度別企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等	76
10 各年度別館外展示・写真展・フリースペース・ミニギャラリー展示等	79
11 来館者へのアンケート調査	81

IX 高知県立歴史民俗資料館の指定管理者における業務状況評価(令和3年度) 83

X 施設の概要

1 沿革	88
2 施設の概要	89
3 岡豊山歴史公園	92
4 建設費など	92

XI 例規

高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例	93
高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則	98
高知県立歴史民俗資料館運営協議会会則	102
高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会設置要領	102
高知県立歴史民俗資料館資料調査員設置要綱	103
高知県文化財団カルチャーサポーター設置要綱	103

XII 令和4年度 受贈・購入図書目録 104

(表紙) 龍(俄だんじり幕 部分)、同左情報
…室戸市佐喜浜八幡宮 古式行事保存会蔵

I 展 示

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策をとりながら、特別展1回、企画展3回、コーナー展4回を開催した。

特別展「驚異と怪異—世界の幻獣と霊獣たち—」は5年ぶりに3階の総合展示室を会場として開催した大型企画であった。2019年に国立民族学博物館（以下、民博）で開催された「驚異と怪異—想像界の生きものたち—」の展示資料の一部を巡回し、民博所蔵資料を中心としながら当館独自に県内外から借用した資料を展示した。当館の展示では、KUTV テレビ高知の名義主催、県立美術館等との連携、ゴールデンウィークのイベント開催、多彩な広報など手を尽くしPRに努めた。世界の幻獣や霊獣に関する資料を多数紹介する展示とあって訴求力が高く、1万2千人を越える入館者があった。

企画展については、1階の企画展示室で開催した。「絵馬ってなあに？」は、館蔵資料を中心に、バリエーション豊かな絵馬の世界をわかりやすく概説した。「武吉孝夫写真展—高知県の山村を歩く—」は、高知県の山村で暮らす人々の姿をとらえた武吉孝夫氏の記録写真を展示した。「れきみんコレクション！なんでもランキング」は、約18万点ある館蔵資料を「一番大きいもの」や「学芸員のおすすめ」などの様々な切り口で紹介した。

コーナー展は、3階総合展示室にて「歴史館×美術館 世界不思議ミュージアム」の関連展示として「異界遺産」を開催したほか、同室にて「干支の玩具 卯」、2階長宗我部展示室にて「大坂の陣後の長宗我部氏/長宗我部氏にまつわる武具」、2階エントランスホールにて「昔のくらしの道具」を開催した。

また、フリースペース・ミニギャラリーで当館主催の「第17回岡豊山フォトコンテスト作品展」を行うとともに、2階エントランスホールにて「前田博史写真展『さくらはくら 2022』と「前田博史の天然写真展 2023 還るところ。」を開催した。

1 企画展・特別展

第1回 特別展「驚異と怪異—世界の幻獣と霊獣たち—」

会 期：令和4年4月29日（金・祝）～6月26日（日）
概要

本展は、令和元年（2019）8～11月に民博で開催された特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち—」の展示資料の一部を巡回した。同展は、世界の幻獣や霊獣を紹介し、人間の想像力の面白さに迫る展示であった。世界各地の人々は、水の中には人魚や龍、天空には天馬や怪鳥、大地には巨人や獅子など不可思議な生きものがいるかも知れないと考え、また、日本でも河童や天狗、人を化かす狸が伝えられてきた。同展は、民博が収集した豊富な資料を中心に、幻獣ミイラ

等を海外や国内から借用し、大変好評で大成功を収めた。同展の展示資料のうち、民博資料については巡回が可能との情報があり、令和3年度に開館30周年記念展として開催することを検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により令和4年度春に開催することにした。当館での開催は、兵庫県立歴史博物館に続く2つ目の巡回であった。

もともと民博の展示では、第I部「想像界の生物相」、第II部「想像界の変相」の2部構成で、第I部では水・天・地に分けて世界の幻獣や霊獣を紹介し、第II部では「聞く」「見る」「知る」「創る」などのテーマで、「驚異や怪異がどのように認識され、知識体系に整理されるか」というコンセプトで構成されていたが、当館ではスペースの関係などもあり、そのまま展示することは困難なので、第II部は大きく省略した。一方、民博展でも列品されていた湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）所蔵資料や、四国、県内の資料を独自に借用し、限られたスペースであっても「驚異と怪異」展のエッセンスを凝縮して伝えるとともに、高知展ならではの新たな見どころを検討した。例えば、高知展オリジナル資料の中では、金刀比羅宮所蔵の人魚のミイラを外部では初公開するとともに、横倉山自然の森博物館からはタヌキなど幻獣と見なされてきた動物の剥製を借用し、現実から幻想が生まれる過程を想像しやすいように工夫した。

講演会・講座等

展示をより深く味わって頂くための関連講演会では、民博展の実行委員長である山中由里子氏（同館教授）に展示の構想意図と魅力を語って頂き、梅野による連続講座「土佐幻獣セミナー」では、展示では紹介しきれない地元高知の幻獣の数々を地・水・天に分けて紹介し、世界の幻獣を契機に高知の民俗文化に関心を誘う内容とした。

また、蔦屋書店と地域文化計画と当館の共催で、山中氏と梅野によるトークイベントを開催するとともに、同書店では関連図書を置いてもらい、展示の普及と広報につなげた。

れきみんワンダーデイズ

特別展を盛り上げるために、無料入館日5月3日「れきみんの日」を含めたゴールデンウィークの4月29日、30日、5月4日、7日、8日の6日間に「れきみんワンダーデイズ」と称したイベントを実施した（詳細は「IV教育普及」を参照）。幻獣仮面、びっくり箱、万華鏡などの物作り体験、県立文学館に協力を仰いだ幻獣民話紙芝居、幻獣ウォークなど子どもから大人まで楽しめる企画を日替わりで実施した。期間中に検温済の方に渡す検温シールは幻獣イラスト（3種）をあしらうとともに、日替わりの世界のキッチンカーの横には、その国の幻獣を紹介するパネルを展示するなど、

随所に幻獣モチーフをちりばめた。そうした結果、期間中 3,331 人が来館し、特別展のスタート時を大いに盛り上げた

県立美術館との連携企画「世界不思議ミュージアム」

県立美術館との連携企画にも力を入れた。美術館で 6 月 18 日（土）～9 月 11 日（日）に開催された企画展「佐藤健寿展 奇界／世界」の展示図録に「驚異と怪異」展の山中氏が寄稿していること、同展でも民博資料が展示されていることなどから、ふたつの展示には接点があった。また、内容面でも世界各地の奇妙な風景や習俗を撮影した「奇界／世界」と、世界の幻獣や霊獣を扱った「驚異と怪異」は、世界の文化の多様性や人間の想像力の面白さをテーマとしている点で共通点が多かった。そのため、9 日間開催時期が重なる 2 つの展示をつなげて更にアピールすることができないか、美術館の佐藤展担当の朝倉芽生氏、天野圭悟氏の両学芸員と、美術館ホール担当の秦泉寺なほ氏と協議を重ね、両館の展示や関連イベントに参加してスタンプを集めるスタンプラリーを行うことにした。企画のタイトルは、2 つの展示を見た人の頭の中に広がる架空のミュージアム「世界不思議ミュージアム」とし、「世界不思議手帖」と題したスタンプ帳を作り、両館の展示及び関連イベント、そして県立美術館ホール夏の定期上映会「奇怪な映画」（「ファンタスティック・プラネット」など 4 本）と香美市物部町の奥物部美術館企画展「いざなぎ流御祈禱」を見学・参加して、3 つスタンプを集めた方にはステッカー、8 つ集めた方にはコンプリート賞をプレゼントするという内容とした。スタンプの幻獣の絵は佐藤健寿氏の著書『世界不思議地図』の阿部結氏のイラストを使用させて頂いたが、奥物部のスタンプとステッカーは、阿部氏のオリジナルデザインによるいざなぎ流の仮面と御幣とした。

関連企画も共催で行った。佐藤展の朝倉氏と梅野による「オープニングトーク ようこそ！世界不思議ミュージアムへ」を皮切りに、目玉の「奇界／世界／想像界 山中由里子×佐藤健寿クロストーク」を当館で開催し、梅野は佐藤展の期間中の 9 月 3 日、美術館でレクチャー「いざなぎ流の不思議な世界」を行った。山中×佐藤クロストークは、KUTV に委託して YouTube で同時配信を行い、梅野のレクチャーは後で YouTube にアップされている。なお、スタンプラリーのコンプリート賞の「いざなぎ流 そのヒミツ」ポスターは、表は佐藤氏撮影の「いざなぎ流御祈禱」、裏面は「いざなぎ流そのヒミツ」と題して、いざなぎ流の 6 つの豆知識を写真入りで解説する内容とした（当館と美術館でも販売している）。

広報

広報面でも那須が中心となってさまざまな試みを行った。

・ KUTV テレビ高知の名義主催とし、テレビ CM を放送したほか、夕方のローカルニュース番組「からふる」内で 3 回にわたり本展の紹介が特集として放

映された。

- ・ 開幕 1 か月前の 3 月中旬にポストカードサイズのプレチラシを作成し、桜の花見客などで賑わう時期に合わせて広報をスタートした。
- ・ オーテピア 2 階の「共同楽習スペース」でチラシ・ポスターやパネルを使用した PR 展示を行った（4 月 20 日～26 日）。
- ・ 本チラシとは別に展示内容などを易しく紹介した子ども向けチラシ（32,000 部）を作成し、県内の全小学校等へ配布した。
- ・ 帯屋町二丁目のアーケード内「ほにや」前に吊り看板を掲示した（4 月 22 日～6 月 26 日）。
- ・ 初めての取り組みとして、SNS 広告を実施した。Facebook、YouTube、Instagram にて、エリアや年齢層、広告が表示される時期を絞って、ターゲットを限定した広報を行った。また、広告をクリックした方に本展の情報を魅力的かつ的確に伝えるため、館の HP とは別にランディングページを制作した。
- ・ 本展の開幕に併せ、当館 Instagram を本格始動した。フォロワーを増加させるため、「れきみんワンダーデイズ」中の 4 月 29 日～5 月 1 日の来館者の中で当館 Instagram のフォロー済画面を提示いただいた方、各日先着 100 名にカップの口元がデザインされたオリジナル「カッパマスク」をプレゼントする企画を行った（500 枚製作）。

放送大学「博物館概論」の収録

令和 5 年度から放送される放送大学「博物館概論」の講師・寺田鮎美氏（東京大学総合研究博物館 特任准教授）は、本展が単なる巡回展ではなく、地域の資料とあわせて展示されることで新たなメッセージが生じることに着目され、第 6 回「博物館と展示のメッセージ」の中で本展を紹介した（令和 5 年 5 月放送）。なお、山中氏、寺田氏とともに梅野が出演した。

アンケートから

期間中寄せられたアンケートを、テーマに分けていくつご紹介する。

[面白かった]

「初めて来ましたが、とても面白く、興味深い作品がたくさんあり、楽しかったです」（5 月 7 日、高知市、20 代女性）。「コンパクトでありながら、ハイレベルな展示に大変驚きました」（5 月 19 日、愛媛県、40 代男性）。「人間の内なるものが形となって表現され、それも思いもかけないほどの姿となり、内容となり、とても見入ってしまいました。目に見えないものがうずまいているような空間でした」（5 月 19 日、高知市、60 代女性）。「「驚異と怪異」ととても良かったです！！6/19 佐藤さんのトークショーの予習をせねばと思いついて来てみたら見応えがハンパなかったです！大きな展示から小さなもの、立体や平面のもの…時間が足りません！！笑 高知県にちなんだものもあり、嬉しかったです！まさに今時なコロナのこともあり…とても充実した 1 日となりました！」（6 月 19 日、高知市、30 代女性）。

[民博も見ました]

「民博での驚異と怪異を元年に見に行きましたが、巡回展では、高知ならでの切り口もあり、見やすく面白かったです」(4月30日、吾川郡、40代女性)。「他所の驚異と怪異展に比べてこぢんまりしていたが、要点がまとまっており楽しい所を大方押さえてあって良かった。独自借用の資料のチョイスも楽しいものであった」(5月7日、高岡郡、30代男性)。「みんなく巡回展を見るために初めてれきみに来しました。2019年に驚異と怪異展をみんなくに観に行っており、高知ではどのような展示になるのか楽しみに来ましたが、高知の資料たちも元々みんなくで展示されていたっけ?と思うほど馴染んでいて、とても面白かったです。怪異のモチーフとされる動物の標本が展示されていたのも、高知ならではの、怪異たちをより親しみをもって観ることができました。ありがとうございました」(5月31日、高知市、20代女性)。

[撮影可能]

「貴重な資料の撮影が可能で、後で資料をじっくり見返すことができるととても嬉しいです。展示の仕方も面白かったです。かなり近くまで資料を拝見できてとても嬉しかったです」(6月12日、東京都、30代女性)。

[関連企画]

「獅子舞のパフォーマンスが良かった」(5月3日、香南市、70代女性)。「クロストークとても楽しかったです、なかなか高知に来てくださらないお二人ですので貴重な体験でした。YouTube 配信も遠方の方、残念ながら参加できなかった方へのお心遣いあってとても良い取り組みだったと感じます」(6月19日 高知市、30代女性)。「ミュージアムトークの内容が興味深いのはもちろん、学芸員さんが楽しそうに説明してくださるので、こちらも楽しかったです。時間が足りないくらいです。(略) また来ます!」(5月29日、香美市、40代女性)。

[広報]

「夢に出そう。CMがおもしろくて気になりました」(6月11日、高知市、女性)。「TVのCMやSNSで今回の企画展を知り、面白そうだなと思って訪問しました。ニュースで取り上げられていた人魚のミイラも見られてよかった。不思議は面白い」(5月3日、土佐市、40代女性)。

もともと「驚異と怪異」の人气が高く、その名が知られていたことに加えて、SNSやテレビCMなどの広報も効果的で、これまで当館に来ていなかった層に働きかけることに成功したと思われる。初めて来館したという若い客層のコメントも多かった。

また、「佐藤健寿展 奇界/世界」との相乗効果もあり、1万2千人を超える入館者があった。毎年同じことは難しいが、今回の試行錯誤も踏まえ、本展で歴史を知って頂いた方にも、また来たいと思ってもらえるような企画を検討していきたい。

担当：梅野、那須

観覧者：12,665人

- 展示会場** 3階総合展示室
- 主催** 高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)・国立民族学博物館・公益財団法人千里文化財団・KUTV テレビ高知
- 後援** 高知県教育委員会・高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・NHK高知放送局・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知
- 観覧料** 大人(18才以上)800円、団体(20名以上)640円 無料:高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

▼**関連企画**

●**講演会**

令和4年5月22日(日)14時~16時

場所:2階多目的ホール

講師:山中由里子氏(国立民族学博物館教授)

演題:「幻獣・霊獣・怪獣一人はなぜモンスターを想像するのか?」

聴講者:60人

●**オープニングトーク**

令和4年4月29日(金・祝)14時~15時半

場所:2階多目的ホール

講師:朝倉芽生氏(高知県立美術館学芸員)、梅野

演題:ようこそ!世界不思議ミュージアムへ

聴講者:31人

●**クロストーク**

令和4年6月19日(日)14時~16時

場所:2階多目的ホール

講師:山中由里子氏(国立民族学博物館教授)、佐藤健寿氏(写真家)

演題:奇界/世界/想像界

山中由里子×佐藤健寿クロストーク

聴講者:60人

●**蔦屋書店・地域文化計画との共催イベント**

令和4年5月21日(土)19時~20時半

場所:高知 蔦屋書店(高知市南御座)

2Fイベントスペース

講師:山中由里子氏、梅野

演題:驚異と怪異へのいざない

●**土佐幻獣セミナー**

場所:2階多目的ホール

講師:梅野

1 令和4年5月8日(日)

「地の章」14時~15時半 聴講者:38人

2 令和4年6月4日(土)

「水の章」14時~15時半 聴講者:32人

- 3 令和4年6月25日(土)
「天の章」14時～15時半 聴講者：52人
- ミュージアムトーク
場所：3階総合展示室
講師：梅野
- 1 令和4年5月3日(火・祝)
14時～14時半 聴講者：30人
- 2 令和4年5月29日(日)
13時～13時半 聴講者：26人
- 3 令和4年6月18日(土)
14時～14時半 聴講者：25人
- ワクワクワーク
「コラージュで自分だけの生きものをつくろう！」
講師：山本明子氏(絵画教室 atelier dede 主宰)
- 1 令和4年5月29日(日)
14時～16時 こども向け 参加者：15人
- 2 令和4年6月26日(日)
14時～16時 おとな向け 参加者：26人
- 印刷物
- 1 ポスター B2 片面カラー 1,800枚
2 ちらし A4 両面カラー 55,000枚
3 子ども向けちらし A4 両面カラー 32,000枚
4 プレちらし 14.8×10cm 片面カラー 3,800枚
5 観覧券2種 17.0×6.0cm 表カラー・裏白黒 11,000枚
6 ワンダーデイズ検温済シール 3種 6,000枚
7 世界不思議手帖 10,000冊
- 県道入口看板 縦120cm×横237.5cm(表・裏) 1枚
●車寄部看板 縦147cm×横331.5cm 1枚
●展示資料一覧
※特記ないものは国立民族学博物館蔵
湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)は「日本妖怪博物館」と略記
(P)はパネル
(P)五十嵐大介「異類の行進」
- 1 生命の木(メキシコ) 1点
2 五十嵐大介「異類の行進」(日本)個人蔵 1点
(P)水天地パネル
- ◇怪異とは／驚異とは
- 3 ヘレフォードの世界地図(複製 原物：ヘレフォード大聖堂蔵 1290年頃)(イギリス) 1点
4 錦絵「万国人物図絵」(日本) 1枚
5 カズウィーニー『被造物の驚異』ペルシア語石版本(イラン) 1892年 1冊
6 『自然誌の神秘』(複製 原本：フランス国立図書館蔵) 1冊
- ◇水
人魚
- 7 樹皮画「人魚になった姉妹」(オーストラリア) 1986年 1点
8 木彫「ヤウキャウク」(オーストラリア) 1点
9 樹皮画「虹ヘビ(ジンガナ)と子供」(オーストラリア) 1点
- 10 人魚の根付(日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
11 人魚の皿(日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
12 人魚の瓦(日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
13 木彫(ジュゴン)(オーストラリア)1982年 1点
14 トビウオ漁用 釣具(ソロモン諸島) 1点
15 絵画「セイレーンと蛇」(コンゴ) 1点
16 絵画「海の怪物」(ティンガティンガ)(タンザニア) 1989年 1点
17 影絵人形(マチャヌ)(カンボジア) 1点
18 影絵人形(ソヴァン・マチャヤー)(カンボジア) 1点
19 飾り板(ベニンの魚足王)(ナイジェリア) 1点
20 木版画「貧しい歌手」(ブラジル) 1点
21 版画「半魚半人」(カナダ) 1978年 1点
22 版画「タレーラユ」(カナダ) 1980年 1点
23 仮面(人魚)(メキシコ) 1点
24 櫛(メキシコ) 1点
25 紐の本「真夜中の魔女あるいは呪いの王国」(ブラジル) 1点
26 土人形(人魚)(メキシコ) 1点
27 石像「セドウナ」(カナダ) 1点
28 ウリッセ・アルドロヴァンディ『怪物誌』(イタリア) 1642年 1冊
29 『山海経』(日本) 1902年 1冊
30 『唐土訓蒙図彙』(日本) 1719年(前期) 1冊
31 広川獬『長崎見聞録』(人魚)(日本) 1800年(後期) 1冊
(P)人魚分布地図
- 龍
- 32 凧(辰)(福岡県北九州市) 1点
33 ヤカジ(魔除け用装飾品)(日本) 沖縄県 1点
34 巫神図【ムシンド】(龍宮大神)(韓国) 1点
35 掌中劇の指人形(東海竜王)(中国) 1点
36 灯籠(龍)(中国) 2003年 1点
37 切り紙細工(龍)(中国) 6点
38 護符(甲馬紙：水府龍王)(中国) 1992年 1枚
39 護符(甲馬紙：五方非龍 三姑娘娘)(中国) 1992年 1枚
40 ミャオ族 女性用前掛け(中国) 1点
41 舞踏劇用仮面(ドウルック)龍頭(ブータン) 1点
42 装飾(龍)(ブータン) 1点
43 ヨウテー・プーエ劇の操り人形(龍)(ミャンマー) 1点
44 木彫(龍の精霊)(マレーシア) 1点
45 木彫(ニシキヘビの精霊)(マレーシア) 1点
46 ヨハネス・ヨNSTON『動物図譜』(オランダ) 1718年 1冊
47 寺島良安『和漢三才図会』(日本) 1715年 1冊
48 『唐土訓蒙図彙』1715年(後期)(日本) 1冊
49 かぶりもの(怪獣ヨソノ)(韓国) 1式
50 飾り灯籠(龍)(中国) 1式
51 悪魔踊りの仮面と衣装(ボリビア)1982年 1式

- 52 軍旗 (ガーナ) 1940年 1点
- 53 影絵芝居カラギョズの人形 (竜に乗るジン) (トルコ) 1点
- 54 ガラスアイコン (聖ゲオルギウス) (ルーマニア) 1997年 1点
- 55 陶版画 (聖ゲオルギウス) (スペイン) 1点
- 56 カイマン (ワニ) 仮面 (メキシコ) 1式
- 57 金銅荘環頭大刀拵・大刀身 (日本) (複製 (原資料: 日高村小村神社蔵)) 当館蔵 2点
- 58 小柄に彫られた水棲動物 (日本: 高知県本山町松ノ木遺跡) 本山町教育委員会蔵 1点
- (P) 龍分布地図
- 水怪
- 59 護符 (甲馬紙 河伯水神) (中国) 1枚
- 60 寺島良安『和漢三才図会』(川太郎・水虎) (日本) 1715年 1冊
- 61 『今昔続百鬼』巻上 (水虎) (日本) 1779年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 62 河童姿の水虎様 (日本) 青森県西津軽郡 1点
- 63 絵馬 (駒引き河童) (日本) 大分県耶馬溪町 1911年 1点
- 64 土鈴 (河童) (日本) 福岡県 1点
- 65 土鈴 (があたりょう) (日本) 長崎県佐世保市 1点
- 66 人形 (河童) (日本) 1点
- 67 張り子面 (河童) (日本) 山形県 1点
- 68 凧 (若松カッパ凧) (日本) 滋賀県八日市市 1点
- 69 仮面 (河童) (日本) 京都府 1点
- 70 影絵人形 (怪形) (中国) 1981年 3点
- 71 仮面 (ナマズの精霊) (マレーシア) 1点
- 72 木彫 (カブトガニの精霊) (マレーシア) 1点
- 73 木彫 (かまどの精霊) (マレーシア) 1点
- 74 木彫 (カブトガニの精霊) (マレーシア) 1点
- 75 木製火薬入れ (怪魚にのまれる犬) (インド) 1点
- 76 影絵芝居カラギョズの人形 (亀男) (トルコ) 1点
- 77 版画「蛸」(カナダ) 1981年 1点
- 78 版画「海の精ピキス、貝、タコ、カジカ」(カナダ) 1981年 1点
- 79 『百物語評判』巻之四 (河太郎) (日本) 1686年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 80 [河童考] (日本) 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 81 和漢百物語 白藤源太 (日本) 1865年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1枚
- 82 河童 [圖] (日本) 1840年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1枚
- 83 「土佐化物絵本」上 (河童) (日本) 高知県立文学館蔵 1冊
- 84 えんこうフィギュア (日本) 南国市稲生 河泊祭実行委員会蔵 1点
- 85 河泊様フィギュア (日本) 南国市稲生 河泊祭実行委員会蔵 2体

◇天

霊鳥・怪鳥・鳥人

- 86 護符 (甲馬紙: 本方飛龍娘娘之神) (中国) 1枚
- 87 護符 (甲馬紙: 喪車神煞、軼煞之神) (中国) 1枚
- 88 凧 (鳳凰) (中国) 1点
- 89 水上人形劇ムアゾイ・ヌオックの操り人形 (鳳凰) (ベトナム) 1点
- 90 水上人形劇ムアゾイ・ヌオックの操り人形 (不死鳥) (ベトナム) 1点
- 91 木彫 (ワシの精霊) (マレーシア) 1点
- 92 舞踏用仮面 (グルル魔神) (スリランカ) 1点
- 93 悪霊像 (セイ) (インドネシア バリ島) 1点
- 94 木彫 (ガルーダ) (インド) 1点
- 95 影絵芝居カラギョズの人形 (ジン) (トルコ) 1点
- 96 カチーナ人形 (アメリカワシミミズク) (アメリカ) 1980年 1点
- 97 石彫像「翼のある精霊」(カナダ) 1点
- 98 ケツアルコアトル (羽毛蛇) の浮彫 (複製オリジナルはメキシコ国立人類学博物館蔵) (メキシコ) 1点
- 99 舞踏劇ワヤン・オランの衣装 (ジャタユ) (インドネシア) 1式
- 100 首長人形 (大天使) (ペルー) 1点
- 101 首長人形 (大天使) (ペルー) 1点
- (P) 霊鳥・怪鳥・鳥人分布地図
- 102 テン (剥製) (日本) 越知町立横倉山自然の森博物館蔵 1体
- 103 ハクビシン (剥製) (日本) 越知町立横倉山自然の森博物館蔵 1体
- 104 ムササビ (剥製) (日本) 越知町立横倉山自然の森博物館蔵 1体
- 105 上野国大水 (雷獣図) (日本) 日本妖怪博物館蔵 1枚
- 106 雷獣之圖 (日本) 1831年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1巻

天馬

- 107 経文容器 (インドネシア) 1点
- 108 ガラス絵 (天馬ブランク) (セネガル) 1点
- 109 ガラス絵 (天馬ブランク) (フランス) 1点
- 110 絵馬 (天馬) (日本) 1点

天象

- 111 天狗面 (日本) ※国指定重要有形民俗文化財 金刀比羅宮蔵 1点
- 112 一本歯下駄 (日本) 熊本県 2点
- 113 灯籠 (天狗) (中国) 1点
- 114 護符 (甲馬紙 天狗之神) (中国) 1992年 1枚
- 115 張り子面 (天狗) (日本) 群馬県 1点
- 116 鬼祭の仮面 (天狗) (日本) 愛知県豊橋市 1点
- 117 鬼祭の仮面 (烏天狗) (日本) 愛知県豊橋市 1点
- 118 仮面 (天狗) (日本) 愛知県北設楽郡 1点

119	大償神楽仮面（唐土天狗）（日本）岩手県 1978年	1点	若一王子獅子舞保存会蔵	1点
120	絵馬（鞍馬天狗）（日本）	1点		
121	絵馬（天狗面）（日本）埼玉県南埼玉郡	1点		
122	絵馬（天狗）（日本）栃木県鹿沼市	1点		
123	弁慶と牛若丸 諸山の八天狗（日本）（前期） 日本妖怪博物館蔵	1点		
124	牛若丸鞍馬修行圖（日本）（後期） 香川大学附属図書館神原文庫蔵	2枚1組		
125	「絵本集艸」（天狗の鼻）（後期） 高知県立文学館蔵	1冊		
126	樹皮画「雷神」（オーストラリア）1986年	1点		
127	版画「サンダーバードとイナヅマヘビ」 （カナダ）1978年	1点		
128	版画「ハレー彗星」（カナダ）1985年	1点		
129	『百物語評判』巻之三（天狗）1686年（日本） 香川大学附属図書館神原文庫蔵	1冊		
130	『太平百物語』巻之二（天狗問答）1732年 （日本）香川大学附属図書館神原文庫蔵	1冊		
131	『怪物画本』（天狗）1881年（日本） 香川大学附属図書館神原文庫蔵	1冊		
132	天狗面（日本）※国指定重要有形民俗文化財 金刀比羅宮蔵 箱入	1式		
◇地				
有角人				
133	悪魔仮面（牡牛と悪魔）（メキシコ）	1点		
134	悪魔仮面（ディアブロ コフエロ） （ドミニカ共和国）	1点		
135	ヴェヒガンテの衣装（プエルトリコ）	1式		
136	バロンダンスの衣装（ランダ） （インドネシア）	1式		
霊獣・怪獣				
137	浮世絵「寿という獣」（日本）	1枚		
138	摺物「白猿の図」（日本）	1枚		
139	壁掛け（麒麟）（中国）	1点		
140	シンガバロン型旗立て（インドネシア）	1点		
141	木彫（リスの精霊）（マレーシア）	1点		
142	仮面（虎）（マレーシア）	1点		
143	仮面（プルキシ）（ネパール王国）	1点		
144	仮面（ゴリゴナン）（コートジボワール）	1点		
145	仮面（キフェベ・ムルメ）雄（コンゴ）	1点		
146	仮面（キフェベ・ムカシ）雌（コンゴ）	1点		
147	絵画（ティンガティンガ）「鰐と妖怪」 （タンザニア）	1点		
148	木彫（ナワル）（メキシコ）2010年	1点		
149	ヨハネス・ヨNSTON『動物図譜』1650年 （オランダ）	1冊		
150	悪魔像（メキシコ）	1点		
151	仮面（獅子）（香港）	1点		
152	獅子頭（日本）香南市香我美町徳王子 若一王子獅子舞保存会蔵	1点		
153	ハナ面（日本）香南市香我美町徳王子			
変身獣				
154	大元神楽の仮面（狐）（日本）島根県 1978年	1点		
155	狂言面（狐）（日本）大阪府東大阪市	1点		
156	張子人形（ショロショロ狐）（日本）鳥取県	1点		
157	土鈴（大入道）（日本）三重県四日市市	1点		
158	大入道貯金箱（日本）三重県 日本妖怪博物館蔵	1点		
159	大入道山車の張子人形（日本）三重県	1点		
160	人形（舌出し大入道）（日本）三重県四日市市	1点		
161	「古今妖され双紙」（日本） 香川大学附属図書館神原文庫蔵	1冊		
162	昔咄しぶんぶく茶釜（日本）1886年 香川大学附属図書館神原文庫蔵	1冊		
163	大阪錦絵新聞 第四号（日本）（前期） 日本妖怪博物館蔵	1枚		
164	大阪錦絵 第四号（日本）（後期） 日本妖怪博物館蔵	1枚		
165	キツネ（剥製）（日本） 越知町立横倉山自然の森博物館蔵	1体		
166	タヌキ（剥製）（日本） 越知町立横倉山自然の森博物館蔵	1体		
167	タヌキ（子）（剥製）（日本） 越知町立横倉山自然の森博物館蔵	1体		
168	ジネズミ（剥製）（日本） 越知町立横倉山自然の森博物館蔵	1体		
(P)	「皆山集」巻62（四十八 狗神）（日本） 高知県立図書館蔵			
169	「新先生一代記」（犬神）1850年（前期、 後期はP）高知県立文学館蔵	1冊		
170	「土佐化物絵本」下（弓祈禱）（後期） 高知県立文学館蔵	1冊		
171	神像（ナラシンハ）（インド）	1点		
172	木版画「狼男と匪賊」（ブラジル）	1点		
173	版画「人から狼へ」（カナダ）	1点		
174	紐の本「狼男と吸血鬼魔女の結婚」ほか （ブラジル）	4点		
175	呪具（トゥピラク）（グリーンランド）	1点		
176	エコーマスク（カナダ）1977年	1式		
巨人				
177	樹皮画「夢の時代の巨人ルマルマ」 （オーストラリア）1986年	1点		
178	仮面「ワイルドウーマン」（カナダ）2000年	1点		
179	版画「巨人伝説」（カナダ）	1点		
180	版画「ツォノクワの伝説」（カナダ）	1点		
181	足洗邸（本所七不思議）（日本） （前期、後期はP）日本妖怪博物館蔵	1点		
182	虫送り大草履（日本）高知県土佐市岩戸			

- 当館蔵 1点
- 183 やごろどんの下駄 (日本)
国立民族学博物館寄託 2点
(P)「やごろどんの練り物」(日本) 鹿児島県
蟲
- 184 樹皮画「レインボースネークとトカゲ」
(オーストラリア) 1点
- 185・186 舞踏劇コーラムの仮面 (ナーガ魔神)
(スリランカ) 2点
- 187 舞踏劇コーラムの仮面 (ナーガカンヤー)
(スリランカ) 1点
- 188 刺繍用の蜜蠟板 (百歩蛇) (台湾) 1点
- 189 舞踏劇の仮面 (ドゥル) (ブータン) 1点
- 190 仮面 (ヘビの精霊) (マレーシア) 1点
- 191-194 仮面 (サソリ・カニ・クモ・イナゴ)
(メキシコ) 4点
- 195-197 悪魔仮面 (メキシコ) 3点
- 198 仮面 (カナガ) (マリ) 1点
- 199 絵画 (ティンガティンガ)「鬼蛇姿の怪物」
(タンザニア) 1点
- 200 木版画「コブラになった少女」(ブラジル)
1点
- 201 破奇術頼光袴垂為搦 (きじゅつをやぶってよ
りみつはかまだれをからめんとす) (大蛇)
歌川芳艶 (日本) (前期)
香川大学附属図書館神原文庫蔵 3枚1組
- 202 楠多門丸古狸退治之圖 (日本) (前期)
香川大学附属図書館神原文庫蔵 3枚1組
- 203 源頼光館土蜘蛛妖怪出現図 (日本) (後期)
日本妖怪博物館蔵 1点

人間植物

- 204 絵画 (ティンガティンガ)「木に住む怪物」
(タンザニア) 1989年 1点
- 205 木版画「頭のなる木」(ブラジル) 1点
- 206 版画「イエロー・シーダー・マン」(カナダ)
1点
- 207 木村兼葎堂『兼葎堂雑録』(人參の男女)
(日本) 1859年 1冊
- 208 『健康全書』(マンドラゴラ)
(複製 原本はフランス国立図書館蔵) 1冊
- 209-214 カチーナ人形 (アメリカ) (オナモミ・
ウチワサボテン・デビルズクロー・カボチャ
・サボテン・トウモロコシ) 1979-80年 6体

◇驚異の部屋の奥へ

- 215・216 センザンコウ剥製 当館蔵 2体
(P) ベネデット・ツェルティ・アンドレア・
チオッコ『カルツォラーリの博物館』
(イタリア) 1622年
- (P) アタナシウス・キルヒャー、ゲオルギウス・
ド・セピプス『イエズス会ローマ学院』
(オランダ) 1678年
- (P) レヴィナス・ヴィンセント『自然の驚異劇

- 場』より (オランダ) 1706年頃
(P) マンフレッド・セッタラ『博物館』より
(イタリア) 1666年
- (P) フェッランテ・インペラート『博物宝典』より
フェッランテ・インペラートの陳列室
(イタリア) 1599年
- (P) ロレンゾ・レガティ『コスピの博物館』より
(イタリア) 1677年

描かれた驚異と怪異

- 217 『至福の書』(複製 原本はフランス国立図書
館、1582年) (トルコ) 1冊
- 218 人魚絵馬 (日本) 1933年
香美市土佐山田町間須賀神社蔵 1点
- 219 怪獣之図 (日本) 日本妖怪博物館蔵 1枚
- 220 土州奇獣之図并説 (日本) (前期、後期はP)
日本妖怪博物館蔵 1枚
- 221 ノヅチ (日本) 日本妖怪博物館蔵 1枚
- 222 天狗大図下絵 (日本) 日本妖怪博物館蔵 1枚
- 223 市谷田町の奇獣頭骨図 (日本)
日本妖怪博物館蔵 1枚
- 224 箱根宮城野村の天狗 (日本)
日本妖怪博物館蔵 1枚
- 225 川郎乾 川郎手 (日本) 1801年
香川大学附属図書館神原文庫蔵 1枚
- 226 『奇怪集』(人魚) (日本) 1935年
日本妖怪博物館蔵 1冊
- 227 姫魚 (日本) 西尾学氏蔵 当館寄託 1枚
- 228 雷光の図説・淀川の大魚 (日本) 1866年
香川大学附属図書館神原文庫蔵 1枚
- 229 [風獣の圖解] (日本)
香川大学附属図書館神原文庫蔵 1枚
- 230 風狸けん (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
(P) 肥後国海中の怪 アマビエの図 (日本)
1846年 京都大学附属図書館蔵
- (P) 尼彦入道 (日本) 日本妖怪博物館蔵
- (P) 予言獣 尼彦 (日本) 日本妖怪博物館蔵
- (P) 越中国怪獣クタヘ (日本) 日本妖怪博物館蔵
- (P) 大神社姫 (日本) 日本妖怪博物館蔵

諸国見聞録

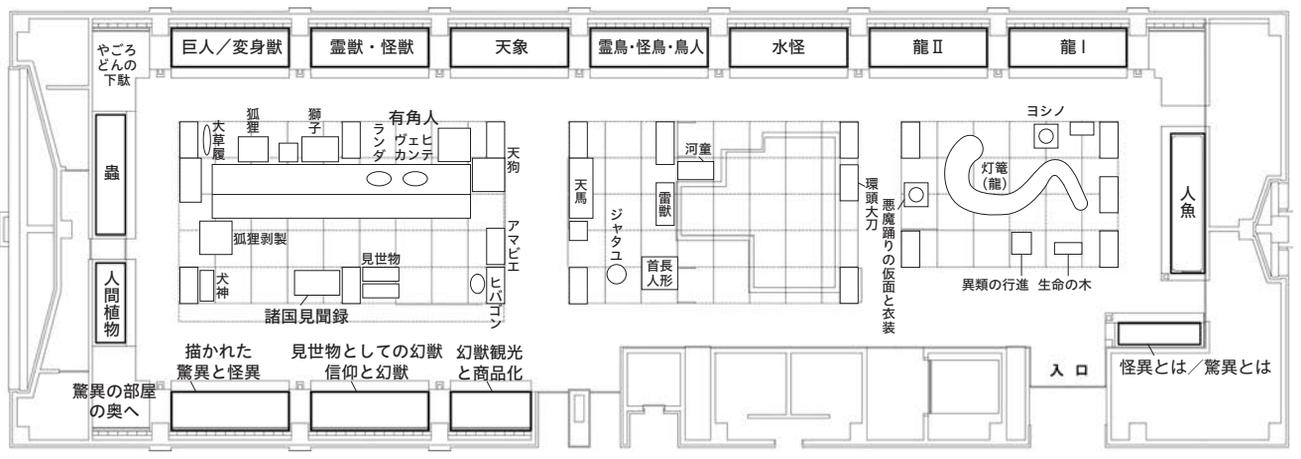
- 231 ジョン・マンデヴィル『東方旅行記』(複製
原本はフランス国立図書館蔵 1413年) 1冊
- 232 『曾呂利物語』(日本) 1663年
香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 233 『奇異雑談集』(入道鱈) (日本) 1687年
1冊
- 234 『諸国里人談』卷二 (天狗・河童) (日本)
1743年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 235 『百鬼夜行拾遺』(人魚) (日本) 1779,1815年
香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 236 昌東舎『諸国周遊奇談』卷之五 (八頭蛇)
(日本) 1816年 1冊
- 237 『想山著聞奇集』卷二 (山男) (日本)

- 1850年 香川大学附属図書館神原文庫蔵 1冊
- 見世物としての幻獣／信仰と幻獣**
- 238 人魚のミイラ (日本) 金刀比羅宮蔵 1点
 - 239 人魚のミイラ (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 240 人魚の骸骨 (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 241 猫鬼の頭蓋骨 (日本) 日本妖怪博物館蔵 5点
 - (P) 猫鬼の詫び証文 (日本) 日本妖怪博物館蔵 (後期)
 - 242 アマツオオミキツネの頭蓋骨 (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 243 海馬の頭蓋骨 (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 244 三頭竜のミイラ (日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 245 烏天狗ミイラ (日本) 日本妖怪博物館蔵 3点
 - 246 龍の頭蓋骨と尾 (日本) 日本妖怪博物館蔵 2点
 - 247・248 鬼骨寺 護符 (土州) (日本) 日本妖怪博物館蔵 2枚
 - 249 牛鬼図 (日本) 香川県根香寺蔵 1点
 - 250 牛鬼の角 (日本) 香川県根香寺蔵 2点
- 幻獣ミイラを訪ねて**
- (P) 人魚の掛け軸・骨 (日本) 福岡市 龍宮寺蔵
 - (P) 牛鬼の手 (日本) 福岡県久留米市 観音寺蔵
 - (P) 河童の手 (日本) 福岡県久留米市 個人蔵
 - (P) 河童のミイラ (日本) 佐賀県伊万里市 松浦一酒造株式会社蔵
 - (P) 雷神 (日本) 岩手県花巻市 雄山寺蔵
 - 251 人形魚の引札 (日本) 1枚
 - 252 勤白 (人魚図) (日本) 1837年 日本妖怪博物館蔵 1枚
 - 253 鼈籠だりょうの引札 (日本) 静岡県 1枚
 - 254 摺物 (見世物の白沢) (日本) 1枚
- 幻獣観光と商品化**
- 255 絵はがき「バーダーゼー」(日本) 個人蔵 1点
 - 256 絵はがき「イェナの七不思議」(日本) 個人蔵 1点
 - 257 絵はがき「アデンの人魚」(日本) 個人蔵 1点
 - 258 絵はがき「耶馬溪羅漢寺 宝物の一鬼子」(日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 259 絵はがき「八幡地獄の鬼」(日本) 日本妖怪博物館蔵 1点
 - 260 カップ捕獲許可証(日本) 遠野市 個人蔵 1点
 - 261 ヒバゴン・ヒナゴングッズ (日本) 広島県庄原市西城支所蔵 13点

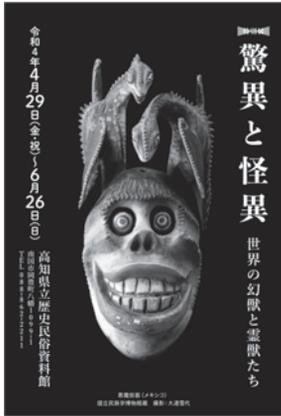
- 262 雪男グッズ (日本) 個人蔵 9点
- 263 パンボチュ寺院とクムジュン寺院のパンフレット (ネパール) 個人蔵 2点
- 264 サイモン・アーシー『ジャックとベティ&ヤクとイエティ』(インド) 個人蔵 1点
- 265 エラ・バーフット『ベティとイエティ』(日本) 個人蔵 1点
- (P) 雪男のまねをする男 (ネパール) 2枚
- 266 ネッシー関連グッズ (日本) 個人蔵 11点
- 267 ソフビトイボックス 014 ネッシー ネス湖の怪獣 (日本) 個人蔵 1点
- 268 ヒバゴン (着ぐるみ) (日本) 広島県庄原市西城支所蔵 1式
- 269 妖怪アマビエねぶた (日本) 青森県 個人蔵 2点
- 270 南部鉄玉 (アマビエ) (日本) 岩手県 個人蔵 1点
- 271 津軽こけし (アマビエ) (日本) 青森県 個人蔵 1点
- 272 アマビエだるま (日本) 島根県 個人蔵 2点
- 273 飾り皿 (アマビエ赤べこ) (日本) 福島県 個人蔵 1点
- 274 アマビエヒバゴングッズ (ステッカー・コースター) (日本) 広島県 個人蔵 2点
- 275 下京警察署のお札 (日本) 京都府 個人蔵 3点
- 276 護国神社のお札 (日本) 兵庫県 個人蔵 1点
- 277 俄だんじり幕 (龍の玉取) (日本) 高知県 室戸市佐喜浜古式行事保存会蔵(当館寄託) 1点

映像「常ならざる音 耳を通して異界とつながる」
 制作監修 山中由里子 2019年 33分
 (多目的ホールにて上映)

計 277件 344点
 ((P) 以外)



展示構成



プレちらし

ちらし(裏)

ポスター・ちらし(表)

子ども向けちらし(表)

子ども向けちらし(裏)

観覧券



県道入口看板



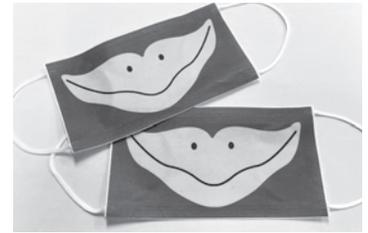
帯屋町看板(表)



世界不思議手帖



帯屋町看板(裏)



カッパマスク



検温シール



世界不思議手帖(中)



スタンプ



ステッカー



いざなぎ流そのヒミツ ポスター(表)



いざなぎ流そのヒミツ ポスター(裏)



山中由里子氏講演会 5月22日



幻獣ウォーク 5月7日



山中由里子×佐藤健寿 クロストーク 6月19日



幻獣仮面をつくろう 4月30日



蔦屋書店イベント 5月21日



幻獣民話紙芝居 5月8日



土佐幻獣セミナー 水の章 6月4日



香我美町徳王子 若一王子宮 獅子舞 5月3日



ワクワクワーク 5月29日



異類の行進・生命の木と水天地パネル



オーテピア展示



人魚



1万人来場 6月18日



灯籠(龍)



展示室入り口看板



龍



霊鳥・怪鳥・鳥人



有角人



天象



霊獣・怪獣



雷獣のモデルと考えられた動物たち



獅子頭・変身獣・大草履



首長人形とワヤン・オランの衣装 (ジャタユ)



蟲



驚異の部屋の奥へ



俄だんじり幕



描かれた驚異と怪異



ヒバゴン



見世物としての幻獣／信仰と幻獣



展示風景



幻獣観光と商品化



民博紹介コーナー

第2回 企画展「絵馬ってなあに？」

会 期：令和4年7月15日（金）～9月4日（日）

収蔵品の絵馬や関連資料を中心に、絵馬の世界を紹介した。絵馬の起源や馬の信仰的側面から始まり、出品の絵馬自体は、馬が描かれた絵馬、馬以外のくらしや生業などが描かれた絵馬、小絵馬などに分けて展示し、画題・祈りの内容の変化が掴めるように構成した。「絵馬」という呼称もある絵馬提灯や朝倉神社の絵馬台については、絵馬から派生した背景についても触れた。

担 当：曾我、梅野、中村、那須

観覧者：2,914人

●展示会場 1階企画展示室

●主 催 高知県立歴史民俗資料館

●後 援 高知県教育委員会・高知新聞社・NHK
高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知

●観 覧 料 大人（18才以上）520円、団体（20名以上）420円 無料：高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者（1名）

▼関連企画

●学芸員による連続講座

- 7月18日（月・祝） 14時～15時半
場 所：2階多目的ホール
講 師：中村
演 題：「描かれた願い・暮らしー絵馬の絵を読みとくー」
聴講者：15人
- 7月31日（日） 14時～15時半
場 所：2階多目的ホール
講 師：梅野
演 題：「馬から絵馬へー絵馬の歴史を考えるー」
聴講者：19人
- 8月6日（土） 14時～15時半
場 所：2階多目的ホール
講 師：那須
演 題：「絵師たちの絵馬ー絵馬の描き手を追うー」
聴講者：20人

●ワクワクワーク

○「絵馬をつくろう」

8月12日（金）13時～16時
場 所：2階多目的ホール
講 師：中村達志氏（日本画家）
参加者：5人+付き添い2人

○「いろいろな絵の具を知ろう！」

8月27日（土）14時～15時
場 所：2階多目的ホール
講 師：中村達志氏（日本画家）
参加者：11人+付き添い2人

●ミュージアムトーク

場所：企画展示室

- 8月7日（日）14時～14時半
講師：曾我 聴講者：5人
- 8月14日（日）14時～14時半
講師：曾我 聴講者：7人
- 8月27日（土）14時～14時半
講師：梅野 聴講者：17人

●印刷物

- ポスター B2 片面カラー 1,600枚
- ちらし A4 両面カラー 30,000枚
- 観覧券2種 17.0×6.0cm 表カラー、裏白黒 各2,000枚

●県道入口看板 縦120cm×横237.5cm（表・裏）1枚

●車寄部看板 縦147cm×横331.5cm 1枚

●展示資料一覧

所蔵者名の無い資料は館蔵（ ）は奉納先
（P）は写真パネルで枚数の無いものは1枚

◇あなたの近くの絵馬を訪ねよう

- （P）「社殿にびっしり掛けられた絵馬」
（香美市土佐山田町間須賀神社）
- （P）「神社の扁額の左右にも大絵馬が飾られている」
（香南市香我美町徳王子若一王子宮）
- （P）「上には大絵馬、下には小絵馬が掛けられている」
（香美市土佐山田町間須賀神社）
- （P）相撲絵馬 明治6年（1873）
（高知市山ノ端町若一王子宮）
- （P）平田舟絵馬 明治18年（1885）
（南国市里改田琴平神社）
- （P）餅まき図絵馬 明治22年（1889）
（香南市夜須町宝田神社）
- （P）祭礼図絵馬 明治30年（1897）
（佐川町斗賀野白倉神社）
- （P）酒造家図絵馬 明治32年（1899）
（南国市里改田琴平神社）

◇土佐絵馬物語

（P）土佐絵馬物語（RKCラジオ）放送一覧表

◇絵馬のはじまり

- 香美市小山田遺跡出土土馬 7世紀中～後期
香美市教育委員会蔵 1点
- （P）大阪市難波宮跡出土絵馬（写真、赤外線写真、白黒反転画像、実測図）（原資料）8世紀
（公財）大阪府文化財センター蔵
- （P）「天狗草紙絵馬」東寺・醍醐寺巻（部分）
永仁4年（1296）（原資料）重要文化財
東京国立博物館蔵

- 2 手向山八幡宮の立絵馬 奈良県 1点
- 3 真弓馬 茨城県 1点

◇ワラ馬を飾る七夕行事

- 4 七夕馬 梶原町竹の藪 2点
- 5 ワラ馬 越知町桐見川下ノ谷 1点
- 6 七夕馬 土佐市戸波 1点

- 7 七夕馬 津野町芳生野 1点
 8 ワラ犬 越知町桐見川下ノ谷 1点
 9 七夕馬 津野町姫野々 2点
 (P)「七夕馬をつくる」 田辺寿男氏撮影
 (P)「川の上に七夕馬をつるす」 津野町力石
 (P)「ワラ馬やワラ犬をつるす」 越知町桐見川

◇大絵馬登場

- 10 曳馬の図絵馬 慶安元年(1648) 高知市指定有形文化財 高知市観音正寺観音堂蔵 1枚
 11 神馬図絵馬 寛文8年(1668) 高知市有形民俗文化財 高知市三谷寺蔵 1枚

◇絵馬の種類が増える

- 12 風俗絵馬 享保20年(1735) 高知市土佐神社蔵 1枚
 13 白馬絵馬 安政5年(1858) 南国市西島観音堂蔵 1枚
 14 弁慶昌俊相騎図絵馬 弘瀬洞意(絵金)筆 安政7年(1860) 1枚
 15 人物図絵馬(奈半利町法恩寺三光院) 1枚
 16 武者絵馬 嘉永4年(1851) 南国市西島観音堂蔵 1枚
 17 宇治川先陣争い絵馬 明治10年(1877) 南国市西島観音堂蔵 1枚
 18 神功皇后と武内宿禰絵馬 無年号 南国市西島観音堂蔵 1枚
 19 瓢箪から駒絵馬(奈半利町法恩寺三光院) 1枚
 20 弁慶と牛若丸の図絵馬(奈半利町法恩寺三光院) 1枚
 21 加藤清正の虎退治絵馬 南国市西島観音堂蔵 1枚
 22 「支那事変帰還記念」絵馬(奈半利町法恩寺三光院) 1枚

◇明治時代の風俗や歴史を伝える

- 23 地曳網漁絵馬 明治6年(1873) 高知市仁井田神社蔵 1枚
 24 鰹の一本釣絵馬(複製)(原資料) 明治27年(1894) 中土佐町矢井賀八幡宮蔵 1枚
 25 稲作絵馬(複製)(原資料) 安芸市川北観音堂蔵 1枚
 26 材木流し絵馬 明治12年(1879) 奈半利町有形文化財 奈半利町法恩寺三光院蔵 1枚
 27 酒造絵馬(複製)(原資料) 幕末~明治 高知市松尾神社蔵 1枚
 28 直会絵馬 明治12年(1879) 香美市指定有形文化財 香美市須賀神社蔵 1枚
 29 小学校授業風景絵馬(複製)(原資料) 明治11年(1878) 土佐市松尾八幡宮蔵 1枚
 30 日清戦争絵馬 明治28年(1895) 南国市西島観音堂蔵 1枚
 31 野地騒動絵馬(複製)(原資料) 明治25年(1892)頃 佐川町白倉神社蔵 1枚

◇小絵馬に願いを込めて

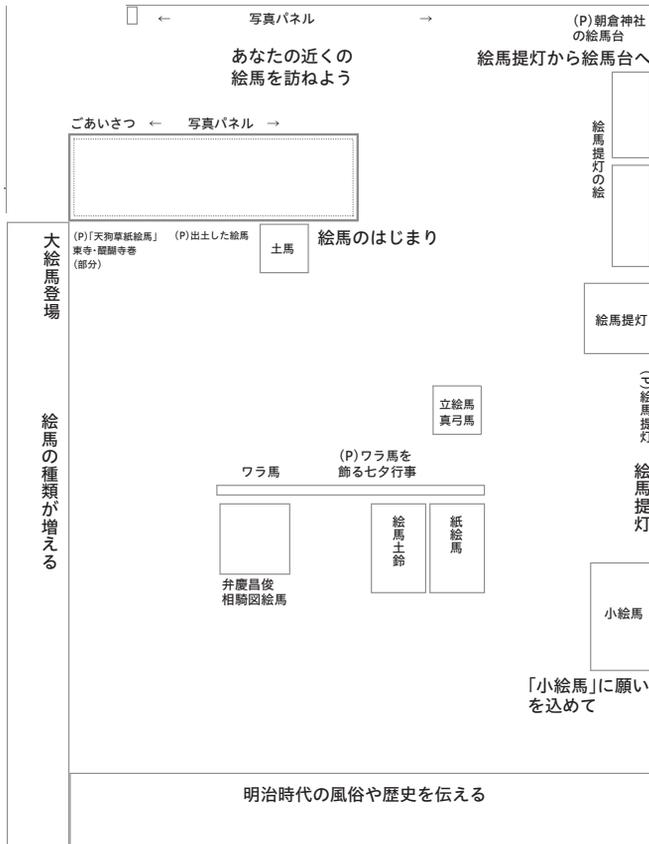
- 32 「向かい目」絵馬 東京都中野区新井薬師 1枚
 33 「腰から下」絵馬 群馬県太田市 1枚
 34 「逆松」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 35 「鶏」絵馬 千葉県茂原市本納 1枚
 36 「草鞋」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 37 「相撲」絵馬 高知県四万十市下田 1枚
 38 「煙管に錠」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 39 「盃に錠」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 40 「梭」絵馬 群馬県太田市 1枚
 41 「蛇」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 42 「三猿」絵馬 栃木県日光市日光東照宮 1枚
 43 「石榴」絵馬 東京都豊島区雑司ヶ谷鬼子母神堂 1枚
 44 「尉と姥」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 45 「鳥居に叶」絵馬 埼玉県飯能市 1枚
 46 「拝み」絵馬 東京都 1枚
 47 「向かい狐」絵馬 東京都新宿区花園神社 1枚
 48 干支の紙絵馬 城田政治氏郷土玩具コレクション 12枚
 49 絵馬土鈴 山崎茂氏郷土玩具コレクション 14点
 50 相合傘紙絵馬 山崎茂氏郷土玩具コレクション 1枚

◇絵馬提灯

- (P)「絵馬提灯の準備」 昭和34年(1959)8月 高知市春野町仁西村 田辺寿男氏撮影
 (P)「コロナの字やピカチュウの絵馬提灯」 令和4年(2022) 高知市はりまや町高知八幡宮
 (P)「きすご様の絵馬提灯」 平成22年(2010) 高知市はりまや町高知八幡宮
 (P)「子どもたちが描いた絵馬提灯」 平成22年(2010) 高知市はりまや町高知八幡宮
 51 絵馬提灯 昭和30年代 いの町八田 個人蔵 1点
 52 絵馬提灯の絵 昭和20~30年頃 土佐市高岡町おいげさん 10枚

◇絵馬提灯から絵馬台へ

- (P)「朝倉神社の絵馬台」 昭和40年(1965) 田辺寿男氏撮影 2枚
 計 52件 87点 ((P)以外)



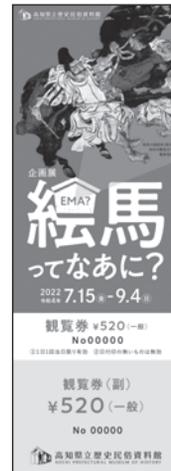
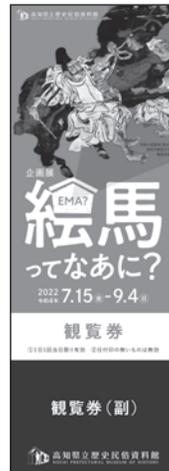
展示構成



ポスター



ちらし



観覧券



車寄り看板



県道入口看板



展示風景1



展示風景 2



展示風景 6



展示風景 3



展示風景 7



展示風景 4



展示風景 8



展示風景 5



展示風景 9

第3回 企画展「武吉孝夫写真展—高知県の山村を歩く—」

会 期:令和4年10月7日(金)～12月4日(日)

四万十町で写真店を営みつつ記録写真を撮ってきた写真家・武吉孝夫氏の写真展を開催した。武吉氏が平成19年(2007)～21年(2009)の3年間、高知県の山村をめぐり、人物や風景を撮影した約12,000カットの白黒写真から170枚をピックアップし、オリジナルプリントを紹介した。武吉氏が、山村めぐりに同行した小林勝利氏へ送り続けた1,000枚の写紙を元に構成した。

写紙とは、写真手紙を略した武吉氏の造語であり、取材時の聞き書きや思索を写真に付した葉書である。写真集には武吉氏が文章を書き、展示ではそれを要約したキャプションを写真毎に付した。

その他、四万十川の地名調査や、南海道の定点撮影など、武吉氏が取り組んできた調査や記録写真を一部紹介するコーナーを設けた。

担 当:中村

観覧者:3,565人

- 展示会場 1階企画展示室
- 主 催 高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)
- 後 援 高知県教育委員会・高知新聞社・RKC高知放送・KUTV テレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知
- 観覧料 大人(18才以上)520円、団体(20名以上)420円 無料:高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

▼関連企画

- 講演会
令和4年11月26日(土)14時～16時
場 所:2階多目的ホール
講 師:武吉孝夫氏(写真同人「現」会員)
演 題:「本づくりの実際(変わりゆく山村)」
聴講者:51人
- 対談
令和4年10月23日(日)14時～16時
場 所:2階多目的ホール
講 師:武吉孝夫氏(写真同人「現」会員)
小林勝利氏(同会員)
演 題:「写紙の方法論」
聴講者:15人
- ミュージアムトーク
講 師:中村
場 所:企画展示室14時～14時半 計29人
1 令和4年10月22日(土) 聴講者:9人
2 令和4年11月12日(土) 聴講者:4人

3 令和4年11月20日(日) 聴講者:16人

●印刷物

- 1 ポスター B2 片面白黒 1,600枚
- 2 ちらし A4 両面白黒 30,000枚
- 3 観覧券2種 17.0×6.0cm 3,200枚
- 4 写真集 縦17.5×横11.6cm 288頁白黒 1,000部

●県道入口看板 縦120cm×横360cm(表・裏) 1枚

●車寄部看板 縦147cm×横502.5cm 1枚

●解説パネル・キャプション等

- 1 ごあいさつ・解説パネル他
 - ① A2(ごあいさつ) 1枚
 - ② A3(写歴・「JR佐川駅ホーム」) 2枚
- 2 キャプション等
 - ① 6cm×18cm 6枚
 - ② 8.5cm×15.5cm他 6枚
 - ③ 6cm×18cmハリパネ 3枚
 - ④ 4.0cm×15.5cm他ハリパネ 164枚
 - ⑤ B5ハリパネ(写紙) 2枚
 - ⑥ A4ハリパネ(礼状) 1枚

●展示資料一覧

1-8は当館蔵(武吉孝夫氏焼付)、9は小林勝利氏蔵、23は個人蔵、その他は武吉孝夫氏蔵

◇高知県の山村を歩く

[写真集に準拠*但しp242のプリントは無]

- 1 プリント(キャビネ) 116枚
- 2 プリント(6切ノートリ) 5枚
- 3 プリント(4切ノートリ) 42枚
- 4 プリント(特寸(キャビネ3枚入)) 1枚

◇高知県の山村を歩く拾遺 2007-2009

- 5 プリント(キャビネ) 54枚
- 6 プリント(6切ノートリ) 15枚
- 7 プリント(4切ノートリ) 17枚
- 8 プリント(4切) 1枚

◇写紙 高知県の山村の記録 2007-2009 (武吉氏→小林氏)

- 9 写紙集 小林勝利氏蔵 24冊

◇高知市の定点撮影 2010-2013

- 10 プリント(キャビネ) 30枚
- 11 写紙〔9写紙集より抽出〕 10枚

◇よさこい 2019,2022

- 12 プリント(キャビネ) 12枚

◇令和 2019

- 13 プリント(キャビネ) 9枚

◇個人商店の記録 2010-

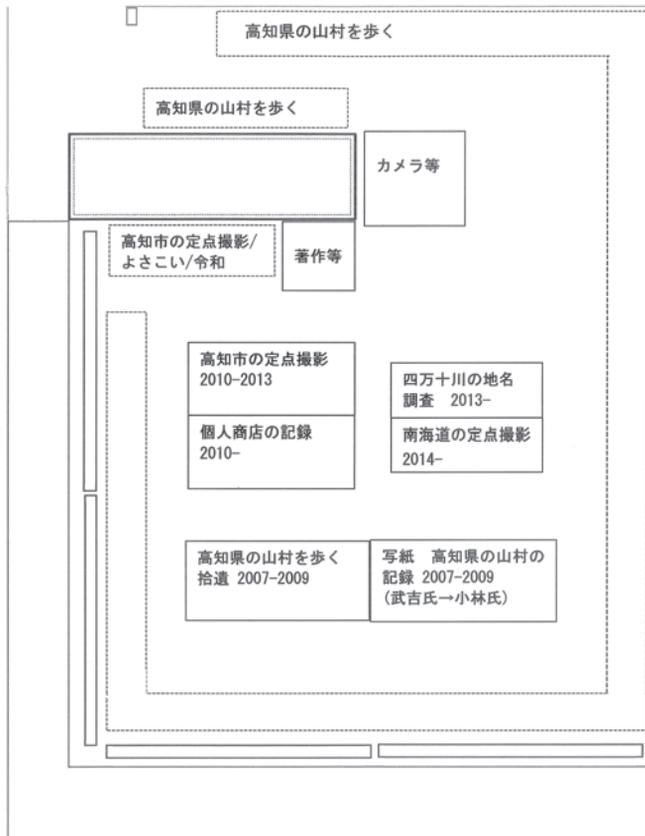
- 14 写紙〔9写紙集より抽出〕 45枚

◇四万十川の地名調査 2013-

- 15 ポストカードセット
「四万十川-武吉孝夫写真集-」他 5冊
- 16 ポストカード〔15より抽出〕 4枚
- 17 ボールペン 1本
- 18 ペンケース 1本
- 19 地図ポケットファイル 2冊

- 20 『四万十川下り』(フォトアルバム)
(昭和40年8月 武吉孝夫撮影) 1冊
- 21 プリント(キャビネ)
〔20『四万十川下り』より抽出〕 1枚
- ◇**南海道の定点撮影 2014-**
- 22 土佐湾岸津々浦々(武吉孝夫撮影)
〔ポストカード写真集序のコピー(B4)〕 1枚
- 23 ポストカード
〔22「土佐湾岸津々浦々」より抽出〕 個人蔵 15枚

- ◇**著作等**
- 24 著作(写真集、詩集等) 15冊
- 25 スクラップブック(高新芸芸) 3冊
- ◇**カメラ等**
- 26 一眼レフカメラ(NikonのF3) 1点
- 27 ネガアルバム(白黒ベタ焼き貼付) 29冊
- 28 プリント(キャビネ) 783枚
- 計 28件、1,243点



展示構成



ポスター



県道入口看板



車寄部看板



ちらし

観覧券



講演会 11月26日



展示風景2



武吉孝夫氏(右)と小林勝利氏



展示風景3



展示風景1



展示風景4

第4回 企画展「れきみんコレクション!なんでもランキング」

会 期:令和5年1月2日(月・振休)～3月12日(日)

第2回「絵馬ってなあに?」に続く収蔵資料展として開催した。従来の趣向を変えて、約18万点ある収蔵資料の中から「大きい物」「長い物」「学芸員のオススメ」などさまざまな切り口で学芸員が選んだ資料をランキング形式で展示した。「ドキドキ」「ギャップ萌え」など主観的なテーマも設け、解説文も単なる説明ではなく、選んだ思い入れやわくわく感が出るように記述した。ともすると敷居が高いと思われるがちな歴史民俗資料に親しみ、楽しんでもらおうとの試みだった。同時に高知城懐徳館収蔵の外国の仮面や動物のはく製を展示し、高知の博物館の歴史を知ってもらい、「まるごともってきましたランキング」で、家資料などをまとめて収蔵する意義を解説するなど、博物館の機能や目的を伝えることにも心がけた。

アンケートには「学芸員の皆さんの熱意や頑張りが感じられ、とても楽しく観させてもらいました」(1月2日、高知市、50代女性)。「学芸員さんのトークが良かった。工夫と遊びをスタッフ全員でされていて良かったです」(1月2日、高知市男性)。「展示物横の学芸員さんの案内コメントがわかりやすく、おもしろく書かれていて、見ててワクワク感があり良かったです」(2月13日、高知市、30代女性)などの声が寄せられた。

担 当:那須、梅野

観覧者:3,123人

- 展示会場 1階企画展示室
- 主 催 高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)
- 後 援 高知県教育委員会・高知新聞社・NHK高知放送・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知
- 観覧料 大人(18才以上)520円、団体(20名以上)420円 無料:高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

▼関連企画

●ミュージアムトーク

講 師:那須、梅野、曾我

場 所:企画展示室 14時～14時半 計45人

- 1 令和5年1月2日(月・振休) 聴講者:14人
- 2 令和5年1月3日(火) 聴講者:11人
- 3 令和5年1月21日(土) 聴講者:10人
- 4 令和5年2月4日(土) 聴講者:2人
- 5 令和5年3月4日(土) 聴講者:8人

●印刷物

- 1 ポスター B2 片面カラー 1,600枚
- 2 ちらし A4 両面カラー 30,000枚

3 観覧券2種 17.0×6.0cm 表カラー・裏白黒 4,000枚

- 県道入口看板 縦120cm×横360cm(表・裏) 1枚
- 車寄部看板 縦147cm×横502.5cm 1枚

●解説パネル・キャプション等

- 1 ごあいさつ・プロローグ
 - ①A2(ごあいさつ他) 4枚
 - ②A3(大漁旗とは?他) 2枚
- 2 キャプション等
 - ①A3(ランキング名パネル) 15枚
 - ②A4(作品名&解説) 5枚
 - ③A5(作品名&解説) 33枚
 - ④6×18cm(作品名&解説) 14枚
 - ⑤A2(みんなで作るランキング投票) 1枚

●展示資料一覧

◇なぜ歴民に?ふしぎな資料ランキング

- 1 亀はく製、センザンコウはく製、南方土俗面
すべて高知城懐徳館旧蔵 5点

◇よっ!めでたい!ランキング

- 2 恵比寿・大黒の大漁旗 1枚
- 3 恵比寿・大黒の鬼瓦
上田ムツ子・博之氏寄贈 2点
- 4 宝船の大漁旗 1枚
- 5 おひなさま3対
(中野土人形・古型博多人形・三次人形) 6体

◇ちょっとドキドキ!?ランキング

- 6 人魚の大漁旗 1枚
- 7 つればり3点・伊勢参り3点
(いずれも香泉人形) 6点
- 8 桃持ち猿(小幡人形) 1点
- 9 玉取り姫(伏見人形) 1点

◇意味がわかればもっとおもしろいランキング

- 10 平井収二郎辞世 個人寄託 1枚
- 11 襦袢切れ 1枚
- 12 武市半平太書状
(第二十三巻の一 五月二十二日 妻宛て、
第十五巻の四 閏五月九日 妻宛て) 2通
- 13 のし袋(金参千円、祭資料) 2枚
- 14 アルファベット掛軸 1幅
- 15 手裏剣(箱入り)、手裏剣の一覧表 2点
- 16 短銃 澤田幸穂氏寄託 1丁
- 17 紙製陣羽織 1着

◇思わずギャップ萌えランキング

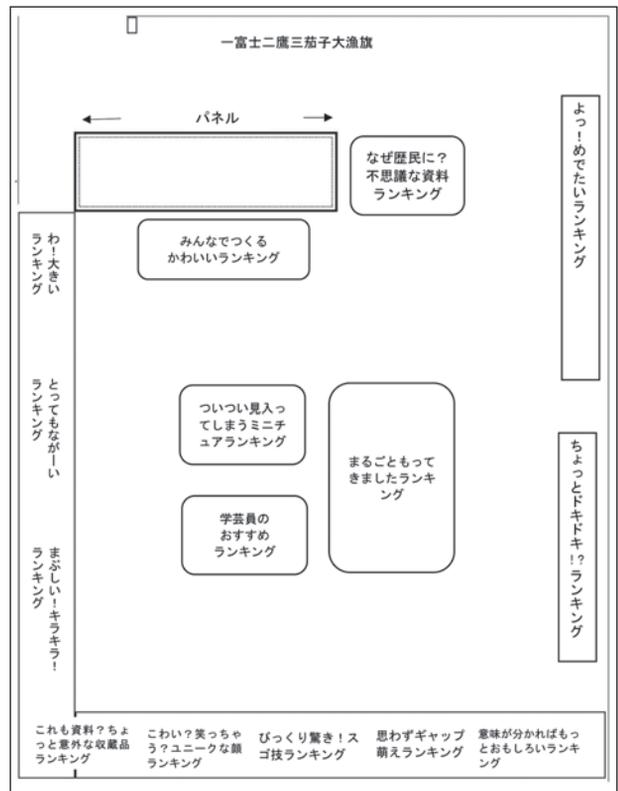
- 18 板垣退助のベスト・ズボンと薬 1式
- 19 板垣退助書状武市左馬助宛て 1通
- 20 西郷隆盛の下駄 竹村守博氏寄託 1足
- 21 西郷隆盛の接待記録 竹村守博氏寄託 1枚

◇びっくり驚き!スゴ技!ランキング

- 22 茶運び人形 伝 細川半蔵作 1体
- 23 花器(蟹) 1点
- 24 花いけ(龍) 1点

- ◇こわい?笑っちゃう?ユニークな顔ランキング
 - 25 仮面 5面
 - 26 凧:①べらぼう凧、②見島の鬼揚子、③六角凧、④柳川凧の子守面、⑤孫次唐人凧、⑥唐人凧、⑦壱岐鬼凧 7点
- ◇これも資料?ちょっと意外な収蔵品
 - 27 便器 島崎通氏寄贈 1点
 - 28 おまる 1点
 - 29 着物 上田和子氏寄贈 3着
- ◇まぶしい!キラキラ!ランキング
 - 30 金小札紅糸威二枚胴具足 明神勲生氏寄託 1具
 - 31 壺 山本昇雲筆 1口
 - 32 銅鐸・銅鐸舌(模造) 1点
 - 33 傘鉾 宿毛市沖の島町弘瀬地区寄贈 1点
- ◇とってもなが〜い!ランキング
 - 34 大太刀 無銘 興津八幡宮所蔵 高知県保護有形文化財 1振
 - 35 清国式大槍銃 土佐神社寄託 1丁
 - 36 袖がらみ 1点
 - 37 物打青貝入槍 1点
- ◇わっ!おおきい!ランキング
 - 38 大皿 1枚
 - 39 羅漢図 吉村大我筆 1点
- ◇つつい見入ってしまうミニチュアランキング
 - 40 つまみ人形 20点
 - 41 グリコのおまけ 26点
 - 42 江戸独楽十二支 12点
- ◇まるごともってきましたランキング
 - 43 堀見家資料(トランク2点、天秤ばかり、葉ダンス、鼎(火鉢)、文机、竹細工花器、バタフライスツール1脚) 8点
 - 44 弥生時代の水田跡 1点
 - 45 弥生人の足あと模型 1点
- ◇学芸員のおすすめランキング
 - 46 瓦製狛犬 高知市布師田葛木男(かつらぎお)神社寄託 1対
 - 47 いざなぎ流の仮面 2面
- ◇みんなでつくるかわいいランキング
 - 48 江戸犬張り子 1点
 - 49 雛人形10人揃(三春張り子) 10点
 - 50 招き猫(中野土人形) 1点
 - 51 鞠抱き童子(相良人形) 1点
 - 52 天神(土佐張り子) 1点
 - 53 横浜開港人形 (①中国人・②フランス貴婦人・③楽隊) 3点
 - 54 三角ダルマ 1点

計 54件、159点



展示構成



ちらし



車寄部看板



県道入口看板



チケット



展示風景3



トーク 1月2日



展示風景4



展示風景1



展示風景5



展示風景2



展示風景6

2 通常展展示構成

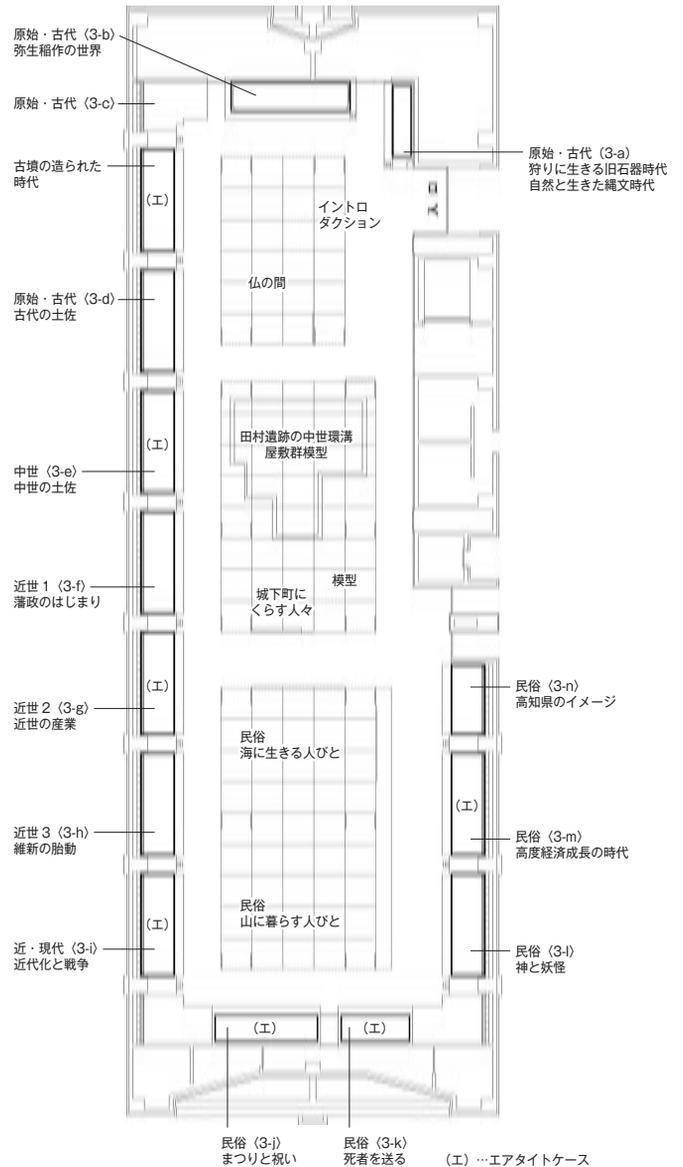
総合展示室

イントロダクション		
原始・古代	3-a 狩りに生きる旧石器時代 自然と生きた縄文時代	1 高知の旧石器時代の遺跡 2 高知の縄文遺跡
	3-b 弥生稲作の世界	1 弥生初頭のムラ - 田村遺跡群 - 2 土佐の武器形青銅器 3 弥生人の絵
	3-c 古墳の造られた時代	1 土佐の古墳 2 小蓮古墳 3 神まつり
	3-d 古代の土佐	1 律令制下の土佐 2 貴族と寺社と荘園 3 経塚を造る
	仏の間	
中世	3-e 中世の土佐	1 武士と荘園 2 中世のくらしと文化 3 田村遺跡の中世環溝屋敷群模型
近世	3-f 藩政のはじまり	1 高知城の築城 2 兼山と新田開発 3 城下町にくらす人々
	3-g 近世の産業	1 材木と浦 2 捕鯨と鰹漁
	3-h 維新の胎動	1 ゆらぐ封建社会 2 海防意識の高まり 3 攘夷から倒幕へ
近・現代	3-i 近代化と戦争	1 高知県の誕生 2 高知県とブラジル移民 3 近代の産業 4 戦時下の高知県
民俗	3-j まつりと祝い	1 絵金のでる夏祭り 2 まつり 3 人生の祝い 4 まつりの一年
	3-k 死者を送る	1 霊を送る 2 死霊への恐れ 3 墓
	3-l 神と妖怪	1 土佐の妖怪 2 いざなぎ流
	3-m 高度経済成長の時代	1 生活の変化 2 メディアの時代
	3-n 高知県のイメージ	1 観光の土佐 2 再発見される高知県
	海に生きる人びと	1 漁師の技 2 カツオの一本釣り 3 鰹節をつくる
	山にくらす人びと	1 自然を活かしたくらし 2 山の資源と仕事

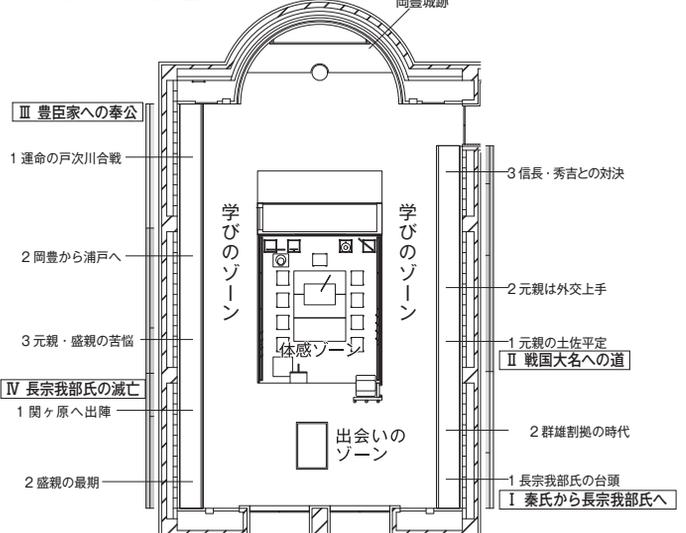
長宗我部展示室

出会いのゾーン		
体感ゾーン		
学びのゾーン	I 秦氏から長宗我部氏へ	1 長宗我部氏の台頭 2 群雄割拠の時代
	II 戦国大名への道	1 元親の土佐平定 2 元親は外交上手 3 信長・秀吉との対決 4 信親への英才教育
	岡豊城跡	
	III 豊臣家への奉公	1 運命の戸次川合戦 2 岡豊から浦戸へ 3 元親・盛親の苦悩
ゾーン	IV 長宗我部氏の滅亡	1 関ヶ原へ出陣 2 盛親の最期

3階 総合展示室



2階 長宗我部展示室



3 映像資料一覧

AVコーナー

歴史	歴史に息づく進取と開明	27' 14"
	土佐の国司・紀貫之	7' 04"
	野中兼山の残したもの	6' 54"
	幕末を駆け抜けた男・坂本龍馬	6' 40"
	館周辺の文化財散歩	8' 02"
	クレイアニメ 長宗我部元親 -初陣編-	25' 12"
考古	土佐の洞穴・岩陰遺跡	7' 43"
	水田跡は語る	4' 13"
	地下から蘇る農耕遺跡	2' 58"
	田村中世環溝屋敷群	4' 03"
	中世の村を歩くⅠ	4' 39"
	中世の村を歩くⅡ	4' 41"
民俗	土佐の祭りと民俗芸能Ⅰ 吉良川の御田祭	5' 47"
	土佐の祭りと民俗芸能Ⅱ 須崎市野見の潮ばかり	13'
	土佐の祭りと民俗芸能Ⅲ えんこう祭り	13'
	土佐の祭りと民俗芸能Ⅳ 本川神楽	28'
	海・山のうた -土佐の祭りと民俗芸能-	12' 30"
	土佐の鰹漁	3' 57"
	木と山師たち	4' 06"
	稲作の一年	4' 53"
	土佐の鍛冶屋	8' 11"
	土佐路の遍路	8' 14"

総合展示室

考古	水田跡は語る	4' 13"
	地下から蘇る農耕遺跡	2' 58"
	田村中世環溝屋敷群	4' 03"
	中世の村を歩くⅠ	4' 39"
	中世の村を歩くⅡ	4' 41"
民俗	土佐の鰹漁	3' 57"
	木と山師たち	4' 06"
	稲作の一年	4' 53"
	盆行事のさまざま (データベース)	
	高知県の祭りと芸能 (データベース)	

4 コーナー展示

◆総合展示室

1 異界遺産

期間：令和4年7月8日（金）～9月11日（日）

担当：梅野、中村

観覧者数：3,386人

本コーナー展は、当館特別展「驚異と怪異」、県立美術館企画展「佐藤健寿写真展 奇界／世界」のコラボ企画「世界不思議ミュージアム」の一環として企画した。「驚異と怪異」が6月26日に終了した後、9月11日まで続く「奇界／世界」展への来館者を当館へ誘導するために開催した。本コーナー展に来場した方には「世界不思議手帖」の河童（エンコウ）のスタンプを押せることにした。また、本コーナー展は3階民俗展示5ケースの内「まつりと祝い」「高度経済成長の時代」「高知県のイメージ」の3ケースを全面的に入れ替え、残りは既存展示を活かし、若干資料を追加することで構成した（資料リストには、新出資料と追加資料のみを記す）。

「異界」とは、日常の場所や時間から離れた世界をさす言葉で、死者が行くという「あの世」や、神や妖怪がいる村境の外や奥山が異界と見なされてきた。本コーナー展では、河泊様フィギュアが出迎える導入部に始まり、①虫送りや堂の口開けなど村から厄災を送り出す行事を紹介する「異界への入口」、②異界との回路が開き鬼や妖怪が訪れ、異界の富や力を得ることができる正月や節分行事を展示する「異界の力をもらう」（既存展示をアレンジ）、③地獄絵や葬送用具から死と死後の世界を解説する「あの世という異界」（既存展示をアレンジ）、④あの世から帰ってくる死者を迎える盆行事の多様性を紹介する「異界から帰ってくる死者」、⑤神霊とコミュニケーションをとり、神の機嫌をとり、邪霊を追い払う、いざなぎ流などの民間宗教者にスポットを当てた「異界と交信する」、⑥さまざまな妖怪を描いた「土佐お化け草紙」（複製）をほぼ全画面展示した「異界の住人たち」、⑦初公開の先祖神像など人間を守護する神々を紹介する「異界の守り神」の7つのパートで構成されている。

●展示資料一覧

※特記無い資料は当館蔵

- | | | |
|-------------|--------------------|----|
| 1 灯籠舟 | 四万十市津野川 | 1点 |
| 2 河泊様フィギュア | 南国市稲生
河泊祭実行委員会蔵 | 1体 |
| 3 関札 | 土佐市岩戸 | 1点 |
| 4 虫送りの幟 | 土佐市岩戸 | 1点 |
| 1 異界への入口 | | |
| 5 盆釜 | 懐徳館旧蔵 | 1点 |
| 6 虫送りの幟 | 越知町柴尾 | 2点 |
| 7 虫送りの法螺貝 | 仁淀川町下名野川 | 1点 |
| 8 虫送りの太鼓 | 仁淀川町下名野川 | 1点 |
| 9 太鼓のバチ | 仁淀川町下名野川 | 2点 |
| 10 十六善神の注連縄 | 四万十町小野 | |

- 蕨川正重氏寄贈 1点
- 11 鬼金剛 四万十町小野 蕨川正重氏寄贈 3点
- 12 胴の口明けの諸道具（草履、注連縄、鉦を叩く槌、剣、剣先、太鼓のバチ、鉦をかける三脚）
 禰原町東川 7点
- 13 百手の的 大豊町桃原 1点
- 14 ナンマイタンボーのワラ船 室戸市室津 1点

2 異界の力をもらう

※常設展示「まつりの一年」を転用

- 15 しゃもじ 津野町北川 上田茂敏氏蔵 1点
- 16 ゴボー杖 津野町北川 上田茂敏氏蔵 2点
- 17 しゃもじ 津野町高野 味元彰一氏蔵 1点
- 18 はし 津野町高野 味元彰一氏蔵 2点
- 19 鋏初め 香美市物部町中谷川 萩野雄三氏寄贈
 1点
- 20 カイ箸 香美市物部町中谷川 萩野雄三氏寄贈
 2点

3 あの世という異界

※常設展示「死者を送る」を転用。追加資料のみを記す

- 21 花 四万十市西土佐 2点
- 22 四十九日の餅 三原村下切 1点

4 異界から帰ってくる死者

※常設展示「まつりの一年」を転用

- 23 水棚 1点

5 異界と交信する

※常設展示「神と妖怪」を転用、追加資料のみを記す

- 24 いざなぎ流御幣（山の神1、木霊荒神1、
 神木2、古木1） 5点
- 25 太夫のカバン 森安幸光氏蔵 1点
- 26 いざなぎ流祭文 森安幸光氏蔵 1点

6 異界の住人たち

- 27 河泊様フィギュア
 南国市稲生 河泊祭実行委員会蔵 1点
- 28 えんこうフィギュア
 南国市稲生 河泊祭実行委員会蔵 1点
- 29 土佐お化け草紙（複製、原資料は堀見忠司氏蔵）
 1点
- 30 伊達競阿国戯場 累（複製、原資料は赤岡町本
 町2区蔵） 1点

7 異界の守り神

- 31 恵比須（複製） 1点
- 32 恵比須・大黒像 土佐市戸波本町
 馬場俊清氏寄贈 2点
- 33 神像 懐徳館旧蔵 1点
- 34 御札 中土佐町久礼 2点
- 35 御札 香美市香北町清爪 山中須美子氏寄贈
 8点
- 36 岩戸儀助像 1点



ちらし「異界遺産」



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景（岩戸儀助像）

2 干支の玩具 卯

会 期：令和4年12月16日（金）
～令和5年1月29日（日）

担 当：中村
観覧者数：1,602人

山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクションを中心に干支にちなんだうさぎの玩具を、1ケースに展示した。平成22年度の企画展「昔のおもちゃ博物館－山崎茂さんの全国郷土玩具行脚－」にうさぎの玩具を展示したことを皮切りに、同コレクションの干支玩具を毎年展示しており、今回で13回目となる。

30cm×30cm パネルの章と項目を中村、コラム「ラビビッと うさぎ豆知識」を式地が制作した。

▼関連企画

●ワクワクワーク

○土佐和紙漆喰張り子 福のうさぎの絵付

- 1 令和4年12月17日（土）14時～15時半
 - 2 令和4年12月18日（日）10時～11時半
- 講 師：草流舎 田村多美氏ほか

場 所：当館体験学習室

参加者：(17日) 21名 / (18日) 19名

●解説パネル・キャプション等

- | | | |
|---|---------------------------|-----|
| 1 | タイトルボール | 1枚 |
| 2 | 51.5cm×25.7cm（背景パネル） | 1枚 |
| 3 | 30cm×30cm（解説パネル） | 10枚 |
| 4 | 6.5cm×9.5cm（項目解説キャプション） | 8枚 |
| 5 | 5.5cm×9.0cm（資料解説キャプション） | 16枚 |
| 6 | 4.5cm×5.5cm（年賀郵便切手キャプション） | 5枚 |
| 7 | 1.0cm×6.0cm 前後（ネーム） | 36枚 |
| 8 | 15cm×20cm ハリパネ | 1枚 |

●展示資料一覧

◇土の兎

- 1 小幡人形 親子兎（滋賀）、2 小幡人形（滋賀）、3 小幡人形 月乗り兎（滋賀）、4 のごみ人形 土鈴（佐賀・昭和38年年賀郵便切手付）、5 伏見人形 宝袋曳き（京都）、6 中湯川人形 宝袋曳き（福島）、7 今戸人形 月見兎（東京）、8 中湯川人形（福島）、9 伏見人形 福兎（京都）、10 中山土人形 まさかり兎鈴（秋田）、11 名古屋土人形（愛知）、12 花巻土人形 人參兎（岩手）、13 起土人形 人參兎（愛知）、14 堤人形（宮城）

◇紙の兎

- 15 宮島張り子（広島）、16 山形張り子 玉乗兎（山形・平成11年年賀郵便切手付）、17 江戸張り子 とんだりはねたり（東京）、18 出雲張り子（島根）、19 白根張り子（神奈川）、20 西会津張り子 かご入り招福兎（福島）、21 春日部張り子 親子兎（埼玉）、22 浜松張り子 うさぎころがし（静岡）、23 六原張り子 耳くらべ（岩手）、24 高松張り子 袴兎（香川）、25 三春張り子 玉兎（福島・令和5年年賀郵便切手付）

◇木の兎

- 26 春日社一刀彫り（奈良）、27 木彫十二支（鳥取）、

- 28 名古屋からくり玩具 兎の餅つき（愛知）、29 伏見稲荷絵馬（京都）

◇キビガラやマユの兎

- 30 マユ細工（群馬）、31 キビガラ細工（栃木）

◇餅搗き兎

- 32 佐原張り子（千葉・平成11年年賀郵便切手付）、33 笹野一刀彫り（山形）、34 名古屋土人形 夫婦兎の餅つき（愛知・昭和62年年賀郵便切手付）、35 相模土鈴（神奈川）、36 下川原焼（青森）、37 香泉人形（高知）

◇波兎

- 38 古型博多人形（福岡）、39 下総張り子（千葉）

◇民話や神話の兎

- 40 糸からくり カチカチ山（大阪）、41 小幡人形 カチカチ山（滋賀）、42 糸からくり うさぎとかめ（大阪）、43 大国主命と因幡白兎（島根）、44 倉吉張り子 因幡の白兎（鳥取）、45 久米土人形 布袋うさぎ（岡山）

◇高知の兎

- 46 安芸張り子（高知）、47 安芸土鈴（高知）、48 香泉人形 土鈴（高知）、49 香泉人形 桜扇持ち土鈴（高知）、50 香泉人形 土笛（高知）、51 土佐和紙漆喰張り子 草流舎（高知）、52 土佐土鈴 安芸市ワークセンター（高知）、53～55 土佐凧（高知）3点（壁面展示）

*点数の表記が無いものは、全て1点
展示資料 計：55件、57点



展示風景



展示風景

◆長宗我部展示室

1 大坂夏の陣後の長宗我部氏

長宗我部氏にまつわる武具

会 期：令和4年10月26日（水）

～11月28日（月）

担 当：青井

観覧者数：2,165人

第13回長宗我部フェスに併せて、長宗我部元親の実弟・島弥九郎親益を祖とする長宗我部友親氏が高知県立高知城歴史博物館に寄託した「長宗我部友親氏寄託資料」を展示した。山内氏の治世下、長宗我部氏の末裔がどのように活動していたか窺える貴重資料である。1ケースを使用した。

同時に高知県立高知城歴史博物館所蔵の「長宗我部地検帳」（国指定重要文化財）を独立ケースに、長宗我部氏に関わる武具を壁ケースに展示した。

●展示資料一覧

- | | | |
|--------------------|----------------|----|
| 1 差出 貞享5年正月25日 | 高知県立高知城歴史博物館寄託 | 1枚 |
| 2 島弥左衛門雑録 寛保期頃 | 高知県立高知城歴史博物館寄託 | 1冊 |
| 3 覚 幕末頃 | 高知県立高知城歴史博物館寄託 | 1枚 |
| 4 贈位記 | 高知県立高知城歴史博物館寄託 | 1枚 |
| 5 策銘文 | 高知県立高知城歴史博物館寄託 | 1枚 |
| 6 長宗我部地検帳 国指定重要文化財 | 高知県立高知城歴史博物館蔵 | 2冊 |
| 7 伝芦田主馬太夫所用槍 | 当館蔵 | 1本 |
| 8 大身槍 | 当館蔵 | 1本 |
| 9 大身槍（助宗） | 当館蔵 | 1本 |
| 10 大太刀（複製） | 高岡神社蔵 | 1振 |

▼関連企画

●ミュージアムトーク

担当：青井

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1 令和4年11月19日（土）9時半～10時 | 聴講者2人 |
| 2 令和4年11月19日（土）13時半～14時 | 聴講者12人 |

●講座

「長宗我部氏と山内氏－長宗我部氏は本当に「タブー視」されたのか？－」

令和4年11月23日（水・祝）13時半～15時半

会 場：2階多目的ホール

講 師：青井

聴講者：56人

◆2階エントランスホール

1 昔のくらしの道具

会 期：1月13日（金）～3月5日（日）

担 当：梅野

小学校の昔のくらし授業に関連させて、2階ロビーに衣食住の民具コーナーを設けた。

観覧者数：2,119人

●パネル

A2パネル 4枚、A3パネル 1枚、

A3貼りパネ3枚、写真 4点

●展示資料一覧

- 1 カマド模型、2 火吹き竹、3 つる付き鍋、4 はがま、5 せいろ、6 飯ふご（日高村下分 近藤藤恵氏寄贈）、7 おひつ（日高村下分 近藤藤恵氏寄贈）、8 つりぞうけ（高知市鏡川町 一円氏寄贈）、9 電気炊飯器（香我美町岸本 山上清之氏寄贈）、10 電気ポット（個人蔵）、11 籐弁当（高知市朝倉 森下綾子氏寄贈）、12 もっそう、13 提げ重（南国市東崎 北村潔氏寄贈）、14 膳箱（土佐町南川 竹政一二三氏寄贈）、15 水タゴ、16 オーク、17 金ダライ（香南市香我美町 鍵山糸氏寄贈）、18 洗濯板、19 ひしゃく、20 つるべ（土佐市戸波本村 馬場俊清氏寄贈）、21 つるべ模型、22 湯たんぼ、23 湯たんぼ、24 豆炭あんか（高知市玉水町 岡田幸子氏寄贈）、25 電気あんか（高知市中秦泉寺 野中美與子氏寄贈）、26 あんか、27 火鉢（佐川町峯耕 西森清一郎氏寄贈）、28 こて（南国市後免）、29 火のし（南国市浜改田 松木均氏寄贈）、30 炭火アイロン、31 電気アイロン、32 掛時計（大豊町川戸 上村儀治氏寄贈）、33 行李カバン（南国市大そね甲 上田啓子氏寄贈）、34 魚籠（高知市大津 門田美江氏蔵）、35 買い物かご（香美市土佐山田町 山崎民子氏蔵）



展示風景



展示風景

5 フリースペース・ミニギャラリー展示

1 当館主催展示

①第17回岡豊山フォトコンテスト作品展

募集期間：令和4年7月3日(日)～10月31日(月)

展示期間：令和4年11月18日(金)

～令和5年1月22日(日) 60日間

内 容：令和4年7月3日(日)～10月31日(月)に募集したフォトコンテストの応募作品を全て展示。

一般部門25点、ケータイ・スマホ部門24点、合計49点の応募があった。令和4年11月3日(木・祝)に天然写真家前田博史氏、当館館長等が審査を行い各賞およびフォトカレンダー掲載作品を選出し、フォトカレンダーを作成した。また、来場者投票による「みんなのお気に入り賞」を決定し、展示最終日の令和5年1月22日(日)には表彰式を行った。



表彰式

2 県民参加型展示企画

貸館としてのフリースペースの利用実績は無し。

3 エントランスホール展示

①天然写真家前田博史の桜コラボ展

「さくらはくら2022」

期 間：令和4年3月19日(土)

～4月10日(月) 23日間

内 容：前田博史氏が捉えた桜の写真。桜やその他の植物をモチーフにした作家とのコラボ展。押し花作家・杉野宣雄氏、ガラス工芸家・岡崎壮氏、陶芸家・西邨出氏。写真約30点を紹介。

来場者数：4月1日～4月10日 959人

※全会期 1,945人

②前田博史の天然写真展2023 還るところ。

期 間：令和5年3月21日(火・祝)

～4月9日(日) 20日間

内 容：天然写真家・前田博史氏の自然体の作品を紹介。いのちの営みを写真から感じとり、生命のリフレッシュをしてもらう。そしてみなさんに「もう一度昔に還ってみませんか」と語りかけてくるような写真展である。展示点数は約30点、最大A0サイズの大型作品も展示。

来場者数：3月21日～3月31日 876人

※全会期 1,355人



ちらし

Ⅱ 調査・研究と社会貢献

博物館における調査研究には、まず収蔵資料を中心とした調査研究がある。その成果として企画展や特別展が成立する。また、県や市町村、所蔵者等から依頼を受けて行う調査があり、そのなかには保存環境や修理などに関する調査も多い。

本年度の特筆すべき点は、特別展「驚異と怪異」において、国立民族学博物館からの巡回資料だけではなく、当館が独自で調査し借用した地域資料を加えることで、県民に対してより訴求力のある企画とすることができたことである。また、高知県では、県史編さん事業が始まり、学芸員が部会の委員となるとともに、当館所蔵資料の調査が行われるなど関係する場面が増えている。

1 分野別の調査・研究

●考古

縄文時代の西日本を代表する拠点集落跡である土佐市居徳遺跡の大洞A 1 式土器について、昨年度は、弘前大学の関根達人氏が検討され当館研究紀要 26 号に成果を公表した。本年度は、課題となっていた非在地系土器の「北陸系」土器の製作地・製作者について、弘前大学関根達人氏、柴正敏氏、佐藤由羽氏が研究・分析され、北陸西部の出身者により近畿以西で製作されたことが初めて明らかになり、研究紀要 27 号に論考を掲載した。

弥生時代では、田村遺跡や他の弥生遺跡から出土した資料に再検討をしなければならない資料が存在することが明らかになりつつあり、将来的に企画展や通常展の展示替え資料としての活用が期待できる。

古代では、展示資料である香南市下ノ坪遺跡出土の土師器の刻書文字について再検討し、平川南氏のご指導を得て従来の判読を訂正できた。また、香美市伏原遺跡の墨書土器についても判読でき、官衙との関係が考慮され、今後の展示替え資料の候補になりうる。

中世から近世にかけては、四国霊場の札所寺院の調査に協力したことで、最古の板碑や中世の釜、鰐口、近世の棟札が確認され、中世寺院や近世寺院の様相が明らかになりつつある。

近・現代では、寺院調査で祈祷札の存在が知られるようになり、祈祷の様相を知ることができた。

そのほか、企画展「絵馬ってなあに？」にかかる資料調査を行った。また、情報管理データベースの確認と資料情報の追加入力を行うとともに、次年度の企画展に向けて館蔵資料の撮影と調査を行った。

なお、岡本が令和 3 年度から、高知県史編さん専門部会委員（文化財部会長）に委嘱されている。

●歴史

本年度はコーナー展「大坂の陣後の長宗我部氏」の

展示や講座のための調査を行った。また、次年度のコーナー展のテーマである牧野富太郎に関する館蔵資料の調査を行った。

武市半平太に関する書画について、県内分を中心に調査し、当館研究紀要 27 号にて報告した。

●民俗

本年度は、特別展「驚異と怪異」の関連講座、企画展「絵馬ってなあに？」の展示や講座のための調査を行った。また、コーナー展「干支の玩具 卯」や企画展「絵馬ってなあに？」および「れきみんコレクション！なんでもランキング」に関連して山崎茂氏寄贈郷土玩具等を調査した。

県内の民俗資料収蔵施設調査を、神野善治資料収集委員と実施した。豊永郷民俗資料館（3 月 21 日）、香南市の民具を保管している夜須町鉄建公団宿舎、香南市文化財センター（3 月 22 日）、いの町旧吾北村の民具を保管している旧清水第二小学校、山中家住宅の民具を保管している越裏門小学校（旧本川村）、山中家住宅、本川新郷土館（3 月 23 日）を視察し、担当者と情報交換を行った。

また、調査等への協力としては、高知県史編さん専門部会（民俗部会）の委員として中土佐町の民俗及び所蔵民具の合同調査に参加するとともに、中村が大豊町の碁石茶製造技術調査委員会の委員として碁石茶の製造工程等を調査した。

●美術工芸

神奈川県立歴史博物館学芸員の神野祐太氏に調査指導を受け、四万十市や高知市の仏像調査を行った。また、昭和初期に日米友好のためにアメリカから日本へ贈られた「青い目の人形」のうち、本県で唯一現存するエミリー像の新たな保管箱の製作にあたって、人形の状態や保管環境の確認のため、保管先の佐喜浜小学校に出向き助言を行った。

平成 29 年度に開催した「今を生きる禅文化」をきっかけとして四国内の臨済宗寺院との関係が継続できしており、本年度は、愛媛県西条市の長福寺の仏像追加調査、同県東温市の大安寺の仏像修復にあたっての助言、修理先への仲介などを行った。

2 資料調査員

資料調査員の委嘱期間は 2 年間であり、令和 3、4 年度は 37 名に委嘱している。

本年度は、高橋俊和調査員に資料所蔵者への聞き取り調査（4/7）、中村茂生調査員に移民資料調査（5/25）、野本亮調査員に収蔵資料調査（6/14、8/15、9/27、12/19、12/23）・ライフル銃に関する調査（6/18）・刀剣に関する調査（11/18、2/16）、秋山香江

調査員に民間宗教者資料調査（6/11、6/12、7/29、7/31）、豊田満広調査員に収蔵資料調査（9/5、9/12）、田岡重雄調査員にいの町の民俗・民具・歴史資料調査（10/9、21）、濱田眞尚調査員に南国市左右山の民具調査（10/25）、松島朝秀調査員に当館空気環境に関する調査・分析（11/28、12/2）・仁淀川町の長州大工建築の天井画調査（1/13）・当館展示ケース等の壁面温度調査（1/23）、溝渕博彦調査員に民家傾き調査・雨戸修理立ち会い（2/7）・民家傾き調査報告書作成（2/28）をそれぞれ依頼した。

野本調査員の収蔵資料（秦コレクション）に関する調査成果は研究紀要第27号に掲載した。

3. 他機関との共同調査

●考古

①第1回高知県史編さん委員会

4月8日（金）に高知県庁正庁ホールで開催された、「第1回高知県史編さん委員会」に岡本が出席し、基本方針、編さん体制、編さん計画、第1期計画について報告・協議した。専門部会のうち、考古部会・文化財部会が、広く古代・中世から近代・現代部会などに関わることになり、幅広い調査が必要になる。また、考古部会の10月9日、11月15日の調査に協力した。

②第3回高知県史編さん編集委員会

6月19日（日）に編さん編集委員会が開催され、専門部会の概要、第1期計画、令和5年度専門部会の設置について報告・協議を行った。考古部会は令和5年度、文化財部会は令和6年度から準備にかかることになっており、考古部会は史跡や遺跡調査を実施することとなった。

③令和4年度第1回札所詳細調査検討委員会

6月6日（月）に県立埋蔵文化財センターで開催された検討会に岡本が出席し、報告書成果の建築、発掘調査、古文書、石造物などについて検討し、今後の追加調査の必要性を指摘した。

④愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界巡礼研究センターとの情報交換を行った。また、『四国遍路と世界の巡礼』上巻を刊行、加えて情報誌『へんろ』の「四国遍路と世界の巡礼～愛大研究センター通信～」の作成にも協力した。

⑤四国遍路世界遺産登録推進協議会「普遍的価値の証明」部の四国遍路関係資料調査研究会委員会の『四国遍路関係資料集—古代中世編』の目次構成案について協力した。

⑥香美市教育委員会からの依頼により伏原遺跡から出土した須恵器墨書土器の判読を試み、県立埋蔵文化財センターで平川南氏にもご指導頂き「財」・「典」と判読できた。緑釉陶器も出土していることから官衙系の遺跡と考えた。また、当館で展示している刻書土器についても、ご教示をいただき判読ができた。

●歴史

本年度なし

●民俗

①高知県史民俗部会

本年度より近世、近代、民俗3つの専門部会が発足し、梅野と中村が民俗部会の委員に委嘱された（令和4年4月1日から8年3月31日まで）。県史の内容や調査方針を協議する打合せ会に参加するとともに、10月30、31日に中土佐町で実施された総合調査に参加（調査自体は11月3日まで継続したが、業務の都合で2日間のみ留まった）し、漁師や農村部で生業の実態や変化を聞き取り調査した。3月4、5日は、同町保管民具の概要調査に協力した。この調査は、國學院大学の石垣悟准教授を中心に、倉庫に積み上げられた民具の中身を調べる調査で、四国民具研究会や土佐民俗文化研究会の会員の視察も行われた。調査資料の中には海の民具も多く、あまり収集が進んでいない県内の海の民俗を知る上で貴重な機会となった。

参加した会合・調査は下記のとおりである。

- 5月14日（土） 第1回民俗部会 高知県庁本庁舎
- 7月23日（土） 民俗部会講演会
（常光徹「地震の予兆とまじない」、川島秀一「東と西のカツオ漁」）
中土佐町人権啓発センター
- 7月24日（日） 第2回民俗部会、講演会
（常光徹「もし妖怪に出合ったら」、川島秀一「土佐の漁労と民俗」）
高知県立歴史民俗資料館
- 9月26日（月） 第3回民俗部会
- 10月30日（日）、31日（月） 中土佐町合同調査
- 2月11日（土） 第4回民俗部会
- 3月4日（土）、5日（日） 中土佐町鎌田倉庫民具調査



中土佐町民具調査

②碁石茶製造技術調査委員会

平成30年に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択された「四国山地の発酵茶の製造技術」のうち大豊町の碁石茶製造技術を調査するため本年度より発足し、中村が委員に委嘱された（令和4年4月18日から6年3月31日まで）。

5月24日(火) 第1回委員会 大豊町役場
6月3日(金)・5日(日)・7日(火)・14日(火)・
17日(金)・20日(月)、7月9日(土)・10日(日)・
11日(月)・21日(木)・23日(土)・25日(月)、
8月5日(金)、9月1日(木)以上、現地調査14回
9月13日(火) 高知県内委員打合せ会 大豊町役場
令和5年2月9日(木) 第2回委員会 大豊町役場

●美術工芸
本年度なし

4 個別の調査・研究

岡本桂典

- ①福島県の大竹憲治先生古稀記念論文集に論文執筆のため須崎市の宝永南海地震に伴う地震・津波供養石仏と弘法大師信仰に関わる二ツ石の関係について調査研究を行い、その成果として「地震・津波碑の変遷とその背景 1—土佐の地震・津波供養石仏—」(『梅檀林の考古学Ⅱ』大竹憲治先生古稀記念論文集)をまとめた。刊行は令和5年7月。
- ②名古屋大学人文学部の名誉教授、故・渡辺誠先生三回忌に伴い追悼論文集『列島の考古学Ⅲ』を刊行することになり、論文執筆のため、玩具店や戦後のGHQと玩具の関係を調査研究し、「昭和の玩具考古学—高知市玩具店跡を掘る—」にまとめる予定。刊行は令和5年9月の予定。
- ③立正大学の特別栄誉教授、坂詰秀一先生米寿記念論文集に論文執筆するため、中世末から近世初頭の四国遍路関係の石造物に注目し、その調査研究を行った。刊行は令和6年1月の予定。
- ④東京都台東区谷中墓地に埋葬供養されていたエドワード・シルヴェスター・モースの弟子、土佐出身の松浦佐用彦の墓標が長岡郡大豊町定福寺に改葬され移転され、その背景について調査した。成果は『日本考古学史研究』にまとめる予定。

曾我満子

- ①令和5年度企画展「まつりの花、いのちの木」の調査と準備を行った。
- ②受贈資料の調査を行った。

青井恵理香

- ①コーナー展「大坂の陣後の長宗我部氏」の関連調査として、高知県立高知城歴史博物館にて古文書調査を行った。成果は展示及び講座にて報告した。
- ②令和5年度企画の牧野富太郎に関する展示準備のためオーテピア高知図書館にて調査を行った。
- ③所蔵者から電話連絡をもらって、歴史及び民俗資料調査を実施した。
9月14日 いの町大國町
10月21日 いの町大國町
所有者宅での保管が可能であったため、資料保存方

法のレクチャーなどを行った。

- ④現存状態が不透明であった県内文化施設及び個人所有の武市半平太書画調査を実施し、紀要にて報告した。

梅野光興

- ①南国市教育委員会が実施した南国市後川流域のエンコウ祭調査委員会の委員として報告書の原稿を執筆した。
- ②令和5年度企画展「まつりの花、いのちの木」の関連調査として、下記の調査を行った。
8月14日 越知町片岡 盆踊り
8月15日 香南市夜須町手結 盆踊り
10月16日 黒潮町入野 花取り踊り
10月18日 須崎市大谷 花取り踊り
10月20日 須崎市多ノ郷 花取り踊り
10月23日 黒潮町鞭 こおどり、花取り踊り
10月24日 津野町姫野々 花取り踊り
11月1日 四万十町若井 花取り踊り
11月3日 土佐市蓮池 太刀踊り
11月8日 高知市土佐山弘瀬 おなばれ
11月15日 日高村小村神社の秋祭り
- ③その他の祭礼、民俗芸能調査としては、南国市前浜のえんこう祭(6月4日)、香南市赤岡町の絵金祭(7月16日)、朝倉神社の絵馬台(7月24日)、香南市香我美町山北の棒踊り(11月18日)、幡多神楽@高知県立美術館(1月3日)、北川村木積星神社のお弓祭り(1月8日)、香美市物部町祈禱殿オンザキ祭り(1月19日)、津野町久保川の伊勢踊り(2月5日)、中土佐町上ノ加江廣埜神社初午祭(3月25日)を調査した。
- ④その他所蔵者から電話連絡をもらって、いの町大國町の文書・民具類(9月14日、10月21日)、香美市物部町大柵の唐箕(10月19日)、南国市左右山の唐箕(10月25日)の調査を行った。
- ⑤南国市野田の神社や祠を調査し、後免野田生涯学習スクールで講演するとともに、「岡豊風日」118号で「南国市野田の神々」と題し、報告した。
- ⑥高知県史編さんに関連して、高知市御豊瀬(9月26日)、高知市九反田・松崎淳子先生(10月8日)、いの町連行・代次(10月9日)で現地調査及び聞き取り調査を行った。

中村淳子

- ①コーナー展「干支の玩具 卯」、企画展「絵馬ってなあに?」、「れきみんコレクション!なんでもランキング」に関連して山崎茂氏寄贈郷土玩具等を調査した。
- ②本山町教育委員会から依頼を受け、同会所蔵の民具を調査した。
- ③その他所蔵者から電話連絡をもらって、資料調査等を行った。

10月19日 香美市物部町大柵 唐箕
10月25日 南国市左右山 唐箕
12月11日 10月19日に調査した大柵の唐箕について寄贈の打診があったが、当館には収蔵できず、南国市教育委員会に引き受けてもらえたため、大柵から南国へ運搬した。

那須望

- ①神奈川県立博物館学芸員神野祐太氏の調査指導のもと、四万十市長法寺の毘沙門天立像の調査を行った。ファイバースコープを用いて、これまで知られていなかった胎内銘文を確認し、願主、制作年、仏師名を明らかにした。また、高知市吸江寺の夢窓疎石像の調査も行った。この成果は来年度以降に当館研究紀要等で発表予定。
- ②絵馬展に関連して、当館所蔵の絵金筆「昌俊弁慶相騎図絵馬」の調査を行い、京都府北野天満宮の長谷川等伯筆絵馬との類似性を指摘した。
- ③愛媛県西条市の東福寺が所蔵する南明東湖像の追加詳細調査を行った。

5 研究成果の公表

●当館刊行物

『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第27号、2022(令和4年度) 令和5年3月31日刊行

[論文]

関根達人・柴正敏・佐藤由羽人「居徳遺跡出土の北陸系・中部高地系土器」

[調査報告]

青井恵理香「武市半平太書画調査報告」

[研究ノート]

野本亮「秦親公氏コレクションにみる長宗我部信親発給文書」

●公表論文・報告、学会・研究会での発表

岡本桂典

- ①「報告書・会誌新刊一覧」『季刊考古学』第159号 令和4年4月 (株)雄山閣
- ②「四国遍路と世界の巡礼60～愛大研究センター通信～インド・ネパール仏跡巡礼 釈迦の故城―カピラ城跡―」『へんろ』第459号 令和4年6月1日 伊予鉄不動産株式会社へんろ編集部

梅野光興

- ①「いざなぎ流の神楽―呪術の息吹き」「祭文―神と祭りの起源を語る」「仮面―神と人のあわい」「土公神―暦と大地を支配する」「荒平―神か鬼か、この異形なるもの」、山本ひろ子・松尾恒一・福田晃編『神楽の中世―宗教芸能の地平へ』「神楽詞華集」、2021年5月25日、三弥井書店。※令和3年度年報に未掲載のため本号に掲載する。
- ②「いざなぎ流・病人祈禱の呪術」、陰陽道史研究の

会編『呪術と学術の東アジア 陰陽道研究の継承と展望』、2022年12月20日、勉誠出版

石畑匡基(令和4年3月31日退職)

「織田信長朱印状の行方」(『月刊大和路ならら』2021年9月号 特集 大和を守った戦国大名 筒井順慶、2021年9月) ※令和3年度年報に未掲載のため、本号に掲載する。

中村淳子

「相合傘」(『高知市広報あかるいまち』令和4年8月号 コラム 歴史万華鏡119回、2022年8月1日発行)

6 社会貢献等

各種委員会委員、大学、一般向けの講師、学会・研究会の役員、広報目的以外のテレビ・ラジオ出演などを記載する。

岡本桂典

- ①高知県史編さん委員会委員 令和4年1月31日～令和8年3月31日
- ②高知県史編さん専門部会(文化財部会) 部長 令和3年11月24日～令和8年3月31日
- ③高知県文化財保護審議会委員 会長 令和4年6月1日～令和6年5月31日
- ④令和4年度文化財専門委員 令和4年6月22日～令和5年3月31日
- ⑤高知城磨き上げ検討委員会アドバイザー 平成30年11月1日～令和5年10月31日
- ⑥札所詳細調査検討委員会委員 令和4年6月1日～令和6年3月31日
- ⑦土佐藩主山内家墓所整備活用委員会委員 副委員長 令和4年4月1日～令和6年3月31日
- ⑧四国遍路世界遺産登録推進協議会「普遍的価値の証明」部会「四国遍路関係資料調査研究会委員」(高知県担当) 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ⑩南国市文化財審議委員会 副会長 令和4年4月1日～令和6年3月31日
- ⑪本山町教育施設等運営等検討委員 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ⑫日高村文化財保存活用地域計画協議会委員 令和4年10月1日～令和7年3月31日
- ⑬公益財団法人高知新聞厚生文化事業団「平尾学術奨励賞の選考に関する委員会」委員 令和3年5月27日～令和5年6月定時評議委員会終結の時まで
- ⑭立正大学史学会評議委員(令和2・3年度) 令和2年7月1日～令和4年6月30日
- ⑮石造文化財調査研究所(本部東京) 四国支部研究員
- ⑯公益財団法人高知市文化振興事業団「いきいきセカンド☆ライフ講座」「仏の考古学―へんろの考古学」かるぼーと 6月10日

林香

公益財団法人高知県文化財団令和 5 年度文化事業
助成金審査委員（令和 5 年 3 月 8 日、3 月 19 日）

令和 5 年 3 月 31 日)

④南国史談会講座「長法寺の仏像調査について」令和
5 年 1 月 22 日

梅野光興

- ①日章生涯学習教室「特別展『驚異と怪異—世界の幻
獣と霊獣たち—』について」 南国市立日章福祉交
流センター 5 月 27 日
- ②稲生ふれあい教室（稲生地区高齢者教室）「南国市
の祭り—秋祭りと河童の祭り—」 南国市立稲生ふ
れあい館ホール 9 月 13 日
- ③高知県立大学「地域学実習 I」高知の民具
9 月 20 日
- ④後免野田生涯学習スクール「南国市の民俗—神々と
祭り—」 南国市野田野田公民館 11 月 9 日
- ⑤山田高等学校、「いざなぎ流について」、香美市土佐
山田町 11 月 26 日
- ⑥土佐民俗文化研究会「北川村星神社のお弓祭り 見学記」
（小林兆太氏と共同発表） 2 月 12 日
- ⑦「地域の伝統行事等のための伝承事業」に係るコー
ディネーター。公益社団法人全日本郷土芸能協会が
文化庁から受託した事業で、土佐市蓮池西ノ宮八幡
宮の太刀踊り（11 月 3 日）の映像記録時の保存会
と映像製作会社のコーディネートを委嘱された。
- ⑧国立民族学博物館文化資源共同研究員（令和 4 年～
令和 5 年 3 月 31 日）
- ⑨高知県史編さん専門部会（民俗部会）委員（令和 4
年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）
- ⑩高知県文化財保護審議会委員（令和 2 年 5 月 1 日か
ら令和 4 年 4 月 30 日まで）
- ⑪ 高知市文化財保護審議会委員（令和 4 年 6 月 1 日
～令和 6 年 5 月 31 日） 6 月 15 日の第 1 回文化財保
護審議会へ出席（職免）
- ⑫日本民俗学会理事・評議員
- ⑬四国民俗学会理事
- ⑭四国民具研究会幹事
- ⑮民俗芸能学会評議員

中村淳子

- ①高知県史編さん専門部会（民俗部会）委員（令和 4
年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）
- ②碁石茶製造技術調査委員会委員（令和 4 年 4 月 18
日～令和 6 年 3 月 31 日）
- ③四国民俗学会理事
- ④四国民具研究会幹事

那須望

- ①高知県文化財指導員（令和 4 年 5 月 24 日～令和 5
年 3 月 31 日）
- ②南国市文化財審議委員（令和 4 年 4 月 1 日～令和 6
年 3 月 31 日）
- ③国立民族学博物館文化資源共同研究員（令和 4 年～

Ⅲ 資料の収集・保存と活用

本年度は新たに考古・歴史の分野で資料の受け入れを行った。なお、展示室・ケースの保存環境対策などに関する詳細は、各項目を参照されたい。

考古

香南市在住の個人より、嫁入り道具として所蔵者の縁者が持参したと伝えられてきた柄鏡2面を受贈した。使用に関する具体的情報が断片的ながら得られ、ほかの館蔵の柄鏡との比較研究にも資する資料である。

歴史

本年度は6件受贈した。多くが近世～近現代にかけての資料であり、土佐の商業発展や地域信仰について窺えるものである。今後幅広い活用が期待出来る。また、明治時代には県内での存在が確認されていた「長宗我部元親書状写」が再発見され、受贈となった。表装し直し次第、長宗我部展示室での展示を計画している。

坂本龍馬関係資料について、坂本龍馬記念館の収蔵環境が整ったことなどから、本年度、同館へ5点移管した。

民俗

新規の受贈・受託は行わず、これまで収集してきた民俗資料の整理・調査を継続的にを行い、受贈手続きが滞っていた資料について手続きを行った。

令和5年度の企画展「まつりの花、いのちの木」の展示資料として階段ダンスを購入した。同資料は、引き出しの構造を見ることができるよう工夫されており、企画展終了後は常設展示する予定である。

また、山崎茂氏寄贈の郷土玩具と田辺寿男氏寄贈の写真資料について、分類整理等を進めるとともに、資料保存については、田辺寿男氏写真資料の白黒ネガフィルム150本のカビ取りと西畑人形頭1頭の修復を実施した。

美術工芸

江戸時代に活躍した土佐の僧侶、薫的和尚の肖像画1点を受贈した。薫的和尚は、無実の罪で投獄され憤死したエピソードから庶民の信仰を集め、現在も高知市などに薫的和尚を祭る薫的神社がある。庶民の信仰の様相を知ることのできる資料であるとともに、画家は土陽美術会に所属した小川窓月であり、土佐美術史の研究の観点からも貴重な絵画資料である。なお、当館の資料登録の区分は、三分野のみのため、本資料は歴史分野で受入れ、美術工芸担当の管理とした。

1 資料の受贈

●考古

蓬萊柄鏡（大・小）2面 2022-3-00001

高知県香南市 個人（令和4年11月15日）

●歴史

- ①野村茂久馬書簡 水野勝吉宛 1通 2022-2-00002
高知県高知市 光本朱實氏（令和4年4月11日）
- ②木屋看板「諸國種物品々」 1枚 2022-2-00003
高知県高知市 柳原弘男氏（令和4年6月16日）
- ③崎山比佐衛関係資料 四次 15件 96点
2022-2-00004
高知県高知市 崎山ひろみ氏（令和4年9月7日）
- ④満州移民関係資料（「救済資金ニ関スル報告」）
1冊 2022-2-00005
高知県高知市 崎山ひろみ氏（令和4年9月7日）
- ⑤池本家資料 143件 236点 2022-2-00007
高知県南国市 池本裕亮氏（令和5年3月31日）
- ⑥長宗我部元親書状写 1通 2022-2-00008
神奈川県茅ヶ崎市 毛利伊孝氏（令和5年3月31日）

●民俗

本年度なし

●美術工芸

小川窓月「薫的和尚像」 1幅 2022-2-00006
静岡県富士宮市 個人（令和5年2月10日）

2 資料の受託

●考古

本年度なし

●歴史

土居家資料 64件 167点 2022-2-00001
高知県高知市 土居加枝氏（令和4年5月28日）

●民俗

本年度なし

●美術工芸

本年度なし

3 資料の返還

●考古

本年度なし

●歴史

本年度なし

●民俗

本年度なし

- 美術工芸
本年度なし

4 資料の移管

- 考古
本年度なし

- 歴史

- ①坂本龍馬書状 兄・おとめ・おやべ宛 91-2-30302
高知県立坂本龍馬記念館 令和4年10月21日
- ②維新元勳書状巻（坂本龍馬書状 林謙三宛）
91-2-30303
高知県立坂本龍馬記念館 令和4年10月21日
- ③坂本龍馬書状 寺田お登勢宛 91-2-30304
高知県立坂本龍馬記念館 令和4年10月21日
- ④坂本龍馬書状 乙女宛 91-2-30305
高知県立坂本龍馬記念館 令和4年10月21日
- ⑤坂本龍馬書状 池内蔵太宛 91-2-30306
高知県立坂本龍馬記念館 令和4年10月21日

- 民俗
本年度なし

- 美術工芸
本年度なし

5 資料の購入

- 考古
本年度なし

- 歴史
本年度はなし

- 民俗
階段ダンス 須崎市 刻屋 植村和暢氏製作

- 美術工芸
本年度なし

- 教材用資料
コーナー展「干支の玩具 卯」体験展示用資料

 - ①草流舎 土佐和紙漆喰張り子 福うさぎ 2点
 - ②安芸市ワークセンター 土佐土鈴 2点

計4点

- 映像資料
本年度なし

6 資料の複製製作

- 考古
本年度なし

- 歴史
本年度なし

- 民俗
本年度なし

- 美術工芸
本年度なし

7 資料の管理委託・一時預かり

- 考古
本年度なし

- 歴史
本年度なし

- 民俗
本年度なし

- 美術工芸
本年度なし

8 資料の一時返却

- 考古
- 1 4月1日（金）～令和5年3月31日（金）
高知市教育委員会蔵資料
高知市春野郷土資料館へ展示のため
※全て高知市春野町芳原城跡出土資料
- ①銅鍬と蓋 93-3-00006,93-3-00005 各1点
（計2点）＜受託資料＞（『芳原城跡Ⅱ』
-第2～4次発掘調査報告書- 84頁501・502）
 - ②青銅製飾り金具 93-3-00016,93-3-00017
2点＜受託資料＞（『芳原城跡Ⅱ』 -第2～
4次発掘調査報告書- 84頁503・504）
 - ③小刀 93-3-00013 1振＜受託資料＞
（『芳原城跡Ⅱ』 -第2～4次発掘調査報告書-
84頁518）
- 計3件、5点
- 2 10月4日（火）～令和5年3月27日（月）
高知県立埋蔵文化財センター蔵資料
高知県立埋蔵文化財センター企画展「発掘された中
世の土佐」へ展示のため
- ①田村遺跡群 Loc.39A SD 2出土 第111図40
瀬戸天目茶碗 90-3-00845 1点
 - ②田村遺跡群 Loc.43 SD 1出土 第171図28
瀬戸瓶子 90-3-00841 1点
 - ③田村遺跡群出土青磁碗 90-3-00848 1点
- 計3件、3点

- 歴史
本年度なし

●民俗

本年度なし

山内一豊判物（浜家文書）

1通

計2件、2点

●美術工芸

本年度なし

2 高知県立坂本龍馬記念館 企画展「龍馬脱藩 160年 維新へつながる土佐の道」

展示期間：4月16日（土）～6月25日（土）

貸与期間：4月12日（火）～7月5日（火）

平井収二郎往来手形 高知県文教協会寄託 1通

土佐藩行列絵図 1巻

坂本龍馬 借用証文 個人蔵 1通

計3件、3点

9 資料の貸出

●考古

1 高知市教育委員会（高知市春野郷土資料館常設展）

貸出期間：4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

※②～⑦は高知市春野町芳原城跡出土資料

①大寺廃寺軒丸瓦 1点

②椀 90-3-00347 1口<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』105頁 図-22の9）

③箸 90-3-00345 4本<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』105頁のうち収蔵庫のもの）

④下駄 90-3-00796,90-3-00344 2点<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』107頁図-24の1・5）

⑤鋤状木製品 90-3-00827 1点<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』109頁図-26の17）

⑥大足 90-3-00676 1点<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』107頁 図-24の3）

⑦柄杓 90-3-00346 1点<県移管資料>

（『芳原城跡発掘調査報告書』106頁 図-23の11）

※芳原城跡出土護符（大般若経転読札 1493年銘）に

ついては平成22年度より貸出を中止し、当館の常

設展示へ展示中。

計7件、11点

2 高知県立坂本龍馬記念館 企画展「龍馬脱藩 160年 維新へつながる土佐の道」

展示期間：4月16日（土）～6月25日（土）

貸与期間：4月12日（火）～7月5日（火）

納経帳 天保3年 2003-3-000011 1冊

納経帳 文化13年 1990-3-01575 1冊

四国霊山納経記 天保15年 1990-3-01574 1冊

計3件、3点

3 高知県立坂本龍馬記念館 企画展「龍馬が七歳 だったころ-天保期の土佐の社会とくらし-」

展示期間：7月9日（土）～10月19日（水）

貸与期間：6月7日（火）～10月25日（火）

「鶴楽」字群鶴柄鏡 2001-3-00077 1枚

蓬萊柄鏡 2001-3-00078 1枚

計2件、2点

●歴史

1 絵金蔵 ミニ企画展 VOL.1「絵金と浜五郎兵衛 一商都・赤岡の誕生」

展示期間：4月5日（火）～7月3日（日）

貸与期間：4月1日（金）～7月31日（日）

山内忠豊書状（浜家文書） 1通

3 高知県立高知城歴史博物館 企画展「没後150年 記念企画展 山内容堂～鯨海酔侯の見た幕末維新～」

展示期間：9月17日（土）～12月11日（日）

貸与期間：9月2日（金）～12月21日（水）

山内容堂肖像写真 1枚

山内容堂戯画書（誠はうその皮） 個人蔵 1幅

山内容堂戯画（カニ画） 個人蔵 1幅

大政奉還建白書・副書 個人蔵 2巻

大政奉還建白書草稿・長岡謙吉書状 個人蔵 2巻

計5件、7点

4 高知県立埋蔵文化財センター 企画展

「発掘された中世の土佐」

展示期間：10月9日（日）～令和5年3月31日（金）

貸与期間：10月4日（火）～令和5年4月30日（日）

中原秋家宛源頼朝下文（香宗我部家伝証文）（複製）

1巻

中原重道讓状（香宗我部家伝証文）（複製） 1通

計2件、2点

5 高知県立坂本龍馬記念館 企画展「龍馬最後の帰郷-坂本家と川島家・中城家-」

展示期間：11月1日（火）～令和5年1月25日（水）

貸与期間：10月26日（水）～令和5年1月27日（金）

土佐藩御座船図 1幅

坂本龍馬書状 溝渕廣之丞宛（16日） 1通

エンフィールド銃 1挺

スペンサー銃 個人蔵 1挺

船磁石 土佐藩御座船頭久保専右衛門使用 1個

計5件、5点

●民俗

1 高知市教育委員会（高知市春野郷土資料館常設展）

貸出期間：4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

①西畑人形 頭（娘） 1頭

②西畑人形 頭（武士） 1頭

③西畑人形 手 2対 4本

④西畑人形 衣装（振袖） 1枚

⑤西畑人形 衣装（襦袢） 1枚

⑥西畑人形 衣装（帯） 1本

⑦西畑人形 衣装 (男物着物)	1 枚
⑧西畑人形 衣装 (袴)	1 腰
⑨西畑人形 刀	1 振
⑩西畑人形 拍子木 1 対	2 点
計 10 件、14 点	

2 高知市教育委員会(高知市立自由民権記念館常設展)
貸出期間: 4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

①鯨舟 山崎茂氏寄贈郷土玩具コレクション	2 点
②坊さんかんざし 同上	3 点
③土佐面 同上	1 点
④紙びな 同上	1 点
⑤女だるま 同上	2 点
⑥土佐凧 同上	1 点
計 6 件、10 点	

3 高知県立美術館企画展「佐藤健寿展 奇界／世界」
貸与期間: 6月6日(月)～9月17日(土)
展示期間: 6月18日(土)～9月11日(日)
いざなぎ流仮面(笹) 8 点

4 高知県立坂本龍馬記念館 企画展「龍馬が七歳
だったころ－天保期の土佐の社会とくらし－」
展示期間: 7月9日(土)～10月19日(水)
貸与期間: 6月7日(火)～10月25日(火)

①はがま	2003-1-00067	1 点
②おひつ・飯ふご	2003-1-00055・56	計 2 点
③火熨斗	1995-1-00066	1 点
④火鉢	1990-1-01217	1 点
⑤あんか	1993-1-00021	1 点
⑥湯たんぼ	1995-1-00034	1 点
⑦燭台	563-88	1 点
⑧五つ玉そろばん	1992- 1 -30668	1 点
⑨箱膳一式(箸・椀とも)	1990-1-00087/1990-1-00043/1992-1-30346/ (整理No.) 1-C-う-3/1992- 1 -30354/1998-1-00161	6 点
計 9 件、15 点		

●美術工芸
本年度なし

10 資料等撮影等

前年度からやや減少し 85 件の申請があった。内訳は下の表のとおりである。なお、利用方法内訳の件数については複数の項目にわたる事例があるため、申請分野内訳の件数を上回っている。

①申請分野内訳		②利用方法内訳	
申請分野	件数	利用方法	件数
歴史	39	データ	57
坂本龍馬湿板写真	14	撮影	22
考古	15	複写	1
民俗	11	閲覧	5
美術工芸	6	その他(二次含)	11
計	85		96

11 燻蒸

●燻蒸庫燻蒸

当館主体での燻蒸庫燻蒸を 3 回、マツダ住宅サービスに委託して実施した。また、高知県立文学館・中土佐町教育委員会・高知県文化生活スポーツ部歴史文化財課から、預かり作品について燻蒸依頼があり、当館の燻蒸庫燻蒸の 3 回目と合わせて燻蒸を実施した。

第 1 回 4月18日(月)～4月23日(土)
(企画展資料・民俗資料他)

第 2 回 6月23日(木)～6月28日(火)
(歴史資料他)

第 3 回 令和5年3月9日(木)～3月14日(火)
(前田写真展演示具他)

(高知県立文学館・中土佐町教育委員会・高知県文化生活スポーツ部歴史文化財課資料)
※燻蒸判定結果: 殺虫殺卵・殺カビ効果 100%

●収蔵庫燻蒸

本年度なし

●依頼燻蒸

当館燻蒸と別枠の依頼はなし

●包み込み燻蒸

本年度なし

●燻蒸庫装置保守管理

9月12日(月)、13日(火)に関西クリーンエンジニアリングに委託して保守管理を実施した。

内容は以下のとおりである。

- ①燻蒸ガス吸着装置活性炭取替廃棄処理
- ②電気系統保守点検
- ③燻蒸ガス投薬用流量計及び配管点検
- ④燻蒸ガス投薬用配管洗浄
- ⑤気化器フィルターパッキン取替
- ⑥燻蒸庫内調整点検補修
- ⑦気化器内洗浄
- ⑧燻蒸ガス濃度測定器吸引ポンプ調整点検及びオイル交換
- ⑨燻蒸庫内気化器内温度上昇用 200V ヒーター取替
- ⑩燻蒸庫内補修工事
- ⑪燻蒸庫内投薬ヘッダー及び防虫網洗浄
- ⑫作業報告書の提出

⑬その他必要と認められる業務(安全確認・協議など)

12 収蔵庫収納棚耐震化工事

本年度なし

13 保存環境管理・保存処理

常設展・企画展の展示資料及び収蔵資料の保護のため、例年どおり館内の環境管理、資料の保守等を行った。

【環境管理】

●虫害モニタリング

館内54箇所へ害虫トラップを設置し、文化財害虫等の進入状況を把握した。また、捕獲した害虫の分析をイカリ消毒株式会社へ委託した。

トラップ回収・設置実施日：9/21（1回）

本来、通年の変化を把握できるようにトラップ交換を行うべきだが、企画展準備等の業務を優先したため今年度は1回の交換となった。

●低酸素法殺虫

本年度なし

●DDVP封入殺虫

本年度なし

●調湿剤

本年度はアートソープ（カセット、レギュラー）の新規購入及び再調湿は実施していない。

●温湿度記録

館内の収蔵・展示空間及び資料搬入経路等、計31ヶ所（令和4年3月時点）に温湿度記録計（HOBOのデジタル式）を設置して、定期的に測定・記録した。

●空気環境管理

【空気環境調査】

北川式検知管による展示・収蔵環境の有機酸・アンモニア等の濃度調査を実施した。公開承認施設に対する文化庁の指導を受けて、昨年度より季節毎4回実施している。

※以下のガス3種は有機酸・アンモニア・ホルムアルデヒド、ガス2種は有機酸・アンモニア

1回目 5/9～5/18 18箇所 春季調査

ガス2種 担当学芸員による

2回目 8/17 23箇所 夏季調査

ガス3種 光明理化学工業（株）委託

3回目 10/30～11/10 23箇所 秋季調査

ガス2種 担当学芸員による

4回目 令和5年1/11～1/16 22箇所 冬季調査

ガス2種 担当学芸員による

また、令和3年4月に空気環境対策のため、ステージ台を更新した企画展示室独立のぞき型エアタイト

ケース（1990-8）の定期的な経過観察を昨年度より継続して行っており、ガス2種についての調査を7回（6/21, 7/28, 9/22, 11/29, 12/20, 2/24, 3/27）追加して担当学芸員が実施した。この調査も北川式検知管を用いた。

【空気環境管理】

ガスの抑制のため、エアタイトケースにはガス吸着シートを設置した。また、企画展示室のケースは、企画展が終了するごとに清掃、換気、ガス吸着シートの交換を行った。総合展示室のケースについては、特別展「驚異と怪異」の前後の展示入れ替えの際に臨時休室（4/20～28, 7/3～7）・臨時休館（6/27～7/2）を設け、ケースを空にした状態で、清掃、換気、ガス吸着シートの設置を行った。長宗我部展示室については、臨時休室中（7/3～7）に総合展示室と同様の対策を行った。

【保存管理】

●刀剣保守

刀剣保守講師として野本亮氏に指導依頼し、当館学芸員との2名体制で、すべての刀剣・刀装具の保守を実施した。

●刀剣研磨

本年度なし。

●表装

本年度なし

【保存修理】

●考古

本年度なし

●歴史

高知県立高知城歴史博物館への貸与を契機とし、寄託資料の外れていた巻緒の修理を1点高知県立高知城歴史博物館に委託し、実施した。

●民俗

平成28年度より継続中の西畑人形頭の保存修復を、元興寺文化財研究所に委託し、本年度は1点（No.19）について実施した。また、平成23年度より継続している田辺寿男氏写真資料の白黒フィルムのカビ取り・Agガード・白黒ベタ製作を写真のたけよしに委託し、本年度は150本実施した。

●美術工芸

本年度なし

14 模型・機器の修理

本年度なし

15 資料情報管理システム

平成30年度より導入のクラウド型システム（ASP・SaaS型）により、資料情報の管理を行っている。登録点数については以下のとおりである。なお、システムについては、現時点では、資料管理のみに用いており、資料情報の公開は行っていない。

また、令和2年12月10日より付帯のシステムを利用して、展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」の公開を行っている。

登録点数	約 119,750 点
考古分野	約 42,550 点
歴史分野	約 15,900 点
民俗分野	約 61,300 点
「ポケット学芸員」専用	35 件

16 図書類の整理

本年度は、館内のプロジェクトチーム（PT）による図書及び公文書などの整理作業は実施できなかったが、収蔵庫予備室の前室に新たな書類棚が設置されたので（県発注）、次年度以降に永久保存の公文書（主に展覧会関係）等移動し整理する予定である。

17 館蔵資料数

令和5年3月31日現在の常設展示資料を含んだ収蔵資料の概数は約178,900点であり、各分野の概数は以下のとおりである。なお、本年度、県から収蔵資料数調査があり、件数と点数の混在等を見直した結果、昨年までに比べて資料数が増加している。

●考古

1 懐徳館からの移管資料	約 9,500 点
2 歴史民俗資料館受贈受託購入資料	約 27,850 点
3 その他	約 5,200 点
4 令和4年度新収蔵資料	2 点
計	約 42,550 点

●歴史

1 郷土文化会館からの移管資料	約 6,200 点
2 歴史民俗資料館受贈受託購入資料	約 43,300 点
3 懐徳館からの移管資料	約 400 点
4 その他	約 300 点
5 令和4年度新収蔵資料	504 点
計	約 50,700 点

●民俗

1 郷土文化会館からの移管資料	約 1,500 点
2 教育センター（鴨部）からの搬入資料	約 1,700 点
3 懐徳館からの移管資料	約 300 点
4 歴史民俗資料館受贈受託資料	約 74,750 点
5 その他	約 7,400 点

6 令和4年度新収蔵資料

1 点

計 約 85,650 点

18 収蔵資料目録の刊行

- ①収蔵資料目録 郷土玩具・城田政治氏寄贈コレクション 平成7年4月28日刊行
- ②平成13年度収蔵資料目録第2集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編① 平成14年3月31日刊行
- ③平成14年度収蔵資料目録第3集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編② 平成15年3月31日刊行
- ④平成15年度収蔵資料目録第4集 古鏡目録 平成16年3月31日刊行
- ⑤平成15年度収蔵資料目録第5集 堀見家図書目録 平成16年3月31日刊行
- ⑥平成16年度収蔵資料目録第6集 堀見家文書目録Ⅰ 歴史分野 古文書① 平成17年3月31日刊行
- ⑦平成16年度収蔵資料目録第7集 平井・西山家資料目録 歴史分野 平成17年3月31日刊行
- ⑧平成16年度収蔵資料目録第8集 考古資料図版目録Ⅱ 考古分野 弥生時代篇（青銅器） 平成17年3月31日刊行
- ⑨平成17年度収蔵資料目録第9集 寺石正路関係資料目録Ⅰ 歴史分野 絵葉書・封書編③ 平成17年10月30日刊行
- ⑩平成17年度収蔵資料目録第10集 堀見家文書目録Ⅰ 歴史分野 古文書② 平成18年3月31日刊行
- ⑪平成18年度収蔵資料目録第11集 四国遍路関係資料目録Ⅰ 平成19年3月31日刊行
- ⑫平成18年度収蔵資料目録第12集 田辺寿男写真資料目録Ⅰ 白黒フィルム編 平成19年3月31日刊行
- ⑬平成19年度収蔵資料目録第13集 寺石正路関係資料目録Ⅱ 歴史分野 一般書籍・和本編 平成20年3月31日刊行
- ⑭平成20年度収蔵資料目録第14集 寺石正路関係資料目録Ⅲ 考古分野 古鏡拓本編 平成21年3月31日刊行

IV 教育普及

当館の普及事業は、大きく分けて①一般対象 ②学校等対象 ③イベント参加者対象の3つである。本年度も新型コロナウイルス感染症対策のご協力をよびかけながら各種事業を実施した。

①一般対象の事業では、知識や経験を深めたい県民の方々に対し、企画展・特別展に関連した講座やミュージアムトークなどにより学芸員の調査研究の成果を公開した。より詳しく知りたい方や研究者に対しては、学芸員が直接あるいは電話で対応した。

また、ワクワクワークやまほろばウォークなど、参加体験型のワークショップや館外での事業は、マスク着用や検温のほか、人数制限もしながら実施した。

併せて、広報誌『岡豊風日』や企画展図録、パンフレットなどの刊行物によって、調査研究の成果を県民に広く発信した。

②学校を対象とした児童・生徒・学生への事業については、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響を残しつつも、秋季は学校から来館等の申込みも順調であり、展示解説やポイント解説のほか、体験学習も含め様々な学びの機会を提供することができた。

また、出前講座（学校で行う講座や授業）については、県立山田高等学校の1校のみであった。

③各種イベントについては、「れきみんの日」のほか、「れきみん!サマーミュージアム」や「れきみんのお正月」な

ど関係機関や各種団体とも協力しながら実施することができた。

また、これらの取組にはカルチャーサポーターにも可能な限り参加していただき、活動を支援していただいた。

1 一般対象の普及事業や刊行物

(1) 講演会・公演・対談等

本年度は企画展や特別展、長宗我部フェス関連講座・講演会として、9回実施した。また、企画展関連で講師を招いての対談を2回企画したほか、獅子舞保存会等の公演を3回実施した。いずれも、新型コロナウイルス感染症対策としてホールの収容者数は定員の半分を目安として設定した。

ミュージアムトークは企画展や特別展・コーナー展について15回実施した。イベント時は時間をずらして複数回実施するなど、積極的に機会の提供を行った。

また、当館のある南国市岡豊地区周辺の史跡等を巡る「土佐のまほろばウォーク2022」は、全6回のうち5回実施（1回は大雨のため中止）した。特別編では、国史跡・岡豊城跡の清掃活動を行い、文化財に触れる機会となった。

以下、項目ごとに本年度の実施状況を表にまとめる。

講演会・公演・対談等

	実施日	演題	講師	聴講者数(人)
1	4月29日(金・祝)	対談 驚異と怪異展 オープニングトーク ようこそ! 世界不思議ミュージアムへ	高知県立美術館学芸員 朝倉芽生 当館学芸課チーフ 梅野光興	31
2	5月3日(火・祝)	公演 れきみんワンダーデイズ 獅子舞(2回)	香我美町徳王子若一王子獅子舞保存会	360
3	5月8日(日)	特別展 関連講座 土佐幻獣セミナー 地の章	当館学芸課チーフ 梅野光興	38
4	5月22日(日)	講演会 幻獣・霊獣・怪獣-人はなぜ モンスターを想像するのか?-	国立民族学博物館教授 山中由里子氏	60
5	6月4日(土)	特別展 関連講座 土佐幻獣セミナー 水の章	当館学芸課チーフ 梅野光興	32
6	6月19日(日)	対談 奇界/世界/想像界 -山中由里子×佐藤健寿 クロストーク-	国立民族学博物館教授 山中由里子氏 写真家 佐藤健寿氏	60
7	6月25日(土)	特別展 関連講座 土佐幻獣セミナー 天の章	当館学芸課チーフ 梅野光興	52
8	7月18日(月・祝)	企画展 関連講座 「描かれた願い・暮らし -絵馬の絵を読み解く-	当館学芸専門員 中村淳子	15
9	7月31日(日)	企画展 関連講座 「馬から絵馬へ -絵馬の歴史を考える-	当館学芸課チーフ 梅野光興	19
10	8月6日(土)	企画展 関連講座 「絵師たちの絵馬 -絵馬の描き手を追う-	当館主任学芸員 那須望	20

11	10月23日(日)	対談	武吉孝夫写真展 対談 「写紙の方法論」	写真同人「現」会員 武吉孝夫氏 写真同人「現」会員 小林勝利氏	15
12	11月23日(水・祝)	第13回 長宗我部 フェス関連講座	「長宗我部氏と山内氏 -長宗我部氏は「タブー視」 されたのか? -」	当館学芸員 青井恵理香	56
13	11月26日(土)	講演会	武吉孝夫写真展 「本づくりの実際(変わりゆく山村)」	写真同人「現」会員 武吉孝夫氏	51
14	R5年 1月3日(火)	公演	れきみんのお正月 公演 琴と尺八の公演「地唄・箏 曲で奏でる新春の調べ」	琴古流尺八竹童社 藤寿会 高知支部	28
計	14回				837

ミュージアムトーク

	実施日	演題	担当学芸員	聴講者数(人)
1	5月3日(火・祝)、5月29日(日)、 6月18日(土)計3回	驚異と怪異 —世界の幻獣と霊獣たち—	梅野光興	81
2	8月7日(日)、8月14日(日)、 8月27日(土)計3回	絵馬ってなあに?	曾我満子・梅野光興	29
3	10月22日(土)、11月12日(土)、 11月20日(日)計3回	武吉孝夫写真展 —高知県の山村を歩く—	中村淳子	29
4	11月19日(土)	第13回長宗我部フェス 長宗我部展示室 展示解説	青井恵理香	14
5	R5. 1月2日(月・振)、1月3日(火) 計2回	10分間トーク 企画展・コーナー展	那須望・梅野光興 中村淳子	32
6	R5. 1月2日(月・振)、1月3日(火)、 1月21日(土)、 2月4日(土)、3月4日(土)計3回 (1/2、1/3の回数・人数については再 掲のため省略)	れきみんコレクション! なんでもランキング	那須望・梅野光興 曾我満子	20
計	15回			205

ワクワクワークなど(展覧会関連企画含む)

	実施日時	名称	講師	内容	参加者数(人)
1	5月29日(日) こども 6月26日(日) おとな 計2回	特別展関連 コラージュで自分だけの 生きものをつくろう!	絵画教室主宰 山本明子氏	動物や植物の写真、絵などを切り貼り してオリジナルの生きものをつくる。	41
2	8月12日(金)	企画展関連 絵馬をつくろう	日本画家 中村達志氏	板に紙を貼り付け、岩絵具を使用し て干支などの絵を描き、オリジナル の絵馬をつくる。(参加費500円)	5
3	8月27日(土)	企画展関連 いろいろな絵の具を 知ろう!	日本画家 中村達志氏	いろいろな絵の具を知り、使ってみる。	11
4	12月17日(土)、 12月18日(日) 計2回	コーナー展関連 土佐和紙漆喰張り子 うさぎの絵付け	草流舎 田村多美氏ほか	干支の卯にちなんだうさぎの張り子 に絵付をする。(参加費1,500円)	40
5	R5年 2月19日(日)	企画展関連 学芸員による ミニ講座とワクワク ワーク	当館主任学芸員 那須望	溶かした合金を型に流し込み、桂浜 に立つ龍馬像のミニサイズをつくる。 (参加費1,500円)	9
計	7回				106

史跡めぐり

本年度なし

土佐のまほろばウォーク 2022 いにしへの土佐のまほろば 土佐のまほろば地区振興協議会・当館共催

	実施日時	名称	行先等	講師	参加費(円)	参加者数(人)
1	4月24日(日) 8:30～11:30	旧石器・縄文時代に 思いを馳せる	旧石器時代の石器が！縄文時代の 土器が！ごっそり出土した遺跡を 見に行こう。 (栄エ田遺跡、奥谷南遺跡など)	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	※雨天中止
2	5月17日(火) 8:30～11:30	古代に思いを馳せる	高知県の古代の歴史を語る上では 必ずせない！重要な遺跡として国指定 史跡になっている2カ所を巡ろう。 (土佐国分寺跡、比江廃寺跡など)	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	20
3	10月27日(木) 8:30～12:00	古墳時代に思いを 馳せる①	南国市には古墳がいっぱい！県内 3大古墳の一つ、小蓮古墳の横穴 式石室は見逃さない。 (芝ノ前古墳、野津古墳、小蓮古墳)	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏 特別解説：高知 県立埋蔵文化財 センター 久家 隆芳氏	500	20
4	11月27日(日) 8:30～11:30	古墳時代に思いを 馳せる②	ナウマン博士が報告した古墳はど こ？出土した土器はあの大英博物 館が所蔵！領石地区と世界がつな がる。(領石地区など)	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏 特別解説：南国 市生涯学習課 油利崇氏	500	18
特別 編	R4. 1月29日(日) 8:30～12:00	戦国の山城遺構に 触れる	岡豊城を守れ！効果的に敵を防ぐ「堀 切」が埋もれた枯葉の中から現れる！ 特別編では清掃活動を行い、戦国時 代の遺構をよみがえらせます。	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	12
5	3月16日(木) 8:30～11:30	戦国時代に思いを 馳せる	草刈り作業後の時期。山城の醍醐 味、急峻な堀切やくっきり際立つ 堅堀・横堀など、ガイドさんの気 分で岡豊城跡をタツクリまわる！ (国史跡・岡豊城跡など)	土佐のまほろば 地区振興協議会 村上隆夫氏	500	18
計	6回					88



講演会5月22日



対談6月19日



対談 10月23日



講座 11月26日



ミュージアムトーク5月3日



ミュージアムトーク8月14日



ミュージアムトーク11月19日



ミュージアムトーク1月3日



ワクワクワーク
コラージュで自分だけの生きものをつくろう！



ワクワクワーク
いろいろな絵の具を知ろう！



ワクワクワーク うさぎの絵付け
うさぎの絵付け12月17日



土佐のまほろばウォーク
5月17日



土佐のまほろばウォーク
1月29日

(2) 刊行物

本年度は、『年報』や広報誌『岡豊風日』、『研究紀要』のほか、企画展図録として写真集1冊を刊行した。

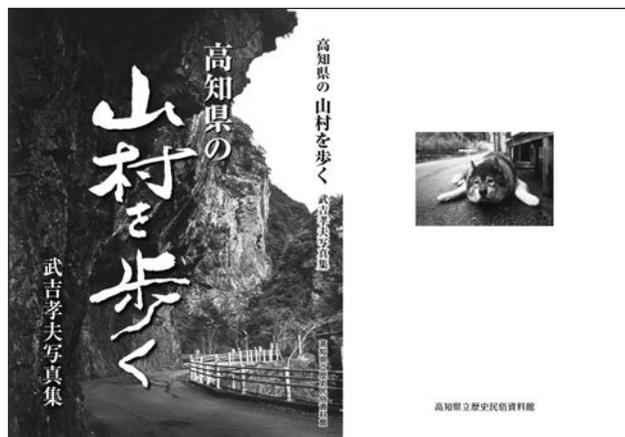
また、県民参加型展示として実施している岡豊山フォトコンテストの広報も兼ねた岡豊山フォトカレンダーを刊行した。



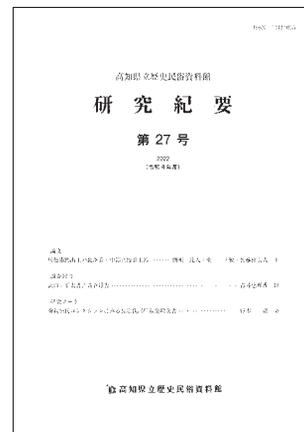
年間カレンダー



岡豊山フォトカレンダー



企画展「武吉孝夫写真展 - 高知県の山村を歩く -」写真集



「高知県立歴史民俗資料館研究紀要」第27号 表紙

刊行物

名称	判型	部数	発行日	備考
『高知県立歴史民俗資料館 令和3年度年報』No.31	A4 124頁	800	令和4年9月5日	活動記録
『岡豊風日』第116号	A4 8頁	4,000	令和4年7月1日	広報誌
『岡豊風日』第117号	A4 8頁	4,000	令和4年10月1日	広報誌
『岡豊風日』第118号	A4 8頁	4,000	令和4年12月10日	広報誌
『岡豊風日』第119号	A4 8頁	4,000	令和5年3月31日	広報誌
『武吉孝夫写真集 高知県の山村を歩く』	B6版変形 288頁	1,000	令和4年10月7日	企画展図録
岡豊山フォトカレンダー 2023	A4 24頁 中綴じ	300	令和4年12月24日	フォトコンテスト 作品カレンダー
高知県立歴史民俗資料館 年間カレンダー 令和5年4月-令和6年3月	210×495mm 5折	15,000	令和5年3月23日	催物の案内
『令和4年度 高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第27号 2022(令和4年度)	A4 78頁	500	令和5年3月31日	研究成果

●当館広報誌

令和4年

①『岡豊風日』第116号(令和4年7月1日発行)

- 曾我満子「資料見聞 観音正寺観音堂の絵馬」
- 曾我満子・梅野光興「企画展 絵馬ってなあに？」
- コラム1 那須望「絵金の絵馬」
- コラム2 中村淳子「郷土玩具の絵馬」
- コラム3 梅野光興 ラジオ「土佐絵馬物語」
- 梅野光興「世界不思議ミュージアム」は続くよどこまでもー「驚異と怪異」から「異界遺産」へー
- 青井恵理香「資料紹介 木屋看板『諸國種物品々』」
- 中村真一(総務事業課長)、林香(学芸課長)、青井恵理香(学芸員)「新任の挨拶」

<れきみんニュース>

- 「令和4年 れきみん!ワンダーデイズ」
- 「れきみん!サマーミュージアム~岡豊へこう!

レッツゴー!~」

総務事業課「土佐のまほろばを歩(うおー)く。ーいにしへの土佐のまほろばー」

②『岡豊風日』第117号(令和4年10月1日発行)

- 中村淳子「資料見聞 棚田の写真『高知県の山村を歩く武吉孝夫写真集』より」
- 中村淳子「企画展 武吉孝夫写真展-高知県の山村を歩く-」
- 聞き手 中村淳子「インタビュー 武吉孝夫さん 高知県の山村を歩いて」
- 那須望「仏教調査の現場から~四万十市 長法寺~」
- 梅野光興「10回目を迎える旧大栃高校民俗資料一般公開<れきみんニュース>

総務事業課「第16回岡豊山フォトコンテスト 作品募集と展示のお知らせ」

「第13回『長宗我部フェス』開催決定!」

青井恵理香「関連講座 長宗我部氏と山内氏－長宗
我部氏は『タブー視』されたのか－」
コーナー展「干支の玩具 卯」
企画展「れきみんコレクション！なんでもランキング」

- ③『岡豊風日』第118号（令和4年12月10日発行）
梅野光興・中村淳子「資料見聞 おめでたい大漁旗」
那須望「企画展 れきみんコレクション！なんでも
ラング」
中村淳子「対談 写紙の方法論 武吉孝夫さん
小林勝利さん」
梅野光興 調査ノート「南国市野田の神々」
〈れきみんニュース〉
総務事業課『土佐のまほろば歩（うおー）く。－いに
しえの土佐のまほろば－』秋のウォークは「古墳めぐり」

「今年もやります！れきみんのお正月」
「令和5年度 春企画 準備中！」

- ④『岡豊風日』第119号（令和5年3月31日発行）
梅野光興・那須望「資料見聞 花台図」
梅野光興・曾我満子・那須望・中村淳子「企画展
『まつりの花、いのちの木－デザインと道具－」
青井恵理香「牧野富太郎をとりまく人々－寺石正
路と堀見家－」
〈れきみんニュース〉
総務事業課「第13回岡豊山さくらまつり」
総務事業課「岡豊山の『#植物図鑑』」
総務事業課「土佐のまほろばウォーク2023 ～長宗
我部氏と国史跡・岡豊城跡～」



岡豊風日第116号



岡豊風日第117号



岡豊風日第118号



岡豊風日第119号



2 学校教育への支援

学校等団体の来館にあたっては引率教員と事前に打ち合わせを行い、展示解説や体験学習等の要望に対応した。体験学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動内容を限定しつつも、体験活動を確保できるようにした。また、博物館実習は3大学から3名を受け入れ、新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら実施した。なお、職場体験学習は、学校からの依頼がなかった。

(1) 学校等団体の来館利用への支援

本年度、授業や遠足で当館を訪れた学校団体等の数は27であった。うち展示解説には延べ17、体験学習には延べ18の学校団体に対応した。体験内容は、勾玉づくり、甲冑体験、火おこしなどを行った。また、延べ6の学校団体が岡豊山を利用した。加えて、野中兼山や昔のくらしの道具の学習の場としての利用など、見学や体験学習以外の活用もあった。

以下、本年度に来館した学校団体等を表にまとめる。

令和4年度学校来館一覧

月日	時間	学校名	学年	児童生徒数	引率教員数	保護者等数	合計	自見学	通史解説	長宗我部展示室解説	ポイント解説	企画展解説	クイズ	多目的ホールビデオ視聴	岡豊山	民家	体験学習	解説補助員		学芸員、契約職員	岡豊山案内	カルサボ	備考	
																		解説	オリエンテーション					
1	5月6日	9:45~12:30	高知市立昭和小学校	6	89	4	93	○						○	○	○		勾玉	土居・藤 筒井	林、曾我、西田			学校教育活動支援事業	
2	5月6日	13:20~14:50	高知市立大津小学校	6	96	4	100	○						○	○			勾玉	筒井・藤 土居					
3	5月14日	11:25~12:40	高知県立佐川高等学校定時制	1~4	12	5	17	○								○								
4	5月18日	9:20~10:00	南国市立岡豊小学校	3	36	2	(5) 38		○	○									藤		葛目、久保			若武者もとかか君登場
5	5月27日	9:30~11:40	高知学園高知小学校	6	57	3	60	○						○	○			勾玉			林、西田			
6	6月2日	9:00~10:40	窪川連合小学校(川口小・東又小・興津小)	6	16	5	21	○						○				勾玉	藤	曾我、久保、西田				
7	6月19日	11:00~13:00	土佐女子中学高等学校社会部	中1・高1・3	17	2	19	○			○					○								
8	6月24日	10:45~14:00	馬路村立魚梁瀬小学校	1~2・4~6	8	8	16			○				○	○			昔遊び甲冑体験 勾玉			林、北村 那須、西田			学校教育活動支援事業
9	6月25日	10:00~12:00	南国市社会福祉協議会	4~6	8	5	13	○										体験学習						
10	9月27日	10:00~12:10	梶原町立梶原中学校	9	22	6	28	○			○							勾玉 火おし			林、曾我 西田			ポイント解説 縄文時代
11	9月30日	9:40~10:40	日高村佐川町学校組合立加茂小学校	5~6	32	5	37	○						○	○				藤					
12	10月18日	12:50~14:00	南国市立白木谷小学校・奈路小学校	5~6	19	4	23	○	○	○									土居					
13	10月19日	9:45~11:00	土佐市立蓮池小学校	5	26	2	28	○	○										土居					
14	10月20日	12:50~15:00	香南市立吉川小学校	5	14	2	16		○									勾玉 火おし	筒井		林、西田	○		
15	10月20日	13:00~14:00	南国市立岡豊小学校	6	27	2	29	○		○	○								土居		曾我			ポイント解説 旧石器~中世
16	10月27日	9:30~11:30	香美市立大宮小学校	3	22	2	24	○	○		○							火おし	筒井		林、青井、西田			ポイント解説 野中兼山
17	10月28日	9:30~11:00	高知市立泉野小学校	3	86	4	90			○	○	○				○			筒井 藤		梅野			ポイント解説 昔の道具
18	10月28日	13:40~15:30	南国市立稲生小学校	4~6	30	5	35	○	○	○								勾玉	筒井 土居		林、西田			学校教育活動支援事業
19	11月4日	13:20~14:45	南国市立後免野田小学校	6	21	3	24			○		○	○			○					中村、青井			
20	11月18日	10:30~14:00	馬路村立魚梁瀬小学校・馬路小学校	5~6	12	3	15	○	○									火おし			林、曾我、西田			
21	11月28日	9:10~11:00	高知市立義務教育学校土佐山学舎	6	19	2	21			○								勾玉	土居		林、曾我			
22	11月29日	9:20~11:30	いの町立川内小学校	5~6	11	3	14		○	○				○				勾玉	筒井		林、西田			学校教育活動支援事業
23	12月13日	10:40~12:00	馬路村立魚梁瀬中学校	1~3	7	6	13		○									勾玉			林、曾我			学校教育活動支援事業
24	1月31日	12:00~14:25	須崎市立上分小学校	6	12	2	14	○										勾玉			林、久保			
25	3月3日	9:30~12:00	高知市立横浜新町小学校	6	95	5	100	○										火おし	藤		林、西田	○		
26	3月3日	13:10~15:00	高知市立春野東小学校	6	72	4	76	○						○				勾玉	藤 式地		林、西田			
27	3月7日	9:30~11:30	高知市立神田小学校	6	107	6	113		○	○		○		○				勾玉	土居	林、梅野、西田				学校教育活動支援事業
計					973	104	5	1077	18	10	10	4	5	6	8	4	2	18				2	0	

(本表は小・中・義務教育学校の団体入館に加えて幼稚園・保育園・高等学校・大学・教育関係機関などの団体入館、また、学校等の岡豊山公園のみの利用について事前申込があったものを含んだものである。)

(2) 学校教育活動支援事業

学校等による学習の場として、館の利用を促進するため、教育活動の一環として館での活動を計画し、バスを借り上げて来館する場合のバス等借上経費の一定額を館が負担している。各教科の授業や遠足等の学校行事など、各校の教育課程に応じて利用できるように

している。県内の市町村立または私立の小・中・義務教育及び特別支援学校を対象としており、同一の学校等の利用を年度内で1回までとし、1校(1回)につき5万円を上限としたほか、支援を希望する学校等から提出される事業実施計画や申請書はできるだけ簡素化し、支援額を当館が直接業者へ支払うこととするな

ど、学校等の事務的・経済的な負担軽減を図っている。
本年度は、小中学校6校の利用があった。

・支援実施校

①令和4年5月6日(金)

学校名：高知市立昭和小学校
人数：6年生89名、引率教員4名、計93名
内容：展示見学、クイズ、ビデオ視聴、
岡豊山、体験活動(勾玉づくり)
支援額：50,000円

②令和4年6月24日(金)

学校名：馬路村立魚梁瀬小学校
人数：1～6(3除く)年生8名、引率教員8名、
計16名
内容：長宗我部展示室解説、クイズ、ビデオ視聴、
体験活動(勾玉づくり、甲冑体験、昔あそび)
支援額：50,000円

③令和4年10月28日(金)

学校名：南国市立稲生小学校
人数：4～6年生30名、引率教員5名、計35名
内容：3階総合展示室通史解説、長宗我部展示室
解説、体験学習(勾玉づくり)
支援額：50,000円

④令和4年11月29日(火)

学校名：いの町立川内小学校
人数：3年生11名、引率教員3名、計14名
内容：3階総合展示室通史解説、長宗我部展示室
解説、企画展解説、ビデオ視聴、体験活動(勾
玉づくり)
支援額：43,720円

⑤令和4年12月13日(火)

学校名：馬路村立魚梁瀬中学校
人数：1～3年生7名、引率教員6名、計13名
内容：3階総合展示室通史解説、体験活動(勾玉
づくり)
支援額：50,000円

⑥令和5年3月7日(火)

学校名：高知市立神田小学校
人数：6年生107名、引率教員6名、計113名
内容：3階総合展示室通史解説、長宗我部展示室
解説、企画展解説、ビデオ視聴、体験活動(勾
玉づくり)
支援額：50,000円

高知県立歴史民俗資料館学校教育活動支援事業実施要領	
(目的)	第1条 次代を担う子どもたちに高知県の歴史や文化に関心を深めてもらうため、学校が実施して教育活動を行う場として高知県立歴史民俗資料館(以下「館」という。)の展示、体験学習等の機能、事業の活用を促進するとともに、学習活動を通して館の良さを加ってもらうことで、学習の場としての定着を図ることを目的とする。
(対象となる学校等)	第2条 高知県内の市町村立又は私立の小学校、中学校、義務教育学校(前期・後期課程)及び特別支援学校(小学校、中学校、高等部)(以下「学校等」という。)を対象とする。
(支援の内容)	第3条 学校等が教育活動の一環として館での活動を計画し、バス等を借り上げて実施する場合に必要なバス等借上げ経費の一部または全額を申請により負担する。ただし、路線バスや市町村・学校等が所有しているバスを利用した場合にかかる経費は含まないものとする。
(支援金額)	第4条 同一の学校等の利用は当該年度内で1回までとし、1校(1回)につき50,000円(税込)を上限とする。
(募集校数)	第5条 当該年度内につき予算の範囲内で対応可能な数とする。
(内示)	第6条 館は、支援を希望する学校等の事業実施計画(別紙様式1)を前年度に募集し、希望多数の場合は選考のうえ、支援を行う学校等に対し、原則として実施年度の4月20日までに内示を行うものとする。
(申請方法)	第7条 支援の内示を受けた学校等は、別紙様式2「申請書」に必要な事項を記入のうえ、原則として実施日の2週間前までに、バス事業者から学校等宛の見積書(写)を添付し館へ提出するものとする。
(支援の決定及び通知)	第8条 館は申請書の受理後、その内容が適当であると認めた場合は支援を決定し、申請者に金額等を通知するものとする。また、バス事業者には申請者から決定金額を連絡するものとする。
(内容の変更)	第9条 申請者は、支援が決定された後、実施日等、申請時の内容に変更が生じた場合は、すみやかに館へ報告するものとする。その際、館は申請者と協議を行い、対応を決定するものとする。なお、バス事業者には申請者から変更内容(変更金額を含む)を連絡するものとする。
(支援金額の支払い)	第10条 館での活動終了後、館はバス事業者からの請求によって支援金額の支払いを行う。
(その他)	第11条 この要領に定めのない事項又は事例については、館は申請者及びバス事業者と協議のうえ決定するものとする。
(附 則)	1 この要領は、令和元年12月18日から施行する。 2 令和元年度における第6条及び第7条の取扱いについては、別に通知する。

学校教育活動支援事業実施要領

(3) 学校などへの講師派遣(出前講座)

本年度は、高等学校1校に対応した。
講座名：いざなぎ流について
受講者：高知県立山田高等学校(地域みらい部)
人数：15人

(4) 資料などの学校等への貸出

学校授業で活用するため本年度、1件の教材貸出依頼があった。

○体験学習用教材
『甲冑一式』『兜一頭』
期 間：令和5年2月16日～2月22日
学校等：土佐町立土佐町小学校

(5) 職場体験の受け入れ

本年度は、学校からの受入依頼がなく、実施していない。

(6) 博物館実習の受け入れ

本年度は、3大学3名の博物館実習を受け入れた。新型コロナウイルス感染症拡大等により期間の延期や短縮となることのある旨を各大学と共通理解のうえ受け入れた。博物館の運営や学芸員の業務に関する講義と、体験活動のサポートや資料の保存・管理や活用に関する実務など7日間のカリキュラムを組んで実施した。

出前講座

日 時	学校名	学年・児童生徒数	学習内容	派遣職員	カルサポ
1 11月26日(土) 10:00～12:00	高知県立山田高等学校	15人	「いざなぎ流」について講話	梅野光興	-
計		15人			0人

博物館実習

期 間	大学名・年次	人数
高知大学 人文社会科学部 人文社会学科・4年生	R4.8.22(月)～8.29(月) の 7日間 ※8.26(金)は休み	1
関西学院大学 文学部 文化歴史学科日本史学 専修4年生		1
京都外国語大学 外国語学部ドイツ語学科 3年生		1
3大学	7日間	3



博物館実習

(7) 教員のための研修

本年度は高等学校から1件の依頼があり、校内での初任者研修のプログラムの一部を館職員が講師として講義を行った。

①高知県立岡豊高等学校 初任者研修

日 時：令和4年10月13日(木) 14:00～15:30
場 所：高知県立歴史民俗資料館
参加人数：初任者4名、初任者指導教員(教頭)1名
内 容：歴史民俗資料館の施設・役割についての講義、岡豊地域の歴史についての説明館及び周辺施設の見学案内

(8) 学校教育関連事業の共催

本年度は申請がなく、実施していない。

3 展示解説

見学にあたって解説を希望する団体には、展示解説補助員が対応している。専門的な解説を希望する団体には、学芸員が対応している。

(1) 解説補助員

解説補助員は展示解説を主な業務とし、受付やグッズ販売、監視業務なども行っている。最前線で来館者に対応する「館の顔」であり、来館者の好感度も高い。

その他、状況に応じて展示室内の温湿度や文化財害虫をチェックし、適宜学芸員に報告するなど業務は多岐にわたる。

(2) 学芸員等による展示解説

学芸員等による展示解説への要望は、長宗我部展示室や特別展、企画展に関する場合が多い。本年度の個人や団体からの展示解説希望は、昨年度の45件から3件少ない42件であった。以下、学芸員等が展示解説を行った団体のみ列記する。なお、解説補助員には、※印を付けている。

学芸員・解説補助員等による団体への解説や研修

4月3日(日) 今治市史談会 36名 曾我
5月9日(月) 文化厚生委員会 14名 梅野
6月12日(日) クラブツーリズム 11名 曾我
6月25日(土) モニターツアー 7名 青井
7月17日(日) 南国史談会 9名 中村
9月1日(木) クラブツーリズム 20名 ※土居
9月2日(金) 高岡地区文化財保護審議会 50名
梅野 曾我
9月12日(月) 解説希望者 2名 ※藤
9月20日(火) 高知県立大学地域学習 I 19名 梅野
10月4日(火) 解説希望者 2名 ※土居
10月13日(木) 解説希望者 2名 ※藤
10月20日(木) 解説希望者 6名 ※土居
10月29日(土) クラブツーリズム 22名 ※藤
11月12日(土) 愛媛県教育会一日研修旅行 24名
中村 曾我 ※土居
11月20日(日) 潮見台むつみ会 15名 ※藤
12月10日(土) 高知りハビリテーション専門大学 16名
青井 梅野 曾我
12月18日(日) 山と野原の会 32名 曾我
令和5年
2月9日(木) 県名古屋事務所・物部川 DMO 2名
※藤
2月12日(日) 高知新聞観光 15名 ※式地
3月11日(土) クラブツーリズム 20名 ※土居

(3) 展示音声ガイド「ポケット学芸員」

資料情報管理システムの付帯サービスである「ポケット学芸員」を令和2年12月より導入し、音声ガイドとして活用している。本システムは、来館者のスマートフォン・タブレット端末に本アプリをダウンロードし、ガイド番号を選択して利用するものである。

屋外展示(国史跡・岡豊城跡、山村民家)、常設展示(通常展示)、企画展示の音声ガイドとして利用者に供している。現在の公開項目は、約30件であり、充実していくよう取り組む。

4 カルチャーサポーター

当館のカルチャーサポーター(以下カルサポ)はワークショップやイベントの運営をサポートしている。本年度は21名が登録し、22回の活動に延べ60名が参加した。以下、カルサポの活動を表にまとめる。

カルチャーサポーターの活動

日時	活動内容	参加人数
4月3日	(イベント) 岡豊山さくらまつり	6人
29日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ①	4人
30日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ②	4人
5月3日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ③ & れきみんの日	4人
4日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ④	2人
7日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ⑤	3人
8日	(教育普及) れきみんワンダーデイズ⑥	3人
7月16日	(その他) 民家いろり火焚き	1人
27日	(教育普及) サマーミュージアム①	3人
8月12日	(教育普及) サマーミュージアム②	2人
20日	(その他) 民家いろり火焚き	2人
27日	(教育普及) サマーミュージアム③	1人
9月17日	(その他) 民家いろり火焚き	3人
10月15日	(その他) 民家いろり火焚き	3人
11月6日	(教育普及) 大栃高校一般公開	4人
19日	(その他) 民家いろり火焚き	2人
19日	(イベント) 長宗我部フェス	2人
12月17日	(教育普及) 卯の絵付け&研修	1人
R5. 1月2日	(教育普及) れきみんのお正月①	4人
3日	(教育普及) れきみんのお正月②	2人
21日	(その他) 民家いろり火焚き	2人
2月18日	(その他) 民家いろり火焚き	2人
22日	計	60人



火焚き8月20日

5 れきみんサークル

本年度の会員は40名で、年齢構成や地域的分布は下記の通りである。

①都府県・市町村別会員数

高知市 16名 南国市 5名 安芸市 2名
 香南市 1名 香美市 4名 土佐市 1名
 四万十町 1名 佐川町 1名
 香川県 3名 徳島県 1名 岡山県 1名
 大阪府 1名 愛知県 1名 東京都 1名
 千葉県 1名

②男女別会員数

男性 24名 女性 16名

③年齢別会員数

10代 2名 20代 0名 30代 0名
 40代 5名 50代 16名 60代 9名
 70代 5名 80代 1名 90代 2名

6 参考業務等

県民や報道機関などから電話やメール等で寄せられる問い合わせに対応する参考業務、および県民や研究者の調査来館は下記のとおりである。各学芸員が内容に応じて調査や対応を行っている。電話などによる参考業務の件数や対応時間は、昨年度を上回った。

また、昨年度に引き続き本年度も、家の押し入れや納屋を整理したり、倉庫や蔵を解体したりする際に出てきた資料についての相談・問合せがあった。

(1) 参考業務 (レファレンスサービス)

文化財・文化全般・博物館

1 保存管理・環境	0件	0分
2 指定物件に関すること	0件	0分
3 その他	0件	0分
合計	0件	0分

考古分野

1 資料・歴史・文化に関すること	18件	512分
2 岡豊城跡とその他の城跡に関すること	0件	0分
3 その他	2件	105分
合計	20件	10時間17分

歴史分野

1 長宗我部氏関係	11件	555分
2 資料・歴史・文化に関すること	12件	380分
3 その他	6件	4565分
合計	29件	91時間40分

民俗分野

1 民俗資料に関すること	40件	2289分
合計	40件	38時間9分

美術工芸分野

1 展示資料に関すること	0 件	0 分
2 収蔵資料に関すること	0 件	0 分
3 その他	1 件	30 分
	合計	1 件 30 分
総合計 90 件のべ所要時間 140 時間 36 分		

(2) 調査来館対応

考古分野

資料閲覧等	合計	8 件 16 時間 30 分
-------	----	----------------

歴史分野

資料閲覧等	合計	12 件 39 時間
-------	----	------------

民俗分野

資料閲覧等	合計	7 件 32 時間 5 分
-------	----	---------------

美術工芸分野

資料閲覧等	合計	2 件 1 時間 30 分
-------	----	---------------

総合計 29 件のべ所要時間 89 時間 5 分

7 イベント

イベントは、新規来館者の開拓や来館者増に寄与しているものの、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点から、定員を少なく設定したり予約制を取り入れたりしたほか、検温や消毒、換気の確実な実施など感染対策を徹底したうえで開催した。

(1) 第12回岡豊山さくらまつり

桜の名所・岡豊山をPRするため開催した。本年度は日程の調整がつかず、土佐の食1グランプリとの同時開催とはならなかった。また、メイン会場を中庭とし、例年会場としていた一般駐車場を開放するとともに、満車時の臨時駐車場（岡豊小学校グラウンド）を設けた。徒歩での来場者が増えることを見据え、クイズラリーを実施したり、山村民家でお茶等のお接待をするなど岡豊山を楽しみながら上がってこられるようにした。1日のみの開催ではあったが、より地域密着型のイベントとなった。

日程：令和4年4月3日（日）10：00～16：00

《中庭特設会場》

- ・ステージイベント 10：00～15：30
岡豊太鼓／開会挨拶／ももちか君と踊ろう（岡豊小学校）／琴城流大正琴コスモス会／ルアナと楽しい仲間たち／ローニンズ／なかよし会／ザ・ノーマックス／颯ダンスクラス／風のいたづら
- ・グルメ出店
高見のたこ焼き／パン工房フォンティエヌ／桂フーズ／土佐のまほろば地区振興協議会（キッチンカー）西島園芸団地／ピッツェリア ブルアルベロ

《屋外イベント》

- ・岡豊山ガイド
- ・岡豊山クイズラリー

- ・岡豊山スタンプラリー
 - ・民家茶屋でお接待
- 《館内ワークショップ》
- ・ペーパーワーク「立体サクラをつくろう」
- 主催：岡豊山さくらまつり実行委員会
参加者数：（主催者発表）1,500人
カルサポ：6人



第12回岡豊山さくらまつり（チラシ表面）

(2) れきみんの日・れきみんワンダーデイズ

開館記念日である5月3日の「れきみんの日」は例年通り観覧料を無料とし、特別展の開催に合わせて前後の祝日等に「れきみんワンダーデイズ」として全6日間イベントを実施した。特別展「驚異と怪異」の関連企画をはじめ、「幻獣クイズ」や獅子舞などを行った。検温済みシールは昨年に引き続き来館者数把握にも役立った。

日程：令和4年4月29日（金・祝）9：00～17：00

- ① 10：00～岡豊山ガイド（雨天中止）
 - ② 14：00～15：30「ようこそ！世界不思議ミュージアムへ」（朝倉芽生氏県立美術館学芸員×梅野光興）（31名）
- 来場者：352名、カルサポ：4名
※屋外販売

日程：令和4年4月30日（土）9：00～17：00

- ① 10：00～12：00、13：30～15：30 幻獣仮面を作ろう（20名+見学19名）
 - ② 10：00～、14：00～ 岡豊山ガイド（6名+2名）
 - ③ 11：00～、14：00～ 土佐の幻獣・民話紙芝居（協力：県立文学館）（28名）
- ※屋外販売 Chill Curry（スパイスカレー）
来場者：438名、カルサポ：4名

日程：令和4年5月3日（火・祝）9：00～17：00

- ① 9：00～16：30 幻獣クイズ（623名）
- ② 10：00～、14：00～ 岡豊山ガイド（30分から40分程度）（14名+10名）
- ③ 獅子舞（公演：香我美町徳王子 若一王子宮獅子舞）

保存会) 11:00 ~、13:00 ~ (各回 15 分程度)

(210 名+ 150 名)

④ミュージアムトーク(特別展解説)14:00~15:30(30名)

※屋外販売 嶺北麻飯店(牛すじ麻婆豆腐など)

来場者: 1,212 名、カルサポ: 4 名

日 程: 令和4年5月4日(水・祝) 9:00 ~ 17:00

① 9:00 ~ 17:00 幻獣クイズ (200 名)

② 10:00 ~ 岡豊山ガイド (6 名)

③ 10:00 ~ 16:00 牛乳パックで幻獣びっくり箱を作ろう

(62 名+見学 41 名)

※屋外販売 Pizzeria Blu e Albergo (パ°リ°ッヅ)

来場者: 675 名、カルサポ: 2 名

日 程: 令和4年5月7日(土) 9:00 ~ 17:00

① 9:00 ~ 17:00 幻獣クイズ (144 名)

② 10:00 ~ 岡豊山ガイド (3 名)

③ 10:00 ~ 16:00 牛乳パックで万華鏡を作ろう

(41 名+見学 27 名)

④ 9:00 ~ 12:00 幻獣ウォーク (6 名)

※屋外販売 まっちぷ(韓国屋台料理)

来場者: 312 名、カルサポ: 3 名

日 程: 令和4年5月8日(日) 9:00 ~ 17:00

① 10:00 ~ 岡豊山ガイド (2 名)

② 11:00 ~ 土佐の幻獣・民話紙芝居(協力:県立文学館)(29名)

③ 14:00 ~ 15:30 「土佐幻獣セミナー 地の章」(38 名)

※屋外販売 solana cafe(米粉と豆乳のクレープ)

来場者: 342 名、カルサポ: 3 名

れきみんワンダーデイズ合計来場者: 3,331 名

(3) れきみん! サマーミュージアム

夏休みの子どもの向け企画として平成 23 年から開催(当初は「れきみんの夏祭り」として開催)しており、本年度は「岡豊へ行こう! レッツゴー!」と題して、7月27日(水)、8月12日(金)、8月27日(土)の3日間実施した。

日 程: 7月27日(水) 9:00 ~ 16:30

①紙コップでおばけづくり 9:00 ~ 16:00

②クイズに挑戦 9:00 ~ 17:00 (最終受付 16:30)

③紙絵馬づくり 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00

駄菓子屋さん 10:00 ~ 16:00

④竹トンボをつくろう、竹水てっぽうをつくろう

10:00 ~ 16:00

⑤五色百人一首に挑戦! 10:00 ~ 12:00

日 程: 8月12日(金) 9:00 ~ 16:30

①ステンドグラス風ペーパーアート 9:00 ~ 16:00

駄菓子屋さん 10:00 ~ 16:00

②クイズに挑戦 9:00 ~ 17:00 (最終受付 16:30)

③お祭り金魚づくり 9:00 ~ 16:00

④アイスクリン販売 10:00 ~ 14:00

⑤ワクワクワーク絵馬をつくろう 13:00 ~ 16:00

日 程: 8月27日(土) 9:00 ~ 16:30

①ステンドグラス風ペーパーアート 9:00 ~ 16:00

お祭り金魚づくり 9:00 ~ 12:00

②クイズに挑戦 9:00 ~ 17:00 (最終受付 16:30)

③「木工モノづくり」

・木でネズミをつくろう ① 10:00 ② 10:30

・木でミニカーをつくろう ① 11:00 ② 11:30

④紙コップでおばけづくり 13:00 ~ 16:00

⑤ピョンと飛び出す! びっくり箱づくり 9:00 ~ 11:30

⑥ワクワクワークいろいろな絵の具をつくろう

14:00 ~ 15:00

3日間共通プログラム(参考)

・教えて! 学芸員

高校生以下を対象として、夏休みの自由研究の応援プログラム(予約制)を用意したが、今年度の利用者はなかった。



サマーミュージアム7月27日



サマーミュージアム8月27日



サマーミュージアム

【期間中開催の展示】

①企画展「絵馬ってなあに？」

②コーナー展「異界遺産」

参加者数：613名（7月27日219名、
8月12日177名、8月27日217名）

（4）第13回長宗我部フェス

戦国武将・長宗我部氏を顕彰するイベントとして、例年5月に開催していたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、昨年に引き続き11月の開催となった。

首都圏で活動する俳優陣による殺陣パフォーマンスでは来場者も飛び入りで殺陣を体験するなど歴史系イベントを身近に感じてもらう機会となった。

開会式では南国市の姉妹都市である岩沼市から市長が来場され、南国市長とともに甲冑姿での祝辞や「いざ出陣！」の発声をいただいた。大分県の豊後大友宗麟鉄砲隊、徳島県の三好長慶武者行列まつり関係者にも出演、出店いただき、長宗我部氏と縁のある他県との交流にもなった。

また、館内ではこのフェスの開催に合わせてコーナー展示「大坂の陣後の長宗我部氏」を開催し、11月23日（水・祝）には「長宗我部氏と山内氏」と題して、関連講座を行った。

さらには、長宗我部氏と縁のある浦戸城跡に立つ高知県立坂本龍馬記念館と連携し、フェス翌日に関連企画「長宗我部フェス in 浦戸」を開催するなどイベントの充実を図った。

なお、臨時駐車場として旭食品（株）の敷地の一部を借り受け、無料シャトルバスを運行した。ご協力に感謝したい。

日 程：令和4年11月19日（土）10：00～16：00

《特設会場（一般駐車場）》

・ステージイベント

開会挨拶／岡豊太鼓／もとかか君と踊ろう（岡豊保育園）／高知中央高校ダンス部／土佐長宗我部鉄砲隊演武／傭兵部隊パフォーマンス／出店者PR／三好長慶武者行列まつり／SAMEPONバルーンショー／ごめん戦隊ゴメンジャーNEXTショー／長宗我部談義／豊後大友宗麟鉄砲隊演武／記念演舞「すすぐ」零章～Sandersonia～／閉会式

・南国グルメ屋台

・戦国グッズ販売

《屋外イベント》

・岡豊城跡スタンプラリー

・岡豊城跡ガイドツアー 10：00～15：00

・山村民家「ぜんざいふるまい」11：00～

《館内イベント》

・ミュージアムトーク

第1部 10：30～、第2部 13：30～

・ワークショップ「オリジナルのしおりをつくらう」

9：30～16：00

《関連講座》

「長宗我部氏と山内氏－長宗我部氏は「タブー視」されたのか？－」

日 時：令和4年11月23日（水・祝）14：00～15：30

会 場：当館 多目的ホール

講 師：学芸員 青井恵理香

聴講者：56人

《関連企画》

「長宗我部フェス in 浦戸」

日 時：令和4年11月20日（日）

高知県立坂本龍馬記念館の主催事業になるが、開催にあたりフェス実行委員会、当館も調整等協力した。

主 催：長宗我部フェス実行委員会

参加者数：（主催者発表）750人

カルサポ：2人



第13回長宗我部フェス（ポスター）

（5）長宗我部元親 RALLY FINAL

毎年、秋～冬の観光周遊促進を目的に開催しており、本年度は「第13回長宗我部フェス」を含めた期間にキーワードラリーとして開催した。

本年度は、従来どおりチラシを台紙とするものと、新たにLINEでの参加も可能とした。参加賞のオリジナル枡は先着300名であったが、予定を超える結果となった。

開催期間：令和4年11月11日（金）

～令和5年1月29日（日）

受付時間：9：00～16：30

主 催：長宗我部フェス実行委員会・南国市観光協会

参加者数：310人



長宗我部元親 RALLY FINAL (ポスター)

(6) れきみんのお正月

令和5年1月2日(月・振休)・3日(火)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

「琴と尺八の公演：地唄・箏曲で奏でる新春の調べ」

「ミュージアムトーク」「うさぎ見つけた!」

「ペットボトルキャップでミニ門松をつくろう」

「岡豊山ガイド」「超!岡豊城〇×クイズ」など盛りだくさんのプログラムを2日と3日の両日に催した。以下()内の数字は参加者数。

令和5年1月2日(月・振休)

- ① 9:00～17:00 うさぎ見つけた! (90)
- ② 9:00～ 新春福引き(なくなり次第終了) (100)
- ③ 9:30～ お茶を一服(なくなり次第終了) (86)
- ④ 9:30～15:30 ペットボトルでミニ門松を作ろう (11)
- ⑤ 9:30～15:30 毛糸でつくるポンポンうさぎ (38)
- ⑥ 10:00～ 岡豊山ガイド (7)
- ⑦ 13:30～ 超!岡豊城〇×クイズ (10)
- ⑧ 14:00～ 10分間トーク(コナ-展 展示解説) (18)

令和5年1月3日(火)

- ① 9:00～17:00 うさぎ見つけた! (101)
- ② 9:00～ 新春福引き(なくなり次第終了) (100)
- ③ 9:30～ お茶を一服(なくなり次第終了) (75)
- ④ 9:30～15:30 ペットボトルでミニ門松を作ろう (27)
- ⑤ 9:30～15:30 毛糸でつくるポンポンうさぎ (21)
- ⑥ 10:00～、13:30～ 岡豊山ガイド (4)、(7)
- ⑦ 13:30～14:30 琴と尺八の公演：地唄・箏曲で奏でる新春の調べ (28)

⑧ 14:00～ 10分間トーク(コナ-展 展示解説)3階(3)1階(11)
両日ともに「新年記念撮影コーナー」正面玄関に門松も用意した。

入館者数計:279名(内訳:1月2日133名、3日146名)

V 情報の発信

1 広報活動

当館では、館の認知度を高め、活動を広く外部へ発信し、観覧をはじめ館の利用につなげるため企画展等を軸として広報活動を行っている。

本年度は特に、特別展「驚異と怪異」の広報に力を入れ、高知市帯屋町アーケード内掲出の吊り看板やテレビCMなどの広報活動を展開した（「驚異と怪異」展の広報戦略の詳細は「I 展示」参照）。

館全体の広報については、館のリーフレット・『年間カレンダー』を観光案内所、旅館・ホテル等へ配布するとともに、館のHPへの情報掲載・更新や他機関運営の情報掲載サイトの活用を行った。

SNS（Facebook, Twitter, Instagram）による情報発信は継続して行い、企画展・イベント等のお知らせ等において、いち早く情報発信を行うことができた。特別展「驚異と怪異」においては、「地域・年齢層・時期を絞っての広告表示やInstagramをフォローしてもらうことにより粗品のカップマスクを進呈する」という新たな試みも行った。

また、令和2年12月10日より運用を開始した展示音声ガイド「ポケット学芸員」については、今年度も屋外展示（岡豊城跡・民家）や常設展示のコンテンツに加え、各企画展の代表的な展示資料の音声ガイドを公開した。

他に、（公財）高知県文化財団の印刷物「イベントガイド」に情報提供するなどのPR活動も行った。

(1) 広報誌『岡豊風日』、企画展ポスター等の送付先と件数

以下のとおり企画展等の印刷物を配布し、PRを行っている。（各項目の数字は件数）

県内施設（図書館・市民会館等含）	103
県内マスコミ	20
県内大学（各学部含）	12
小・中・高等・特別支援学校、教育委員会	384
国立・県外博物館	254
県外マスコミ	33
県外大学	38
県外図書館	7
関係者等	62
史談会	18
観光、バス会社、道の駅等	143
ダイケア等	123
企業・店舗等	50
官公庁、関係機関、評議員等（高知・南国市内持参）	109
寄贈・寄託者、個人	360
（公財）高知県文化財団関係者	35
資料収集委員会、資料調査員	40
合計	1,791 件

(2) 展示・催しなどの報道機関等への情報提供

- ・歴史文化財課を通じて県政記者室へ情報提供
- ・南国市内14校（全校）と高知市内一部の14校の小学校へ家庭数のちらし送付

2 マスコミほかによる情報掲載等

(1) 特別展・企画展

◆特別展・企画展共通広報

- ・（公財）日本博物館協会 『博物館研究』の「もよおし」
- ・（株）吉川弘文館 『日本歴史』
- ・県政だより『さんSUN高知』 「県立施設のご案内」
- ・高知県 県庁電子掲示板
- ・高知県 テレビ・ラジオ読み上げ
- ・（公財）高知県観光コンベンション協会 とさてらす 営業所 デジタルサイネージ
- ・県内コンビニ等 チラシ配布
- ・『高知新聞』 「こみゅっと」
- ・『高知新聞』 「K+」
- ・『高知新聞』 「ミリカ」
- ・こうちファミリーサポートセンター 『ふぁみサポ通信』
- ・（公財）高知勤労者福祉サービスセンター 会報誌 「クンベル高知」
- ・（株）ほっとこうち 『ほっとこうち』
- ・朝日エリアコム（株） 『こじゃんと』
- ・（株）イベントバンク WEBサイト「イベントバンク」
- ・（株）DNPアートコミュニケーションズ WEBサイト「artscape」
- ・弘文印刷（株） WEBサイト「高知イーブックス」
- ・（株）高陽堂印刷 こうちドン! 事業部 WEBサイト 「高知のクチコミナビ こうちドン!」
- ・（一社）物部川DMO協議会 WEBサイト

◆驚異と怪異

1 報道機関

- ① 4/27 KUTV 「からふる」
- ② 4/29 KUTV 「からふる」
- ③ 4/30 『読売新聞』 「人魚や龍にびっくり」
- ④ 5/6 NHK 高知放送局 昼のニュース
- ⑤ 5/6 RKC ラジオ 「ぶちぬき FRIDAY」
- ⑥ 5/14 『高知新聞』 「世界の幻獣・霊獣ざらり」
- ⑦ 5/17 西日本ラジオ 「さわやかラジオ・おはようタッチ」
- ⑧ 5/30 KUTV 「からふる」
- ⑨ 6/18 『高知新聞』 「「驚異と怪異」展に寄せて 上」
（山中由里子氏執筆）
- ⑩ 6/20 『高知新聞』 「「驚異と怪異」展に寄せて 下」
（梅野光興執筆）
- ⑪ 6/20 NHK 「こうちいちばん」
- ⑫ 6/20 FM 高知 「県からのお知らせ」
- ⑬ 6/22 RKC ラジオ 「県からのお知らせ」

2 その他

- ① 4/20～26 オーテピア高知図書館 2階共同楽習スペースにおけるパネル展示
- ② 6月 (株) KADOKAWA WEB サイト「Walker +」
- ③ 6月 (株) 博報堂ケトル WEB サイト「Kita-ColleART」

◆絵馬ってなあに？

- ① 7/15 RKC ラジオ「おでかけ FRIDAY」(曾我満子出演)
- ② 7/17～23 KSS 高知さんさんテレビ「プラスナビ」
- ③ 7月 『高知新聞』 WEB サイト
- ④ 8/14 『読賣新聞』「絵馬の歴史たどる 80点」
- ⑤ 8/15 『高知新聞』「県内の絵馬 多彩に紹介」

◆武吉孝夫写真展

- ① 10/7 『読賣新聞』「ギャラリー」
- ② 10/8 『高知新聞』「平成期の山村記録」
- ③ 11/18 『高知新聞』「武吉孝夫写真展「高知県の山村を歩く」から ①「写紙」による記録」(中村淳子執筆)
- ④ 11/19 『高知新聞』「武吉孝夫写真展「高知県の山村を歩く」から ②群写真という表現」(中村淳子執筆)
- ⑤ 11/21 『高知新聞』「武吉孝夫写真展「高知県の山村を歩く」から ③白黒フィルムの空気感」(中村淳子執筆)
- ⑥ 11/21 NHK「こうちいちばん」「写真家が見た土佐の山村」
- ⑦ 11/22 『高知新聞』「武吉孝夫写真展「高知県の山村を歩く」から ④民俗行事の日常性」(中村淳子執筆)
- ⑧ 11/23 『高知新聞』「武吉孝夫写真展「高知県の山村を歩く」から ⑤人生を物語る手」(中村淳子執筆)

◆れきみんコレクション！なんでもランキング

1 報道機関

- ① 1/5 KUTV テレビ高知夕方のニュース (梅野出演)
- ② 1/11 RKC 高知放送「こうち eye」(那須出演)
- ③ 1/25 KUTV テレビ高知「県民ニュース」
- ④ 1/26 KSS 高知さんさんテレビ「知っとく高知県」
- ⑤ 1/30 KSS 高知さんさんテレビ「プライムこうち」(梅野出演)
- ⑥ 2/2 NHK 高知放送局昼のニュース
- ⑦ 2/22 『高知新聞』「長い・大きい・ギャップ萌え…」
- ⑧ 2/27 『高知新聞』「「れきみんコレクション！なんでもランキング」展に寄せて」(那須望執筆)

2 その他

- ① 12月 高知銀行よさこいおきゃく支店 WEB サイト「よさこいおきゃく情報室」

(2) コーナー展ほか

◆コーナー展「異界遺産」

- ① 8月 (一社) 物部川 DMO 協議会 WEB サイト
- ② 9/8 KUTV 「からふる」(梅野出演)

◆コーナー展「大坂夏の陣後の長宗我部氏」

- ① 10月 (一社) 物部川 DMO 協議会 WEB サイト
- ② 11/12 『高知新聞』「長宗我部子孫の系譜たどる」

◆旧大柵高校一般公開

- ① 10月 (一社) 物部川 DMO 協議会 WEB サイト
- ② 11/1 県政だより『さん SUN 高知』11月号「県立施設のご案内」
- ③ 11/2 『高知新聞』「文化消息」

(3) 館全体

1 報道機関

- ① 4/5 RKC 高知放送「こうち eye」
- ② 6/8 『高知新聞』「岡豊山の桜保全へボランティア剪定」
- ③ 11/12 『奈良新聞』「弥生の銅矛、今も現役」
- ④ 11/14 『信濃毎日新聞』「弥生時代の銅矛 今も現役です」
- ⑤ 11/20 『高知新聞』「「ズドン！」鉄砲隊演武」
- ⑥ 11/20 『読賣新聞』「火縄銃演武 迫力満点」
- ⑦ 12/8 『高知新聞』「ミリカ」旧味元家住宅主屋
- ⑧ 1/11 RKC 高知放送「昼のニュース 岡豊山フォトコンテスト」
- ⑨ 1/12 『高知新聞』「佐竹音次郎日誌複製 県に寄贈」
- ⑩ 1/17 『高知新聞』「高知地震新聞」
- ⑪ 1/19 『高知新聞』「城巡り「御城印」集めよう」
- ⑫ 2/10 『高知新聞』「元親 寺建立へ大規模造成」
- ⑬ 3/22 KUTV テレビ高知「県民ニュース」
- ⑭ 3/23 KSS 高知さんさんテレビ「知っとく高知県」

2 その他

- ① 7月 (公財) 高知県観光コンベンション協会『リョーマの休日キャンペーン公式ガイドブック』2022夏号
- ② 3/1 土佐くろしお鉄 (株) 『時刻表冊子 ゴトマガ』
- ③ 3月～ (一社) 南国市観光協会『大人旅南国市』
- ④ 通年 (公財) 高知市観光協会『高知市教育旅行ガイドブック』
- ⑤ 通年 (公財) 高知県観光コンベンション協会『高知県観光商品素材集』
- ⑥ 通年 (一社) 南国市観光協会 WEB サイト「南国市観光協会」
- ⑦ 通年 (公財) 高知県観光コンベンション協会 SNS アカウントコンテンツ

◆れきみんワンダーデイズ

特別展「驚異と怪異」とあわせて広報を展開した

◆れきみん！サマーミュージアム

1 報道機関

- ① 8/8 FM高知「高知県からのお知らせ」
- ② 8/10 RKCラジオ「高知県からのお知らせ」

2 その他

- ① 7月 (公財)高知県文化財団「夏休みイベントガイド2022」
- ② 8/1 県政だより『さんSUN高知』8月号「県立施設のご案内」
- ③ 8月 (一社)物部川DMO協議会WEBサイト

◆長宗我部フェス

- ① 10月 (一社)物部川DMO協議会WEBサイト
- ② 11/20 『高知新聞』「ズドン！」鉄砲隊演武」
- ③ 11/20 『読賣新聞』「火縄銃演武 迫力満点」

◆れきみんのお正月

1 報道機関

- ① 12/15 FM高知「高知県からのお知らせ」
- ② 12/17 RKCラジオ「高知県からのお知らせ」
- ③ 12/19 KUTVテレビ高知「県民ニュース」
- ④ 12/20 KSS高知さんさんテレビ「知っとく高知県」
- ⑤ 12/26 FM高知「高知県からのお知らせ」
- ⑥ 12/28 RKCラジオ「高知県からのお知らせ」
- ⑦ 12月 (一社)物部川DMO協議会WEBサイト

2 その他

- ① 12/1 県政だより『さんSUN高知』12月号「県立施設のご案内」
- ② 12月 高知銀行よさこいおきゃく支店WEBサイト「よさこいおきゃく情報室」

◆前田博史の天然写真展2023 還るところ。

- ① 2月 (一社)物部川DMO協議会WEBサイト
- ② 3/16 FM高知「高知県からのお知らせ」
- ③ 3/18 RKCラジオ「高知県からのお知らせ」
- ④ 3/23 FM高知「高知県からのお知らせ」
- ⑤ 3/25 RKCラジオ「高知県からのお知らせ」
- ⑥ 3/29 『高知新聞』「森林で捉えた命の輝き」

3 IT (情報技術) による情報発信

(1) 館公式ホームページ

1999年11月より(公財)高知県文化財団の一員として館の公式ホームページを開設している。掲載項目は「お知らせ」「展示と催し」「ご利用について」「刊行物」「国史跡・岡豊城跡」「ミュージアムショップ」「旧味元家住宅主屋」「その他のメニュー」「リンク」「サイトマップ」「プライバシーポリシー」「更新履歴」「Facebook」「Twitter」。また、平成22年度末よりトップページと一部項目については外国語(英語・中文(簡体字)・中文(繁体字)・ハンデル)対応ページ、4言語版の館リーフレットのPDFファイルを掲載している。

ホームページアドレスは次のとおり。

<https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/>

◆ホームページの掲載・更新

合計38回更新

◆ホームページアクセス数

- ① 2000.5.26 ~ 2001.3.31 6,460件
- ② 2001.4.1 ~ 2001.10.31 6,683件 (累計13,143件)
- ③ 2001.11.1 ~ 2002.4.24 6,095件 (累計19,238件)
- ④ 2002.4.25 ~ 2002.10.31 8,429件 (累計27,667件)
- ⑤ 2002.11.1 ~ 2002.11.12 528件 (累計28,195件)
- ⑥ 2002.11.13 ~ 2003.2.19 4,607件 (累計32,802件)
- ⑦ 2003.2.20 ~ 2003.3.8 975件 (累計33,777件)
- ⑧ 2003.3.9 ~ 2003.3.31 962件 (累計34,739件)
- ⑨ 2003.4.1 ~ 2003.6.6 3,979件 (累計38,718件)
- ⑩ 2003.6.7 ~ 2003.10.2 10,412件 (累計49,130件)
- ⑪ 2003.10.3 ~ 2004.2.14 10,746件 (累計59,876件)
- ⑫ 2004.2.15 ~ 2004.3.31 2,076件 (累計61,952件)
- ⑬ 2004.4.1 ~ 2005.3.31 19,614件 (累計81,566件)
- ⑭ 2005.4.1 ~ 2006.3.31 28,042件 (累計109,608件)
- ⑮ 2006.4.1 ~ 2007.3.31 23,093件 (累計132,701件)
- ⑯ 2007.4.1 ~ 2008.3.31 24,084件 (累計156,785件)
- ⑰ 2008.4.1 ~ 2009.3.31 26,654件 (累計183,439件)
- ⑱ 2009.4.1 ~ 2010.3.31 16,114件 (累計199,553件)
- ⑲ 2010.4.1 ~ 2011.3.31 28,316件 (累計227,869件)
- ⑳ 2011.4.1 ~ 2012.3.31 21,226件 (累計249,095件)
- ㉑ 2012.4.1 ~ 2013.3.31 32,290件 (累計281,385件)
- ㉒ 2013.4.1 ~ 2014.3.31 31,156件 (累計312,541件)
- ㉓ 2014.4.1 ~ 2015.3.31 36,020件 (累計348,561件)
- ㉔ 2015.4.1 ~ 2016.3.31 40,981件 (累計389,542件)
- ㉕ 2016.4.1 ~ 2017.3.31 43,274件 (累計432,816件)
- ㉖ 2017.4.1 ~ 2018.3.31 44,673件 (累計477,489件)
- ㉗ 2018.4.1 ~ 2019.3.31 35,020件 (累計512,509件)
- ㉘ 2019.4.1 ~ 2020.3.31 40,387件 (累計552,896件)
- ㉙ 2020.4.1 ~ 2021.3.31 32,380件 (累計585,276件)
- ㉚ 2021.4.1 ~ 2022.3.31 44,964件 (累計630,240件)
- ㉛ 2022.4.1 ~ 2023.3.31 56,998件 (累計687,238件)

令和4年度アクセス数 56,998件

累計アクセス数 687,238件

◆ホームページリンク

当館HP掲載のリンク先は、高知県のHP、(公財)高知県文化財団、南国市観光協会のほか、高知県内の観光施設および文化施設15件、高知県外の観光施設および文化施設7件、その他の団体4件の計26件となっている。(当館から外部ホームページへのリンクは博物館・当館の記事掲載機関のほかは認めていない。)

本年度、外部から当館HPへのリンク申請は0件であった。

(2) SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の利用

平成31年1月3日より「高知県立歴史民俗資料館」のアカウントで館公式FacebookとTwitterによる情報発信を行っている。今年度よりInstagramも加え、特別展・企画展をはじめとする館主催の催しや岡豊山歴史公園等をテーマにSNSの即時性を活かして情報発信を行っている。

4 広告

(1) 特別展・企画展

◆驚異と怪異

- ① 4/22～6/26 (株)高知市中心街再開発協議会アーケード内吊り看板
- ② 4/27 『高知新聞』チラシ折り込み
- ③ 4/20～6/26 KUTV テレビ高知 CM
- ④ 4～6月 YouTube 広告
- ⑤ 4～6月 Instagram 広告
- ⑥ 4～6月 Facebook 広告

(2) 館全体・その他

- ① 4/27 『高知新聞』「れきみんワンダーデイズ」チラシ折り込み
- ② 5/1 (株)JTB パブリッシング『るるぶ四国'23』
- ③ 7/22 『高知新聞』「れきみん! サマーミュージアム」チラシ折り込み
- ④ 7月 (株)JTB パブリッシング『るるぶFREE 高知2022-23 夏秋冬』
- ⑤ 12/27 『高知新聞』「れきみんのお正月」チラシ折り込み
- ⑥ 1月 (株)JTB パブリッシング『るるぶFREE 高知』

5 他機関との連携、様々な機会をとらえた情報発信

(1) 他機関と連携した PR

- ① 4/1～2/28 (公社)高知市観光協会「楽!楽!高知で泊まるきキャンペーン Ver.5」への参画
- ② 4/1～3/31 (公財)高知県観光コンベンション協会「MY遊バス」への協賛
- ③ 4/1～3/31 四国旅客鉄道(株)「駅から観タクン」への協賛
- ④ 4/1～3/31 公立学校共済組合高知支部「令和4年度芸術鑑賞補助事業」への参画
- ⑤ 4/3～ (公財)高知県観光コンベンション協会「龍馬パスポート」への参画
- ⑥ 4/4～4/3 四国旅客鉄道(株)「高知観光きっぷ」への協賛
- ⑦ 7/16～3/1 (一社)南国市観光協会「アリスの不思議なカードラリー」への参画
- ⑧ 7/16～3/1 南国市商工観光課「アリスと謎解きの旅」への参画

- ⑨ 11/11～1/29 (一社)南国市観光協会「長宗我部ラリーFINAL」への参画
- ⑩ 11/15～2/28 リョウーマの休日キャンペーン推進委員会「ニッポンの城めぐり」コラボ企画「土佐城さんぽ御城印めぐり」への参画
- ⑪ 1/2～3/31 文化生活スポーツ部歴史文化財課「長宗我部元親の武将印をゲット!スタンプラリーリターンズ」への参画

(2) 他機関主催イベントでの PR

- ① 7/26～9/8 (株)丹青社内インターネットミュージアム事務局「ミュージアムキャラクターアワード2022」への参加
- ② 9/10,11 ご当地キャラまつり in 須崎実行委員会・須崎市「第7回ご当地キャラまつり in 須崎」への参加



高知市帯屋町アーケード内掲出吊り看板
(4月22日～6月26日)

VI ネットワーク

当館は、県内外の博物館や立地する岡豊山周辺の地域の団体、民具を保管している香美市物部地域などと連携し、取り組み等を進めている。

令和4年度は、高知県で初めて「全国博物館大会」が開催された。こうちミュージアムネットワークを母体としながら、実行委員会とプロジェクト委員会を臨時に組織し、県内の博物館や図書館が協力して実施した。

また旧大栃高校の一般公開は10回目を迎え、子ども向けの要素を組み入れるなど新たな試みも行った。

1 日本博物館協会

公益財団法人日本博物館協会は、博物館に関する諸事業の実施を通じて、博物館の健全な発達を図り、社会教育の進展に資するとともに、我が国の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動している。『博物館研究』の発刊（月刊）の他、全国博物館大会を開催（毎年）し、講演会やシンポジウム等を通して博物館に関する諸問題について研究協議を行い、全国博物館長会議を開催（毎年）し、行政報告のほか、時宜に適したテーマについて研究協議を行っている。平成25年に公益財団法人に移行してからは、当館からは参与として館長が参加している。

○令和4年度全国博物館長会議

日 時：7月5日（火）15：00～16：30

開催方法：Zoomを使用したオンライン形式

参加者：田中館長

○令和4年度参与会

日 時：7月6日（水）10：30～16：30

開催方法：Zoomを使用したオンライン形式

参加者：田中館長

○第70回全国博物館大会高知大会

会 期：11月16日（水）～11月18日（金）

会 場：高知県立県民文化ホール グリーンホール

（主会場）、高知県立人権啓発センター、

オーテピア

テーマ：「地域から発信する博物館の未来」

●令和4年度高知大会の準備と協力

令和4年11月16日（水）～18日（金）に開催された「第70回全国博物館大会高知大会」において、当館は実行委員会に田中館長、プロジェクト委員会（分科会・シンポジウム部会）に梅野が委員として参加した。本番では林（16日）と曾我（17日）が受付を担当し、梅野が分科会の打合せと運営に協力（16、17日）、那須がエクスカッション（Aコース）に添乗・解説した（18日）。本年度参加した会の日程および博物館大会のプログラムは次の通りである。

[実行委員会]

第4回 5月27日（金）、第5回 7月22日（金）、

第6回 10月28日（金）（田中館長参加）

[プロジェクト委員会]

第4回 6月24日（金）、第5回 8月25日（木）、

第6回 10月20日（木）

（第6回は梅野・青井参加、後は梅野参加）

[分科会・シンポジウム部会打ち合わせ会]

第1回 6月30日（木）、第2回 8月4日（木）、

第3回 9月16日（金）

（第2回は梅野・青井参加、他は梅野参加）

[スタッフ打合せ会]

11月11日（金）

（梅野参加）

○博物館大会プログラム

11月16日（水）

開会式

基調講演「日本列島の自然と変動帯の文化」尾池和夫氏

全国博物館フォーラム「地域の視点から考える博物館政策」

（高知県立県民文化ホール グリーンホール）

11月17日（木）

9：30～12：00 分科会1「連携・新たな博物館

連携の可能性」（高知県立県民文化ホールグリーンホール）

分科会2「保存と活用・文化行政の課題克服と文化資源の活用」（高知県立人権啓発センター）

分科会3「運営・挑戦する地域の文化施設」（オーテピア 4階ホール）

14：00～16：00 シンポジウム「地域から発信する博物館の未来」

（高知県立県民文化ホール グリーンホール）

16：15～45 全体会議（同上）

16：45～ 閉会式（同上）

11月18日（金）

8：00～17：00 エクスカッション

Aコース（東部コース）、Bコース（中央部コース）、

Cコース（佐川・越知コース）

（担当：林・梅野）



全国博物館大会 開会式

2 四国地区博物館協議会

四国地区博物館協議会は、四国にある美術館、博物館、動物園、水族館が集まり、博物館事業の発展のために話し合いを進めている協議会で、四国4県から公立・私立問わず77館が加盟し、年に1回、総会を開いて情報を交換している。本年度は高知城歴史博物館が会長館となり、当館も副会長館の一つとして県内の各加盟館との連絡調整にあたるなど運営に携わった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため役員会・総会は書面開催となり、視察・情報交換会は総会が書面開催のため行われなかった。実施された会の議題の内容は次のとおりである。

- (1) 役員会（※書面開催）…9月1日（木）発送
議題 令和3年度事業報告について、その他
- (2) 総会（※書面開催）…9月9日（金）発送
議題・令和3年度事業報告、決算報
 - ・令和4年度役員の改選について
 - ・令和4年度事業計画および途中報告について
 - ・令和4年度予算（案）について
 - ・研修の実施について
 - ・その他

（担当 林）

3 こうちミュージアムネットワーク

こうちミュージアムネットワークは、県内の博物館等の文化施設及び行政・教育機関が、情報共有や研修会等の開催を通して職員の資質向上を図り、文化施設の活性化及び県民への文化的サービスの提供を促進することを目的に、平成15年度に発足し、平成24年度からは独立した組織として活動を行っている。当館は幹事館として参加し、令和4年度も引き続き地域資料調査部に所属している。

本年度の最大のイベントは全国博物館大会への協力であった。詳細は「1 日本博物館協会」に記した。

また、こうちミュージアムネットワークとして、高知県観光事業「リョーマの休日」キャンペーンと連携し「学制150年」をテーマに企画展や巡回講座などを行ったが、当館は参加していない。

そのほか、本年度は下記の会合等に参加・出席した。

- ①総会・情報交換会・見学会（5月20日（金）、高知県立高知城歴史博物館）
- ②第2回幹事会 6月24日（金）
- ③第3回幹事会 8月25日（木）
- ④第4回幹事会 1月31日（火）
 - ①は青井、②～④は梅野参加

（担当 青井・梅野）

4 土佐のまほろば地区振興協議会

本年度は、土佐のまほろば地区振興協議会の会員をガイドに「土佐のまほろばウォーク2022 いにしへの土佐のまほろば」を「龍馬パスポート」対象イベント及び「高知家健康パスポート」の指定イベントとし

て開催した。全5回と特別編1回を企画したが、初回の4月24日（日）は雨天のため中止した。10月27日（木）、11月27日（日）は岡豊地区の古墳をテーマに、専門家による特別解説として高知県立埋蔵文化財センターの久家隆芳氏、南国市生涯学習課の油利崇氏にそれぞれ同行していただき、参加者には大変好評であった。また、初の試みとして岡豊城跡の遺構の清掃を特別編として企画し、横堀に入っの作業と、ガイドによる解説などを行った。

参加者：88人

（具体的な内容は「IV教育普及」参照）

また、12月8日（木）の午前、県道入り口から岡豊山擁壁部分にパンジーやビオラなど450株を女性部7名と当館職員8名で植栽した。本年度は参加人数も多く、手際よく作業ができた。冬から春にかけての岡豊山の彩りとなった。

さらに、「岡豊山さくらまつり」、「長宗我部フェス」、「サマーミュージアム」などについては地域の方々に実行委員やボランティアとして積極的に参画していただいている。

（担当 総務事業課）



土佐のまほろば地区振興協議会
12月9日（木）県道入り口花植え

5 旧大柝高校の活用

平成23年6月から香美市旧大柝高校の体育館（906.95㎡）と多目的棟3階格技場（412.8㎡）に、そして令和4年度からはパソコン室及びパソコン準備室（126.28㎡）にも、当館所蔵の民俗資料の一部を保管している。旧大柝高校の活用を促進するため、平成24年9月からは地域と連携して「いざなぎ流と物部川流域の文化を考える会」を発足させ、調査研究、公開普及事業、情報発信などを実施してきた。

①第10回旧大柝高校民俗資料一般公開

平成25年度以降、新型コロナウイルス感染防止のため開催を見合わせた令和2年度を除き、毎年「旧大柝高校民俗資料一般公開」を開催している。本年度も11月5、6日の2日間開催した。準備として10月19日、26日、11月4日の3日間、大掃除や草刈りを行った。

昨年度はコロナウイルスの状況をみながら時期を確定したため準備期間が短く、結果として参加者が少なかったことを踏まえて、本年度は子ども向けの

要素を前面に出してターゲットを拡大することで参加者増を狙った。ものべ民話と歴史の会がデザインした妖怪キャラクターを配したチラシを作り、香美市内の小中学校に生徒・児童の枚数分を配布してもらうなどPRに努めた。

昨年度に続き「ものべ民話と歴史の会」の全面協力を得て、民話のキャラクターパネルを会場に設置、子どもが参加できる民具クイズを実施するとともに、当日参加できる簡単な体験メニューも試行した。

「ものべ民話と歴史の会」単独の企画としては、食堂にもものべの民話や歴史の紹介コーナーを設けた。民話のあらすじをパネル化して展示、手作りの冊子「ものべの民話集」や妖怪や神様のイラストを描いたカードを配布し、物部の民話集『これも方丈ものがたり』の原画や昔の物部の写真を机に並べた。当館も土佐の民話絵本コーナーを設け、民話ムードを盛り上げるように努めた。また食堂では、物部の地域づくり支援員の近藤さんに塩の道関連商品など物部の物産販売などを行ってもらった。廊下では、物部の暮らしや風景の撮影を続けている藤田茂男さんが撮影した吊り橋の写真展を開催し、好評を得た。体験プログラムは今年も控えたが、その代わりにガイドツアーを2回ずつ実施した。こうした企画が功を奏し昨年の倍の入場者があった。

アンケートには「クイズとか調べてできたのでうれしかったです。また、むかしの物と今の物ではぜんぜんちがうところがわかりました」（5日、小学生）、「見るだけでなく、作ったり、クイズをして回れたりして、子どもも楽しめるように工夫されていて、とても楽しかったです。ようかいがあちこちについて、おもしろかったです」（6日、30代女性）など狙い通りの感想があった。

日時：11月5日(土)・6日(日)10:00~16:00

企画

1. 妖怪 de 民具クイズ（7問のクイズを配布。会場に設置したものべの妖怪が民具を説明するパネル7枚をヒントにクイズに答えてもらう）
2. 親子でかんたんものづくりコーナー（約30分・申込不要）「紙コップでお化けを作ろう」「毛糸でミニぞうりづくり」 場所：体育館
3. ガイドツアー（学芸員が民俗資料を解説）
① 11:00～、② 14:00～
4. 写真展「物部のつり橋を渡ると昔と今と未来がみえてくる」（藤田茂男氏撮影の物部のつり橋写真114点を展示） 場所：多目的棟1階廊下
5. ものべの妖怪コーナー（ものべ民話と歴史の会が、イラストと文字で物部の民話を紹介） 場所：食堂
6. 物産販売（山茶の無料サービスも。）
見学者 1日目 = 104名、2日目 = 131名

第10回 旧大橋高校民俗資料一般公開

むかしの道具のはくぶつかん

ハガマやオケなど
むかしのくらしや仕事の道具
約2000点がせいぞろい！

写真展
「物部のつり橋を渡ると昔と今と未来がみえてくる」
(撮影：藤田茂男)

親子でかんたん
ものづくりコーナー
(11月5日約30分・申込不要)
「紙コップでお化けを作ろう」
「毛糸でミニぞうりづくり」

ガイドツアー
① 11:00～
② 14:00～
学芸員が民俗資料を解説します

地元の物産販売
もあるよ！
山茶サービスします

山猫

ものべの妖怪コーナー
(ものべ民話と歴史の会)
イラストと文字でお化けや
神さまの話を紹介！

令和4年(2022)
11月5日(土)・6日(日)
10:00~16:00 入場無料
旧大橋高校 (香美市物部町大橋1926)

お問い合わせ
高知県立歴史民俗資料館
TEL 088-862-2211
<https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin>

第10回旧大橋高校民俗資料一般公開チラシ



大橋1 ガイドツアー（四万十川の漁具の解説）



大橋2 毛糸でミニ草履をつくろう



大柝3 民具クイズのヒントは妖怪が語る



大柝7 塩の道ほか物部の物産販売



大柝4 ものべ民話と歴史の会の展示



大柝5 イラストとあらすじで民話を紹介している



大柝6 藤田茂男さんの写真展
「物部のつり橋を渡ると昔と今と未来が見えてくる」

②奥物部美術館「いざなぎ流御祈禱」展との連携

当館が構成や展示に協力した、奥物部美術館の「いざなぎ流御祈禱」展が、令和3年9月14日から令和4年9月30日まで開催された。特別展「驚異と怪異」と県立美術館「奇界／世界」のコラボ企画「世界不思議ミュージアム」のスタンプラリーでは、「いざなぎ流の仮面と御幣」スタンプの設置場所として連携・協力を頂いた。

③その他

今年度は小学校の旧大柝高校見学は無かったが、11月26日(土)には香美市土佐山田町の山田高校の、高校生による地域文化の紹介に協力し、いざなぎ流のレクチャーを梅野が行った。

(担当 梅野)

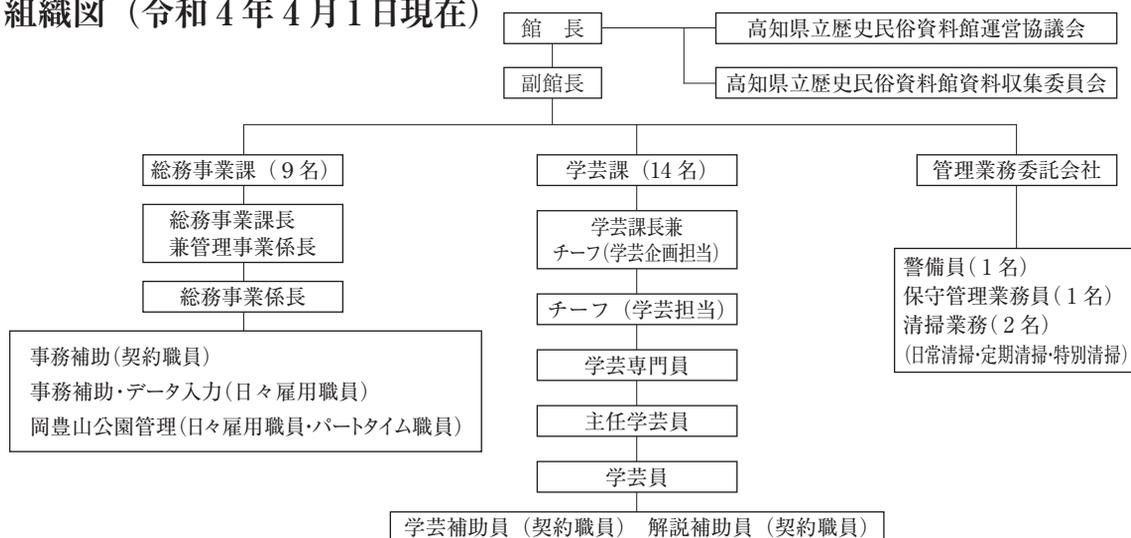
6 共催・後援事業

[後援事業]

- ①「堺事件から155年の時を経て 堺事件-平和を築くための国際理解講座 (Vol. 6)」
令和5年2月23日(木・祝)
主催：堺事件を語り継ぐ会

Ⅶ 管理運営・マネジメント

1 組織図（令和4年4月1日現在）



2 職員名（令和4年度）

館長	田中 宏治		
副館長	岡本 桂典 ~ 6/30		
副館長	沢近 昌彦 7/1 ~		
総務事業課		学芸課	
課長兼管理事業係長	中村 真一	課長兼チーフ（企画担当）	林 香
総務事業係長	岩本 佐代	チーフ（学芸担当）	梅野 光興（民俗）
契約職員	小松 香織（事務補助）	学芸専門員	中村 淳子（民俗）
契約職員	葛目 梨香（事務補助）	主任学芸員	曾我 満子（考古）
日々雇用職員	吉田 桃子（事務補助）	主任学芸員	那須 望（美術工芸）
日々雇用職員	中内 雅士（データ入力）	学芸員	青井恵理香（歴史）
日々雇用職員	吉川 淳（岡豊山公園管理）	契約職員	佐藤 ゆみ（学芸補助員）
パートタイム職員	田所 秀夫（岡豊山公園管理）~2/28日々雇用	契約職員	久保 由美（学芸補助員）
パートタイム職員	中沢 正文（岡豊山公園管理）	契約職員	西田 由紀（学芸補助員）
		契約職員	北村 優子（学芸補助員）
		契約職員	土居 典子（受付・解説補助員）
		契約職員	筒井美貴子（受付・解説補助員）~1/25
		契約職員	藤 清恵（受付・解説補助員）
		契約職員	式地沙耶香（受付・解説補助員）
		契約職員	川崎 真優（受付・解説補助員）2/1 ~
		日々雇用職員	竹村加奈子（特別展監視員）4/29 ~ 6/26
		日々雇用職員	池内 桂彦（特別展監視員）4/29 ~ 6/26

3 事務分掌

総務事業課

- 1 公印の管理に関する事。
- 2 庶務に関する事。
- 3 入館料等の徴収に関する事。
- 4 減免等申請手続きに関する事。
- 5 予算・決算及び経理に関する事。
- 6 館内施設、公園等屋外施設の管理に関する事。
- 7 入館券、招待券、図録、販売物などの管理に関する事。
- 8 事業会計に関する事。
- 9 自主事業の企画推進に関する事。
- 10 れきみんサークルの管理に関する事。
- 11 その他、他課の所掌に属さないこと。

学芸課

- 1 展示物・展示室の管理に関する事。
- 2 企画展示に関する事。
- 3 入館者の案内、展示解説に関する事。
- 4 資料の収集・整理・保存に関する事。
- 5 講座・体験学習等教育普及に関する事。
- 6 考古・歴史・民俗・美術工芸の調査研究に関する事。
- 7 研究図書、資料データ等情報の整理保存に関する事。
- 8 県内他館との連絡調整に関する事。
- 9 博物館実習、職場体験等の受入に関する事。
- 10 調査・研究協力に関する事。
- 11 広報活動に関する事。
- 12 カルチャーサポーターに関する事。
- 13 運営協議会・資料収集委員会に関する事。

4 予算

●令和4年度各事業の当初予算

(単位：千円)

事業名称		金額
歴史民俗資料館管理費		136,804
歴史民俗資料館事業費		38,890
内 訳	企 画 展	21,409
	通常展示・事業運営	2,651
	基礎事業 (資料収集・保存・調査・研究)	7,399
	教育普及	1,475
	広報活動	1,775
	旧大栃高校活用事業	118
	民活促進事業	310
	事業企画活動	3,753
合 計		175,694

●歴史民俗資料館事業費内訳

(単位：千円)

勘定項目	特別展1	企画展1	企画展2	企画展3	企画展計	事業運営 通常展示(含むミニ企画)・ 基礎事業 (資料収集・保存・調査・研究)	教育普及	広報活動	旧大栃高校活用事業	民活促進事業	事業企画活動	合計	
	59 4 驚異と怪異 日 月 日 29 日 6 月 26 日	52 7 絵馬つてなあに? 日 月 日 15 日 9 月 4 日	59 10 武吉孝夫写真展 日 月 日 7 日 12 月 4 日	70 1 なれきみんコレクション! 日 月 日 2 日 3 月 12 日									
賃金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
諸謝金支出	400	100	287	0	787	75	300	370	0	30	130	162	1,854
会議費支出	8	7	3	0	18	0	0	41	0	6	0	5	70
旅費支出	113	17	35	0	165	362	265	29	0	0	0	316	1,137
交際費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費支出	398	33	55	220	706	609	1,707	311	0	20	10	17	3,380
修繕費支出	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20
印刷製本費支出	1,219	330	1,307	600	3,456	368	264	248	801	0	0	0	5,137
水道光熱費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費支出	198	123	123	123	567	154	33	0	0	57	28	52	891
手数料支出	0	0	0	0	0	64	10	0	0	0	0	10	84
保険料支出	100	4	0	0	104	0	12	6	0	5	13	0	140
広告料支出	1,650	0	0	0	1,650	0	0	0	897	0	0	33	2,580
委託料支出	11,709	682	649	889	13,929	930	4,359	0	77	0	0	2,095	21,390
使用料及び賃借料支出	0	15	0	0	15	0	449	300	0	0	129	1,013	1,906
什器備品購入費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金支出	0	0	0	0	0	89	0	150	0	0	0	50	289
租税公課費支出	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12
合 計	15,807	1,311	2,459	1,832	21,409	2,651	7,399	1,475	1,775	118	310	3,753	38,890

5 運営協議会

高知県立歴史民俗資料館運営協議会は平成10年度に設置された。会議では館の運営に関する報告を行い、委員から調査研究の方向性や、教育普及のあり方、ボランティア活動など館の運営全般についてのご意見をいただいている。

本年度は、資料の収集方針や展示の方向性、収蔵資料のデータベース化などについて質疑が交わされた。収集方針や展示の方向性については、「博物館はセーブをかけられると確なものがない」、「専門の垣根を取り払った学際的な面白さを博物館は実現できる」といった意見があった。また、収蔵資料のデータベース化などの課題の実現にあたっては、「業務量が多いので見直しや人員確保が必要」などの意見があった。

委員は各学術分野の学識経験者、報道機関、学校長、館利用者で構成されており、下表のとおりである。

●高知県立歴史民俗資料館運営協議会委員 7名(50音順)

氏名	所属役職等
天野 弘幹	高知新聞社編集局 学芸部長 (マスコミ)
門脇由紀子	カルチャーサポーター (利用者)
佐藤 恵里	高知県立大学名誉教授 (近世演劇・民俗芸能) 【会長】
島内 祥夫	南国市立岡豊小学校校長 (教育普及)
常光 徹	国立歴史民俗博物館名誉教授 (民俗)
時枝 務	立正大学文学部教授 (考古・博物館) 【副会長】
矢木 伸欣	宿毛歴史館館長 (歴史)

(任期：令和4年8月1日～令和6年7月31日)

●令和4年度 運営協議会

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に留意しつつ、対面で開催した。

日時：令和5年3月10日 14:00～16:00

- 審議事項：1 令和3年度ご意見への令和4年度の取り組み
2 令和4年度事業報告
3 令和5年度事業計画について
4 その他

6 資料収集委員会

高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会は平成13年度に設置された。委員会では、当該年度における受贈・受託や購入等による受入資料に関する報告を行い、委員から収集資料に関する意見をいただいている。

●高知県立歴史民俗資料館資料収集委員 5名(50音順)

氏名	所属役職等
池田 宏	東京国立博物館名誉館員 (美術工芸)
神野 善治	武蔵野美術大学名誉教授 (民俗)
久保 智康	京都国立博物館名誉館員 叡山学院教授 (考古・美術工芸) 【副委員長】
津野 倫明	国立大学法人高知大学教授(古文書) 【委員長】
松島 朝秀	国立大学法人高知大学准教授 (保存科学)

(任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日)

●令和4年度 資料収集委員会

対面・オンラインを併用して開催した。

日時：令和5年3月22日 9時30分～12時30分

- 議題：I 令和4年度収集資料について (報告)
II 高知県立歴史民俗資料館収集方針・収蔵のあり方検討会について
III その他 意見交換

7 資料調査員

昭和62年度、当館の開館準備を援助する目的で設置され、開館後は各分野の資料調査の協力員として、さまざまな調査等を行っていただいている。

●高知県立歴史民俗資料館 資料調査員 37名(50音順)

調査員氏名	主な担当地域・分野
秋 山 香 江	(民俗資料)
朝 倉 千 代	(民俗資料)
池 田 十三生	四万十町
大 黒 久美子	(民俗資料)
岡 林 光 穂	(民俗資料)
尾 崎 誠 一	(民俗資料)
掛 水 一 公	仁淀川町
片 岡 剛	(歴史資料)
楠 瀬 慶 太	(歴史資料)
国 沢 朝 子	(民俗資料)
熊 田 光 男	津野町
香 崎 和 平	須崎市
後 藤 孝 一	(建造物)
小 林 和 香	安芸市
小 松 勝 記	(遍路資料)
芝 藤 敏 彦	(和 船)
田 岡 重 雄	いの町
高 橋 俊 和	(近・現代資料)
田 中 恵	香美市物部町
戸 田 猛 夫	(民俗資料)
豊 田 満 広	(歴史資料)
中 村 茂 生	(歴史資料)
中 脇 修 身	(建造物)
野々村 昭 美	(民俗資料)
野 本 亮	(歴史資料)
橋 本 雄 幸	馬路村
濱 田 眞 尚	(歴史資料・工芸)
堀 田 幸 生	芸西村
松 島 朝 秀	(保存科学)
松 本 孝	(民俗資料)
溝 渕 博 彦	(建造物)
港谷(原田)英祐	東洋町
宮 里 修	(考古資料)
目 良 裕 昭	(歴史資料)
矢 木 伸 欣	宿毛市
吉 岡 国 弘	(民俗資料)
吉 松 靖 峯	(歴史資料)

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

8 多目的ホールの利用

本年度は貸館や学校団体、DVD 視聴で 18 件の利用があった。うち、有料の貸館は、以下の 12 件 1,030 名の利用であった。

- ① 7 月 6 日 (水) 高知土壤医の会 総会・研修会 35 名
- ② 7 月 24 日 (日) 高知県史編さん民俗部会講演会 49 名
- ③ 8 月 1 日 (月) 南国 I.C. わくわくゾーン協議会
令和 5 年度検討会 11 名
- ④ 10 月 21 日 (金) ヤマト運輸 (株)
高知主管支店社内研修会 26 名
- ⑤ 10 月 25 日 (火) ~ 30 日 (日) ヤマト運輸 (株)
高知主管支店 定期健康診断 715 名
- ⑥ 11 月 2 日 (水) ~ 3 日 (木・祝)
琴古流尺八竹童社藤寿会高知支部
演奏会 47 名
- ⑦ 12 月 10 日 (土) 高知リハビリテーション専門職大学
意見交換会 24 名
- ⑧ 令和 5 年 1 月 11 日 (水) ヤマト運輸 (株)
高知主管支店 会議 28 名
- ⑨ 1 月 31 日 (火) ヤマト運輸 (株)
高知主管支店 会議 12 名
- ⑩ 2 月 22 日 (水) ヤマト運輸 (株)
高知主管支店 会議 35 名
- ⑪ 2 月 24 日 (金) 高知大学集中講義
「博物館経営論」 36 名
- ⑫ 3 月 14 日 (火) 高知県観光振興部
高知県観光博覧会の講座 12 名

9 岡豊山歴史公園の活用

気候の良い春秋に、『土佐のまほろばウォーク 2022 「いにしへの土佐のまほろば」』を 5 回開催し、岡豊山を起点として周辺史跡も含めた地域全体の歴史を伝える場とした。

さらに、岡豊城跡などの史跡見学やウォークを楽しむ方のために、「第 12 回岡豊山さくらまつり」、「第 13 回長宗我部フェス」、「れきみんのお正月」などで岡豊城跡ガイドを行った。

10 岡豊山歴史公園の管理

歴史公園の管理を 2 名~3 名で実施した。県内外の来園者があり、主に詰、二ノ段、三ノ段などと園路、館までの道路をブローによる清掃を行った。また、園内の草刈りと枯れ枝の伐採、大雨前後の排水溝の落葉や土砂撤去などを行うとともに、本年度は、台風の影響で倒木があり、この倒木処理と併せて立ち枯れた樹木の処理を実施した。

風雨による桜などの枝折れもみられた。6 月にツツジの剪定を、3 月に草刈りを、それぞれ岡豊山全体の半分範囲で行った。また、森と緑の会により桜の木の胴吹き枝の伐採を行った。

なお、歴史公園内水道の凍結防止作業として自作カ

バーや凍結防止用チューブでカバーを施している。

11 旧味元家住宅主屋の利用とメンテナンス

小学校等の団体利用が 4 件、囲炉裏の火焚きが 9 回、また、メンテナンスとして台風に備えてのワイヤー張りや、傾きの調査などを行った。

囲炉裏の火焚きは、茅屋根等の保存とともに利用の促進を目的として令和 2 年 12 月から月 1 回程度 (第 3 土曜日) 行っている。カルチャーサポーターの福井氏に火打ち石での火起こしの実演やレクチャー、同じく村田氏に薪割や火焚きなどの助力を得た。

詳細は下記のとおりである。

●利用

- 8 月 1 日 (月) 放課後デイサービス児童クラス 8 名
- 10 月 2 日 (日) 高知移植者友の会 9 名
- 10 月 28 日 (金) 泉野小 3 年生 90 名
- 11 月 4 日 (金) 後免野田小 6 年生 24 名

●囲炉裏の火焚き

- 5 月 21 日 (土) 囲炉裏の火焚き (6 名体験)
 - 6 月 18 日 (土) 囲炉裏の火焚き (13 名体験)
 - 7 月 16 日 (土) 囲炉裏の火焚き (体験参加無し)
 - 8 月 20 日 (土) 囲炉裏の火焚き (5 名体験)
 - 9 月 17 日 (土) 囲炉裏の火焚き (4 名体験)
 - 10 月 15 日 (土) 囲炉裏の火焚き (3 名体験)
 - 11 月 19 日 (土) 囲炉裏の火焚き (19 名体験)
- 令和 5 年

- 1 月 21 日 (土) 囲炉裏の火焚き (14 名体験)
- 2 月 18 日 (土) 囲炉裏の火焚き (8 名体験)

●メンテナンス

- 7 月 4 日 (月) 台風に備えワイヤーを張る
 - 9 月 5 日 (月) 台風に備えワイヤーを張る
 - 9 月 17 日 (土) 台風に備えワイヤーを張る
- 令和 5 年

- 2 月 27 日 (月) 資料調査員の溝渕博彦氏による民家の傾きの有無の調査及び雨戸修理

- 2 月 27 日 (月) 雨戸修理

●その他

- 4 月 3 日 (日) さくらまつり 民家茶屋で接待 350 名
- 11 月 19 日 (土) 長宗我部フェス ぜんざいのふるまい 95 名

12 修繕工事等

令和 4 年度高知県立歴史民俗資料館修繕工事等

- 歴史民俗資料館空調設備更新工事実施設計委託業務
業務番号：委第 4 - 25 号

履行期間：令和 4 年 5 月 11 日から令和 5 年 1 月 15 日

- 高知県立歴史民俗資料館収蔵庫改修工事

※収蔵庫予備室前棚設置

業務番号：工歴文第 4 - 16 号

履行期間：令和 4 年 10 月 21 日から令和 5 年 2 月 17 日

- 高知県立歴史民俗資料館ハロン消火設備制御盤等更新業務

業務番号：営歴文第4-18号

履行期間：令和4年12月13日から令和5年3月27日

○その他、修繕等

内 容	完了日
2階受付まわり照明増設 2ヶ所	7月28日
誘導灯取替工事	10月13日
体験学習室ガラスUVカットフィルム貼付	2月20日
独立エアタイトケース内装等改修	3月29日

13 防災及び危機管理体制

①危機管理体制

館職員と警備・環境管理業者とで自衛消防団を組織し、非常時に備えている。緊急時には夜間においても職員に連絡を取り、出勤する体制としている。

②防災訓練

毎年実施しており、本年度は10月13日（木）に南国市消防署立会の下、総合訓練を実施した。

③消防設備の点検

6月9日（木）、12月8日（木）に消防用設備の自主点検を実施し、不備の箇所については速やかに是正もしくは機器取り替えの手配を行った。

④その他

大雨、台風前後における排水溝などの清掃を行った。

14 新型コロナウイルス感染症への対応

令和4年度は業種別ガイドライン等に基づく感染対策を徹底したうえで通常通り開館した。

職員は出勤時に検温、手指の消毒を行い、館内の消毒を平日1回、休日や祝日は2回職員が実施した。

春の「岡豊山さくらまつり」、れきみんの日を含むゴールデンウィーク期間中に開催した「れきみんワンダーデイズ」、夏の「れきみん！サマーミュージアム」、秋開催の「長宗我部フェス」では、来館者に検温、消毒と連絡先記入をお願いし、オリジナルの検温済シールや検温確認済みテープを配布し身につけてもらう対応を行った。

15 利用者サービスの向上

各イベント時に受付を設置してインフォメーション機能を高めたほか、毎日の消毒等、新型コロナウイルス感染症対策を各種講じて来館者が安心して滞在できる環境づくりに努めた。

来館者アンケートを行い、要望等の情報を共有することによって迅速な対応を心がけた。

○利用者の意見の反映例

- ・展示資料のキャプションの文字を大きく見やすくした。
- ・小学生に分かりやすくするため、イラストを使った解説を入れた。
- ・館の挨拶文が光の加減で見えにくかったため、光の当て方を工夫した。
- ・平置き資料が見えにくかったため、資料を置く台に傾斜を付けた。

- ・バッグをかけるフックが設置されていなかった個室トイレにフックを設置した。

○その他サービス向上の取り組み

- ・「機関紙等の陳列コーナー」に照明が無く、雨天時暗かったため、LED照明を新設した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、毎日、手すりやソファ、ドアノブなどの消毒を行った。
- ・雨天時に滑りやすくなる公園内のスロープや階段などに注意喚起の掲示を追加するとともに、老朽化した掲示を新しいものと交換した。
- ・6月下旬～7月中旬にかけて行った公園内等の点検の際にスズメバチの巣作りを複数確認（公園内の東屋、屋外トイレ、館のベランダ）したが、大きい巣は業者に駆除を委託するとともに、小さいものは職員で駆除を行い、安全に公園内で楽しんでもらえるよう努めた。

●介助犬の同伴

平成15年10月1日より介助犬を同伴での入館が可能となっている。本年度は同伴の入館はなかった。

16 職員の研修等

①令和4年度公開承認施設担当者会議

実施日：6月15日（水）

開催方法：Zoomを使用したオンライン形式

視聴場所：当館会議室

参加職員：中村真一、林香、曾我満子、那須望

②令和4年度国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会

実施日：6月16日（木）

開催方法：Zoomを使用したオンライン形式

視聴場所：当館会議室

参加職員：中村真一、林香、曾我満子、那須望

③令和4年度バリアフリー観光スキルアップ研修会 vol.2

実施日：令和5年2月16日（木）

開催方法：Zoomを使用したオンライン形式

視聴場所：当館会議室

参加職員：式地沙耶香

17 日録抄等

令和4年

（3月19日（土））～4月10日（日）

前田博史写真展「さくらはくら2022」

4月3日（日）第12回岡豊山さくらまつり

4月20日（水）～28日（木）

長宗我部展示室のみ開室

4月24日（日）土佐のまほろばウォーク①（雨天の為中止）

4月29日（金・祝）～6月26日（日）

特別展「驚異と怪異 - 世界の幻獣と霊獣たち -」

4月29日（金・祝）驚異と怪異展 オープニングトーク「ようこそ！世界不思議ミュージ

- アムへ」
- 4月29日(金・祝)、30日(土)、5月3日(火・祝)、
4日(水・祝)、7日(土)、8日(日) れきみんワ
ンダーデイズ
- 5月3日(火・祝) れきみんの日(観覧無料)
れきみんワンダーデイズ 公演 獅子舞
ミュージアムトーク
- 5月8日(日) 驚異と怪異展 関連講座
「土佐幻獣セミナー-地の章-」
- 5月17日(火) 土佐のまほろばウォーク②
- 5月21日(土) 囲炉裏の火焚き
- 5月22日(日) 驚異と怪異展 講演会
「幻獣・霊獣・怪獣-人はなぜモン
スターを想像するのか?-」
- 5月29日(日) ミュージアムトーク
ワクワクワーク
「コラージュで自分だけの生きもの
をつくろう!」(子ども向け)
- 6月4日(土) 驚異と怪異展 関連講座
「土佐幻獣セミナー-水の章-」
- 6月5日(日) 桜並木剪定作業(森と緑の会)
- 6月9日(木) 消防設備自主点検
- 6月18日(土) ミュージアムトーク
囲炉裏の火焚き
- 6月19日(日) 驚異と怪異展 対談
「奇界/世界/想像界-山中由里子
×佐藤健寿 クロストーク-」
- 6月25日(土) 驚異と怪異展 関連講座
「土佐幻獣セミナー-天の章-」
- 6月26日(日) ミュージアムトーク
ワクワクワーク
「コラージュで自分だけの生きもの
をつくろう!」(大人向け)
- 6月27日(月)~7月2日(土)
展示替の為臨時休館
- 7月3日(日)~7日(木)
長宗我部室のみ開室
- 7月8日(金)~9月11日(日)
コーナー展「異界遺産」
- 7月15日(金)~9月4日(日)
企画展「絵馬ってなあに?」
- 7月16日(土) 囲炉裏の火焚き
- 7月18日(月・祝) 絵馬展 関連講座
「描かれた願い・暮らし
-絵馬の絵を読み解く-」
- 7月24日(日) 高知県史編さん 民俗講演会
「もし妖怪に出合ったら」
「土佐の漁労と民俗」
- 7月27日(水) れきみん!サマーミュージアム2022①
- 7月31日(日) 絵馬展 関連講座
「馬から絵馬へ-絵馬の歴史を考える-」
- 8月1日(月)~31日(水) 教えて!学芸員
- 8月6日(土) 絵馬展 関連講座
「絵師たちの絵馬-絵馬の描き手を追う-」
- 8月7日(日) ミュージアムトーク
- 8月12日(金) れきみん!サマーミュージアム2022②
ワクワクワーク「絵馬を作ろう」
- 8月14日(日) ミュージアムトーク
- 8月20日(土) 囲炉裏の火焚き
- 8月22日(月)~29日(月)(26日休み) 博物館実
習生受入
- 8月24日(水) 県歴史文化財課インターンシップ受入れ
- 8月27日(土) れきみん!サマーミュージアム2022③
ワクワクワーク
「いろいろな絵の具を知ろう!」
ミュージアムトーク
- 9月10日(土)・11日(日) 若武者もとちかくん出演
(第7回ご当地キャラまつり in 須崎)
- 9月17日(土) 囲炉裏の火焚き
- 9月18日(日)・19(月・祝) 台風接近の為休館
- 10月7日(金)~12月4日(日)
企画展「武吉孝夫写真展-高知県
の山村を歩く-」
- 10月13日(木) 総合消防訓練
- 10月15日(土) 囲炉裏の火焚き
- 10月22日(土) ミュージアムトーク
- 10月23日(日) 武吉孝夫写真展 対談「写紙の方法論」
- 10月25日(火) おもてなし一斉清掃
- 10月26日(水)~11月28日(月)
コーナー展「大坂の陣後の長宗我部
氏/長宗我部氏にまつわる武具」
- 10月27日(木) 土佐のまほろばウォーク③
- 11月5日(土)・6日(日)
第10回旧大栃高校民俗資料一般公開
- 11月12日(土) ミュージアムトーク
大野川合戦祭り(大分)
- 11月13日(日) ものべがわフェスタ
- 11月18日(金)~令和5年1月22日(日)
第17回岡豊山フォトコンテスト作
品展示
- 11月19日(土) 第13回長宗我部フェス
ミュージアムトーク
囲炉裏の火焚き
- 11月20日(日) ミュージアムトーク
長宗我部フェス in 浦戸(県立坂本
龍馬記念館)
- 11月23日(水・祝) 第13回長宗我部フェス関連講座
「長宗我部氏と山内氏-長宗我部氏
は「タブー視」されたのか?-」
- 11月26日(土) 武吉孝夫写真展 講演会
「本づくりの実際(変わりゆく山村)」
- 11月27日(日) 土佐のまほろばウォーク④
- 12月8日(木) 岡豊山花植え/消防設備自主点検
- 12月13日(火) 北陵中希望が丘分校ボランティア清掃

- 12月16日(金)～令和5年1月29日(日)
 コーナー展「干支の玩具 卯」
- 12月17日(土)・18日(日) ワクワクワーク
 「土佐和紙漆喰張り子 うさぎの絵付け」
 (17日午前：カルサポ研修)
- 12月27日(火)～令和5年1月1日(日・祝)
 年末年始休館

令和5年

- 1月2日(月・振休)・3日(火) れきみんなのお正月
- 1月2日(月・振休)～3月12日(日) 企画展
 「れきみんなコレクション！なんでも
 ランキング」
- 1月2日(月・振休) ミュージアムトーク
- 1月3日(火) れきみんなのお正月 公演
 琴と尺八の公演「地唄・箏曲で奏で
 る新春の調べ」

ミュージアムトーク

- 1月13日(金)～3月5日(日)
 コーナー展「昔のくらしの道具」
- 1月20日(金) ボランティア清掃(南国市地域包括
 支援センター)
- 1月21日(土) ミュージアムトーク
 囲炉裏の火焚き
- 1月22日(日) 第17回岡豊山フォトコンテスト表
 彰式
- 1月29日(日) 土佐のまほろばウォーク特別編
- 2月4日(土) ミュージアムトーク
- 2月18日(土) 囲炉裏の火焚き
- 2月19日(日) ミニ講座とワクワクワーク「龍馬像
 を作ろう」
- 3月4日(土) ミュージアムトーク
- 3月10日(金) 運営協議会
- 3月15日(水) 伝長宗我部一族の墓掃除
- 3月16日(木) 土佐のまほろばウォーク⑤
- 3月21日(火・祝)～(4月9日(日))
 「前田博史の天然写真展2023 還る
 ところ。」
- 3月22日(水) 資料収集委員会

Ⅷ 観覧者統計

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数（連合の小中学校を含む）、2 高齢者団体の入館者数（月別）、3 病院、デイ・サービス等の入館者数（月別）、4 一般団体等の入館者数（月別）、5 各年度入館者等、6 令和4年度入館者実績、7 各年度別企画展等の観覧者数、8 常設（通常）展と企画展開催中の入館者数比較表、9 各年度別企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等の一覧、10 各年度別館外展示・写真展・1階エントランスのフリースペース・休息室ミニギャラリー展の一覧を表示したものである。

1 小・中・義務教育・高等学校等の入館校数（連合の小中学校を含む）（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(校)
小学校	0	4	2	0	0	1	7	4	0	1	0	3	22
中学校	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
義務教育学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専修学校・大学等	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4
合計(校)	0	5	4	0	0	3	7	4	2	1	1	3	30
合計(人)	0	313	140	0	0	84	245	74	37	14	36	289	1,232

2 高齢者団体の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	1	7
人数	20	0	0	9	0	0	0	15	32	0	24	15	115

※病院、デイ・サービス以外の高齢者団体（団体に有料入館者が含まれていた場合でも過半数が高齢者の場合は高齢者団体とした。）

3 病院、デイ・サービス等の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	6
人数	0	0	0	9	8	0	12	16	0	0	4	24	73

4 一般団体等の入館者数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	7
観光業者数	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	7
合計(人)	105	0	31	26	0	18	41	24	0	14	0	57	316

5 各年度入館者等

年度	大人 (人)	中高生 (人)	小学生 (人)	乳幼児 (人)	身障者・長寿者・ 介護者等 (人)	入館者 合計 (人)	入館料 (円)	図録等 販売高 (円)	合計 (円)
平成 3	37,701	3,587	10,645		10,863	62,796	15,775,102	1,416,290	17,191,392
平成 4	18,212	1,977	7,590		4,899	32,678	7,433,354	1,603,450	9,036,804
平成 5	19,075	2,464	6,793		6,752	35,084	7,653,512	1,081,660	8,735,172
平成 6	19,350	1,949	7,012		7,184	35,495	7,607,292	2,644,580	10,251,872
平成 7	16,587	1,797	6,724	1,049	7,373	33,530	6,501,256	1,295,050	7,796,306
平成 8	34,480	2,549	7,875	1,318	12,822	59,044	21,675,374	10,243,953	31,919,327
平成 9	10,788	1,137	5,264	468	5,460	23,117	4,166,488	3,088,429	7,254,917
平成 10	16,181	1,819	8,258	1,256	8,563	36,077	9,727,412	2,452,119	12,179,531
平成 11	8,645	974	4,311	504	4,539	18,973	3,327,288	2,233,719	5,561,007
平成 12	7,605	651	4,584	395	4,594	17,829	3,291,192	1,951,876	5,243,068
平成 13	10,820	720	3,531	708	7,035	22,814	5,064,297	2,210,581	7,274,878
平成 14	7,205	668	3,595	519	5,868	17,855	3,103,218	1,368,937	4,472,155
平成 15	16,613	1,641	6,589	1,771	5,938	32,552	8,981,640	3,428,583	12,410,223
平成 16	7,388	725	3,133	422	4,656	16,324	3,927,805	2,079,472	6,007,277
平成 17	7,497	604	3,848	534	5,457	17,940	3,238,317	1,506,715	4,745,032
平成 18	9,396 (8,345)	707	2,975 (3,390)	380	7,177	20,635 (11,735)	4,019,769	1,431,850	5,451,619
平成 19	13,625	1,097	5,176	1,188	10,393	31,479	5,976,704	1,008,450	6,985,154
平成 20	8,290	1,057	3,969	462	8,634	22,412	3,897,032	2,148,250	6,045,282
平成 21	8,499	877	3,369	778	9,652	23,175	4,077,280	847,665	4,924,945
平成 22	40,868	2,513	7,405	1,670	17,779	70,235	28,209,071	1,473,810	29,682,881
平成 23	13,586	1,155	4,277	981	13,247	33,246	6,139,244	532,750	6,671,994
平成 24	8,808	872	2,741	482	10,506	23,409	4,089,930	825,510	4,915,440
平成 25	9,290	865	2,877	491	11,671	25,194	4,033,831	423,650	4,457,481
平成 26	9,915 (6,643)	702 (151)	2,852 (207)	393 (125)	9,939 (6,446)	23,801 (13,572)	4,358,606 (7,526,260)	1,518,400 (1,335,600)	5,877,006 (8,861,860)
平成 27	12,452	850	3,827	729	11,131	28,989	5,666,701	905,050	6,571,751
平成 28	9,552	630	3,123	433	9,987	23,725	4,346,756	1,086,200	5,432,956
平成 29	12,865	841	2,609	533	17,650	34,498	8,472,670	2,096,400	10,569,070
平成 30	8,667	845	2,354	458	11,460	23,784	3,831,120	556,050	4,387,170
令和元 (平成 31)	10,367	814	2,621	567	14,953	29,322	4,908,709	1,068,300	5,977,009
令和 2	2,013	80	306	116	2,849	5,364	1,037,340	433,450	1,470,790
令和 3	6,570	513	1,868	321	8,424	17,696	3,000,536	1,415,650	4,416,186
令和 4	12,937	591	2,849	987	10,400	27,764	7,626,345	1,121,700	8,748,045
合計	435,847	38,271	144,950	19,913	287,855	926,836	215,165,191	57,498,549	272,663,740

※18年度の（）は特別企画「伊能大図展（於：くろしおアリーナ）」実績、26年度の（）は「四国霊場開創1200年記念4県連携事業 空海の足音 四国へんろ展（於：高知県立美術館）」実績で両展とも企画・運営は当館。合計には含まない。

7 各年度別 企画展等の観覧者数 (平成3～令和4年度) ※は特別料金 (記載の無いものは常設展込)

年度	企画展名	会期 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
平成3 (1991)	第一回寺田寅彦展 —内なる世界の具現—	H3.5.3～7.14 (63日) ※500円 (常設展別)	3,048
	歴史と美術 —土佐名品展—	H3.9.14～10.20 (32日)	7,861
	近世 土佐文人画展	H3.11.1～12.15 (39日)	7,903
	土佐を掘る —第一回発掘された遺跡展—	H4.1.18～3.15 (50日)	5,790
平成4 (1992)	仮面の神々 —土佐の民俗仮面展—	H4.4.29～5.31 (29日)	5,110
	第二回寺田寅彦展	H4.7.18～8.30 (38日)	4,136
	鯨の郷・土佐 —くじらをめぐる文化史—	H4.10.10～11.15 (32日)	5,905
	土佐の戦国時代を掘る	H5.1.15～3.21 (57日)	5,297
平成5 (1993)	土佐古絵図展 —描かれた土佐の歴史—	H5.4.29～5.30 (28日)	5,410
	山内家のよろいとかぶと	H5.7.24～8.29 (32日)	5,219
	土佐の肖像画	H5.10.30～11.23 (21日)	3,613
	土佐の古墳を掘る —特別企画新発見の銅剣—	H6.1.22～3.27 (56日)	5,368
平成6 (1994)	坂本龍馬 - 里帰り展 -	H6.4.29～6.5 (33日)	10,166
	翁・尉・男・女・霊・鬼 —土佐・能面の展開—	H6.7.30～9.4 (32日)	4,012
	四国の戦国群像 —元親の時代—	H6.10.15～11.23 (34日)	7,739
	土佐維新の書	H7.2.11～3.26 (38日)	2,893
平成7 (1995)	おもちゃ —遊びのかたち—	H7.4.28～6.11 (39日)	6,437
	死と再生の文化	H7.7.14～9.17 (57日)	5,924
	土佐歴史と刀剣	H7.10.20～11.26 (33日)	7,040
	土佐藩主 山内家の名宝 I	H8.2.9～3.20 (35日)	5,778
平成8 (1996)	土佐藩主 山内家の名宝 II	H8.4.19～5.19 (28日)	7,002
	土佐を掘る '94-'95	H8.8.2～9.8 (33日)	3,768
	特別巡回展 新発見考古速報展 '96 —発掘された日本列島—	H8.9.15～10.6 (19日) ※600円	7,358
	半蔵浪漫紀行 からくり 200年	H8.11.19～11.24 (6日)	2,391
	開館5周年記念巡回展 秀吉と桃山文化 —大阪城天守閣名品展—	H8.12.3～1.26 (41日) ※800円	26,691
平成9 (1997)	土佐神社の名宝	H9.4.4～6.1 (51日)	4,575
	四万十川 —漁の民俗誌—	H9.7.18～9.23 (57日)	4,437
	いざなぎ流の宇宙 —神と人の物語—	H9.11.14～1.25 (56日)	4,716
	歴史と美術 —維新の群像— (前期)	H10.3.20～4.19 (10日) (開催日数・観覧者数は3月31日まで)	996
平成10 (1998)	歴史と美術 —維新の群像— (前期)	H10.3.20～4.19 (17日) (開催日数・観覧者数は4月1日から)	1,227
	歴史と美術 —維新の群像— (後期)	H10.4.26～5.31 (27日)	2,636
	特別展 からくり —夢と科学の世界—細川半蔵とその時代—	H10.7.17～9.23 (56日) ※700円	20,862
	昔のくらしと道具 —大津民具館の資料から—	H10.10.30～1.17 (63日)	4,101
	土佐・郷土史の父 寺石正路の足跡	H11.2.11～3.28 (40日)	2,362
平成11 (1999)	田辺寿男の民俗写真 —ぼくの村は山をおりた—	H11.4.23～6.27 (57日)	5,221
	土佐藩主の装い	H11.8.6～9.19 (39日)	3,064
	道具が語る食の文化	H11.10.8～12.5 (51日)	5,658
	記された歴史のメッセージ —収蔵品を中心として—	H12.3.17～5.21 (13日) (開催日数・観覧者数は3月31日まで)	951
平成12 (2000)	記された歴史のメッセージ —収蔵品を中心として—	H12.3.17～5.21 (44日) (開催日数・観覧者数は4月1日から)	2,964
	近世土佐の砲術史 —徳弘孝蔵とその時代—	H12.7.20～9.3 (40日)	3,272
	おばあちゃんの見た山村の80年 —物部村岡ノ内の民具生活誌—	H12.10.13～13.2.18 (104日)	7,684
	開館10周年関連企画展 居徳遺跡	H13.3.16～5.13 (14日) (開催日数・観覧者数は3月31日まで)	675

年度	企画展名	会期(休館日を除く開館日数)	観覧者数
平成 13 (2001)	開館 10 周年関連企画展 居徳遺跡	H13.3.16 ~ 5.13 (37 日) (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	2,924
	開館 10 周年記念特別展 土佐・2000 年—21 世紀へ伝える文化遺産—	H13.8.3 ~ 9.16 (39 日) ※ 600 円	4,567
	山内一豊入国 400 年共同企画 長宗我部元親・盛親の栄光と挫折	H13.10.19 ~ 12.16 (51 日)	5,676
	開館 10 周年関連企画展 ふるさと土佐のおもちゃとおひなさま	H14.2.2 ~ 4.7 (50 日) (開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	6,563
平成 14 (2002)	開館 10 周年関連企画展 ふるさと土佐のおもちゃとおひなさま	H14.2.2 ~ 4.7 (6 日) (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	555
	金太郎さんと土佐のおもちゃ ハッケヨイ! 郷土玩具	H14.4.26 ~ 6.30 (57 日)	5,153
	歴史と美術	H14.10.4 ~ 12.1 (51 日)	3,618
	おばやんの知恵袋	H15.1.17 ~ 5.25 (63 日) (開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	3,877
平成 15 (2003)	おばやんの知恵袋	H15.1.17 ~ 5.25 (48 日) (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	3,702
	特別展 あの世・妖怪・陰陽師 —異界万華鏡—	H15.7.19 ~ 8.31 (38 日) ※ 600 円	21,270
	石の仏 —土佐の石造美術 I—	H16.3.5 ~ 5.23 (23 日) (開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	1,555
平成 16 (2004)	石の仏 —土佐の石造美術 I—	H16.3.5 ~ 5.23 (46 日) (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	3,228
	特別展 土佐国分寺 四国八十八ヶ所霊場①	H16.10.1 ~ 11.7 (33 日) ※ 600 円	4,484
	特別展 発掘された日本列島 2004	H16.12.4 ~ H17.1.10 (27 日) ※ 700 円	3,180
	土佐を掘る 1	H17.1.16 ~ 1.30 (13 日)	375
	土佐を掘る 2	H17.3.4 ~ 5.15 (23 日) (開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	703
平成 17 (2005)	土佐を掘る 2	H17.3.4 ~ 5.15 (39 日) (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	2,830
	鬼	H17.7.30 ~ 10.10 (63 日)	5,476
	新収蔵古絵図展~描かれた土佐の浦々~	H17.11.26 ~ H18.2.26 (73 日)	4,546
平成 18 (2006)	いのちの河・くらしの川 —田辺寿男の民俗写真 2—	H18.4.29 ~ 6.11 (44 日)	3,060
	開館 15 周年関連企画展 土佐の歴史玉手箱 —歴史 15 年の歩み展—	H18.7.22 ~ 9.24 (65 日)	2,898
	開館 15 周年関連企画展 長宗我部盛親 —土佐武士の名誉と意地—	H18.10.7 ~ 11.26 (51 日)	9,274
	土佐古絵図の世界	H19.2.24 ~ 3.11 (16 日)	603
	特別企画 (イベント) 伊能大図フロア展 in くろしおアリーナ	H19.3.1 ~ 3.4 (4 日)	11,735 ※当館入館者数には含まない
平成 19 (2007)	竹 パンパー・スタイル —高知 タケとひとのくらし—	H19.4.21 ~ 6.10 (51 日)	7,289
	特別展 3 館合同企画 暗殺 140 年! —時代が求めた“命”か? —坂本龍馬・中岡慎太郎展—	H19.7.28 ~ 8.28 (32 日) ※ 500 円	5,716
	土佐発掘物語 —土佐の発掘史—	H19.10.6 ~ 11.25 (51 日)	3,223
	なつかしのおもちゃ —高橋俊和さんのコレクション—	H20.1.2 ~ 3.9 (68 日)	10,300
平成 20 (2008)	鯉 —カツオと土佐人—	H20.4.12 ~ 6.8 (58 日) ※ 500 円	5,136
	土佐発掘物語 II —謎! 弥生時代の青銅器 発見と発掘—	H20.7.18 ~ 8.31 (45 日) ※ 500 円	3,087
	絵葉書のなかの土佐 —移ろいゆく時代の記憶—	H20.9.26 ~ 11.24 (60 日) ※ 500 円	4,825
	昔のくらし博物館 —失われゆく衣食住の民具—	H20.12.19 ~ H21.3.1 (68 日) ※ 500 円	5,055
平成 21 (2009)	特別展 兜 —もののふの美意識—	H21.4.24 ~ 6.21 (59 日) ※ 500 円	8,237
	復元! からくりの世界	H21.8.1 ~ 8.31 (31 日) ※ 500 円	4,730
	特別展 発掘された日本列島 2009	H21.10.3 ~ 11.9 (38 日) ※ 500 円	4,894
平成 22 (2010)	土佐勤王党盟主 武市半平太の手紙 —拝啓おとみ殿—	H22.4.24 ~ 6.20 (58 日) ※ 500 円	10,556
	2010 年 NHK 大河ドラマ特別展 龍馬伝	H22.7.31 ~ 8.31 (32 日) ※ 1,000 円 (65 歳以上 500 円)	35,648
	幕末維新土佐庶民生活誌	H22.10.8 ~ 11.23 (57 日) ※ 500 円	5,363
	昔のおもちゃ博物館~山崎茂さんの全国郷土玩具行脚~	H23.1.2 ~ 3.6 (64 日) ※ 500 円	6,076
	勤王志士たちの遺墨・遺品展	H23.3.5 ~ 6.26 (27 日) ※ 500 円 (開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	2,593
平成 23 (2011)	勤王志士たちの遺墨・遺品展	H23.3.5 ~ 6.26 (87 日) ※ 500 円 (開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	8,290
	特別展 おもちゃと模型のワンダーランド展	H23.7.8 ~ 8.31 (55 日) ※ 500 円	7,738
	土佐を掘る 田辺寿男の民俗写真 3	H23.9.10 ~ 12.18 (100 日) ※ 500 円	7,171
	特別展 発掘された日本列島 2011	H24.1.2 ~ 2.14 (44 日) ※ 500 円	3,273

年度	企画展名	会期(休館日を除く開館日数)	観覧者数	
平成 24 (2012)	蔵のなかの民具たち	H24.4.28 ~ 6.10 (44 日)	※ 500 円 5,219	
	船のおもちゃ図鑑 —山崎茂さんの郷土玩具から—	H24.7.20 ~ 9.2 (45 日)	※ 500 円 4,320	
	高知・岡山文化交流事業Ⅰ 特別展 刀 武士(ものゝふ)の魂 —備前の名刀と土佐ゆかりの刀剣—	H24.10.6 ~ 12.23 (79 日)	※ 500 円 9,071	
平成 25 (2013)	命の碑 —土佐の地震・津波碑—	H25.4.27 ~ 6.30 (65 日)	※ 500 円 6,611	
	江戸時代の南国 —地域資料にみる人々のくらし—	H25.7.27 ~ 9.1 (37 日)	※ 500 円 3,393	
	高知・岡山文化交流事業Ⅱ 特別展 備前焼 —薪と炎が織りなす土の美—	H25.10.19 ~ 12.8 (51 日)	※ 500 円 4,099	
	おもちゃの牧場 —千支の馬—	H26.1.2 ~ 3.9 (67 日)	※ 500 円 4,039	
平成 26 (2014)	椿姫の里・三原 —四国西南端の村の伝説と民俗—	H26.4.26 ~ 6.15 (51 日)	※ 510 円 5,784	
	マンダラ —チベット・ネパールの仏たち—	H26.6.28 ~ 7.31 (34 日)	※ 510 円 3,146	
	四国霊場開創 1200 年記念 空海の足音 四国へんろ展 高知編 (会場: 高知県立美術館、企画・運営: 高知県立歴史民俗資料館)	H26.8.23 ~ 9.23 (32 日)	※ 1,200 円 (前売 1,000 円・団体 960 円)、大学生 800 円(前売 700 円・団体 640 円)	13,572 ※当館入館者数 には含めない。
	高知・岡山文化交流事業Ⅲ 特別展 長宗我部氏と宇喜多氏 —天下人に翻弄された戦国大名—	H26.10.11 ~ 12.7 (58 日)	※ 510 円 4,361	
	田辺寿男の民俗写真 4 —たましいの四季—	H27.1.2 ~ 3.22 (80 日)	※ 510 円 3,666	
	前田博史天然写真展 太洋	H27.3.28 ~ 4.19 (4 日)(開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	※ 510 円 524	
平成 27 (2015)	前田博史天然写真展 太洋	H27.3.28 ~ 4.19 (19 日)(開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	※ 510 円 1,752	
	大坂夏の陣 400 年 長宗我部遺臣それぞれの選択	H27.4.29 ~ 6.21 (54 日)	※ 510 円 6,388	
	小さいもの見つけた! —海洋堂のニッポン・ミニチュアカタログ—	H27.7.17 ~ 9.6 (52 日)	※ 510 円 8,687	
	里帰り! 土佐の出土品 —東京国立博物館所蔵品から—	H27.10.9 ~ 12.6 (59 日)	※ 510 円 3,796	
	おさるの楽園	H28.1.2 ~ 3.21 (80 日)	※ 510 円 4,863	
平成 28 (2016)	いざなぎ流の里・物部 —神々と精霊の棲むムラ—	H28.4.29 ~ 6.26 (59 日)	※ 510 円 6,515	
	前田博史天然写真展 樞史	H28.7.15 ~ 9.19 (67 日)	※ 510 円 5,832	
	特別展 発掘された日本列島 新発見考古速報 2016	H28.11.12 ~ 12.18 (37 日)	※ 510 円 2,223	
	幕末の土佐 —書跡にみる人物群像—	H29.1.29 ~ 5.10 (62 日)(開催日数・観覧者数は 3 月 31 日まで)	※ 510 円 3,818	
平成 29 (2017)	幕末の土佐 —書跡にみる人物群像—	H29.1.29 ~ 5.10 (40 日)(開催日数・観覧者数は 4 月 1 日から)	※ 510 円 4,383	
	志士幕末を駆ける —半平太らの遺したもの—	H29.5.27 ~ 7.2 (37 日)	※ 510 円 2,200	
	大政奉還を「象」った男 後藤象二郎	H29.7.15 ~ 9.18 (65 日) ※ 8 月 7 日(金)は台風のため臨時休館	※ 510 円 5,737	
	特別展 今を生きる禅文化 —伝播から維新を越えて—	H29.10.14 ~ 11.26 (44 日) ※ 1,200 円(前売り 1,000 円、団体 960 円)	11,564	
	堺事件 —150 年の時を経て—	H30.1.20 ~ 3.25 (65 日)	※ 510 円 5,150	
平成 30 (2018)	安政地震、幕末を揺るがす —土佐・阿波の地震・津波碑が語るもの—	H 30.4.28 ~ 7.1 (65 日)	※ 510 円 4,815	
	絵金を継ぐものたち —当館所蔵初公開作品を中心に—	H 30.7.14 ~ 9.17 (65 日) ※ 9 月 4 日(火)は台風のため臨時休館	※ 510 円 4,737	
	維新が変えた庶民のくらし —絵馬や民具から読み解く高知の近代—	H 30.10.6 ~ 12.9 (65 日)	※ 510 円 4,209	
	郷土玩具にみる明治のおもかげ	H 31.1.2 ~ 3.24 (82 日)	※ 510 円 4,995	
平成 31 令和元 (2019)	土佐・木の民具ものがたり	H 31.4.26 ~ R1.6.30 (66 日)	※ 510 円 5,098	
	昭和から平成へ —くらしのうつりかわり—	R1.7.19 ~ 9.16 (59 日) ※ 8 月 15 日(木)は台風のため臨時休館	※ 510 円 8,776	
	開創 700 年記念 吸江寺	R1.10.4 ~ 12.1 (59 日)	※ 700 円 4,058	
	遠流の地 土佐	R2.1.10 ~ 3.5(56 日) ※ 3 月 6 日(金) ~ 8 日(日)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館	※ 520 円 4,277	
令和 2 (2020)	補陀洛東門開く 蹉跎山金剛福寺	R2.5.11 ~ 7.19 (69 日) ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期変更	※ 700 円 2,404	
令和 3 (2021)	開館 30 周年記念企画展 わたしたちの 30 年 歴民の歩みと平成の土佐	R3.4.29 ~ 6.27 (60 日)	※ 520 円 4,414	
	開館 30 周年記念企画展 土佐人山本忠興と近代オリンピック	R3.7.16 ~ 9.5 (52 日)	※ 520 円 2,378	
	開館 30 周年記念企画展 田辺寿男の民俗写真 5 -春夏秋冬 としの祭り-	R3.10.8 ~ 12.5 (59 日)	※ 520 円 3,525	
	開館 30 周年記念企画展 長宗我部氏とその時代 —一次史料がむぎだす、その実像—	R4.1.14 ~ 3.21 (67 日)	※ 520 円 3,713	
令和 4 (2022)	特別展 驚異と怪異 —世界の幻獣と霊獣たち—	R4.4.29 ~ 6.26 (59 日)	※ 800 円 12,665	
	絵馬ってなあに?	R4.7.15 ~ 9.4 (52 日)	※ 520 円 2,914	
	武吉孝夫写真展 —高知県の山村を歩く—	R4.10.7 ~ 12.4 (59 日)	※ 520 円 3,565	
	れきみんコレクション! なんでもランキング	R5.1.2 ~ 3.12 (70 日)	※ 520 円 3,123	

8 常設(通常)展と企画展開催中の入館者数比較表

年 度	全入館者数 (開館日数)		1日平均 入館者数 (人)	企画展入館者数 (開館日数)		1日平均 入館者数 (人)	年間入館者数に おける企画展 入館者の割合 (%)	常設(通常)展示 のみ開催時 の入館者数 (人)	備 考
	人数	日数		人数	日数				
平成 3	62,796	279	225	24,602	184	134	39	38,194	開館年度
平成 4	32,678	307	106	20,448	156	131	63	12,230	
平成 5	35,084	305	115	19,610	137	143	56	15,474	
平成 6	35,495	306	116	24,810	137	181	70	10,685	
平成 7	33,530	304	110	25,179	164	154	75	8,351	
平成 8	59,044	284	208	47,210	127	372	80	11,834	特別展 2 回開催
平成 9	23,117	299	77	14,724	174	85	64	8,393	
平成 10	36,077	287	126	31,188	203	154	86	4,889	特別展 1 回開催
平成 11	18,973	300	63	14,894	160	93	79	4,079	
平成 12	17,829	300	59	14,595	202	72	82	3,234	
平成 13	22,814	287	79	19,730	177	111	86	3,084	特別展 1 回開催
平成 14	17,855	303	59	13,203	204	65	74	4,652	企画展 3 回
平成 15	32,552	290	112	26,527	109	243	81	6,025	特別展 1 回開催
平成 16	16,324	291	56	11,970	142	84	73	4,354	特別展 2 回開催
平成 17	17,940	299	60	12,852	175	73	72	5,088	企画展 3 回
平成 18	20,635	354	58	15,835	176	90	77	4,800	
平成 19	31,479	348	90	27,974	214	131	89	3,505	特別展 1 回開催
平成 20	22,412	356	63	19,482	233	84	87	2,930	特別展 2 回開催
平成 21	23,175	207	112	21,040	151	139	91	2,135	特別展 2 回開催
平成 22	70,235	338	208	60,236	278	217	86	9,999	常設展リニューアル、龍馬伝
平成 23	33,246	352	94	30,272	327	93	91	2,974	特別展 2 回開催
平成 24	23,409	267	88	22,199	191	116	94	1,210	特別展 1 回開催
平成 25	25,194	357	71	19,747	234	84	78	5,447	特別展 1 回開催
平成 26	23,801	358	66	17,481	227	77	73	6,320	へんろ展含まず
平成 27	28,989	358	81	25,486	264	97	88	3,503	
平成 28	23,725	347	68	18,388	225	82	78	5,337	特別展 1 回開催
平成 29	34,498	342	101	29,034	251	116	84	5,464	特別展 1 回開催
平成 30	23,784	356	67	18,756	277	68	79	5,028	
令和元(平成31)	29,322	341	86	22,209	240	93	76	7,113	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 臨時休館(3/6~22)
令和 2	5,364	127	42	2,404	69	35	45	2,960	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 臨時休館(4/10~5/10) ※吊り天井改修工事のため長期休館(9/7~4/28)
令和 3	17,696	324	55	14,030	238	59	79	3,666	※吊り天井改修工事のため 4月28日まで休館
令和 4	27,764	351	79	22,267	240	93	80	5,497	特別展 1 回開催
合 計	926,836	9,924	94	708,382	6,286	113	76	218,454	

9 各年度別 企画コーナー・テーマ展示・コーナー展等 (平成 4 ~ 令和 4 年度)

年 度	展 示 名 ※平成 3 年度は未実施	期 間
平成 4 (1992)	土佐の藩札	H 4. 4. 1 ~ 7. 4
	蓑	H 4. 4. 1 ~ 12. 27
	土佐の考古学の先駆者 I 一松浦佐用彦・寺石正路一	H 4. 7. 24 ~ 8. 30
	豪農と民権	H 4. 9. 1 ~ H 5. 2. 28
	桶	H 5. 3. 1 ~ 3. 31
平成 5 (1993)	桶	H 5. 4. 1 ~ 11. 4
	受贈資料紹介 佐川郷土 堀見家の刀	H 5. 4. 15 ~ 7. 30
	土佐考古学発掘史 一縄文時代 1 ~ 城ノ台洞穴遺跡・不動ヶ岩屋洞穴遺跡~	H 5. 7. 31 ~ 9. 31
	船大工の道具箱	H 5. 11. 6 ~ H 6. 4. 14
	堺事件	H 5. 12. 9 ~ H 6. 3. 31
	さいわいさん~土佐の年中行事より~	H 6. 1. 6 ~ 1. 30

年 度	展 示 名 ※平成3年度は未実施	期 間
平成 6 (1994)	受託資料紹介 平井・西山家資料の紹介	H 6. 4. 14 ~ 7. 31
	竜神と海女～回り舞台の引幕～	H 6. 4. 15 ~ 7. 1
	機と七夕	H 6. 7. 2 ~ H 7. 3. 16
	戦国の城 一岡豊城跡一	H 6. 8. 2 ~ 11. 30
	受託資料紹介 吉本家資料	H 7. 1. 25 ~ 3. 31
	竜神と海女～回り舞台の引幕～	H 7. 3. 17 ~ (6. 6)
平成 7 (1995)	竜神と海女～回り舞台の引幕～	(H 7. 3. 17) ~ 6. 6
	戦時資料(1)一女子資料にみる戦時体制一	H 7. 4. 30 ~ 6. 30
	機と七夕	H 7. 6. 7 ~ H 8. 2. 22
	戦時資料(2)一高知大空襲一	H 7. 7. 1 ~ 10. 31
	館蔵資料から 一鏡一	H 7. 11. 1 ~ H 8. 3. 31
	郷土玩具 一城田楠子さんの寄贈資料から一	H 8. 2. 23 ~ (5. 30)
平成 8 (1996)	郷土玩具 一城田楠子さんの寄贈資料から一	H 8. (2. 23) ~ 5. 30
	山本家資料(2)一女学校と学徒動員一	H 8. 5. 1 ~ 8. 30
	機と七夕	H 8. 5. 24 ~ H 9. 2. 22
	高知城跡	H 8. 10. 12 ~ 11. 24
	商屋「木屋」資料の紹介	H 9. 2. 4 ~ 3. 28
	おひなさま(民俗)	H 9. 2. 14 ~ 3. 30
平成 9 (1997)	竜神と海女	H 9. 4. 25 ~ 6. 21
	国民学校と少国民	H 9. 7. 2 ~ 9. 31
	四万十川 一祭りと行事一	H 9. 7. 27 ~
	堀見家資料より 一熙助と勸業博覧会一	H 9. 10. 1 ~ H 10. 1. 31
	堀見家の考古資料 一銅鐸の拓本一	H 10. 2. 3 ~ (6. 30)
	堀見家の考古資料 一銅鐸の拓本一	H 10. (2. 3) ~ 6. 30
平成 10 (1998)	男の子の節句人形	H 10. 5. 5 ~ 6. 5
	からくり郷土玩具	H 10. 7. 17 ~ 9. 23
	あねさま	H 10. 10. 31 ~ 12. 22
	まわれ!まわれ!!こまのいろいろ	H 10. 12. 23 ~ H 11. 1. 30
	おひなさま	H 11. 2. 7 ~ 3. 14
	平成 11 (1999)	くいしんぼのおもちゃたち
おひなさま		H 12. 2. 17 ~ 3. 29
平成 12 (2000)	男の子の節供人形	H 12. 4. 22 ~ 5. 31
	重要文化財 絵画銅剣	H 12. 5. 25 ~ 10. 12
	まつりのおもちゃ	H 12. 8. 24 ~ 11. 3
	おばあちゃんを見た山村の80年・第2展示	H 12. 11. 7 ~ H 13. 3. 4
	龍馬の手紙	H 13. 3. 22 ~ (5. 31)
平成 13 (2001)	龍馬の手紙	H 13. (3. 22) ~ 5. 31
平成 14 (2002)	速報展 居徳人骨 一殺傷痕・損傷痕を有する人骨の出土一	H 14. 4. 19 ~ 5. 19
	ミニ企画 夏休みふくろうギャラリー ほくたち・わたしたちが描いたよ!郷土玩具	H 14. 7. 27 ~ 8. 25
	おひなさま	H 15. 2. 13 ~ 3. 8
	有田焼の皿鉢	H 15. 3. 5 ~
	はりまや橋で相合傘	H 15. 3. 11 ~ (H 16. 1. 21)
平成 15 (2003)	はりまや橋で相合傘	(H 15. 3. 11) ~ H 16. 1. 21
	おひなさま	H 16. 1. 22 ~ 3. 13
平成 16 (2004)	県保護有形文化財 居徳遺跡群の出土遺物	H 16. 4. 23 ~ 5. 7
	坂本龍馬湿板写真調査報告	H 16. 6. 12 ~ 6. 27
	郷土の英雄 坂本龍馬	H 16. 12. 4 ~ H 17. 1. 10
	おひなさま	H 17. 3. 4 ~ (4. 9)
	おひなさま	H 17. (3. 4) ~ 4. 9
平成 17 (2005)	端午の節供のおもちゃたち	H 17. 4. 29 ~ 5. 28
	石の仏 一土佐の石造美術一磨崖仏と磨崖碑	H 17. 4. 29 ~ 11. 5
	船の模型	H 17. 11. 26 ~ H 18. 2. 3
	特別公開 新発見四国霊場第38番札所秘仏三面千手観音菩薩像内納入品	H 18. 2. 4 ~ 2. 19
	おひなさま	H 18. 2. 4 ~ 3. 31
	おひなさま	H 18. 2. 4 ~ 3. 31
平成 18 2006	ほくの村は山をおりた AGAIN	H 18. 4. 1 ~ 6. 11
	端午の節供のおもちゃたち	H 18. 4. 29 ~ 5. 10
	竹	H 18. 7. 22 ~ H 19. 2. 3
	職場体験展示 土佐町東石原字中尾出土の備前播鉢	H 18. 7. 23 ~ 9. 24
	テーマ展示 長宗我部氏と岡豊文化	H 18. 10. 17 ~ 12. 26
	テーマ展示 要法寺の名宝 一山内家と菩提寺一	H 18. 11. 1 ~ 11. 25
	おひなさま	H 19. 2. 4 ~ 3. 31

年 度	展 示 名 ※平成3年度は未実施	期 間
平成 19 (2007)	テーマ展示 板垣退助 一新取蔵資料大公開一	H 19. 4. 27 ~ 5. 23
	テーマ展示 中世、木の道具 一南国市田村遺跡群出土木製品一	H 19. 10. 20 ~ 11. 25
	おひなさま	H 20. 2. 3 ~ 3. 31
平成 20 (2008)	テーマ展示 崎山比佐衛とブラジル移民	H 20. 5. 2 ~ 6. 29
	鯉節をつくる	H 20. 6. 9 ~ 10. 21
	写真で見る岡豊城跡	H 20. 7. 9 ~ 8. 31
	テーマ展示 出土品が語る岡豊城跡	H 20. 7. 18 ~ 11. 24
	食のこころ	H 20. 10. 22 ~ 12. 26
	正月と節分	H 21. 1. 2 ~ 1. 31
	なつかしのブリキ玩具 一今井章博さんのコレクション一	H 21. 1. 2 ~ 3. 1
	テーマ展示 維新の志士たちの遺品 一高知県文教協会所蔵資料から一	H 21. 1. 2 ~ 3. 31
	おひなさま	H 21. 2. 1 ~ 3. 31
平成 21 (2009)	<テーマ展示・企画コーナーは実施していない>	
平成 22 (2010)	特別展示 国指定重要文化財 仁淀川町養花院の木造菩薩坐像	H 23. 1. 8 ~ 1. 30
	坂本龍馬湿板写真特別展示	H 23. 2. 10 ~ 2. 20
平成 23 (2011)	テーマ展示 土佐の夏の民俗行事	H 23. 4. 23 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 辰	H 23. 11. 12 ~ 12. 18
	コーナー展 おひなさま	H 24. 2. 22 ~ 3. 25
平成 24 (2012)	コーナー展 歴民館の名品紹介 一最近の取蔵資料から一	H 24. 4. 28 ~ 5. 20
	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 24. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 巳	H 24. 11. 19 ~ 12. 23
平成 25 (2013)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 25. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 26. 1. 2 ~ 2. 24
	コーナー展 おひなさま	H 26. 2. 2 ~ 3. 16
平成 26 (2014)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 26. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 未	H 26. 11. 22 ~ H 27. 1. 25
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 27. 1. 2 ~ 3. 8
	コーナー展 おひなさま	H 27. 2. 14 ~ 3. 15
平成 27 (2015)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 27. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 里帰り 東博所蔵資料	H 27. 12. 23 ~ H 28. 2. 28
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 28. 1. 2 ~ 3. 6
	コーナー展 おひなさま	H 28. 2. 14 ~ 3. 13
平成 28 (2016)	コーナー展 深淵神社の芝居絵屏風	H 28. 8. 1 ~ 8. 31
	コーナー展 干支の玩具 酉	H 28. 12. 24 ~ H 29. 1. 31
	コーナー展 昔のくらしの道具	H 29. 1. 2 ~ 3. 5
	コーナー展 おひなさま	H 28. 2. 4 ~ 3. 14
平成 29 (2017)	コーナー展 維新の群像1 山内容堂と坂本龍馬の遺品	H 29. 4. 1 ~ 6. 2
	コーナー展 国史跡 岡豊城跡	H 29. 4. 20 ~ H 30. 3. 31
	コーナー展 頭形兜の世界	H 29. 4. 28 ~ 8. 13
	コーナー展 維新の群像1 山内容堂の遺品	H 29. 6. 3 ~ 8. 30
	コーナー展 維新の群像2 土佐に影響を与えた人びと	H 29. 6. 3 ~ 8. 30
	コーナー展 武家の表道具 鎧	H 29. 8. 14 ~ 10. 3
	コーナー展 干支の玩具 戌	H 29. 12. 5 ~ H 30. 1. 27
	コーナー展 谷作七のみた戊辰戦争	H 30. 1. 27 ~ 3. 31
	コーナー展 おひなさま	H 30. 2. 4 ~ 3. 14
平成 30 (2018)	コーナー展 火縄銃の世界	H 30. 4. 28 ~ 9. 30
	コーナー展 西郷どんがやってきた	H 30. 9. 17 ~ 12. 16
	コーナー展 国史跡・岡豊城跡	H 30. 10. 1 ~ H 31. 3. 31
	コーナー展 干支の玩具 亥	H 30. 12. 14 ~ H 31. 1. 27
	コーナー展 おひなさま	H 31. 2. 2 ~ 3. 17
平成 31 令和元 (2019)	コーナー展 長宗我部家の外交官 一香宗我部親泰の遺品一	H 31. 4. 19 ~ R 1. 6. 2
	特別展示 れきみん名品コレクション	H 31. 4. 26 ~ R 1. 5. 6
	コーナー展 陸軍歩兵第44連隊とその時代	R 1. 8. 1 ~ 10. 14
	コーナー展 干支の玩具 子	R 1. 12. 13 ~ R 2. 1. 26
コーナー展 おひなさま	R 2. 2. 1 ~ 3. 15	
令和 2 (2020)	コーナー展 疫病退散	R 2. 7. 4 ~ 9. 6
令和 3 (2021)	コーナー展 干支の玩具 丑	R 3. 4. 29 ~ 6. 6
	映画「竜とそばかすの姫」公開記念 特別展示《龍虎図衝立》	R 3. 7. 16 ~ 9. 13
	コーナー展 軍医がみた日清・日露戦争	R 3. 8. 1 ~ 10. 17
	開館30周年記念特別コーナー展 ぞんコレ!~知れば知るほどゾンゾンするれきみんコレクション	R 3. 9. 16 ~ 11. 23
	コーナー展 昔のくらしの道具	R 3. 10. 8 ~ R 4. 3. 21
	期間限定展示 岡豊城跡 城八幡所蔵の木札と岡豊城跡の古墳時代の須恵器	R 3. 11. 27 ~ R 4. 1. 31
	コーナー展 干支の玩具 寅	R 3. 12. 17 ~ R 4. 3. 21
コーナー展 おひなさま	R 4. 2. 4 ~ R 4. 3. 13	
令和 4 (2022)	コーナー展 異界遺産	R 4. 7. 8 ~ 9. 11
	コーナー展 大坂の陣後の長宗我部氏 / 長宗我部氏にまつわる武具	R 4. 10. 26 ~ 11. 28
	コーナー展 干支の玩具 卯	R 4. 12. 16 ~ R 5. 1. 29
	コーナー展 昔のくらしの道具	R 5. 1. 13 ~ 3. 5

10 各年度別 館外展示・写真展・フリースペース・ミニギャラリー展(平成14～令和4年度)

年 度	館 外 展 示 名 ※平成3～13年度は未実施 16年度まで	期 間
平成14 (2002)	移動展 四万十川の漁具 ①東津野村役場	H 14. 11. 28 ～ 12. 4
	移動展 四万十川の漁具 ②窪川町	H 15. 1. 24 ～ 1. 28
	移動展 四万十川の漁具 ③西土佐村	H 15. 2. 19 ～ H 15. 2. 22
	移動展 四万十川の漁具 ④中村市役所	H 15. 3. 15 ～ H 15. 3. 22
平成15 (2003)		
平成16 (2004)	田辺寿男 「ぼくの村は山をおりた」 AGAIN 展 ①草流舎 (いの町)	H 16.10.1 ～ 10.31
	田辺寿男 「ぼくの村は山をおりた」 AGAIN 展 ②土佐病院 (高知市新本町2)	H 16.11.8 ～ 11.27

年 度	写真展・フリースペース・ミニギャラリー展示名 ※平成17年度～令和3年度	期 間
平成17 (2005)	前田博史 写真展「さくらはくら (桜博達)」	H 18. 3. 9 ～ (4. 9)
平成18 (2006)	前田博史 写真展「さくらはくら (桜博達)」	H 18. (3. 9) ～ 4. 9
	展示協力 古の栄光の地 —南国市岡豊町・国分周辺の史跡—	H 18. 5. 19 ～ 6. 30
	押花展「自然の恵み」	H 18. 6. 2 ～ 6. 15
	展示協力 古の栄光の地 —南国市岡豊町・国分周辺の史跡—	H 18. 9. 1 ～ 9. 29
	長宗我部ゆかりの地ラリー	H 18. 10. 15 ～ H 19. 3. 31
	開館15周年関連特別企画 伊能大図フロアー展 in くろしおアリーナ	H 19. 3. 1 ～ 3. 4 ※無料 (11,735人)
平成19 (2007)	岡豊山フォトコンテスト関連企画 前田博史写真博「さくらはくら2008」	H 20. 3. 20 ～ 3. 31
平成20 (2008)	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 20. 5. 3 ～ 6. 30
	「消え逝く新堀川」良三・利光写真展	H 20. 7. 1 ～ 7. 31
	写真展「岡豊城跡の古写真展」	H 20. 8. 21 ～ 9. 20
	茅葺き民家のある風景 —武吉孝夫撮影—	H 20. 9. 26 ～ 11. 19
	虫くいはっぱの花 —白川基子作品展—	H 20. 9. 26 ～ 11. 24
	長曾我部最高委員会 長曾我部氏関連グッズ展	H 20. 11. 22 ～ 12. 24
	須崎市立横浪小学校6年生15人の縄文土器づくり展	H 21. 1. 2 ～ 1. 31
	干支の写真展	H 21. 1. 2 ～ 1. 31
	刈谷我野遺跡出土の尖底土器復元展 —内外両面に施された押型文の謎は解けるのか—	H 21. 2. 1 ～ 2. 28
岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2009「木霊」	H 21. 3. 20 ～ (4. 12) ※無料	
平成21 (2009)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2009「木霊」	(H 21. 3. 20) ～ 4. 12 ※無料
	「もとかか君」ぬり絵大会作品展	H 21. 4. 24 ～ 6. 21
	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 21. 5. 3 ～ 6. 21
	「ジオパーク」西 和彦写真展	H 21. 10. 3 ～ 11. 4
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2010「深山」	H 22. 3. 21 ～ (4. 4) ※無料
平成22 (2010)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真博 さくらはくら2010「深山」	(H 22. 3. 21) ～ 4. 4 ※無料
	高橋正子 絵画展	H 22. 4. 5 ～ 5. 1
	「岡豊山 桜と四季」岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 22. 5. 3 ～ 6. 20
	前田博史写真展「命の起源」東京写真月間2010「森はふるさと」生物多様性の恵み巡回里帰り展	H 22. 9. 11 ～ 10. 3
	モダンアート フォトリサーチ写真展	H 22. 11. 10 ～ 11. 23
	特別展「龍馬伝」記念ぬり絵大会作品展 若武者もとかか君とれきみん・りょうま君のぬり絵	H 23. 1. 2 ～ 3. 20
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「心海」	H 23. 3. 19 ～ (4. 3)
平成23 (2011)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「心海」	(H 23. 3. 19) ～ 4. 3
	東京写真月間2011 巡回展「いきものランド」 共催・前田博史カレンダー展「旬観(しゅんかん)」	H 23. 10. 9 ～ 10. 23
	東京写真月間2011 巡回展	H 23. 10. 9 ～ 10. 23
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「然」	H 24. 3. 24 ～ (4. 8) ※450円

年 度	写真展・フリースペース・ミニギャラリー展示名 ※平成17年度～令和3年度	期 間
平成 24 (2012)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「然」	(H 24. 3. 24) ～ 4. 8 ※ 450 円
	東京写真月間 2012 巡回展	H 24. 11. 17 ～ 11. 25
平成 25 (2013)	前田博史天然写真展 「野根山街道 脈」	H 25. 4. 2 ～ 4. 15
	東京写真月間 2013 巡回展	H 25. 11. 19 ～ 11. 26
	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「山 花」	H 26. 3. 15 ～ (4. 13)
平成 26 (2014)	岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展「山 花」	(H 26. 3. 15) ～ 4. 13
	掩体壕 (前浜) 写真展 掩体の四季	H 26. 8. 5 ～ 8. 23
	鏡川写楽の会写真展	H 26. 9. 1 ～ 9. 30
	第 12 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 26. 6. 21
平成 27 (2015)	岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 27. 5. 3 ～ 6. 30
	民俗シリーズ写真展 和紙の原料を支えている人々の今&土佐和紙のできるまで	H 27. 7. 4 ～ 8. 23
	第 13 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 27. 6. 30
	鏡川写楽の会 写真展	H 27. 9. 21 ～ 10. 21
	藤田威佳志 ART PROJECT 鏡村物語 写真展	H 28. 1. 30 ～ 2. 28
	近代日本美術協会高知支部展 2016	H 28. 3. 20 ～ 3. 26
平成 28 (2016)	民俗シリーズ写真展 伊尾木川の流域で暮らす人々&森林軌道の今と昔	H 28. 4. 7 ～ 5. 31
	第 14 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 28. 6. 17 ～ 6. 18
	モラード会創作絵画展	H 28. 7. 14 ～ 9. 19
	岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H 28. 9. 22 ～ 10. 30
	鏡川写楽の会 写真展	H 28. 11. 12 ～ 12. 11
平成 29 (2017)	第 15 回民家の甲子園全国高等学校対抗 民家町並みフォトコンテスト高知県大会	H 29. 6. 17
	民俗シリーズ写真展「北川村の今を伝えたい」	H 29. 7. 8 ～ 9. 3
	第 48 回鏡川写楽の会	H 29. 9. 5 ～ 10. 3
	書作品 (禅に関する詩文) の展覧	H 29. 10. 14 ～ 11. 26
	第 12 回岡豊山フォトコンテスト作品展	H 29. 12. 5 ～ H 30. 1. 14
	前田博史写真展 「かの桜」	H 30. 3. 24 ～ (4. 9)
平成 30 (2018)	前田博史写真展 「かの桜」	(H 30. 3. 24) ～ 4. 9
	向陽会画展	H 30. 9. 9 ～ 10. 14
	鏡川写楽の会 写真展	H 30. 10. 15 ～ 11. 15
	土佐の宝蔵院流槍術パネル展	H 30. 11. 30 ～ 12. 5
	第 13 回岡豊山フォトコンテスト作品展	H 30. 12. 7 ～ H31. 1. 14
	前田博史写真展 「桜萌ゆ」	H 31. 3. 24 ～ (4. 7)
平成 31 令和元 (2019)	前田博史写真展 「桜萌ゆ」	(H31.3.24) ～ 4. 7
	民俗シリーズ写真展「今を伝え後世に残したい」	R 1. 5. 21 ～ 7. 7
	鏡川写楽の会 写真展	R 1. 10. 15 ～ 11. 15
	第 14 回岡豊山フォトコンテスト作品展	R 1. 11. 28 ～ R 2. 1. 19
	前田博史写真展「海の処方箋～交わる場所～」	R 2. 3. 23 ～ (4.5)
	鏡川写楽の会 写真展	R 2. 3. 25 ～ (4.9)
令和 2 (2020)	前田博史写真展「海の処方箋～交わる場所～」	(R 2. 3. 23) ～ 4. 5
	鏡川写楽の会 写真展	(R 2. 3. 25) ～ 4. 9
	野澤文夫写真展「四国遍路より 祈」	R 2. 5. 18 ～ 7. 19
令和 3 (2021)	前田博史写真展「森ノ気配 R3 工石」	R 3. 4. 29 ～ 5. 16
	第 15 回岡豊山フォトコンテスト作品展	R 3. 7. 9 ～ 8. 29
	第 60 回鏡川写楽の会写真展	R 3. 9. 14 ～ 10. 14
	第 16 回岡豊山フォトコンテスト作品展	R 3. 11. 26 ～ R 4. 1. 30
	前田博史写真展「さくらはくら 2022」	R 4. 3. 9 ～ (4. 10)
令和 4 (2022)	前田博史写真展「さくらはくら 2022」	(R 4. 3. 19) ～ 4. 10
	第 17 回岡豊山フォトコンテスト作品展	R 4. 11. 18 ～ R 5. 1. 22
	前田博史の天然写真展 2023 還るところ。	R 5. 3. 21 ～ (4. 9)

11 来館者へのアンケート調査

アンケートのお願い

本日は高知県立歴史民俗資料館にご来館いただきましてありがとうございます。

当館では今後の館運営の参考とさせていただくため、アンケートを実施しております。お手数ですがご協力をお願いいたします。

ご来館日／	月	日	性別／	男性	・	女性	・	無回答	年齢／	歳代
ご住所／	県内（	市・町・村）	県外（	都・道・府・県）	その他（					
交通手段／	自家用車	路線バス	貸切バス	J R	自転車・バイク	徒歩				
	タクシー	レンタカー	その他（							
当館へは	何度来られましたか／	初めて	2～5回	6～9回	10回以上					

- 1) 今回のご来館のきっかけとなったのは何ですか？（複数回答可）
新聞 テレビ ラジオ ホームページ SNS ポスター・ちらし
知人から れきみんサークル等 その他（ ）
- 2) ご来館の目的としてあてはまるのは、どのようなことですか？（複数回答可）
通常展（総合展示室・長宗我部展示室） 企画展 コーナー展 講演会・講座
展示室トーク ワクワクワーク 岡豊城跡 その他（ ）
- 3) 当館にどのようなことを期待しますか？（複数回答可）
（ ） 調査研究の場（資料の閲覧・参考図書の充実など）として
（ ） 文化財の収集保存 （ ） 常設（通常）展示の充実・更新
（ ） 企画展（ご希望のテーマ等）
（ ） 催しの充実（講演会・講座、展示室トーク、ワクワクワーク）
（ ） 学校の校外学習の場として （ ） 講師など地域の研究会等への協力
（ ） 歴史イベントの開催
（ ） その他（ ）
- 4) 当館全体の感想とお気づきのことがあればご記入ください。
大変満足 よかった まあまあ 今ひとつ よくない

ご感想・お気づきのこと（展示のほか、施設、設備、サービスなど）

～アンケートにご回答いただきありがとうございました～

ご回答くださいました方の中から、抽選で当館のご招待券をお送りいたします。希望される方は下欄にお名前、ご住所をご記入ください。いただいた情報は、抽選結果のお知らせ以外には使用しません。

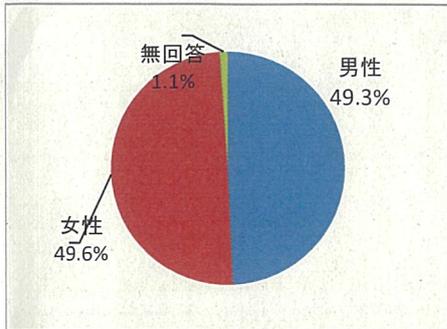
お名前		ご住所 〒	
-----	--	-------	--

アンケート集計結果

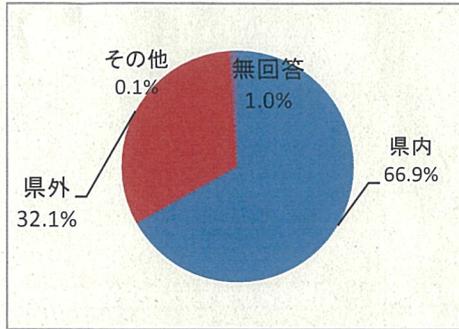
当館では、年間を通じて来館者アンケートを行っている。任意でアンケート用紙に記入してもらった形で来館者についての基礎データを収集し、館運営に活かしている。

以下のデータは令和4年4月1日から令和5年3月31日までの集計結果である。有効回答数は1922件（県内1285、県外617、その他1、無回答19）である。

性別



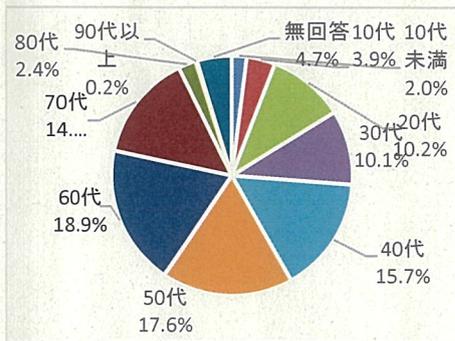
住所



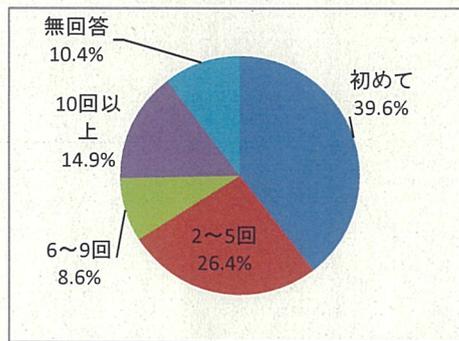
住所(県内)

住所(県内)	人数
高知市	680
南国市	179
香南市	79
香美市	70
土佐市	28
安芸市	17
室戸市	8
須崎市	24
四万十市	17
宿毛市	7
土佐清水市	2
安芸郡	18
長岡郡	7
土佐郡	7
吾川郡	61
高岡郡	61
幡多郡	8
無回答	12

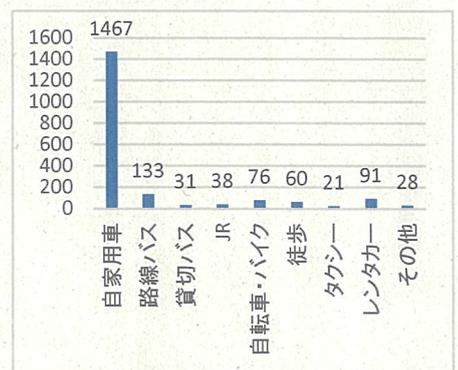
年代



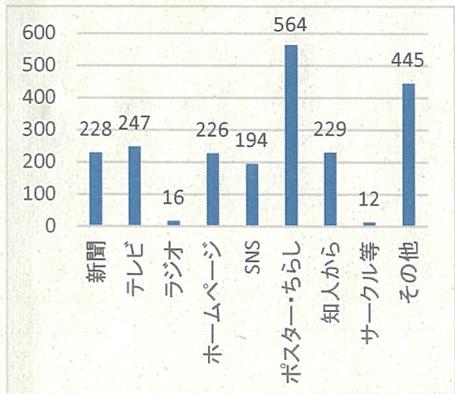
来館回数



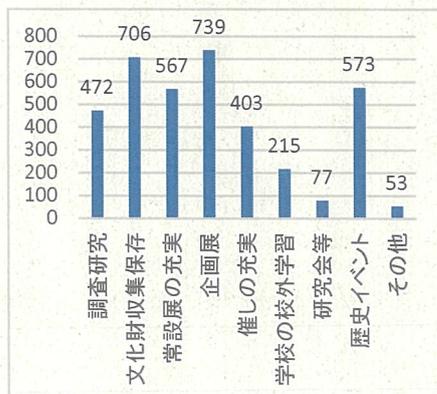
交通手段



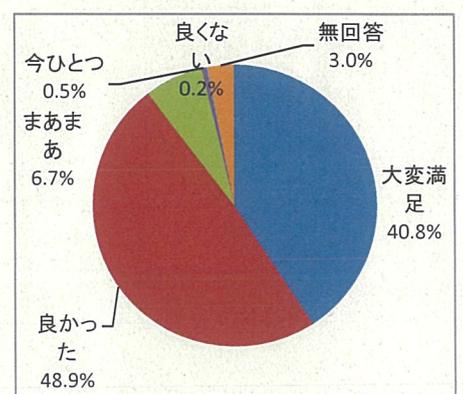
当館について何で知ったか



当館にどのようなことを期待するか



館全体の感想



IX 高知県立歴史民俗資料館の指定管理者における業務状況評価(令和3年度)

高知県立文化施設事業評価委員会が、令和4年8月に開催され、県立文化施設3館の令和3年度の指定管理代行業務について施設による説明と委員会によるヒアリングが行われた。当館評価は下記のとおり（高知県庁文化生活スポーツ部歴史文化財課 HP より）。

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年12月10日

施設名	歴史民俗資料館	所管課	文化生活スポーツ部文化振興課
-----	---------	-----	----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財) 高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町八幡 1099-1		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の歴史、考古及び民俗（以下「歴史民俗等」という。）に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講座、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p><建物> 延床面積 4527.47㎡ R C造地上3階建 <土地> 124,520㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、体験学習室、多目的ホール、 収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 通常展 一般 470円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、 戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室 24,590円(1日) 多目的ホール 15,700円</p>		
職員体制	常勤職員：10人 契約職員：10人 合計：20人		

※職員数は令和3年4月1日現在

2 収支の状況

単位：千円

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
収入	県支出金	161,489	167,028	170,298
	事業収入	2,090	5,322	8,547
	その他	2,028	1,220	5,205
	収入計(a)	165,607	173,570	184,050
支出	事業費	165,607	172,637	184,050
	(うち人件費)	(79,149)	(81,120)	(80,173)
	その他			
	支出計(b)	165,607	172,637	184,050
収支差額(a) - (b)		0	933	0

3 利用状況

		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	前年度比
①年間利用者数 合計 (単位：人)	通常展	2,960人	通常展 14,030人	+ 11,070人
	企画展	2,404人	企画展 3,666人	+ 1,262人
	合計	5,364人	合計 17,696人	+ 12,332人
	<利用実績> コロナウイルス感染症の影響があったものの、観覧者目標をわずかに上回った(観覧者目標：17,000人、達成率：約100.4%)。			

②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況（時期・方法・回答数・調査結果等） ・時期：年間 ・方法：アンケート用紙を受付及び展示室入口に配置 ・回答数：87%が「大変満足」または「良かった」の回答（7.8%無回答） ・調査結果公表：『令和3年度高知県立歴史民俗資料館年報』において公表
	①洋式トイレを増やして欲しい → 新型コロナウイルス感染防止対策も兼ねて実施。
	○ その他
③その他特記事項	

高知県立文化施設事業評価委員会（令和3年度事業）評価表

高知県立歴史民俗資料館

郷土の歴史や文化を後世に引き継ぐとともに、地域への理解と関心を深める

要求水準－収集・保存

収集方針に基づき、高知県の歴史、考古、民俗の各分野の資料を収集し、適切に保存する

評価項目

- (1) 本県の歴史や文化を後世に伝えるうえで必要な資料を収集する
- (2) 資料の整理・分類、点検・劣化防止等の処置を適切に行う

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目(1)	A	B	A
評価項目(2)	A		

評価の理由

- ・資料の収集については、企画展に関係するものや本県に関する貴重なもの等、後世に引継ぐべき文化財を保護・保存するなど、意欲的な取組が認められる。
- ・展示・収蔵環境については、公開承認施設として適正な管理を行っており、資料の維持管理に努めたと認められる。

要求水準－調査・研究

高知県の歴史、考古、民俗の各分野の調査研究を進め、その成果を公開する

評価項目

- (1) 職員の専門性の向上を図るとともに、収蔵資料の調査研究や、各分野の中から題材を絞り、テーマ性を持った調査研究を進め、その成果を、展示や研究紀要などを通じて広く公開する
- (2) 長宗我部氏関係の資料の研究を進め、展示などを通じて広く公開する

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目(1)	A	A	A
評価項目(2)	A		A

評価の理由

- ・多岐に渡る分野の資料について調査研究を積極的に実施し、成果を発表していることが評価できる。
- ・企画展「長宗我部氏とその時代」において、重要文化財「信長記」の展示や文献史学の立場から、長宗我部氏に関わる一次資料に関する再検討を行い、その成果となる図録を刊行するなど、長宗我部氏に関心を高めた活動を行ったことが認められる。
- ・県や市町村と連携して、資料の調査や保存に貢献したことが評価できる。

評価項目

- (1) 公開承認施設として、貴重な資料の公開など魅力ある企画展示を行い、5年間で13万5千人以上の観覧者を目指す
- (2) 来館者一人ひとりの疑問に答えるレファレンスサービスや展示解説など、郷土の歴史や文化への理解を深めるためのサービスを充実させる

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目(1)	B	A	A
評価項目(2)	A		

評価の理由

- ・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、感染防止対策の徹底のうえ、企画展を開催し、来館者の意見を取り入れながら展示を変更したことや、時に併せて展示替えを行うなど、努力や工夫が認められる。
- ・県立の歴史系総合博物館として、様々なレファレンスや調査要請に対し丁寧に対応しており、研究者や学生に対する資料調査対応件数は昨年度を上回った。
- ・企画展時にミュージアムトークを開催しており、観覧者の理解を深める取組を充実させている。
- ・昨年度導入した「ポケット学芸員」を継続し、来館しなくても展示資料に触れられるようにするなど、広く資料を知ってもらう工夫がなされている。

要求水準－教育・普及

様々な年代を対象とした教育・普及活動を行う

評価項目

- (1) 学校との連携による出前授業や校外学習などに計画的に取り組み、子どもたちの歴史や文化に触れる機会を充実させる
(2) 県民が郷土の歴史や文化に親しむことができる講演会や講座などを開催する

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目(1)	A	B	B
評価項目(2)	A		

評価の理由

- ・開館 30 周年を記念した企画展の関連プログラムとして、児童から一般の方まで幅広く対象とした体験的なイベントを実施するなど、新たな取組を行っていることが認められる。
- ・企画展関連の教育プログラムの実施や、体験学習、出張授業等を毎年継続して開催することにより、子どもたちが歴史や文化に触れる機会を充実させていることが認められる。
- ・季節のイベントや、楽しみながら歴史を学べる様々なワークショップを開催しており、館の創意工夫が評価できる。

要求水準－広報

評価項目

本県の歴史や文化に関する戦略的な情報発信により、県内外に館の魅力を広める

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	A	B	A

評価の理由

- ・新聞特集記事や広告の掲載を実施し、積極的な情報発信により、県内外に館の魅力を広めていると評価できる。
- ・新たに公式 SNS や有料ネット広告による広報を行うなど工夫が認められる。
- ・年間を通じて、地域のコンビニの協力を得て、チラシ等を常時配置している。
- ・広報プロジェクトチームの設置や「ポスター貼ります隊」の活動などを今後も継続し、周知していくなど、観覧者増に向けた今後の取組に期待する。

要求水準－その他

評価項目

- (1) 県内外の他の博物館等と連携した事業の充実により、県民サービスの向上を図る
(2) 岡豊山周辺を歴史的な好奇心を高めるゾーンとして位置づけ、関係機関と連携した取り組みを通じて地域の活性化に貢献する

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目(1)	A	A	A
評価項目(2)	A		

評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の博物館等の資料調査、展示、保存等への協力・連携に努めたことが認められるとともに、こうちミュージアムネットワークと協力し貴重な資料の廃棄を未然に防ぐための情報発信を行ったことも評価できる。 ・ 土佐のまほろば地区振興協議会等とともに、地域に根付いた活動を実施することを通して、長宗我部氏を含めた岡豊山全体の魅力を発信したことが評価できる。 ・ 新型コロナウイルスの影響を受けるなか、様々な団体・企業と連携し、工夫をしながら「長宗我部 R A L L Y」等を実施したことは評価できる。 	

要求水準－施設管理
施設や設備の維持管理を適切に行い、安全かつ快適な利用環境を提供する

評価項目		
(1) 適切な管理運営の確保	社会的責任	・ 法令等の遵守・個人情報、情報公開の状況
	建物や設備の管理	・ 点検、修繕の実績・業務委託の状況
	危機管理	・ 風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・ マニュアルの作成・職員研修

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	A	B	B

評価の理由
 日頃から危機管理意識を十分に持ち、非常時に速やかな対応がとれる体制を構築している。

評価項目	
(2) 利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見の反映 自己点検、評価の状況・事故、クレームへの対応 ・ 職員の専門性の向上・研修の実施状況・その他サービス向上の取り組み

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	A	A	A

評価の理由
 ・ サービス向上に向け、利用者からの要望・意見に迅速に対応していることが評価できる。
 ・ 「お客様改善要望対応P T」の継続的な活動により、来館者の要望に応じる体制を構築することで、サービスの充実を図る取組を行っている。
 ・ 岡豊山歴史公園の広報を継続的に行い、山村民家で誘客のための企画を行うなど、岡豊山歴史公園の管理者としての責務を果たしていることが評価できる。

評価項目		
(3) 利用実績	利用実績の状況	・ 利用状況の分析

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	B	B	B

評価の理由
 ・ 観覧者数については、新型コロナウイルス感染症対策による影響や一時休館もあり、下回ったものの、岡豊山歴史公園でのイベント開催等、来場者増に向けての館の意欲が認められる。

評価項目		
(4) 収支の状況	経営努力	・収入増加の取り組み・経費削減の取り組み

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	A	B	A

評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁から助成金を受けるなど、収入確保のための努力が認められる。 ・経費削減やグッズ等の販売への工夫が認められる。

総合評価

	歴史民俗資料館自己評価	事務局評価案	評価
評価項目	A	B	A

評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・吊り天井工事にかかる休館や新型コロナウイルスの影響による事業計画の変更はあったが、開館 30 周年記念企画展や館で資料の調査、収集、展示を行っている長宗我部氏を取り上げた企画展を実施することに加え、高知県を舞台とした映画「竜とそばかすの姫」と連動したコーナー展を急遽行うなど観覧者確保のための努力が見られた。 ・岡豊山歴史公園において、スタンプラリーやイベントを開催したり、山村民家に案内窓口を置き、グッズ販売等も行うことで、岡豊山歴史公園の情報発信とともに活用を図っており、地域活性化や館の存在を周知することに貢献出来ている。 ・県教育委員会と連携し、民俗芸能緊急調査を行い、報告書の刊行に協力するなど、地域の文化の研究に貢献している。 ・教育普及関係では、従来のワクワクワークや職場体験などに加え、新たに学校教育への支援として小中学生向けの動画の制作・公開や、スマートフォンで展示の解説が見れるアプリ「ポケット学芸員」による資料公開を行うなど、児童や生徒に歴史の重要性を伝えるとともに継続的な事業展開ができています。 ・民間企業や地域の関係団体と良好な関係を築き、行事やイベントを開催しており、地域活性化への貢献が認められる。 ・「お客様改善要望対応PT」により、来館者の要望に応じる体制を構築することで、サービスの充実を図る取組を行っている。 <p>以上のことから、概ね要求水準を満たし、適正に管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p>

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。

X 施設の概要

1 沿革

高知県立歴史民俗資料館は、高知県から指定管理者として指定を受けた（公財）高知県文化財団が管理運営を行っている。同財団は、当館のほか高知県立美術館、高知県立坂本龍馬記念館、高知県立文学館、高知県立埋蔵文化財センターの管理運営も行っている。

昭和 52 年 1 月…「高知県文化行政推進協議会」が発足し、本県における文化行政の基本的なあり方及び将来計画について検討協議

53 年 9 月…同協議会が「中間のまとめ」のなかで県立歴史民俗資料館の設置を提言

10 月…「中間のまとめ」に基づき、「総合郷土文化施設調査会」が発足し、歴史民俗資料等を収蔵、展示する総合郷土文化施設の設置について検討協議

54 年 4 月…「文化振興専門者会議」が発足し、県立歴史民俗資料館のあり方について検討協議

58 年 5 月…資料館へ保存のため、南国市田村遺跡群水田跡の切り取り作業を行う

8 月…建設場所を南国市岡豊山に決定

59 年 12 月…建設用地を買収

60 年 11 月…建設の事前調査として県史跡・岡豊城跡発掘調査に着手

61 年 7 月…基本構想策定

62 年 10 月…岡豊山の造成工事に着手

12 月…建築実施計画を委託

63 年 1 月…展示基本設計を委託

8 月…展示実施設計を委託

9 月…展示複製資料（レプリカ）の製作を委託

10 月…建設工事に着手

64 年 1 月…環境設備工事設計を委託

平成元年 8 月…環境設備（歴史公園）工事に着手

10 月…展示工事に着手

展示映像資料の製作を委託

2 年 3 月…建設工事竣工

環境設備（歴史公園）工事竣工

3 年 3 月 展示工事竣工

3 年 5 月…開館（5 月 3 日）

8 年 12 月…開館 5 周年記念巡回展「秀吉と桃山文化」開催

12 年 4 月…旧味元家住宅主屋 1 棟が登録有形文化財に登録

13 年 8 月…開館 10 周年記念特別展「土佐・2000 年 - 21 世紀へ伝える文化遺産 -」、企画展「長宗我部元親・盛親の栄光

と挫折」等開催

16 年 9 月…高知県内初の公開承認施設となる（21 年 9 月 21 日まで）

18 年 4 月…指定管理者制度の導入により、指定管理者として（財）高知県文化財団を指定（3 年間）
月曜日も開館とする

7 月…開館 15 周年記念企画展「土佐の歴史玉手箱」「長宗我部盛親展」等開催、累計入館者数 50 万人を超える

20 年 7 月…岡豊城跡が国史跡の指定を受ける

21 年 4 月…継続して（財）高知県文化財団が指定管理者となる（5 年間・24 年度からは公益財団法人に移行）

22 年 2 月…2 階・3 階展示室、玄関入口バリアフリー及び AV ホール多目的化改修工事完了

3 月…一部開館（3 月 21 日～4 月 4 日）

4 月…リニューアルオープン（4 月 10 日）
第 1 回岡豊山さくらまつり、第 1 回食 1 グランプリ開催

6 月…公開承認施設（再承認・27 年 6 月 17 日まで）

7 月…2010 年 NHK 大河ドラマ特別展「龍馬伝」開催

23 年 6 月…香美市旧県立大柵高校へ民具移動

24 年 4 月…岡山県立博物館との文化交流事業開始（3 年間）

26 年 3 月…収蔵庫予備室改修工事完了

4 月…継続して（公財）高知県文化財団が指定管理者となる（5 年間）

9 月…「四国霊場開創 1200 年記念 空海の足音 四国へんろ展」高知編（会場：高知県立美術館）を企画・運営

27 年 5 月…長宗我部元親飛翔之像が建立委員会により建立される

7 月…公開承認施設（再承認・32 年 7 月 1 日まで）

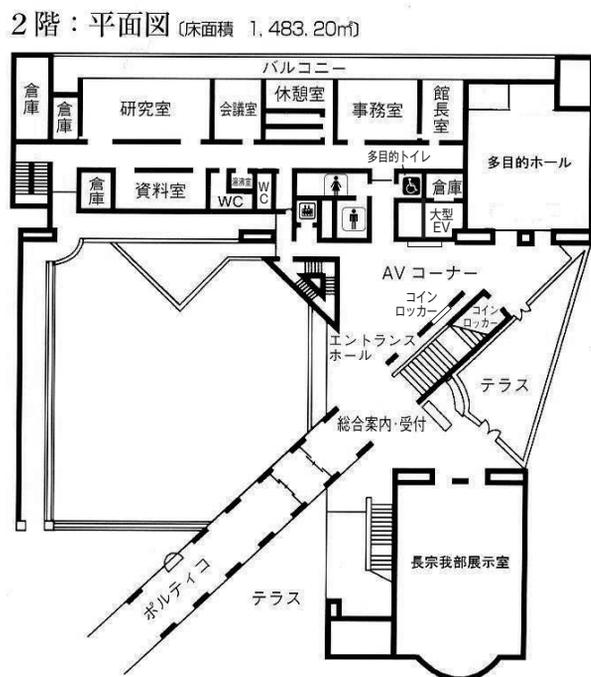
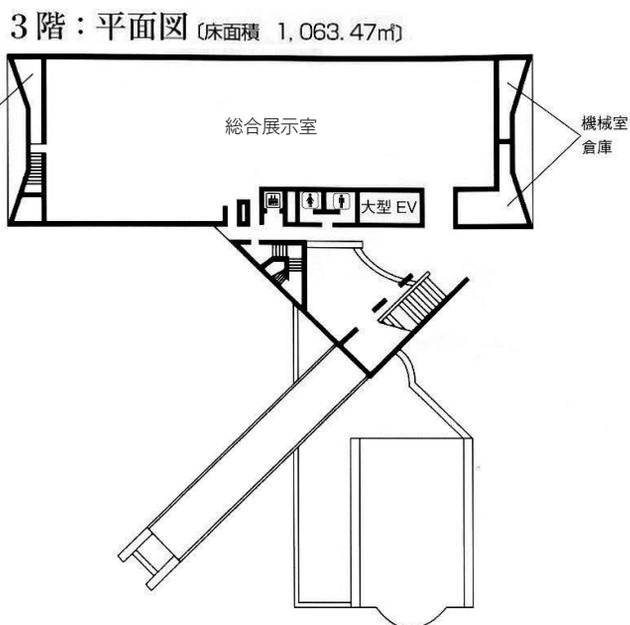
29 年 3 月…「志国高知 幕末維新博」第一幕開幕、当館は地域会場となる
長宗我部元親飛翔之像が建立委員会より高知県に寄付される
国史跡岡豊城跡の詰に櫓を上げる

10 月…特別展「今を生きる禅文化 - 伝播から維新を越えて -」を開催、国宝・重文を含む 101 件の作品を公開

31 年 3 月…国史跡岡豊城跡の詰の櫓を撤去

4 月…継続して（公財）高知県文化財団が指定管理者となる（5 年間）

- 令和2年3月～5月…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休館（3月6日～3月22日, 4月10日～5月10日）
- 8月…公開承認施設（再承認・7年8月17日まで）
- 3年3月…吊り天井改修工事（工期：令和2年7月1日～令和3年3月7日）、展示ケース内装解体・復旧作業委託業務、雨漏り対策修繕工事業務完了
- 4月…開館30周年企画展を開催



2 施設の概要

- 各階平面図
- 構造・規模
 - 鉄筋コンクリート造（RC）
 - 階数地上3階
 - 最高の高さ 20.5m（設計 GL.FH69.0m）
- 面積

敷地面積	124,520㎡
建築面積	1,986.79㎡
延床面積	4,546.22㎡
展示面積	1,104.41㎡
収蔵面積	342.77㎡

●各室面積

1階			2階			3階			
企画展示室	176.77	ポンプ室	17.67	長宗我部展示室	209.42	廊下	98.01	総合展示室	718.22
体験学習室	67.45	搬入口	48.51	多目的ホール	120.45	EV前室	11.81	倉庫	13.30
休息室	41.58	荷解室	93.18	多目的ホール倉庫	18.25	コインロッカーコーナー	14.26	機械室	28.68
厨房(授乳室)	26.43	一時保管室	63.80	研究室	79.98	AVコーナー	125.70	EV・DS・PS等	101.08
休息室トイレ	6.07	収蔵庫予備室	74.00	会議室	32.60	展示ロビー(2)	66.53	来館者用トイレ	23.62
収蔵庫	268.77	倉庫	104.60	資料室	35.49	エントランスホール(2)	186.07	階段	50.92
燻蒸室	28.35	機械室	106.00	館長・応接室	27.81	風除室	17.22	EV前室	9.56
写場	41.40	EV・DS・PS等	106.31	事務室	52.17			EVホール	28.50
更衣室 シャワー室	11.55	職員用トイレ	9.11	休憩室	22.32			展示ロビー(3)	89.59
工作室	42.00	来館者用トイレ	33.06	更衣室	16.86				
警備室	17.06	階段	42.76	湯沸室	3.90				
湯沸室	4.95	廊下・前室	167.67	倉庫	36.36				
清掃員控室	11.00	EVホール	25.95	機械室	34.25				
監視室	8.66	展示ロビー(1)	35.82	EV・DS・PS等	125.58				
電気室	68.15	エントランスホール(1)	69.82	職員用トイレ	22.56				
熱源機械室	140.60	小計	1,987.40	来館者用トイレ	34.72				
発電電気室	28.35	自転車置場	12.15	階段	90.88				
合計 1,999.55㎡			合計 1,483.20㎡			合計 1,063.47㎡			

※ベビー休息室：オムツ替え（2階多目的トイレ）、オムツ替え・授乳（1階授乳室）

館内来館者用トイレ数（バックヤード除く）

	男性用			女性用		多目的
	小便器	和式	洋式	和式	洋式	
1F(休息室含む)	4	0	3	1	2	1
2F	3	1	1	0	3	1
3F	2	0	1	0	2	0
全体	9	1	5	1	7	2

屋外トイレ数

	男性用			女性用	
	小便器	和式	洋式	和式	洋式
駐車場	2	0	1	0	2
民家横	1	0	1	0	1
全体	3	0	2	0	3

●設備概要

電気設備

- 受変電設備……………屋内キュービクル型・変圧器容量・三相 550KVA・スコット 30KVA
- 発電機設備……………三相 210V・150KVA
- 蓄電池設備……………据置鉛蓄電池 HS - 80E
- 幹線設備……………主にケーブル配線
- 照明設備……………展示系：LED・無紫外線蛍光灯（AAA）・ハロゲン・白熱灯
収蔵庫系：無紫外線蛍光灯（AAA）
ロビー系：白熱灯
管理系：蛍光灯・無紫外線蛍光灯（AAA）
- 電話交換機設備……………Pom 時分割方式によるデジタル電子交換機・60回線
- 非常放送設備……………防災アンプキャビネットラック型'240W
- 火災報知防火戸設備……………複合型 70回線（40+30）
- 昇降機設備……………乗用（身障者仕様）11人乗（油圧）
荷物用 3,000kg（油圧）
ホイス 2,000kg
- その他の設備……………時計設備・テレビ共聴設備・モニター監視設備・多目的ホール設備・
写真スタジオ設備・トイレ呼出設備（身障者トイレ・多目的トイレ）

空調設備

- 温冷熱源……………一般系統：空冷式ヒートポンプチリングユニット（R1）＜冷水または温水の蓄熱方式＞1台
収蔵庫系統：空冷式チリングユニット（R2-1・2）2台
- 空調方式……………単一ダクト・パッケージ・エアハンドリングユニット及びファンコイルユニット方式により12系統
- 換気設備……………燻蒸に対しては、単独の排気専用送風機を設けた。その他、一般空調時の換気はモーターダンパーにより、換気風量の調整が可能な設備となっている。
- 制御……………冷暖房機器、防災、防盜機器等は、監視室にて集中遠方操作監視を行う。

時間外運転…………… 休息室及び警備室は単独運転、収蔵庫は資料保護の観点から随時運転
(24時間運転)

給排水衛生設備

給排水衛生設備…………… 一式完備

消火設備…………… 全館に屋内消火栓設備を設けると共に、展示部門と収蔵庫にはハロン消火設備を設ける。なお、不特定多数の人間の安全を考えてハロン設備は手動消火システムとした。

衛生設備…………… 身障者用トイレの設備 (1F・2F <多目的トイレ>)

給水設備…………… 加圧方式

配水設備…………… 自然排水 (ポンプ排水)

ガス設備…………… 液化石油を使用

その他

AED …………… 受付に設置

●仕上

外部仕上…………… 外壁：花崗岩ジェットバーナー及び一部本磨き仕上、
アルミパネル電解着色仕上
屋根：ステンレス溶接工法
アトリウム、テラス：透水性セラミックタイル
ロトнда、前面広場：砂利洗出し仕上げ

	室名	床	壁	天井
1F	エントランスホール 収蔵庫 企画展示室	大理石 フローリング フローリング	花崗岩 調湿ボード プラスターボード EP	ロックウール吸音板 EP 調湿ボード プラスターボード EP
2F	エントランスホール 長宗我部展示室 事務室	大理石 カーペット ビニール床タイル	花崗岩 プラスターボード EP プラスターボード EP	ロックウール吸音板 EP プラスターボード EP ロックウール吸音板 EP
3F	展示ロビー 総合展示室 (総合)	カーペット カーペット	花崗岩 土佐しっくい塗	ロックウール吸音板 EP プラスターボード EP

3 岡豊山歴史公園

●全体面積 約 97,000㎡
 (うち環境整備施工面積 約 50,000㎡)

●概要

当館は、岡豊城跡（国史跡<平成 20 年 7 月 28 日>）内にあり、岡豊山一帯を史跡公園として整備している。屋外展示の一環として、岡豊城跡の一部の遺構復元を行い、また一画には、津野町（旧東津野村）から民家（登録有形文化財<平成 12 年 4 月 28 日>、旧味元家住宅主屋 1 棟）を移築している。この他、四季折々の草花を植栽している。

●岡豊城跡の面積 約 47ha
 (うち国史跡の面積 約 120,271㎡)

●公園管理

当館の管理運営の一環として、岡豊山歴史公園の管理を行っている。常時 1～3 名の担当職員による日常清掃や草刈りを行っている。また、業者による植栽の剪定や大規模な草刈りを年 1 回行っている。

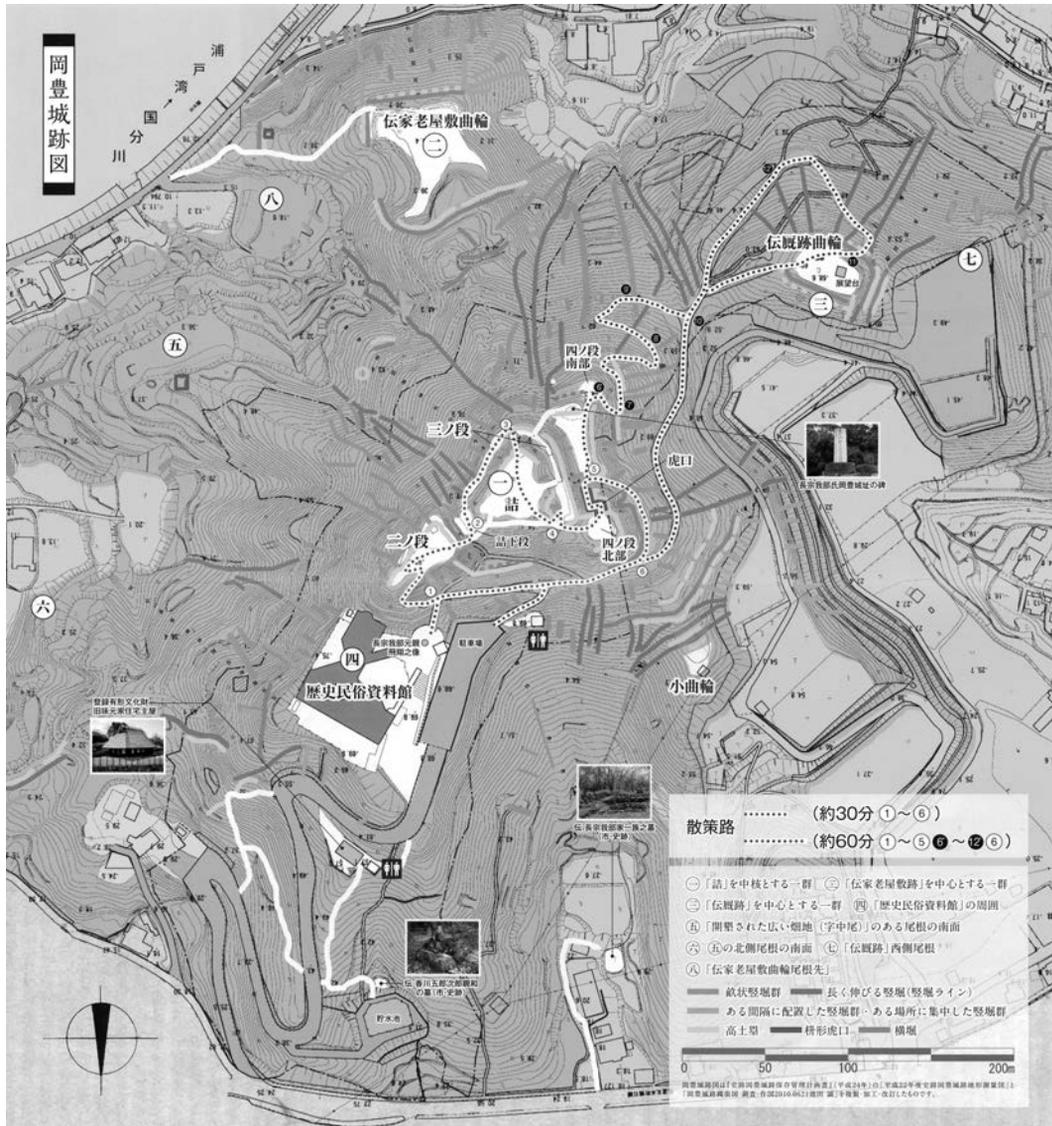
4 建設費など

●建設費 (単位：千円)

土地代・造成費		417,000
設計・建築費		2,218,000
展示工事費		774,000
内 訳	設計	64,000
	施工	710,000
環境整備費		525,000
資料調査費		314,000
内 訳	資料購入・製作	275,000
	岡豊城跡発掘調査	28,000
	山内家資料調査	11,000
開設準備費		35,000
合 計		4,283,000

●改修工事費（平成 22 年完了分） (単位：千円)

2 階・3 階展示室改修関係・ 展示室改修設計・施工委託業務	135,450
玄関入口バリアフリー及び AV ホール 多目的化関係	32,538
合計	167,988



XI 例 規

関係法規

○高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例

(平成 2 年 12 月 20 日条例第 26 号)

改正	平成 3 年 3 月 20 日条例第 2 号	平成 3 年 3 月 20 日条例第 13 号
	平成 7 年 3 月 17 日条例第 7 号	平成 8 年 3 月 26 日条例第 10 号
	平成 9 年 3 月 25 日条例第 30 号	平成 12 年 3 月 28 日条例第 63 号
	平成 17 年 7 月 19 日条例第 63 号	平成 19 年 3 月 23 日条例第 33 号
	平成 23 年 3 月 23 日条例第 9 号	平成 25 年 12 月 27 日条例第 77 号

(設置)

第 1 条 郷土の歴史・考古・民俗に関する資料等(以下「資料等」という。)を調査研究し、収集し、保存し、及び展示して広く県民に紹介することにより、伝統をいかした個性豊かな県民文化の振興に寄与するとともに、県民が散策しながら郷土の歴史・考古・民俗について学習することができる憩いの場を提供するため、高知県立歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)を南国市に設置する。

一部改正〔平成 19 年条例 33 号〕

(指定管理者による管理等)

第 2 条 資料館の管理は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき、法人その他の団体であって、知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせるものとする。

2 前項の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合においては、知事は、指定管理者の指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、資料館の適正な管理を確保するため公募を行わないことについて相当の理由がある場合は、知事が適当であると認める法人その他の団体を指定管理者の候補者として選定することができる。

全部改正〔平成 17 年条例 63 号〕、一部改正〔平成 25 年条例 77 号〕

(休館日)

第 3 条 資料館(公園を除く。次条第 1 項において同じ。)は、12 月 27 日から翌年の 1 月 1 日までの間は、休館する。ただし、知事が特に必要があると認めたとき又は指定管理者が必要があると認める場合であってあらかじめ知事の承認を得たときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕、一部改正〔平成 19 年条例 33 号〕

(開館時間)

第 4 条 資料館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、知事が特に必要があると認めたとき又は指定管理者が必要があると認める場合であってあらかじめ知事の承認を得たときは、開館時間を変更することができる。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、指定管理者があらかじめ知事の承認を得た範囲内で、指定管理者が必要があると認めたときは、事前に知事に届け出ること

により開館時間を延長することができる。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕

(施設の利用の許可等)

第 5 条 資料館の企画展示室若しくは多目的ホール(その附属設備を含む。)又は山村民家(以下「利用施設」という。)を利用しようとする者は、指定管理者(資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあつては、知事。次項並びに次条、第 6 条の 2 及び第 8 条において同じ。)の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

一部改正〔平成 19 年条例 33 号・23 年 9 号・25 年 77 号〕

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

- (1) 利用の目的が資料館の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団(高知県暴力団排除条例(平成 22 年高知県条例第 36 号)第 2 条第 1 号に規定する暴力団をいう。第 8 条第 1 項第 4 号において同じ。)の活動に利用されると認めるとき。

追加〔平成 23 年条例 9 号〕

- (4) 資料館の管理上支障があると認めるとき。

追加〔平成 23 年条例 9 号〕

- (5) 前各号に掲げる場合のほか、利用施設を利用させることが不相当であると認めるとき。

追加〔平成 17 年条例 63 号〕、

一部改正〔平成 19 年条例 33 号・23 年 9 号・25 年 77 号〕

(写真等の撮影の許可等)

第 6 条 資料館において、業として写真若しくは映画を撮影しようとする者又は資料館の設置の目的に関連する催物を行おうとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、前項の許可に資料館の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

追加〔平成 19 年条例 33 号〕

(資料等の撮影等の許可等)

第 6 条の 2 学術研究その他の目的のため資料館の資料等の撮影、複写、模写、模造等をしようとする者は、

指定管理者の許可を受けなければならない。

一部改正〔平成19年条例33号〕

2 前項の場合において、資料館の資料等は、指定管理者が特に必要があると認める場合を除き、資料館以外の場所で利用することができない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号〕
(行為の禁止)

第6条の3 資料館の公園において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 公園を損傷し、又は汚損すること。
- (2) 立木等を伐採し、又は植物を採取すること。
- (3) 鳥獣を捕獲し、又は殺傷すること。
- (4) 土石の採取その他土地の形質を変更すること。
- (5) 騒音を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (6) みだりに火気を使用し、又は危険を起こすおそれのある行為をすること。
- (7) 指定された場所以外の場所にごみその他の汚物を遺棄し、又は放置すること。
- (8) 立入り禁止区域内に立ち入ること。
- (9) 指定された場所以外の場所に車両等を乗り入れ、又は駐車すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、資料館の管理上不適当であると認められる行為をすること。

追加〔平成19年条例33号〕

(権利の譲渡等の禁止)

第7条 第5条第1項、第6条第1項又は第6条の2第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、当該許可に伴う権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年33号〕
(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可を取り消し、利用を停止させ、又は許可の条件を変更することができる。

- (1) 利用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又は指定管理者の指示した事項に違反したとき。
- (2) 利用者が許可の条件に違反したとき。
- (3) 利用者が第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって第5条第1項、第6条第1項若しくは第6条の2第1項の許可を受けたとき。

一部改正〔平成23年条例9号〕

- (4) 暴力団の活動に利用されると認めるとき。

追加〔平成23年条例9号〕

- (5) 前各号に掲げる場合のほか、資料館の管理上特に必要があると認めるとき。

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

2 前項の場合において、利用者に損害が生じても、指定管理者は、賠償責任を負わない。ただし、同項第5号の規定に該当する場合における同項の規定に基づく

処分をした場合であって、当該処分が指定管理者の都合によるときは、この限りでない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(利用料金の納付)

第9条 資料館が展示する資料等を観覧する者(以下「観覧者」という。)又は利用者(営利以外の目的で第6条の2第1項の許可を受けた者を除く。次条及び第14条第1項において同じ。)は、第11条の規定により定められた資料館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)(利用料金の額が100円未満となる場合にあっては、100円とし、利用料金の額に10円未満の端数を生じたときは、当該端数を10円に切り上げる。)を指定管理者に納付しなければならない。ただし、観覧者が、知事が別に定めるところにより交付する高知県長寿手帳を所持する65歳以上の県民その他規則で定める者である場合は、この限りでない。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号・19年33号・25年77号〕

(利用料金の収受)

第10条 指定管理者は、観覧者又は利用者が納付する利用料金を当該指定管理者の収入として収受するものとする。

追加〔平成17年条例63号〕

(利用料金の承認)

第11条 利用料金の額は、別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ消費税法(昭和63年法律第108号)第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額並びに当該消費税の額に高知県税条例(昭和33年高知県条例第1号)第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を、当該別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ加えて得た額(当該額に100円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額(当該額が100円未満となる場合にあっては、1円未満の端数を切り捨てた額)。以下この項において「税込み基準額」という。)に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において、指定管理者があらかじめ知事の承認を得て定めるものとする。ただし、特別の展示に係る1人1回当たり(20人以上の団体である場合を含む。)の利用料金の額については、その都度指定管理者があらかじめ知事の承認を得て定めるものとする。

一部改正〔平成19年条例33号・25年77号〕

2 前項の利用料金の額を変更しようとするときは、指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得るものとする。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・25年77号〕

(利用料金の減免)

第12条 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕

(利用料金の還付)

第13条 指定管理者が既に収入として収受した利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者が特別な理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕
(観覧料及び使用料)

第14条 資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合は、第9条本文の規定にかかわらず、観覧者は観覧料を、利用者は使用料(使用料の額が100円未満となる場合にあっては、100円とし、使用料の額に10円未満の端数を生じたときは、当該端数を10円に切り上げる。)を県に納付しなければならない。

一部改正〔平成25年条例77号〕

2 観覧料の額は、別表第1に定める通常の展示に係る1人1回当たりの基準額に消費税法第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額及び当該消費税の額に高知県税条例第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を当該基準額に加えて得た額(当該額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額。以下この項において「税込み基準額」という。)に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において規則で定めるものとする。ただし、特別の展示に係る観覧料の額については、知事とその都度定めるものとする。

一部改正〔平成23年条例9号・25年77号〕

3 使用料の額は、別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ消費税法第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額並びに当該消費税の額に高知県税条例第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を、当該別表第2に定める基準額及び別表第3に定める計算単位当たりの基準額にそれぞれ加えて得た額(当該額に10円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額(当該額が100円未満となる場合にあっては、1円未満の端数を切り捨てた額)。以下この項において「税込み基準額」という。)に0.5を乗じて得た額から税込み基準額に2を乗じて得た額までの範囲内において、規則で定めるものとする。

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号・25年77号〕

4 観覧料及び使用料の減免及び還付については、前2条の規定を準用する。この場合において、これらの規定中「利用料金」とあるのは「観覧料及び使用料」と、第12条中「指定管理者」とあるのは「知事」と、前条中「指定管理者が既に収入として収受した」とあるのは「既に納付された」と、「ただし、指定管理者」とあるのは「ただし、知事」と読み替えるものとする。

追加〔平成17年条例63号〕、

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号・25年77号〕

(旅行者等の取扱いによる観覧)

第15条 第9条本文及び前条第1項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる者の取扱いによる観覧については、当該各号に掲げる者が、第11条の規定により定められた利用料金(団体の場合にあっては、その合計額)の9割に相当する金額を利用料金として指定管理者に

納付し、又は前条第2項の規定により定められた観覧料(団体の場合にあっては、その合計額)の9割に相当する金額を観覧料として県に納付しなければならない。

(1) 旅行業法(昭和27年法律第239号)第6条の4第1項に規定する旅行者

(2) 知事が別に定める者

追加〔平成17年条例63号〕

(損害賠償義務)

第16条 資料館を利用する者又は指定管理者は、故意又は過失により資料館の資料等、施設、設備等を損傷し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を知事の認定に基づき賠償しなければならない。

一部改正〔平成8年条例10号・17年63号〕

(指定管理者が行う業務)

第17条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 第5条に規定する施設の利用の許可等、第6条に規定する写真等の撮影の許可等、第6条の2に規定する資料等の撮影等の許可等、第8条に規定する許可の取消し等その他の施設の利用、写真等の撮影又は資料等の撮影等の許可に関する業務

一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(2) 第10条に規定する利用料金の収受、第12条に規定する利用料金の減免、第13条に規定する利用料金の還付その他の利用料金の徴収に関する業務

(3) 資料館の資料等、施設、設備等の維持管理に関する業務

(4) 資料館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成19年条例33号・23年9号〕

(指定管理者の指定の申請)

第18条 第2条第2項本文の規定により指定管理者の公募を行った場合において、同条第1項に規定する指定管理者の指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に次に掲げる書類を添えて、当該指定について知事に申請しなければならない。

(1) 前条各号に掲げる業務(以下「業務」という。)に係る事業計画書

一部改正〔平成25年条例77号〕

(2) 前号に掲げるもののほか、知事が特に必要なものとして規則で定める書類

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕

(指定管理者の指定等)

第19条 知事は、前条の規定による申請があったときは、次の各号のいずれにも該当するものうちから指定管理者の候補者を選定するものとする。

(1) 前条第1号の事業計画書(以下この項において「事業計画書」という。)による資料館の管理が県民の平等利用を確保することができるものであること。

(2) 事業計画書の内容が資料館の効用を最大限に発揮させるとともに、その業務に係る経費の縮減が図られるものであること。

(3) 事業計画書に沿った業務を安定して行う物的能

力及び人的能力を有しており、又は確保できるものであること。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- (4) 事業計画書による業務の実施により、資料等を調査研究し、収集し、保存し、及び展示して広く県民に紹介することで、伝統をいかした個性豊かな県民文化の振興に寄与することができるものであること。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- 2 知事は、第2条第2項ただし書の規定に基づき又は前項の規定により指定管理者の候補者を選定したときは、議会の議決を経て指定管理者として指定するものとする。
- 3 指定管理者は、その名称、主たる事務所の所在地その他規則で定める事項に変更があったときは、遅滞なく、その旨を知事に届け出なければならない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕
(事業報告書の作成及び提出)

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。ただし、年度の途中において、第22条第1項の規定に基づき指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して30日以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を提出しなければならない。

- (1) 業務の実施状況並びに観覧者及び利用者の利用状況
(2) 利用料金の徴収の実績
(3) 業務に係る経費等の収支状況
(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者による資料館の管理の実態を把握するために知事が必要であると認めるもの

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕
(業務報告の聴取等)

第21条 知事は、資料館の管理の適正を期するため、指定管理者に対して、業務及びその経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

追加〔平成17年条例63号〕
(指定の取消し等)

第22条 知事は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

一部改正〔平成25年条例77号〕

- 2 前項の規定に基づき指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、県は、賠償責任を負わない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕
(指定等の告示)

第23条 知事は、次に掲げる場合には、その旨を告示するものとする。

- (1) 第19条第2項の規定による指定をしたとき。
(2) 第19条第3項の規定による名称又は主たる事

務所の所在地の変更に係る届出があったとき。

- (3) 前条第1項の規定に基づき指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

追加〔平成17年条例63号〕

(原状回復義務)

第24条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき又は第22条第1項の規定に基づき指定を取り消され、若しくは期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった資料館の施設、設備等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成23年条例9号・25年77号〕

(秘密保持義務)

第25条 指定管理者又は業務に従事している者は、高知県個人情報保護条例(平成13年高知県条例第2号)の規定を遵守し、個人情報を保護するとともに、業務に関し知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は業務に従事している者がその職務を退いた後においても、同様とする。

追加〔平成17年条例63号〕、一部改正〔平成25年条例77号〕
(委任)

第26条 この条例に定めるもののほか、資料館の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

一部改正〔平成8年条例10号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
(平成3年4月規則第40号で、同3年5月3日から施行)
(高知県収入証紙条例の一部改正)
- 2 高知県収入証紙条例(昭和39年高知県条例第1号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

全部改正〔平成3年条例2号〕

(高知県立郷土文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正)

- 3 高知県立郷土文化会館の設置及び管理に関する条例(昭和44年高知県条例第31号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

全部改正〔平成3年条例13号〕

附 則(平成3年3月20日条例第2号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成3年3月20日条例第13号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月17日条例第7号)

- 1 この条例は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成8年3月26日条例第10号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成 9 年 3 月 25 日条例第 30 号）抄
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。（後略）
（経過措置）
- 2 平成 9 年 3 月 31 日において、現に高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例第 5 条第 1 項の許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、第 10 条の規定による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 12 年 3 月 28 日条例第 63 号）抄
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この条例の施行の日の前日において、現に（中略）高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例第 5 条第 1 項（中略）の規定による許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、（中略）第 12 条の規定による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例別表第 2（中略）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 17 年 7 月 19 日条例第 63 号）
（施行期日）

- 1 この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
（準備行為）
- 2 この条例による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（以下「改正後の条例」という。）第 2 条第 1 項に規定する指定管理者の指定及び当該指定に関し必要なその他の行為は、この条例の施行の前日においても、改正後の条例第 18 条並びに第 19 条第 1 項及び第 2 項の規定の例により行うことができる。
（経過措置）
- 3 この条例の施行の前日にこの条例による改正前の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（以下「改正前の条例」という。）の規定によりなされた処分その他の行為は、改正後の条例の規定によりなされたものとみなす。
- 4 この条例の施行の際現に改正前の条例第 10 条の規定に基づき委託している高知県立歴史民俗資料館の管理については、平成 18 年 9 月 1 日（同日前に改正後の条例第 19 条第 2 項の規定による指定をした場合は、当該指定の日）までの間は、なお従前の例による。
- 5 この条例の施行後において改正前の条例の規定により納付すべき入館料及び使用料については、なお従前の例による。
（高知県収入証紙条例の一部改正）
- 6 高知県収入証紙条例（昭和 39 年高知県条例第 1 号）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）

附 則（平成 19 年 3 月 23 日条例第 33 号）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 23 日条例第 9 号）

この条例は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 12 月 27 日条例第 77 号）

この条例は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 11 条関係、第 14 条関係）

区 分	通常の展示に係る 1 人 1 回当たりの基準額
18 歳以上の者（高等学校の生徒その他これに準ずる者を除く。）	430 円

備 考

20 人以上の団体である場合の通常の展示に係る 1 人 1 回当たりの基準額は、この表の規定にかかわらず、この表に規定する額に 0.8 を乗じて得た額（当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、当該端数を切り捨てる。）とする。

全部改正〔平成 7 年条例 7 号・8 年 10 号・9 年 30 号・12 年 63 号・17 年 63 号・25 年 77 号〕

別表第 2（第 11 条、第 14 条関係）

区 分	基 準 額			時間外利用料金 (1 時間につき)
	基本利用料金			
	午前	午後	全日	
企画展示室	-	-	22,360 円	2,790 円
多 目 的 ホ ー ル	5,360 円	8,930 円	14,280 円	1,790 円
山 村 民 家	1,380 円	1,840 円	3,210 円	460 円

備 考

1 この表において、「午前」とは午前 9 時から正午までの間を、「午後」とは正午から午後 5 時までの間を、「全日」とは午前 9 時から午後 5 時までの間をいう。

2 時間外利用料金の計算において、時間外の利用時間が 1 時間未満であるとき又は時間外の利用時間に 1 時間未満の端数があるときは、当該利用時間又は当該端数を 1 時間として計算する。

3 準備、後始末等のために利用施設を利用する場合の基準額は、この表に規定する利用施設の区分に対応する基準額に 0.5 を乗じて得た額（当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、当該端数を切り捨てる。）とする。

4 利用施設の利用において附属設備を使用する場合の当該附属設備に係る基準額は、規則で定める。全部改正〔平成 25 年条例 77 号〕、一部改正〔平成 8 年条例 10 号・9 年 30 号・12 年 63 号・17 年 63 号・19 年 33 号〕

別表第 3（第 11 条、第 14 条関係）

区 分	計算単位	計算単位当たり の基準額
業として行う写真の撮影	撮影者 1 人	1 日につき 860 円
業として行う映画の撮影	撮影機 1 台	1 時間につき 1,720 円
資料館の設置の目的に 関連する催物の開催	許可面積 1 平方メートル	1 日につき 20 円
資料等の撮影、複写、 模写、模造等（営利を目的とするものに限る。）	1 点	4,910 円

備考

- 1 映画の撮影の時間が1時間未満であるとき又は映画の撮影の時間に1時間未満の端数があるときは、当該時間又は当該端数を1時間として計算する。
- 2 許可面積が1平方メートル未満であるとき又は

許可面積に1平方メートル未満の端数があるときは、当該許可面積又は当該端数を1平方メートルとして計算する。

追加〔平成19年条例33号〕、全部改正〔平成25年条例77号〕

○高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

改正	平成9年3月28日規則第18号	平成8年3月29日規則第50号
	平成10年3月20日規則第14号	平成9年6月27日規則第84号
	平成13年12月28日規則第180号	平成12年3月28日規則第26号
	平成18年12月26日規則第136号	平成18年3月31日規則第54号
	平成26年3月28日規則第28号	平成19年4月1日規則第53号
		平成28年5月17日規則第36号

高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例（平成2年高知県条例第26号。以下「条例」という。）の規定に基づき、高知県立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第2条 条例第5条第1項の利用施設（同項に規定する利用施設をいう。以下同じ。）の利用の許可（以下「利用の許可」という。）を受けようとする者は、条例第2条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に対して、指定管理者が定める利用許可申請書を提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあっては、利用の許可を受けようとする者は、知事に対して、別記第1号様式による利用許可申請書を提出しなければならない。

3 前2項の規定による申請は、利用施設の利用を開始する日の1月前までにこれをしなければならない。ただし、指定管理者（資料館の管理を指定管理者が行うことができない場合にあっては、知事。次条第1項、第4条第1項及び第2項、第5条第1項、第5条の2第1項及び第2項、第5条の3第1項から第3項まで、第6条第1項、第7条第1項及び第3項、第8条第1項及び第4項ただし書、第8条の2ただし書、第17条ただし書、第18条ただし書並びに第19条において同じ。）が特に認めたときは、この限りでない。

全部改正〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(利用許可書の交付等)

第3条 指定管理者は、前条第1項又は第2項の規定による申請があった場合において、利用の許可をするときは指定管理者が定める利用許可書を当該申請をした者に交付し、利用の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の利用許可書は、別記第2号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕

(利用の取消しの届出等)

第4条 利用の許可を受けた者は、当該利用施設の利用を取り消すときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

2 条例第5条第1項の利用の許可を受けた事項の変更の許可（以下「利用の変更の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める利用等変更許可申請書を提出しなければならない。

3 知事に対して提出する前項の利用等変更許可申請書は、別記第3号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(利用等変更許可書の交付等)

第5条 指定管理者は、前条第2項の規定による申請があった場合において、利用の変更の許可をするときは指定管理者が定める利用等変更許可書を当該申請をした者に交付し、利用の変更の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の利用等変更許可書は、別記第4号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕

(写真等の撮影等の許可の申請等)

第5条の2 条例第6条の写真等の撮影等の許可（以下「写真等の撮影等の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める写真等撮影等許可申請書をあらかじめ提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による申請があった場合において、写真等の撮影等の許可をするときは指定管理者が定める写真等撮影等許可書を当該申請をした者に交付し、写真等の撮影等の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

3 知事に対して提出する第1項の写真等撮影等許可申請書は別記第4号様式の2に、知事が交付する前項の写真等撮影等許可書は別記第4号様式の3によるものとする。

追加〔平成19年規則53号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕

(写真等の撮影等の取りやめの届出等)

第5条の3 写真等の撮影等の許可を受けた者は、当該撮影等を取りやめるときは、直ちにその旨を指定管理

者に届け出なければならない。

2 条例第6条の写真等の撮影等の許可を受けた事項の変更の許可（次項において「写真等の撮影等の変更の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める利用等変更許可申請書を提出しなければならない。

3 指定管理者は、前項の規定による申請があった場合において、写真等の撮影等の変更の許可をするときは指定管理者が定める利用等変更許可書を当該申請をした者に交付し、写真等の撮影等の変更の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

4 知事に対して提出する第2項の利用等変更許可申請書は別記第3号様式に、知事が交付する前項の利用等変更許可書は別記第4号様式によるものとする。

追加〔平成19年規則53号〕、一部改正〔平成26年規則28号・28年36号〕
（資料等の撮影等の許可の申請）

第6条 条例第6条の2第1項の資料館の資料等の撮影、複写、模写、模造等の許可（以下「資料等の撮影等の許可」という。）を受けようとする者は、指定管理者に対して、指定管理者が定める資料等撮影等許可申請書をあらかじめ提出しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めるときは、この限りでない。

2 知事に対して提出する前項の資料等撮影等許可申請書は、別記第5号様式によるものとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕
（資料等撮影等許可書の交付等）

第7条 指定管理者は、前条第1項の規定による申請があった場合において、資料等の撮影等の許可をするときは指定管理者が定める資料等撮影等許可書を当該申請をした者に交付し、資料等の撮影等の許可をしないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。

2 知事が交付する前項の資料等撮影等許可書は、別記第6号様式によるものとする。

3 資料等の撮影等の許可を受けた者は、当該資料等の撮影、複写、模写、模造等を取りやめるときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成19年規則53号・26年28号〕
（利用料金等の納付の時期等）

第8条 資料館が展示する資料等を観覧する者（以下「観覧者」という。）又は利用の許可を受けた者は、条例第9条の規定による利用料金又は条例第14条第1項の規定による観覧料若しくは使用料を、観覧の際は指定管理者が定める観覧券と引換えに、又は第3条第1項の利用許可書若しくは第5条第1項の利用変更許可書の交付を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めるときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、条例第15条各号に掲げる者の取扱いによる観覧については、観覧の後に、利用料金として指定管理者に納付し、又は観覧料として県に納付することができる。

3 知事が交付する第1項の観覧券の様式は、観覧者が個人である場合にあっては別記第7号様式に、20人以上の団体である場合にあっては別記第8号様式によるものとする。ただし、条例第15条各号に掲げる者が取り扱う場合は、別記第9号様式によるものとする。

4 観覧券の交付は、午後4時30分までとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成18年規則54号・19年53号・26年28号〕
第8条の2 写真等の撮影等の許可を受けた者又は資料等の撮影等の許可を受けた者（営利を目的とする資料等の撮影等に係るものに限る。）は、条例第9条の規定による利用料金又は条例第14条第1項の規定による使用料を第5条の2第2項の写真等撮影等許可書若しくは第5条の3第3項の利用等変更許可書又は第7条第1項の資料等撮影等許可書の交付を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特に認めるときは、この限りでない。

追加〔平成19年規則53号〕

（利用料金等の納付を要しない観覧者）

第9条 条例第9条ただし書の規則で定める者は、次に掲げる者とする。

- (1) 身体障害者手帳を所持する者
- (2) 療育手帳を所持する者
- (3) 精神障害者保健福祉手帳を所持する者
- (4) 戦傷病者手帳を所持する者
- (5) 被爆者健康手帳を所持する者
- (6) 高知市長が交付する高知市長寿手帳を所持する65歳以上の者
- (7) 第1号から第5号までに掲げる者（以下この号において「身体障害者等」という。）を直接介護し、又は介助するために必要な者（身体障害者等1人につき1人とし、当該身体障害者等と同時に資料館に入館する場合に限る。）

一部改正〔平成10年規則14号・12年26号・13年180号・18年54号〕

（利用料金の承認の申請）

第10条 指定管理者は、条例第11条第1項の規定により利用料金の額を定めようとするときは、知事に対して、別記第10号様式による利用料金承認申請書を提出しなければならない。

2 指定管理者は、条例第11条第2項の規定により知事の承認を受けた利用料金の額を変更しようとするときは、知事に対して、別記第11号様式による利用料金変更承認申請書を提出しなければならない。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成28年規則36号〕
（附属設備に係る基準額）

第11条 消費税法（昭和63年法律第108号）第29条に規定する消費税の税率を乗じて得た消費税の額及び当該消費税の額に高知県税条例（昭和33年高知県条例第1号）第70条の4に規定する地方消費税の税率を乗じて得た地方消費税の額を加えることとなる条例別表第2条例別表第2の備考4の規則で定める附属設備に係る基準額は、別表に定めるとおりとする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕
（観覧料及び使用料の額）

第12条 条例第14条第2項及び第3項の規則で定める観覧料及び使用料の額は、知事が別に定める。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号〕
（観覧料及び使用料の減免の申請等）

第13条 条例第14条第4項において読み替えて準用す

る条例第12条の規定に基づき観覧料を減額し、又は免除する必要があると認めるときは、次の各号のいずれかに該当するときとし、減額する場合の当該額は、知事が別に定める。

- (1) 県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は特別支援学校の児童又は生徒の引率者が、教育課程に基づく教科学習の一環として観覧するとき。
 - (2) 前号に掲げる場合のほか、知事が特に必要があると認めるとき。
- 2 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき使用料を減額し、又は免除する必要があると認めるときは、次の各号のいずれかに該当するときとし、減額する場合の当該額は、知事が別に定める。
- (1) 国、地方公共団体又はその他の公共的団体が、県若しくは教育委員会と共催し、又は県若しくは教育委員会の後援を受けて展覧会等を開催する場合で、知事が必要があると認めるとき。
 - (2) 前号に掲げる場合のほか、知事が特に必要があると認めるとき。
- 3 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、知事に対して、別記第12号様式による観覧料減額（免除）承認申請書をあらかじめ提出しなければならない。
- 4 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第12条の規定に基づき使用料の減額又は免除を受けようとする者は、知事に対して、別記第13号様式による使用料減額（免除）承認申請書を第2条第2項の利用許可申請書、第5条の2第1項の写真等撮影等許可申請書若しくは第6条第1項の資料等撮影等許可申請書又は第4条第2項若しくは第5条の3第2項の利用等変更許可申請書とともに提出しなければならない。
- 5 知事は、前2項の規定による申請があった場合において、観覧料又は使用料の減額又は免除を承認するときは別記第14号様式による観覧料減額（免除）承認通知書又は別記第15号様式による使用料減額（免除）承認通知書を当該申請をした者に交付し、承認しないときはその旨を当該申請をした者に通知するものとする。
- 追加〔平成18年規則54号〕、
一部改正〔平成18年規則136号・19年53号・26年28号・28年36号〕
(観覧料及び使用料の還付の請求等)
- 第14条 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき観覧料又は使用料を還付する特別の理由があると認めるときは次の各号のいずれかに該当するときとし、当該還付する観覧料又は使用料の額は既納又は過納となる観覧料又は使用料の額に相当する額とする。
- (1) 災害その他の不可抗力により資料館が展示する資料等の観覧若しくは利用施設の利用ができなくなった場合又は県若しくは指定管理者の都合により利用の許可、写真等の撮影等の許可若しくは資料等の撮影等の許可を取り消した場合
 - (2) 利用施設の利用の取消しの届出又は利用の変更

の許可の申請が当該利用を開始する日の10日前(知事が特に認めるときは、5日前)までであった場合

- (3) 使用料を納付した後当該利用等を開始する日の前日までに使用料の減額又は免除を承認した場合
- 2 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を提示した上で、知事に対して、別記第16号様式による観覧料還付請求書を提出しなければならない。
- 3 条例第14条第4項において読み替えて準用する条例第13条ただし書の規定に基づき使用料の還付を受けようとする者は、知事に対して、別記第17号様式による使用料還付請求書を提出しなければならない。
- 4 知事は、前2項の規定による請求があった場合において、観覧料の還付を決定したときは観覧券と引換えに観覧料を還付し、還付をしないときはその旨を当該請求をした者に通知し、使用料の還付を決定したときは別記第18号様式による使用料還付決定通知書を当該請求をした者に交付し、還付をしないときはその旨を当該請求をした者に通知するものとする。
- 追加〔平成18年規則54号〕、
一部改正〔平成19年規則53号・26年28号・28年36号〕
(入館の制限)
- 第15条 知事又は指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認められた者に対して、資料館への入館を拒み、又は資料館からの退去を命ずることができる。
- (1) 資料館の資料等、施設、設備等を汚損し、又は損壊するおそれのある者
 - (2) 他の資料館を利用する者(以下「利用者」という。)に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
 - (3) 騒じょう又は示威にわたる行為をする者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、資料館の関係職員の指示に従わない者
- 一部改正〔平成18年規則54号〕
(管理上の立入り)
- 第16条 利用者は、資料館の関係職員が資料館の施設、設備等の管理その他職務上の必要があつて当該利用に係る利用施設に立ち入る場合は、これを拒むことができない。
- 一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕
(設備の制限)
- 第17条 利用者は、資料館の施設に特別の設備をし、又は設備に変更を加えてはならない。ただし、指定管理者の許可を受けたときは、この限りでない。
- 一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕
(原状回復義務)
- 第18条 利用者は、利用施設の利用が終わったとき又は条例第8条第1項の規定に基づき利用の許可を取り消され、若しくは利用を停止させられたときは、直ちに当該利用に係る施設、設備等を原状に回復し、資料館の関係職員の点検を受けなければならない。ただし、指定管理者が特に認めるときは、この限りでない。
- 一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕
(汚損等の届出)
- 第19条 利用者は、資料館の資料等、施設、設備等を

汚損し、又は損壊したときは、直ちに指定管理者に届け出て、その指示を受けなければならない。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕

(寄贈又は寄託)

第20条 資料館に資料等を寄贈し、又は寄託しようとする者は、知事に対して、別記第19号様式による資料等寄贈(寄託)申込書を提出するものとする。

2 知事は、前項の規定による申込みを承諾したときは、その旨を当該申込みをした者に通知するものとする。

3 知事は、資料等の引渡しを受けたときは、別記第20号様式による資料等受領書を第1項の規定による申込みをした者に交付するものとする。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号〕

(指定管理者の指定の申請に必要な書類等)

第21条 条例第18条の規則で定める申請書は、別記第21号様式によるものとする。

2 条例第18条第2号の規則で定める書類は、次に掲げるとおりとする。

(1) 条例第17条各号に掲げる業務に係る収支予算書

(2) 定款、規約その他これらに類する書類

(3) 法人にあっては当該法人の登記事項証明書、法人以外の団体にあつては当該団体の代表者の住民票の写し

(4) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の前事業年度及び前々事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の経営状況を明らかにする書類

(5) 前各号に掲げる書類のほか、知事が必要があると認める書類

3 条例第19条第3項の規則で定める事項は、指定管理者の代表者の氏名とする。

追加〔平成18年規則54号〕、一部改正〔平成26年規則28号・28年36号〕

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、資料館の管理に関し必要な事項は、知事が別に、又は指定管理者が知事の承認を得て定める。

一部改正〔平成9年規則84号・18年54号・26年28号〕

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(高知県立歴史民俗資料館の入館料等に関する規則の廃止)

2 高知県立歴史民俗資料館の入館料等に関する規則(平成3年高知県規則第41号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月28日規則第18号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成9年6月27日規則第84号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成10年3月20日規則第14号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月28日規則第26号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成13年12月28日規則第180号)

この規則は、平成14年1月1日から施行する。

附 則(平成18年3月31日規則第54号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為として行う申請に必要な書類)

2 高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(平成17年高知県条例第63号)附則第2項の規定に基づき、同条例の規定の施行の日前において行う指定管理者の指定及び利用料金の承認の申請に必要な書類については、この規則による改正後の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則(次項において「改正後の規則」という。)第21条及び第10条第1項の規定の例による。

(経過措置)

3 この規則の施行の日前にこの規則による改正前の高知県立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の規則の規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成18年12月26日規則第136号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年4月1日規則第53号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月28日規則第28号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年5月17日規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表(第11条関係)

附属設備名	単位	基 準 額				時間外利用料金 (1時間につき)
		基本利用料金				
		午 前	午 後	全 日		
プロジェクター	1式	1,050円	1,740円	2,790円	350円	
テープレコーダ	1式	360円	620円	980円	120円	
マイクروفोन	1本	270円	450円	720円	90円	
ワイヤレス・マイクروفोन	1本	420円	710円	1,130円	140円	
マイクスタンド	1台	150円	250円	390円	50円	
司会用演台	1台	150円	250円	390円	50円	
展示ケース(大)	1台	270円	450円	720円	90円	
展示ケース(中)	1台	240円	410円	650円	80円	
展示ケース(小)	1台	210円	350円	560円	70円	

備 考

1 この表において、「午前」とは午前9時から正

午までの間を、「午後」とは正午から午後5時までの間を、「全日」とは午前9時から午後5時ま

での間をいう。

- 2 時間外利用料金の計算において、時間外の利用時間が1時間未満であるとき又は時間外の利用時間に1時間未満の端数があるときは、当該利用時間又は当該端数を1時間として計算する。
- 3 この表に定めのない用具に係る基準額は、その

都度知事が定める。

- 4 消耗器材費及び附属設備の利用に係る特別の労力を要する費用は、この表の基準額には含まないものとする。

全部改正〔平成26年規則28号〕

※別記第1号様式～第21号様式については省略

○高知県立歴史民俗資料館運営協議会会則

(設置)

第1条 公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)が管理運営する高知県立歴史民俗資料館の運営に必要な事項を協議するため、高知県立歴史民俗資料館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会は、10人以内で組織する。

(任命)

第3条 委員は、学識経験を有する者その他相当と認める者のうちから、理事長が任命する。

(任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。但し、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、それぞれ委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。

(会議)

第6条 運営協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集する。

2 会議の議長は、会長が当たる。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開会することが出来ない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数の時は、議長の決するところとする。

(オブザーバー)

第6条の2 会議には、オブザーバーの出席を求めることができる。

2 オブザーバーは、財団理事長及び関係機関の所属職員のうち、会議の都度、会長が依頼する者とする。

3 オブザーバーは、会議において、必要に応じ助言、意見等を述べる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、高知県立歴史民俗資料館学芸課において処理する。

(雑則)

第8条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が運営協議会に諮って定める。

付 則

(施行期日)

この会則は、平成10年9月1日から施行する。

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

○高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会設置要領

(趣旨)

第1条 高知県立歴史民俗資料館(以下、「歴史館」という。)が行う資料の収集(購入、寄贈、寄託及び複製制作委託等をいう。)に当たり、その選定、評価等について意見を聞くために、歴史・美術工芸・考古・民俗の分野について高知県立歴史民俗資料館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、各分野の資料に関する、歴史館職員以外の専門家、学識経験者等適任者と認められる者5人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、歴史館長(以下、「館長」という。)が委嘱する。

3 委員会に委員長、副委員長を置くこととし、それぞれ委員の互選により、選任する。

(任期等)

第3条 委員の任期は、2年とする。但し、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長の了解のもとに館長

が招集し、委員長がその議長となる。

(業務)

第5条 委員会は、資料の収集に関して次の各号に掲げる事項を検討し、意見を述べるとともに、必要に応じて意見書を作成する。

1 資料の選定に関すること。

2 資料の評価に関すること。

3 資料の購入、寄贈又は寄託の受け入れの適否に関すること。

4 前各号に掲げるもののほか必要と認める事項。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館学芸課において処理する。

(雑則)

第7条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成13年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

○高知県立歴史民俗資料館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)の業務の一環として、高知県立歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)に係る資料の調査、確認及び聞き取り(以下「調査等」という。)を行う資料調査員の設置について必要な事項を定める。

(資料調査員の委嘱等)

第2条 資料調査員は、高知県の歴史、考古、民俗及び美術工芸に関し学識経験を有する者53人以内をもって構成する。

2 資料調査員は、財団理事長(以下「理事長」という。)が委嘱する。

(任期等)

第3条 資料調査員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 資料調査員には身分証明書(別記様式第1号-略-)を交付する。

(任務)

第4条 資料調査員は、資料館館長(以下「館長」という。)の依頼によって、歴史、考古、民俗及び美術工芸の各分野における資料の調査等を行うものとする。

2 資料の調査等は、所有者又は管理者の同意を得た後、資料の所在地において行うものとする。

(報告)

第5条 資料調査員は、資料の調査を行ったときは、調査概況報告書(別記様式第2号-略-)をもって館長に報告しなければならない。

2 報告は、必要に応じて、資料調査カード(別記様式第3号-略-)、その都度定める調査票、又は報告書等を添付することとする。

(打合せ会議)

第6条 資料調査員の情報交換その他のために、必要に応じて資料調査員会議を開催するものとする。

(報償費及び旅費)

第7条 資料調査員には、館長が別に定めるところにより報償費を支給する。

2 資料調査員の旅費は、財団の常勤職員の例による。

(災害補償)

第8条 資料調査員が、調査等の任務遂行上死亡し又は傷病にかかったときは、財団が措置する加入保険に定めるところにより必要な災害補償を行うものとする。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか資料調査員の設置に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

○高知県文化財団カルチャーサポーター設置要綱

(設置)

第1条 公益財団法人高知県文化財団(以下「財団」という。)の機関のうち、高知県立美術館・高知県立歴史民俗資料館・高知県立坂本龍馬記念館・高知県立文学館(以下「各施設」という。)にカルチャーサポーターを置く。

(目的)

第2条 カルチャーサポーターの活動を通じて、県民と各施設をつなぎ、各施設の活動に対する県民の理解と関心を深めるとともに地域文化の向上に資することを目的とする。

(業務)

第3条 カルチャーサポーターは、各施設の活動に対し必要に応じて、概ね次の業務を行う。

- (1) 展示解説
- (2) 資料整理
- (3) イベント運営
- (4) その他各施設長が必要と認める業務

(資格)

第4条 一般公募により募集を行い、基礎研修・実務研修・モデル事業を終了し、各施設の業務に従事できる者をカルチャーサポーターと認定し、様式1の認定証を交付する。認定を受けたカルチャーサポーターは、各施設長が様式2の台帳に登録することに

より業務に従事できる。

(認定期間)

第5条 カルチャーサポーターの認定期間は1年とする。(4月1日から翌年3月31日)ただし、資格内容に変更がないときは継続することができる。

2 認定期間中、都合により活動を辞退するときは認定証を財団に返却するものとする。

(認定証の着用)

第6条 カルチャーサポーターは、業務に従事する際は、認定証を着用しなければならない。

(遵守事項)

第7条 カルチャーサポーターは、その活動にあたっては職員の指示に従うとともに、条例その他規則を遵守しなければならない。

(報償費)

第8条 カルチャーサポーターに対して、予算の範囲内で報償費を支給する。

(保険)

第9条 各施設ごとに、ボランティア保険に加入する。

附 則

この要綱は平成13年3月12日から施行する。

附 則

この要綱は平成16年3月15日から施行する。

※様式1、様式2については省略

Ⅱ 令和4年度 受贈・購入図書目録

令和4年度に諸機関や個人の方より寄贈された書類等は、以下のとおりである。記して謝意を申し上げたい(敬称略・都道府県別)。

なお、本目録は令和4年4月1日から令和5年3月31日までに、寄贈、発行されたものである。末尾に購入図書目録を掲載した。

北海道		福島大学行政政策学類考古学研究室	福島大学考古学研究報告 第15集
(公財)アイヌ民族文化財団	アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第21号 AINU アイヌ民族～歴史と文化 アトウイ 海と奏でるアイヌ文化 紀要 第35号 稲垣益穂日誌 37巻	茨城県	茨城県立歴史館 49 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 海へ 一内湾と外洋の漁労一 市立市川歴史博物館 市立市川歴史博物館報 令和2年度 古河歴史博物館 古河歴史博物館年報 Vol.30 古河歴史博物館紀要「泉石」 第15号
小樽市総合博物館	ニュースレター アヌアヌ ANUANU Vol.8～10 CHIRI MASHIHO 知里真志保 ーアイヌ語研究にかけた熱意ー イコロ ウエカリレ アイヌ資料をコレクションする	群馬県	群馬県立自然史博物館 友の会通信 Vol.44 Demeter デメテール No.83～85 群馬県立歴史博物館 群馬県立歴史博物館紀要 第43号
国立アイヌ民族博物館	森のちゃれんがニュース Vol.27～29 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要 7 世界の昆虫 ー昆虫を通して、生き物の多様性を知るー	埼玉県	朝霞市博物館 朝霞市博物館研究紀要 第18号 台の城山遺跡と向山遺跡 ー弥生の斧を手に入れたムラー 埼玉県立川の博物館 たより「かわはく」 No.72～74 埼玉県立歴史と民俗の博物館 紀要 第16号 博物館ブックレット 第7集 巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅳ 遠山記念館 遠山記念館だより 第62,63号 年報 20 瓦塔と瓦堂 万吉だより 第34号
北海道博物館	北方民族博物館だより No.124～127 年報 令和3年度 北海道立北方民族博物館研究紀要 第31号 北海道立北方民族博物館資料目録 17 イヌイトの壁掛けと先住民アート	千葉県	国立歴史民俗博物館 国立歴史民俗博物館総合資料学ニュースレター NEWS LETTER Vol.12 NEWS LETTER ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料 調査研究・活用 日本文化発信にむけた国際連携のモデル構築 Vol.63 REKIHAKU特集 5～8 国立歴史民俗博物館 要覧 令和4年度版 国立歴史民俗博物館資料 図録 12 中世武士団 地域に生きた武家の領主加耶 ー古代東アジアを生きた、ある王国の歴史ー 伊能忠敬記念館 伊能忠敬記念館年報 第23号 総合研究大学院大学文化科学研究科 日本歴史研究専攻案内 2023 歴史研究の最前線 Vol.23 千葉県文書館 収蔵文書目録 第35集 千葉県の文書館 第27号 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
北海道立北方民族博物館	青森県立郷土館報 通巻49号 青森県立郷土館だより 通巻180,181号 青森県立郷土館研究紀要 第46号 三内丸山通信 第76,77号	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)
青森県	三内丸山遺跡対策室	岩手県	岩手県立博物館だより No.173～176 北上市立鬼の館だより 第56,57号
岩手県	岩手県立博物館	宮城県	仙台市博物館 仙台市博物館調査研究報告 第42号 仙台市博物館年報 第49号 館蔵名品図録 改訂版 年報 2021,2022 調査報告書 第40集 仙台の夏のくらし・秋のくらし 仙台市歴史民俗資料館資料集 第20冊 ニュースレター Omnividents No.66,67
青森県立郷土館	三内丸山遺跡対策室	秋田県	秋田県立博物館 秋田県立博物館ニュース No.174,175 秋田県立博物館年報 令和4年度
三内丸山遺跡対策室	岩手県立博物館	山形県	山形県立うきたむ風土記の丘 年報 No.29 考古資料館 高瀬山の考古学Ⅰ ー旧石器時代・縄文時代ー 最上地域の縄文時代 東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学 歴史遺産研究 第16号 古文書調査の歩み 東北芸術工科大学と地域史研究 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 紀要 令和3年度
宮城県	北上市立鬼の館	福島県	福島県文化財センター白河館 年報 令和2年度実績 研究紀要 第20号 福島県立博物館 なじよな Vol.14 紀要 第36号 アンモナイト合戦 ～アンモナイトVS 同時代の生き物たち～ 福島県歴史資料館 たより「福島県史料情報」 第60～64号 福島県歴史資料館収蔵資料目録 第53集
仙台市博物館	岩手県立博物館	千葉県	千葉県立郷土博物館 要覧 令和4年度版 国立歴史民俗博物館資料 図録 12 中世武士団 地域に生きた武家の領主加耶 ー古代東アジアを生きた、ある王国の歴史ー 伊能忠敬記念館 伊能忠敬記念館年報 第23号 総合研究大学院大学文化科学研究科 日本歴史研究専攻案内 2023 歴史研究の最前線 Vol.23 千葉県文書館 収蔵文書目録 第35集 千葉県の文書館 第27号 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
仙台市歴史民俗資料館	北上市立鬼の館	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)
東北大学総合学術博物館	宮城県多賀城跡調査研究所	千葉県	千葉県立中央博物館 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
東北歴史博物館	宮城県多賀城跡調査研究所	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)
宮城県多賀城跡調査研究所	秋田県立博物館	山形県	山形県立うきたむ風土記の丘 年報 No.29 考古資料館 高瀬山の考古学Ⅰ ー旧石器時代・縄文時代ー 最上地域の縄文時代 東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学 歴史遺産研究 第16号 古文書調査の歩み 東北芸術工科大学と地域史研究 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 紀要 令和3年度
秋田県	秋田県立博物館	福島県	福島県文化財センター白河館 年報 令和2年度実績 研究紀要 第20号 福島県立博物館 なじよな Vol.14 紀要 第36号 アンモナイト合戦 ～アンモナイトVS 同時代の生き物たち～ 福島県歴史資料館 たより「福島県史料情報」 第60～64号 福島県歴史資料館収蔵資料目録 第53集
山形県	山形県立うきたむ風土記の丘 考古資料館	千葉県	千葉県立中央博物館 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)
東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター	福島県立博物館	山形県	山形県立うきたむ風土記の丘 年報 No.29 考古資料館 高瀬山の考古学Ⅰ ー旧石器時代・縄文時代ー 最上地域の縄文時代 東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学 歴史遺産研究 第16号 古文書調査の歩み 東北芸術工科大学と地域史研究 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 紀要 令和3年度
福島県	福島県文化財センター白河館	千葉県	千葉県立中央博物館 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
福島県文化財センター白河館	福島県立博物館	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)
福島県立博物館	福島県歴史資料館	山形県	山形県立うきたむ風土記の丘 年報 No.29 考古資料館 高瀬山の考古学Ⅰ ー旧石器時代・縄文時代ー 最上地域の縄文時代 東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学 歴史遺産研究 第16号 古文書調査の歩み 東北芸術工科大学と地域史研究 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 紀要 令和3年度
福島県歴史資料館	福島県立博物館	千葉県	千葉県立中央博物館 研究報告 第16巻第1号 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 第73～76号 バラのすべて ～All about Roses～ 研究紀要 第28号 松戸市立博物館 松戸市立博物館年報 第29号 松戸市立博物館紀要 第29号 研究紀要 第13号
福島県歴史資料館	福島県立博物館	東京都	青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第40号 足立区立郷土博物館 足立区立郷土博物館紀要 第42号 琳派の花園あだち 歴史人 No.142,143 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 板橋区立郷土資料館 板橋区の成り立ちとあゆみ 90th 接收刀剣 ー板橋に集いし赤羽刀ー いたばしの古民家 旧粕屋住宅築300年記念 NHK放送博物館 NHK放送博物館だより No.68 講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史 戦国武将列伝10 四国編 47都道府県の郷土玩具 四国地方・九州地方 4 ミュージアム・レター No.48,49 幕末志士の起源 書陵部紀要 第73号,第73号[陵墓編] 英雄たちの選択 山内容堂 大政奉還への道 ～酔いどれ藩主奮闘記～ (DVD)

	英雄たちの選択 不平等条約を改正せよ！陸奥宗光の外交戦略 (DVD)		東京大学史料編纂所研究紀要 第32号 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第96～99号
(株)講談社 MOVE編集チーム	講談社の動く図鑑 MOVE 日本の歴史	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館NEWS Vol.116,117
國學院大學研究開発推進機構	機構ニュース No.31,32		江戸東京博物館史料叢書 13
國學院大學博物館学研究室	研究報告 第39輯 國學院大學博物館学研究 第1号 博物館学紀要 第46輯		調査報告書 第35集
國學院大學研究開発推進機構事務課	國學院大學研究開発推進機構紀要 第14,15号	東京都公文書館	東京都江戸東京博物館紀要 第12号
国際文化財(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 95[TM204]	東京都公文書館 史料編さん係	東京都公文書館だより 第40,41号
国立国語研究所	市民科学プロジェクト 市民科学ニュースレター No.1	東京文化財研究所	伝法院日誌抜抄 TOBUNKEN NEWS No.77～79
駒澤大学考古学研究室	埼玉県入間郡毛呂山町 川角古墳群測量調査報告書 一14・16・23～30号墳一	東京都埋蔵文化財センター	東京文化財研究所概要 2022 年報 42
(公財)ポーラ伝統文化振興財団	伝統と文化 46		研究論集 36
(有)タイクーン	偉人・素顔の履歴書 長宗我部元親 編 (DVD) #63	東京龍馬会	境道恵 一多摩丘陵の3つの顔一 たまのよこやま 127～130
大成エンジニアリング(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 94[TM181-4]	刀剣春秋	たより「龍馬タイムズ」 第140～143号 刀剣春秋 第838～840,842,844～846,848,849号
多摩美術大学芸術人類学研究所	Art Anthropology 17 UNZEN 「平成の島原大変」:砂守勝巳と満行豊人をめぐって	トキオ文化財(株)	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 93[TM217]
(株)帝国書院 第一編集室	明解 歴史総合	豊島区立郷土資料館	豊島区立郷土資料館だより かたりべ 140～142
(株)テレビジョンフィールド	号外！日本史スクープ砲 2時間スペシャル 幕末の英雄坂本龍馬 驚愕の錬金術 (DVD)		雑司が谷旧宣教師館だより 第68号
テレビマンユニオン	世界ふしぎ発見！坂本龍馬 聖地巡礼篇 #1631 (DVD)	(一社)日本考古学協会	生活と文化(豊島区立郷土資料館研究紀要) 第31号
東京書籍(株)	書道Ⅱ 書的美感を飾る、書の美を飾る	(公財)日本城郭協会	葉と折りの処方箋 シンポジウム ～高輪築堤を考える～ 概要集 城郭ニュース No.155,157,158
(公財)東京都歴史文化財団	江戸東京たてもの園だより 第59,60号		日本城郭協会史 昭和・平成・令和のあゆみ 1955-2022
江戸東京たてもの園		日本城郭史学会	城郭だより 第117～120号 城郭史研究 41号
(独)日本芸術文化振興会 日本博事務局	「日本博」開催に係る効果検証報告書 紀要 第20号	日本大学史学会	史叢 第105～107号
(財)日本相撲協会 相撲博物館	デイリーサビックス 小学6年 社会 2022年度版	日本文化財保護協会	紀要 第6号
(株)日本入試センター 法務部	ソシオ・スコープ デイリーサビックス 小学3年 社会 2022年度版	日野市教育委員会 教育部ふるさと文化財課	新微組と新選組の兄弟 一浪士組で上洛した沖田林太郎と総司一
	デイリーサビックス 小学5年 社会 2022年度版	平田 健	(公財)古代学協会年報 初音 12
(公財)日本博物館協会	博物館研究 通巻第645～658号 ICOM-DRMC 年次大会2021 報告書 ぶんかつ！3周年記念 2021年度公開シンポジウム ミュージアムをめぐるファンディング報告書	府中市郷土の森博物館	No.139～142 府中市郷土の森博物館紀要 第35号
	会員名簿 令和4年度	文京区立森鷗外記念館	文京区立森鷗外記念館NEWS No.41
(社)日本自動車連盟	JAF MATE 第60巻第4,5号,第61巻第1号		「森鷗外一次資料に関するアンケート」調査報告書
渋沢史料館	渋沢研究 第34号	勉誠社	古文書研究 第93号
しょうけい館(戦傷病者史料館)	戦傷病者等労苦調査事業報告書 戦傷病克服体験記録 戦場の軍医と衛生兵 残された言葉や声をたずねて 義足は語る ～戦争で足を失った戦傷病者の歩み～ 病床からフィールドへ 一スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡一 車いすと戦傷病者 「みくにの華」から「日傷月刊」まで ～傷痍軍人会の紆余曲折～ 目となり足となり手となり ～戦傷病者を支えた義眼・義手・義足～	法華 commons 佛教学林事務局 港区立郷土歴史館	法華 commons 通信 第9,10号 館報 2 港区指定文化財 令和3年度 歴史館ニュース 第11号
昭和館	昭和館館報 第23号 昭和のくらし研究 第20号	港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 文化財係 (港区立郷土歴史館)	港区文化財調査年報 1 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告書 59[TM162]
(公財)住友財団	住友財団助成 修復文化財図録Ⅲ	(株)図書館流通センター 自治体市史編さん支援事業部	港区史 自然編 図説 港区の歴史 港区史 原始・古代・中世 港区史 近世 上下 港区史 近代 上下 舞台の面影 演劇写真と役者・写真師
成城大学民俗学研究所	民俗学研究所紀要 民俗学研究所ニュース No.136～139	村島彩加	明治大学博物館 明治大学博物館+南山大学人類学博物館 合同シンポジウム報告書 新しいお殿様 一所替・その後一
全国刀剣商業協同組合	刀剣界 Vol.63～65	明治大学平和教育登戸研究所資料館	館報 第8号
たばこと塩の博物館	年報 第37号 パッケージで時間旅行 記念・観光たばこの世界 江戸川柳で読み解く 塩・味噌・醤油 江戸時代の暮らしに見る調味料 ヴィンテージライターの世界 炎と見せるメタルワーク	明治安田クオリティオブライフ文化財団	財団三〇年の歩み 一平成二三年度～令和二年度 助成先のあらまし一 わが国における地域の伝統文化/財団海外音楽研修生
東京家政学院生活文化博物館	東京家政学院生活文化博物館年報 第31号 祈りの形 一上巳と端午の節句飾り一	(株)ユーキャン 通信販売事業部	21世紀 大日本史
東京国立博物館	東京国立博物館紀要 第57号 MUSEUM No.694～699	(株)ユーキャン メディアマーケティング課	日本の名字・家紋大事典(カタログ見本) 北日本新聞 日本歴史大地図
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所報 第57号	(株)吉川弘文館 早稲田システム(株)	日本歴史 第888,893号 MUSEUM INTERVIEW Case176 I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS Vol.3～12
		神奈川県	厚木市埋蔵文化財調査報告書 第10集 馬事文化財団年報 通刊第42,43号 研究紀要 第23号

大磯町郷土資料館	江戸狩野派と馬 年報 令和3年度 島崎藤村と大磯を愛した文人たち	長野県立歴史館	長野県立歴史館研究紀要 第28号 長野県立歴史館たより Vol.111~114 長野県立歴史館収蔵文書目録 21
神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館研究報告 人文科学 第48,49号	長野市立博物館	山伏 佐久の修験 大井法華堂の世界 諏訪と武田氏 高遠藩の遺産 一最後の藩主が残したものー 博物館だより 第118~123号 紀要 第23号 収蔵資料目録 民俗8 煌びやかなお嫁入り 信濃の大名道具 御開帳 めくるめく ミル ミラレル ミセル 真田宝物館だより六連銭 第45,46号 こども松代見て歩き ~城下町松代の今とむかし~ 真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料目録 一刀剣一 長野市松代町 玉依比売命神社資料調査報告書 真田信之 たより「あなたと博物館」 No.240~242 資源環境と人類 No.12 ニュースレター No.15,16
神奈川大学国際常民文化研究機構 神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科 神奈川大学日本常民文化研究所	国際常民文化研究叢書 第15巻 歴史民俗資料科学研究 第27号 年報 2020,2021 民具マンスリー 第54巻10~12号,第55巻1~9 歴史と民俗 第38号 離宮八幡宮文書目録(三) 近代・現代編2 山城国乙訓郡大山崎荘(京都府乙訓郡大山崎町) 神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第30集	松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)	
神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター	年報 非文字資料研究 24,25 非文字資料研究センター News Letter No.47,48	松本市立博物館 明治大学黒耀石研究センター	
鎌倉文化研究会 川崎市市民ミュージアム 川崎市立日本民家園	鎌倉 第131,132号 年報(電子ファイル) 令和3年度 病と向きあう 一折りと医療をめぐる一 二足のわらじはなぜわらじ? 一ことわざになった道具考一 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告書 84(第1,2分冊),91(第1,2分冊),92 平塚市博物館年報 No.45 研究報告「自然と文化」 No.45 星になった民具たち 藤沢市史料集 44 歴史をひもとく藤沢の資料 6	岐阜県 岐阜県博物館 岐阜関ヶ原古戦場記念館 岐阜市歴史博物館	岐阜県博物館報 第45号 岐阜県博物館調査研究報告 第42号 錦絵にみる関ヶ原合戦の武将たち 島津家の関ヶ原 博物館だより No.111~113 美濃の名刹 立政寺の寺宝 一古文書と仏画の世界一
(株)バスコ		静岡県 上原美術館	上原美術館通信 No.17~20 無冠の仏像 伊豆・静岡東部の無指定文化財 静岡県民俗学会会報 183~186号 沼津市明治史料館通信 第149~152号 資料館だより 通巻233~236号 沼津市博物館紀要 46 国指定重要有形民俗文化財 沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具 III解説(概要)2 浜松市博物館報 第31,34号 赫夜 一かぐや一 79号 史跡 伝説 あれこれマップ トイレの紙さま ~おしりふきふき いまむかし~
平塚市博物館		静岡県民俗学会 沼津市明治史料館 沼津市歴史民俗資料館	
藤沢市役所 藤沢市文書館		浜松市博物館 富士山かぐや姫ミュージアム	
横浜市歴史博物館	横浜市の歴史 横浜の大名 米倉家の幕末・明治 「日記」が伝える武州金沢藩、激動の4年 縄文ムラの原風景 布 うつくしき日本の手仕事 Yokohama History Museum GUIDE English For a Self-Guided Tour		
JICA横浜 海外移住資料館	研究紀要 16 館報 2021年度 大和市文化財調査報告書 第95,96集		
大和市			
新潟県			
長岡市立科学博物館	NKH(長岡市立科学博物館報) No.106		
新潟県立歴史博物館	研究紀要 第23号 越後文書宝翰集 三浦和田氏文書Ⅲ 河村氏文書 小田切氏文書 生業絵巻尽 一ひらけ!江戸の産業図鑑一 守れ!文化財 ~モノとヒトに光を灯す~ 2021年度報告書		
新潟県立歴史博物館内「守れ!文化財~モノとヒトに光を灯す~」事業実行委員会			
新潟市歴史博物館	博物館ニュース「帆檣成林」 Vol.55~57	春日井市道風記念館 刈谷市歴史博物館	
石川県			
石川県立歴史博物館	石川県立歴史博物館紀要 No.31 たより「石川れきはく」 No.137~139 大加刀刀展 工芸教育の精華 納富介次郎とデザインの思想	南山大学人類学博物館 まつり同好会	
福井県		ミツカン水の文化センター	
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	紀要 2020	三重県	
福井県立歴史博物館	紀要 特別号 Museum Style No.11	鳥羽市立海の博物館 斎宮歴史博物館	安城市歴史博物館年報 第31号 れきしみち No.124~127 安城太郎 満70歳 一安城市のあゆみー 養生から健康へ 勉強っておもしろい? 家康と一向一揆 道風 第62~65号 刈谷市歴史博物館NEWS Vol.9 研究紀要 第2号 南山大学人類学博物館紀要 第41号 まつり通信 619~624 まつり 84 水の文化 第71~73号
福井県立子ども歴史文化館	これき人物シリーズ13 絵本編② 夢楽洞万司 万司の絵馬		
福井県立若狭歴史民俗資料館	館報 令和3年度 中世若狭の「まち」	三重県総合博物館	海とにんげん&SOS Vol.36~39 斎宮歴史博物館研究紀要 31 史跡斎宮跡 令和2年度発掘調査概報 斎宮跡発掘調査報告Ⅳ 西加座南区画の調査 遺構写真図版編 みえんしず 36~39号 三重県総合博物館年報 通巻8号 三重県総合博物館研究紀要 No.8 三重県総合博物館資料叢書 No.8 伊勢参り 再発見プロジェクト 活動の記録 集まれ!三重のクジラとイルカたち 三重の円空 倭名抄・国名郡名の由来語源(案)(電子ファイル) 「邪馬台国論」・「魏志倭人伝・読み下し」(電子ファイル) 湯沢市の地名語源由来(電子ファイル) 年中行事考(電子ファイル) 画で見る四日市港の歩み
山梨県		四日市市立博物館	
山梨県立博物館	山梨県立博物館年報 令和2年度 研究紀要 第16集 山梨県立博物館総合評価報告書 一開館15周年度目までにおける評価結果一 生誕200年 若尾逸平 曾我物語図屏風 伝える 災害の記憶 関連展示 山梨の災害 山梨県立考古博物館だより No.93,94 甲斐の勇者 その原像を探る	滋賀県 大津市歴史博物館	
山梨県立考古博物館			
長野県			
安曇野市豊科郷土博物館 飯田市美術博物館 (一社)信州教育出版社	博物館ブックレット 3 飯田市美術博物館年報 第32号 冬休み 6年		
			大津歴博だより No.128,129

	大津南部の仏像 一旧栗太郡の神仏一 大津絵 一ヨーロッパの視点から一 江戸時代の琵琶湖水運 一大津百艘船の 航跡一 明智光秀と戦国時代の大津 聖衆来迎寺と盛安寺 一明智光秀ゆかり の下阪本の社寺一 大津市歴史博物館開館30周年企画展「聖 衆来迎寺と盛安寺」 聖衆来迎寺蔵「国 宝六道絵」 4か国語解説パンフレット 六道絵の世界 芭蕉翁絵詞伝と義仲寺 大津のどうぶつ博物館 西教寺 一大津の天台真盛宗の至宝一 たより「おおてみち」 第119,121,122号 年報 令和3年度 戦国時代の近江・京都 六角氏だってす ごかった！！ 伝教大師最澄と天台宗のあゆみ 紀要 第29号 発掘された近江Ⅱ 遺跡アラカルト 里帰り！日本最大の銅鐸 太古の響きを安土の地で 研究紀要 第38号 渋沢栄一と中江藤樹・熊沢蕃山 一高島 市ゆかりの文化財とともに一 滋賀大学教育学部紀要 第71号 彦根城博物館だより 137,138,140 彦根藩の足軽 一歩兵たちの近世一 上田道三 一彦根の歴史風景を描く一 栗東歴史民俗博物館だより Vol.43 栗東歴史民俗博物館紀要 第28号	大阪市立住まいのミュージアム 研究紀要・館報 第19号 あんじゅ 90～93 大阪府立狭山池博物館 狭山の御代官も大変でござる 土木遺産展 舗装 道・路・道路 大阪府立近つ飛鳥博物館 たより「アスカディア・古墳の森」 第56,57号 大阪府立近つ飛鳥博物館館報 25 オホーツク文化 一あなたの知らない古代一 大阪府立近つ飛鳥博物館図録 84,85 たより「龍馬速報」 第148～150号 共同研究成果報告書 16 大阪歴史博物館研究紀要 第20号 大阪歴史博物館蔵資料集 18 大阪歴史博物館年報 令和3年度 あやしい絵展 難波をうたう 一万葉集と考古学一 展 示ガイドブック 一浮世絵師たちが描く一 絶景！滑稽！なに わ百景！ 錦絵滑稽浪花名所を読み解く！？ 近代のいばん手 一その意匠と時代背景一 柏原市古文書調査報告書 第17集 柏原の歴史1 旧石器～弥生時代 史跡誕生100年 高井田横穴と松丘山古墳 聖徳太子の伝説と真実 柏原・王寺・三郷の道と寺 関西大学博物館集報 陞院 No.83～85 関西大学博物館紀要 第28号 津田秀夫文庫古文書・和本目録 SPレコード(松本コレクション)のデー タベース作成と分析 研究成果報告書 民俗文化 第33,34号 除痘館記念資料室だより 第15号 友の会ニュース No.273 邂逅する写真たち モンゴルの100年前と今 5世紀の倭と東アジア 国際シンポジウム記録集 堺市博物館所蔵品図録 屏風編 古墳が変わる 一百舌鳥古墳群から新たな時代へ一 人とモノが行き交う中世・堺 一流通の考古学一 館報 第23号 聖徳太子墓 一観福寺北古墳一 八尾市立歴史民俗資料館館報 令和3年度 八尾の鉄道開通ものがたり 考古資料からみた八尾の古代氏族 一物部氏一 装演修理技術 美術工芸品を未来に伝える (DVD)
滋賀県立安土城考古博物館		柏原市立歴史資料館
滋賀県立琵琶湖文化館		関西大学博物館
滋賀大学教育学部 彦根城博物館		近畿大学民俗学研究所 緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室 国立民族学博物館
栗東歴史民俗博物館		堺市博物館
京都府		太子町立竹内街道歴史資料館
宇治市歴史資料館	収蔵資料調査報告書 24 山地、平野、川とともに池 一宇治のくらしと空間一 博物館Dictionary No.225	八尾市立歴史民俗資料館
京都国立博物館	京都大学構内遺跡調査研究年報 2021,2022年度 京都白川の巨大土石流 尊攘堂	
京都府京都文化博物館	研究紀要「朱雀」 第34集	
京都府立丹後郷土資料館	祈りのカタチ 一丹後に生きた人々の願い一 宮内庁京都事務所年報 3 鴨東通信 No.114,115	
宮内庁京都事務所 (株)思文閣出版	同志社大学歴史資料館館報 第25号 同志社大学歴史資料館調査研究報告 第19集 南丹市立文化博物館だより 第18号 南丹市立文化博物館収蔵資料目録 第9集 森と共に生きる ～知井地区を中心に～ 南丹の災害史 江戸時代から現在まで 一体験と記録で学ぶ一 るり溪と南丹の名所 園部垣内古墳 一発掘50年をふりかえる一 街道 一人々のくらしをつなぐ道一 國府克展 一山の魅力に惹かれて一 美術院紀要 第14号	
同志社大学歴史資料館		神戸市立博物館
南丹市立文化博物館		神戸市立博物館研究紀要 第37号 神戸市立博物館蔵品目録 美術の部 37 神戸市立博物館蔵品目録 考古・歴史の部 37 よみがえる川崎美術館 一川崎正蔵が守 り伝えた美への招待一
(公財)美術院		神戸大学大学院人文科学研究科
無鄰菴	サラサラ通信 2022.10～2023.3 学芸員NEWS LETTER 第34号 立命館大学国際平和ミュージアムだより 通巻86～88号 立命館平和研究 一立命館大学国際平和 ミュージアム紀要一 第23号 龍谷日本史研究 第44,45号合併号	地域歴史文化フォーラム愛媛 安政・昭 和南海地震の新研究報告書 城郭研究室年報 第31号 ひょうごの遺跡 106,107号
立命館大学文学部		姫路市立城郭研究室
立命館大学国際平和ミュージアム		(公財)兵庫県まちづくり技術 センター埋蔵文化財調査部 兵庫県立歴史博物館
龍谷大学日本史研究会		兵庫県立歴史博物館紀要「塵界」 第33号 館報 令和2年度 “ひょうご五国” 歴史文化キャラバン 唱歌！西洋音楽がやって来た 明治の音楽と社会 御影史学論集 47
大阪府		奈良県
和泉市教育委員会	池上曽根史跡公園要覧 史跡池上曽根遺跡を未来に伝えるために 一史跡池上曽根遺跡再整備計画一 館報 第7号 ほとけの心 木の力 一蓮花寺と地域の美術一 銅鐸から弥生時代社会を見直す 和泉市史紀要 第30,31集 和泉市埋蔵文化財発掘調査概報 32 OSAKA MUSEUMS Vol.20～23 大阪城天守閣紀要 第46号 徳川時代大坂城関係史料集 第22号 武将たちの風貌 “シンボル”が彩る戦国の世	正倉院紀要 第44号 元興寺文化財研究所研究報告 2021 50cm下の桜井 28 桜井市文化財協会 34年の軌跡 ～協 会の発掘調査が残したものの～ 天理参考館報 第35号 ピブリア No.157,158 十津川村史 歴史資料編(近世1) 橿原考古学研究所附属博物館特別展図録 第92冊
茨木市立文化財資料館		天理大学附属天理参考館 天理図書館 十津川村教育委員会事務局 奈良県立橿原考古学研究所付 属博物館
和泉市教育委員会文化遺産活 用課 市史編さん室		
大阪市博物館機構		
大阪城天守閣		

	橿原考古学研究所附属博物館特別陳列図録 第91冊 大和を掘る 37 豪族と渡来人 特別陳列 一高取の古墳文化一 奈良県立民俗博物館だより 通巻第113号 第10回 写真展 私がとらえた大和の民俗 文化財学報 第40集 奈良大学考古学研究調査報告書 第 26,27冊
奈良県立民俗博物館	
奈良大学文学部文化財学科	
和歌山県	
南方熊楠顕彰館	熊楠works No.59,60
南方熊楠資料研究会 (公財)和歌山県文化財センター	熊楠研究 第16号 歩いて知るきのくに歴史探訪 中世藤 並・田殿の息吹を感じて 古絵図で歩く 有田川南岸の文化財マップ
和歌山県立紀伊風土記の丘	年報紀要 第48号/第10号
和歌山県立博物館	紀氏、大地を開く 宮井用水と耕地開発 和歌山県立博物館研究紀要 第28号 仙像は地域とともに 一みんなで守る文化財一 特別展 きのくにの大般若経 一わざわ いをはらう経典一 濱口梧陵と廣八幡宮 法蔵寺・養源寺・安 楽寺の文化財とともに
和歌山大学紀州経済史文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 第43号 きのみなと 紀之水門 通巻10号 みる・きく・たのしむ 和歌祭
鳥取県	
鳥取県立博物館	年報 No.50 研究報告 第59号 三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の 名品と鳥取・但馬のほとけさま
鳥根県	
雲南市	たたら文化伝道師検定マニュアル「雲南 のたたら文化」
石見銀山世界遺産センター	大田市文化財調査報告書 第39,40集 石見銀山遺跡発掘調査概要 20,29
鳥根県古代文化センター	古代文化記録集 しまねの古代文化 第29号 古代文化研究 第30号 荒神谷遺跡青銅器群の研究 出雲国風土記 一地図・写本編一 鳥根県古代文化センター調査研究論集 第27,28集 刀剣 一武器から読み解く古代社会一 たより「八雲立つ風土記の丘」合併号No230,231 年報 令和3年度 鳥根県立古代出雲歴史博物館NEWS Vol.55 出雲と都を結ぶ道 一古代山陰道一 ハニワの世界へようこそ 吉備と出雲 Be-Archaeo物語 一科学と伝統のはざま一 菅谷たたら山内 総合文化調査報告書 3 松江歴史館NEWS MATSUREKI 第3,4号
古代歴史文化協議会	
鳥根県立八雲立つ風土記の丘	
鳥根県立古代出雲歴史博物館	
(公財)鉄の歴史村地域振興事業団	
松江市立松江歴史館	
岡山県	
岡山県立記録資料館	紀要 第17号 岡山のアーカイブズ 11 岡山県記録資料叢書 16 美術館NEWS 136~139
岡山県立美術館	
岡山シティミュージアム	岡山びと 第15号
金光教学研究所	金光教学 第62号
備前市	小出鞠るい 森に生き、愛を書く
広島県	
(株)熊平製作所	抜萃のつづり その82
広島県立文書館	広島県立文書館だより No.46,47 広島県立文書館紀要 第16号 広島県立文書館資料集 11 広島県立文書館収蔵文書展 チャップリ ンの日本人秘書 高野虎市 一「コーノ」 に寄せられた期待一 災害を語る歴史資料Ⅱ
ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)	ふくやま草戸千軒ミュージアムニュース 第130~132号
(財)広島市未来都市創造財団 広島城	しろうや! 広島城 No.72~75
湯本豪一記念 日本妖怪博物館	予言獣のチカラ アマビエとアマビコたち
三次ものけミュージアム	
山口県	
山口県文書館	文書館ニュース No.56 山口県文書館研究紀要 第49号
山口県立萩美術館・浦上記念館	たより「HAGI萩」 103~106

山口県立山口博物館	研究報告 第47,48号 館報 第43,44号
徳島県	
(財)徳島県埋蔵文化財センター	年報 Vol.33
徳島県立烏居龍蔵記念博物館	NEWS LETTER 1 研究報告 第5号 年報 第12号 烏居龍蔵と草原の遊牧王朝 遼 博物館ニュース No.126 年報 第31号 研究報告 第32号 阿波の画壇をたのしむ 一近世の画人と作品一 徳島県立文書館研究紀要 第9号 住吉村組頭庄屋山田家と吉野川 学校の公文書 近世小松島商人の蔵書Ⅱ 年報 第30号 阿波藍商の(たからもの) (図録) 阿波藍商の(たからもの) (出品目録) 甲冑の美 ひな人形の世界 真言宗御室派の寺宝と四国・徳島 (パンフ) 真言宗御室派の寺宝と四国・徳島 (目録) 蜂須賀家の名宝Ⅰ 一徳島藩ゆかりの美術工芸一 蜂須賀家の名宝Ⅱ 一徳島藩をめぐる歴史世界一
徳島県立博物館	
徳島県立文書館	
徳島市立徳島城博物館	
徳島県未来創生文化部 文化 資源活用課	未来へ紡ぐ、風土を生かした伝統の暮らし 「にし阿波」の雑穀食文化 徳島県 Traditional Lifestyle Utilizing Climate Pass Down to the Future Millet Food Culture in Nishi-Awa Tokushima Prefecture 「にし阿波地域の雑穀食文化継承プロ グラム」調査報告書 歴史の里 第25号
松茂町歴史民俗資料館・人形浄 瑠璃芝居資料館	
香川県	
香川県教育委員会	香川県「四国八十八箇所霊場と遍路道」調 査報告書 19 香川県文化財年報 令和2年度 年報 令和2年度 埋蔵文化財試掘調査報告 33 県立善通寺養護学校移転に伴う埋蔵文化 財発掘調査報告書 旧連兵場遺跡(第26 次調査) 第1~3分冊 紀要 第25号
香川県埋蔵文化財センター	
香川県立文書館	
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース Vol.58 ミュージアム調査研究報告 第13号 戦後デザイン運動の原点 近代香川を生み出したまち 多度津もの がたり 展示パンフレット 風景が物語る瀬戸内の力 一自然・歴史・人の共鳴一 常設展示解説シート Vol.124~129 瀬戸内ギャラリー 第6回企画展 解説シート 瀬戸内海歴史民俗資料館解説シート No.32,33
(公財)鎌田共済会郷土博物館	郷土博通信 No.19,20 ここに100年そして未来へ 一鎌田共 済会 図書館・郷土博物館 のあゆみ一 坂出市史 近世資料篇(その四) へんろ資料館 紀要 2 さぬき市埋蔵文化財調査報告 第26集 ライト&ライブ No.713~721 四国民俗 第51号 丸亀市埋蔵文化財発掘調査報告 第41,42冊 宗吉かわらの里展示館 年報 11 詫間町民俗資料館・考古館 年報 3 三豊市埋蔵文化財発掘調査報告 第16集
坂出市史編さん所	
さぬき市教育委員会	
四国電力(株)	
四国民俗学会	
丸亀市教育委員会	
三豊市教育委員会	
愛媛県	
宇和島市教育委員会	宇和島市埋蔵文化財報告 19 清良記と大森城跡 一三間の中世世界を考える一 重文 豊臣秀吉像修理後初公開記念 ほ どく なおす つなぐ 愛媛県教育委員会文化財保護課 愛媛県生涯学習センター え ひめ青少年ふれあいセンター
宇和島市立伊達博物館	
愛媛県教育委員会文化財保護課	
愛媛県生涯学習センター え ひめ青少年ふれあいセンター	
加藤彰彦 ~実業教育に生涯を捧げた松 山高商初代校長~	

愛媛県総合科学博物館	年報 令和3年度	高知県立美術館	KENBI LETTER No.112~115
愛媛県美術館	年報・研究紀要 第20号		高知県立美術館年報 2018,2019年度
愛媛県歴史文化博物館	季刊 歴博だより No.109~112		ARTIST FOCUS #03 角田和夫 土佐深夜日記—うつせみ
	愛媛の文学資料		佐藤健寿展 奇界世界
	愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第27号	高知県立文学館	たより「藤並の森」 Vol.97~100
	愛媛県歴史文化博物館資料目録 第30集	高知県立埋蔵文化財センター	高知県埋蔵文化財センター年報 第30,31号
愛媛大学人文学会	人文学論叢 第23,24号		高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第155~158集
愛媛大学法文学部	愛媛大学法文学部論集 人文学編 第51,52号	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより No.89~91
	一最新研究にふれる八十八話— 四国遍路と世界の巡礼 上		高知県立牧野植物園年報 第21号
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査報告 35	高知県林業振興・環境部林業環境政策課	もりりん No.8
大洲市教育委員会 文化スポーツ課	大洲市埋蔵文化財調査報告書 第4,5集	高知こどもの図書館	ほんどあそぶ ニュースレター No.81~83
鬼北町教育委員会	鬼北町埋蔵文化財発掘調査報告書 第11集		ほんどあそぶプラス! ニュースレター No.81~83
(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	研究紀要 「紀要愛媛」 第18号	高知市役所総務課国際平和担当	子どもと戦争
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	愛比売 令和3年度	高知市立自由民権記念館	たより「自由のともしび」 Vol.92,93
	愛媛県埋蔵文化財発掘調査報告書 第203集		要覧 2021年度
西条市教育委員会社会教育課	国選択 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 「四国山地の発酵茶の製造技術」 石鎚黒茶製造技術調査報告書	高知文学学校研究科	高知文学 第48号
歴史文化振興係	西南四国歴史文化論叢「よど」 第23号	こうちファミリーサポートセンター	ふぁみサポ通信 第53~55号
西南四国歴史文化研究会	松山市埋蔵文化財調査年報 34	高知ペンクラブ	高知ペンクラブ会報 第92,93号
(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター(松山市考古館)	松山市文化財調査報告書 第206集		高知文芸年鑑 2022年版
松山市教育委員会事務局文化財課	松山市文化財調査報告書 第205,208集	こうちミュージアムネットワーク	こうちミュージアムネットワーク通信 Vol.19
(公財)松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センター・松山市考古館	松山市文化財調査報告書 第207集	(公財)高知市文化振興事業団	文化高知 No.225~229
松山市役所	小日本 第42,43号	佐川史談会事務局	佐川史談 霧生閣 第56号
坂の上の雲ミュージアム	柴家文書調査報告	佐川町立青山文庫	牧野富太郎からの手紙 第1巻
	季刊 子規博だより 通巻153~155号	佐々木 裕	NHK 歴史への招待 復刻版 1~20巻
松山市立子規記念博物館	子規と進化する句会 一俳句革新の原動力—		NHK 国宝への旅 1~20,別巻1
高知県		四万十市郷土博物館	収蔵資料目録 歴史・書籍分野1
(株)アドブレン	こうち探検ミュージアム Vol.91,93,94	蒼空の会	蒼空 第27号
アンパンマンミュージアム	やなせたかし記念館NEWS「メルヘンの散歩道」 「アンパンマンのバトロール日記」 Vol.94~97	創和文学	創和文学 第7号
市川浩司	牧野人 Vol.2	土佐市教育委員会事務局 生涯学習課	土佐節
大崎光雄	茅葺き伝 ~義範親方と茅葺き屋根~	土佐史談会	土佐史談 279,280号
オーテピア高知図書館	コトノハ Vol.10~12	土佐清水市役所生涯学習課	土佐清水市文化財調査報告書 第2集
岡本桂典	関西縄文時代研究の泉を拓く 関西縄文論集4 一泉拓良先生縄文研究50年記念・関西縄文文化研究会20年記念—	(同)風	とさちようものがたり ZINE 9,10
	たより「不思議の森から」 Vol.46	中岡慎太郎館	北川村 中岡慎太郎館資料目録 第1集
越知町立横倉山自然の森博物館	土佐史談 279~281号	南国市市役所企画課	広報なんこく No.951~955,958~960
高知県教育委員会文化生活スポーツ課	さんSUN高知 No.326~337	南国史談会	南国史談 第45号
高知県広報広聴課	こころんだより Vol.21,23,24	南国市教育委員会	南国市の遺跡 一令和2年度南国市遺跡詳細分布調査図一
	文化財こうち 第8号	南国市立図書館	「としょかん」南国市立図書館だより No.173,175,176,188,189,192,193
高知県文化新生活スポーツ部歴史文化財課	高知県「四国八十八箇所霊場と遍路道」総合調査報告書 4	原田英祐	東洋町資料集 第10,11集
(公財)高知県文教教会	文教高知 No.90,91	風土社	風土 第22号
高知県立高知城歴史博物館	年報 第6号	保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会	新版 竹島の偉人
	研究紀要 第4号	松崎淳子	佐竹音次郎 日誌 複製版 1~29
	城博ニュース(JOHAKU NEWS) Vol.17~20	三里史談会	まっことめでたい96歳 私の「昭和、平成、令和」覚え書
	藩が消えた日 四国の廃藩置県	三里まちづくりの会	大平山 第48号
	仁淀川流域の歴史と文化	本山準一	むかしの三里 写真展 資料集
	土佐のやきもの 尾戸焼	横山隆一記念まんが館	山村日記 一いま、高知の山村は— (2016年-2021年) 本山準一写真集
	高知に関する研究・文献目録(歴史・考古・民俗) 令和2年度	龍馬研究会	館報「FUKU-FUKU」 Vol.81,82
	ようどう	福岡県	年報 2021年度
	没後150年 山内容堂	有馬記念館	たより「龍馬研究」 No.226~229
高知県立公文書館	高知県立公文書館年報 第2号	北九州市立自然史・歴史博物館	年報 第7,8号
高知県立坂本龍馬記念館	たより「飛騰」 第121~124号		北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 第19号
	年報 令和3年度	九州国立博物館	金石と八幡 鉄の都のものがたり
	研究紀要 第4号		北九州・産業都市の軌跡 展示解説シート
	龍馬が七歳だったころ 一天保期の土佐の社会とくらし—		東風西声(九州国立博物館紀要) 第17号
	龍馬最後の帰郷展 一坂本家と川島家・中城家— 倒幕に向けた龍馬の大勝負		明国からやって来た奇才仏師 范道生
高知県立大学文化学部	文化論叢 第10号記念号		皇室の名宝 皇室と九州をむすぶ美
高知県立大学	P i n t Vol.24,25		海幸山幸 祈りと恵みの風景
	文化の思索 高知県立大学文化学部編		最澄と天台宗のすべて
高知みらい科学館	年報 令和3年度	九州歴史資料館	平成23-24年度 九州国立博物館 文化財修理報告
	かがくかん通信 Vol.14		九歴だより No.55,56
	MIRAI Science —ミライ サイエンス— Vol.13	九州歴史資料館分館 柳川古文書館	九州歴史資料館研究論集 47
高知県立のいち動物公園	たより「ZOOファミリーのいち」 Vol.87~89	(公財)古都大宰府保存協会	大宰府史跡ガイドブック 4
	年報 令和3年度	田川市石炭・歴史博物館	柳川古文書館館報 第1号
			柳川古文書館史料目録 第30集
			都府楼 53号
			田川市石炭・歴史博物館館報 第15号
			ユネスコ「世界の記憶」 山本作兵衛コレクション 登録10周年記念誌

能古博物館	能古博物館だより 第86号		研究紀要 22
福岡市教育委員会	福岡市埋蔵文化財センター年報 第41号	大分市教育委員会	大分市埋蔵文化財発掘調査報告書 第163～165集
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館研究紀要 第22号		史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)令和元年度改訂版
	古文書だより 第1号		国指定史跡大友氏遺跡 大友氏館跡庭園遺構整備事業報告書
福岡市博物館	FACATA 福岡市博物館だより Vol.123～126		大分市埋蔵文化財調査概要報告 令和元,2年度調査版
	市史だより Fukuoka 第26号	大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.124～128
	収蔵品目録 37		源氏物語と大友吉統
	研究紀要 第31号	大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニューズ Vol.124～128
	特別展 徳川家康と歴代将軍 ～国宝・久能山東照宮の名宝～		国東市文化財調査報告書 第3集
行橋市歴史資料館	和菓子の作りかた 一昔ながらの技と味— 椿市廃寺の時代 一律令体制の進展—	国東市歴史体験学習館	大分県国東市文化財整備報告書 第1,4集
佐賀県			
有田町歴史民俗資料館	たより「皿山」 No.134～137	宮崎県	都城島津伝承館史料集 第11号
佐賀県立九州陶磁文化館	たより「セラミック九州」 No.58	宮崎県総合博物館	みやはく通信 Vol.2
	研究紀要 第7号		宮崎県総合博物館年報 No.51
佐賀県立佐賀城本丸歴史館	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要 第17号	宮崎県立西都原考古博物館	宮崎県総合博物館研究紀要 第42輯
	陸蒸気を海に通せ! 大隈重信が挑んだ日本初の鉄道建設		飛び道具の技術文化史 ～旧石器時代から西南戦争まで～
	佐賀城本丸クラシックス 2		古墳時代の「台所革命」と東アジア ～美味なる「ごはん」の考古学～
佐賀県立名護屋城博物館	研究紀要 第28集	宮崎市歴史資料館	宮崎市歴史資料館研究紀要/宮崎市歴史資料館年報 第13号/令和3年度
	綺羅、星の如く 一戦国の雄、肥前名護屋参陣—		
佐賀県立博物館・佐賀県立美術館	調査研究書 第46集		
佐賀県文化・観光局文化課	愛娘への手紙 一頁姫宛て鍋島正直書簡集—		
長崎県			
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS No.59～61		
	研究紀要 第16号		
長崎市文化観光部 長崎学研究所	紀要「長崎学」 第6号		
熊本県			
熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温故創生館	鞠智城跡 一第35・36次調査報告— 深迫門跡周辺の調査		
熊本県立美術館	熊本県立美術館だより View Vol.181～183		
熊本市立熊本博物館	熊本博物館館報 No.34		
	くまはくNEWS LETTER Vol.7,8		
	能楽伝承 ～熊本の能文化～		
長曾我部 久	熊本歴研 史叢 第23号		
大分県			
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第27号		
大分県立歴史博物館	たより「おおいた歴博」 No.69～71		
	大分県立歴史博物館年報 2021		
	大分県歴史資料調査報告 9		
	大分県仏教美術調査報告 8		

購入図書

書名	編著者名	出版社・発行	巻・号	発行年
日本の石仏	日本石仏協会	日本石仏協会	第176～178号	2022
歴史評論	歴史科学協議会事務所 『歴史評論』編集委員会	歴史科学協議会	No.865～876	2022,2023
月刊考古学ジャーナル	考古学ジャーナル編集委員会	(株)ニューサイエンス社	No.767～779	2022,2023
季刊 考古学		(株)雄山閣	第159～162号	2022,2023
季刊 考古学・別冊		(株)雄山閣	36～39	2022
石造文化財	石造文化財調査研究所	石造文化財調査研究所	14号	2022
地方史研究	地方史研究協議会	(有)岩田書院	第416～421号	2022,2023
歴史学研究	歴史学研究会編	續文堂出版	第1021～1033号	2022,2023
日本歴史	日本歴史学会	(株)吉川弘文館	第888～898号	2022,2023

高知県立歴史民俗資料館年報
令和4年度

No.32

発行日	令和5年8月31日
編集・発行	公益財団法人 高知県文化財団 高知県立歴史民俗資料館 〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1 TEL (088) 862-2211 FAX (088) 862-2110 https://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~rekimin/ Eメール rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp
印刷	弘文印刷株式会社